

司法省蔵版

情供證據誤判録

博聞社翻刻

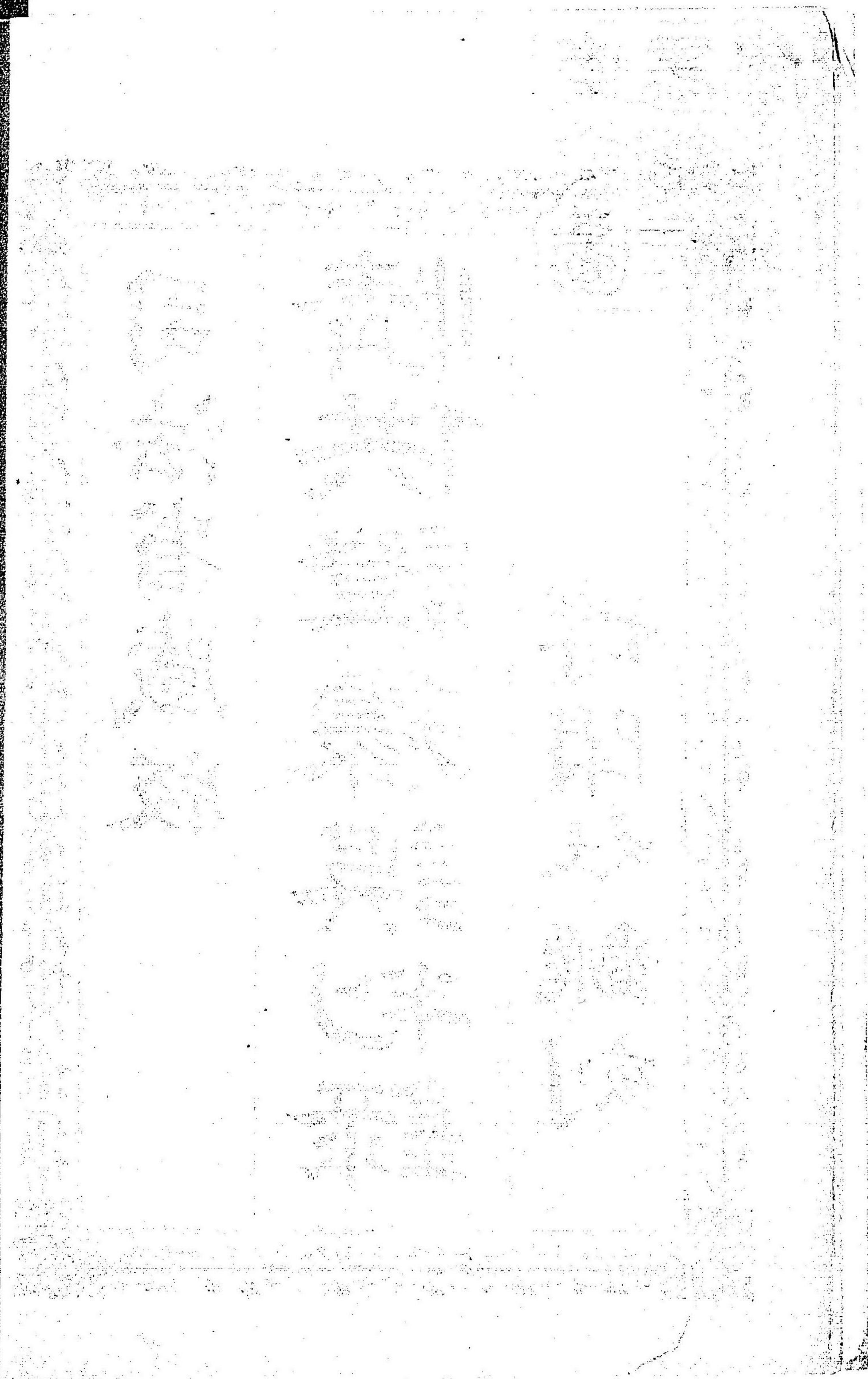
特15
421

東台
書局
藏

司法省藏版

情供證據誤判錄

博聞社翻刻



情供證據誤判錄

例言

- 一原書ハ西曆千八百七十三年北米合衆國ホストン府ニ於テ「フエーマス、ケーセス、オン、サルカム」スタンシアル、エヴ、井、デンス」ト題シ刊行セルモノニ係ル蓋シ情供證據著名判例ノ義ナリ然ルヲ今情供證據誤判錄ト稱セルモノハ全編ノ中僅ニ一二ノ例ヲ除ク外總テ情供證據ニ出タル誤判例ニアラサルナキヲ以テナリ
- 一此書ノ叙言ハエス、エヌ、フ、井、リップノ著述ト爲シ乃チ同氏ノ名ヲ用フト雖モ一説ニ據レハ其實同氏ノ著述ニアラサルモノ、如シ而シテ又判例ニ於ケルモ均シク同氏ノ編纂ニアラサルニ似タリ惟フニ此書ヲ刊行セシモノ歐米古今著名ノ判例ヲ蒐集シ遂ニ一卷ノ書ヲ爲スニ臨ミ既ニ世ニ行ハル、推測證據論(即チ「フ、井、リップ」氏ノ著トシテ世ニ傳フルモノ)ヲ卷首ニ加ヘ假ニ之ヲ叙言ト爲シ以テ世ニ公ニセシモノナランカ姑ラク疑ヲ存シテ後ノ鑑裁ヲ俟タントス
- 一書中地名ハ右測ニ「」ヲ加ヘ人名ハ「」ヲ加フ而シテ人名地名ニアラサル原語ヲ記スルハ總テ「」ヲ用フ

東京圖書
明治十四年六月

譯者識

情供證據誤判錄

目次

叙言 推測證據論

- 第一判例
- 第二判例
- 第三判例
- 第四判例
- 第五判例
- 第六判例
- 第七判例
- 第八判例
- 第九判例
- 第十判例
- 第十一判例
- 第十二判例
- 第十三判例
- 第十四判例
- 第十五判例
- 第十六判例
- 第十七判例
- 第十八判例
- 第十九判例

一 丁數
一〇九 九 八 八 八 七 七 六 六 六 六 五 五 四 三 三 三 一
〇 九 一 七 五 一 八 三 七 五 三 一 〇 三 一 二 九 六 五

第二十判例	一〇六
第二十一判例	一〇八
第二十二判例	一一〇
第二十三判例	一一二
第二十四判例	一一三
第二十五判例	一一五
第二十六判例	一一六
第二十七判例	一一八

一〇六	一〇八	一一〇	一一二	一一三	一一五	一一六	一一八
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

目次畢

情供證據誤判錄

叙言 推測證據論

英國 フリップス 著
日本 高橋健三 譯

抑法律ノ學タル派流多端一ニシテ足ラスト雖モ其關係ノ普子ク効用ノ大ナルハ亦證據法ニ過ク
ル者アラス蓋シ聽訟折獄ノ第一着ハ訴訟ノ事實ヲ檢覈探討スルニ在リ故ニ其原被兩造ノ何レニ論
ナク苟モ認庭ニ在テ必要ノ證據ヲ與フル能ハスシテ其利ヲ得タル者未タ之レ有ルヲ開カス而シテ
世ノ法律家ハ法律ヲ目シテ決約一定輒ク變更ス可カラサル者ト爲セ抑亦之ニ擬シテ其應用ヲ
行フ可キ事實ノ發見ニ至テハ變化百出隨テ出ツレハ隨テ新ニ更ニ極マリ無ク老練ノ法官ト雖モ爲
メニ眩惑シテ往々誤見ヲ免カル能ハサル所以ヲ嘆セリ然ルニ方今英米ノ如キ法律完備ノ國ニシテ
尙ホ未タ證據理論ヲ解説スルノ書有ルヲ見ス是レ豈ニ缺典ト言ハサルヲ得ンヤ且ツ其一部タル情
供證據ノ如キニ至テハ愈々之ヲ論スルノ著ナシ故ニ本論ノ旨意ハ證據法原則ノ一斑ヲ説キ殊ニ推
測ヲ以テ成立スル證據ヲ專論セントス英國律師ノ情供證據ト稱スル者即チ是ナリ
夫レ證據ト證據トハ其能ク相類似スルヲ以テ世間之ヲ混用スル者多シト雖モ惟フニ此兩者ハ恰モ原
因ノ結果ニ於ケル如ク則チ證據トハ證據人述フル所ノ口供若クハ文書中記スル所ノ事ニ就キ法ノ
認定スル信任ナリ而シテ證據トハ此ノ如キ證據ヲ探討スル爲メ以テ其橋梁トスル所ニ過キサルモ
ハミ故ニ曰ク證據ハ法理ニ協フモノニ非サレハ法律之ヲ採ラスト蓋シ兩者一ナラサルヲ知ルニ足
ル可シ

證據法ノ原則ハ吾人ノ生平慣行熟視スル行作、營生、風俗ニ淵源シ此三者ニ就キテ今日吾人ノ觀察
スル所ノ者即チ其基礎タリ然ラハ此等ノ原則ハ素ト法律ノ定規タルカ故ニ公正ナルニ非ス其原則
始メヨリ公正ナルヲ以テ自ラ法律ノ定規タルナリ

然リ而シテ凡ソ情況アレハ必ス之ニ因スル推測アルハ人間普通ノ條理ニシテ例之ハ人其利スル所

アレハ則チ其利ノ爲メニ誘致サル、有ルヲ揣摩ス可ク母子ノ關係アレハ則チ母其子ヲ眷愛スルノ情ヲ推知ス可ク壯少ノ人アレハ則チ其性情ニ眩惑シ易キヲ測定ス可シ蓋シ是等ハ人生ノ常情ニシテ何レノ國何レノ時ヲ論セス以テ證據法ノ基礎ト爲ル可キ者ナリ彼ノ有名ナル西羅門カ二婦一兒ヲ爭フノ訴ニ於テ其孰レカ母タルヲ知ル能ハサルヲ以テ忽然一策ヲ案出シ二婦ニ諭スニ兒ヲ兩斷シ其切片ヲ各婦ニ配付セシムヲ以テセリ於是乎其一ハ眞ニ兒ヲ死ニ致スニ忍ヒス遂ニ自ラ枉ケテ之ヲ他人ニ與ヘ寧ロ其生命ヲ救ハント哀訴セシニヨリ始メテ其母タルヲ證セシ如キ或ハロサリヲガ夜半竊カニ其夫人ノ閨房ニ忍ヒ之ヲ脅カセシハ則チ色慾ノ致ス所ナルヲ證スル等皆ナ情況推測ノ的例ト謂フ可シ

要スルニ證據法ノ原則ハ吾人ノ親シク現場ニ於テ目撃シ或ハ今日ノ實際自ラ之レ有ル可シト信スルニ足ル事物ニ就テ下タセル所ノ觀察經驗即チ其基礎タルヲ以テ所謂ル要則ナル者ハ苟モ吾人今日存在スル社會ノ現況ト當時ノ風俗慣習トニ相對合セサルモノナシトス是レ自然ノ勢ナリ次款數例ヲ引テ以テ此言ノ証ヒサル所以ヲ證ス可シ

左ノ一節ハ有名ナルフリップド、ゴミートンノ言行録中ニ載スル所ニシテ勿々之ヲ讀了セハ實ニ信大ヒニ信ヲ措クニ足ル可キ者アリ

佛帝路易第十一世ハ英國エドワード第四世ノ爲メニ本國ヲ襲撃セラレシカ其銳敵ス可カラサルヲ以テ或時一萬六千個ノ冠ヲ製シテ密カニ之ヲ英王ニ昵近スル諸臣ニ賂ヒシ就中大小ノ尙書及ヒ主書官ノ如キ衡平法廳ノ顯官貴職ニ贈リ爰ニ始テ和ヲ講スルヲ得タリ云々フリップド、ゴミートン言行録第二卷七丁個ハ是レ材誠兼備ノ史家カ最モ能ク當時ノ風俗狀態ヲ觀察シテ論述セシモノナレハ曾テ其眞ヲ疑フ者無シ而シテ此史家カ此ノ如キ事跡ヲ記スル旨趣如何ヲ開陳スル所ヲ見ルニ曰ク抑、此等ノ醜體ヲ記スル所以ハ當時人事乘弊ノ方法如何ヲ示シテ後世要路ニ立チ政畧ヲ鹽梅スル人士ノ殷鑑ニ供セントスルニ在リト雖モ試ニ此等ノ醜體ヲ以テ英國今時ノ景況ヲ評シ乃チ今ノ大尙書若クハ他

ノ法官ニシテ尙ホ此ノ如キ醜跡賤行アリト云ハ、何人カ亦之ヲ信セシヤト他ナシ唯、其時世風俗ノ古今一ナラザルカ故ノミ此ニ由テ之ヲ觀レハエドワルト第四世千四百七十七年ニ於テ信ス可キノ推測證據ト雖モ若シ之ヲシテシオルシ第三世千七百二十年ノ時ニアラシメ、蓋シ信スルニ足ラサル可シ夫ノ雄辯家シセローガ其國會ニ於テクルエンシアスニ嚮ヒ演述セシ論議ハ能ク羅馬裁廳當時ノ賤瀆ヲ證ス可シト雖モ苟モ今日其論ヲ讀ム者既ニ先ツ當時羅馬ノ風俗如何ヲ熟知スルニ非サルヨリハ亦容易ニ之ヲ信ス可カラサル可シ

又往年歐洲某國ノ欽差使命ヲ奉シ始テ暹羅ニ來リ國王ニ謁セシガ使命ヲ述了セン後チ談話遂ニ歐洲ノ風俗事情ニ涉ルニ及ヒ國王ハ頻ニ耳ヲ欽テ欽差ノ述ル所ヲ聽キ每辭每言盡ク之ヲ信セシガ談話半ヲ過キ始テ彼此兩國ノ氣候如何ニ及ヒ欽差又歐洲ノ氣候ノ之ヲ述羅ニ比スルニ甚々寒冷ニシテ時有リテハ河海ノ水凝結シテ行人其上ニ歩ス可シト言フニ至リ國王頑然トシテ信セス且ツ欽差ヲ詰リ抑、此ノ如キハ曾テ朕カ見聞スル處ノモノト全ク相容レズト斷言シタリキ願フニ國王ノ之ヲ信セサルモハ果テ其理有リト言フ可シ

蓋シ吾人カ人生ノ行作ヲ信スルト否トニ於ケルヤ亦右ニ記スル數例ノ如ク吾人ノ生存スル社會ノ現況ト時代トノ二者ニ原因スルノ故ニ爰ニ一事有レハ則チ吾人ノ之ヲ信スルト否トハ皆ナ吾人ノ觀察經驗ヨリ出テ乃チ其事タル生本能ク慣熟セル者ナレハ輒ク信認シ若シ又新奇ニシテ豫メ期ス所ノ外ニ出ツルモノナレハ容易ニ之ヲ信セサル可シ譬ヘハ近時一富人某カ一日商家ノ慶頭ニ陳列スル紙箋ヲ偷ムノ罪ヲ以テ訴ヘラレ將ニ法官ノ鞫尚ヲ受ケントスル時法官ハ其罪ノ甚々信ス可カラサルヨリ宣言シテ曰ク抑、此ノ如キ富者ニシテ此ノ如キ風賊ノ行有ルハ頗ル疑フ可シト而シテ未タ原告ノ證言ヲ檢問スルニ及ハスシテ忽チ被告ニ保釋ヲ允シ直チニ斷罪ヲ行ハザリシ如キ以テ證トス可シ此他尙ホ之ニ類スルノ例亦尠シトセサルナリ因テ考フルニ凡ソ吾人ノ事ヲ信スルト信セサルトハ概チ社會ノ風俗慣習ニ根據スト云フモ恐ラクハ誣言ニ非ラス果テ然ハ證據法ノ如キ固ヨリ一定ノ規矩ヲ設ケテ之ヲ箝制ス可キ者ニ非ル可シ故ニ有名ノ證據法論者マスカーダス及ヒ

四

メノチアスノ如キ先輩ハ總テ證據ヲ目スルニ是レ固ト法官ノ意思如何ニ基ヒスルモノナレハ始終
其任意ニ出テ敢テ一定ヲ得可カラザル者ヲ以テセリ
推測證據ニ二種有リ一ヲ法ノ推測ト云ヒ一ヲ審判陪審判者等ノ推測或ハ人ノ推測ト云フ而シテ法
ノ推測トハ罪犯ノ或ル者ニ就テ法律ノ認定スル收結ナリ譬ヘハ故意造心以テ人ヲ謀殺スル者アレ
ハ個ハ惡意ヲ逞フシテ之ヲ行ヘルナリト酌奪スル如キ即チ法ノ推測ナリ然レモ若シ又白刃ヲ提携
シテ死者ノ側ニ樹立セル者ヲ目撃スルニ其人ヲ以テ兇犯ト認定スルヤ否ハ法ノ推測ニ非ズシテ即
チ陪審ノ推測ナリ
佛國ノ法學士モンラスキツ氏ハ法ノ推測ヲ以テ人ノ推測ニ優レリト明言セリ蓋シ佛國ノ法律ニ凡
ソ商賈ニシテ身代限ノ處分ヲ受クル者ノ其處分ヲ受クル前十日間ノ所業ヲ以テ悉ク詐偽詭譎ヨリ
出ツルモノト推測スルノ例有リ是レ又法ノ推測ナリ且ツ同國ノ成典中其詐偽詭譎ヨリ出ツルモノ
ト豫メ認定セル行爲ハ假令ヒ何等ノ顯跡ヲ以テ其然カラサル所以ヲ證明セントスルモ斷然之ヲ採
ル可カラスト云フノ條款アリ是レ恰ニ賢明ノ法ト稱ス可シ我カ法律ニ於ケルモ自ラ亦之ニ類スル
ノ制有リテ存ス乃チ人或ハ物ノ品性ニ由テ法律上特ニ固定セル數種ノ推測有リ而シテ凡ソ此推測
ニ係ル者ハ別ニ何等ノ確證ノ之ヲ破毀スルニ足ル者有リト雖モ敢テ容レサル所トス要スルニ立法
ノ大旨ハ固ト定着ニ在ルヲ以テ將ニ事ヲ決明セント欲セハ是ヨリ先キ既ニ決明セルノ事ニ由リ以
テ其カ基礎標準トスル所ヲ得スンハ非ラサルナリ此ノ如キヲ以テ總テ證據トハ必ス既ニ確知確定
セル者ニ就テ云フノ語ナリ蓋シ其實疑ハシキノ事ヲ證明セント欲セハ則チ定着ノ實事ニ服従セズ
ンバ非ラズ左ノ原則ハクインチリアンガ此理ニ基キ製セル者ナリ未タ以テ有益ノ文字ト爲スニ足
ラサルモ其奇異ナルヲ以テ今之ヲ掲出シ讀者ノ參考ニ供セントス
此事有リ故ニ其事有ラス
例 晝ナリ故ニ夜ニ非ス
此事有リ故ニ其事有リ

此事有リ故ニ其事有ラス
例 晝ナリ故ニ夜ニ非ス
此事有リ故ニ其事有リ

白日天ニ在リ故ニ晝ナリ
此事無シ故ニ其事無シ

然リ而シテ證ニ又二種ノ別有リ曰ク確證曰ク情供是ナリ而シテ確證トハ證據人カ法庭審問ノ主
ル罪跡或ハ其他ノ所業ノ實行ヲ供述シ尙ホ其真ヲ誓フ者ヲ云ヒ情供トハ證據人ノ告白スル情況即
チ些細ノ事實ニ就テ陪審自ラ酌奪ヲ下シテ得ル所ノ推測ヲ云フ蓋シ推測トハ未定ノ事實ヲ發見
シ又其真偽ヲ證明スル爲メ既定ノ事實ヨリ酌奪スル所ノ收結ナリ故ニ推測トハ之ヲ行フ必ス先ツ既
決ノ事實ノ以テ其根據トスルニ足ル者無カル可カラス譬ヘハ謀殺ノ罪ヲ以テ告訴サレシ者ヲ訊鞫
スルニ當リ其衫袍ニ血痕ノ淋漓タルヲ以テ其罪ヲ證セント欲セハ則チ先ツ衫袍ヲ汚セシハ抑眞
ノ血痕ナルヤヲ確知セスンハアラス未タ其眞ニ血痕ナルヤヲ確知セスシテ其罪ヲ認ム可キノ理ナ
シ之ヲ要スルニ推測ニ基キ推測ヲ行フハ到底誤謬ノ尤ナル者ト稱ス可シ是故ニ妄リニ囚徒ヲ認メ
兇犯ナリト推測スルヲ以テ衣服ノ汚穢ヲ認メ遂ニ血痕ト推定シ若クハ衣服ノ汚穢ヲ血痕ナリト假
定スルノ故ヲ以テ囚徒ヲ認メ兇犯ト推測スル如キハ毫モ妥當ノ措置ト謂フ可カラス是レ則チ所謂
ル論理術ノ環論ナル者ニシテ議論ノ起點ヨリ再ヒ起點ニ及ホスト一般ニシテ更ニ一事一物ヲモ證
スルニ足ラス蓋シ法律上ノ論法ハ一條ノ實事ヨリシテ他ノ實事ニ及ホスト許サズ雖モ未タ實事ヨ
リ形似ニ及ホシ若クハ形似ヨリ實事ニ及ホスト許サズルナリ
以上論述セル所ハ證據ノ大要ナリ是ヨリ以下更ニ證據トハ固ト何ヲ以テ成立スル者ナルヤヲ論セ
ントス乃チ試ニ一問ヲ設ケテ借問セントス曰ク抑本體ノ命ヨリシテ論スレハ苟モ充分ナル法ノ
信認ヲ得ントスルニハ唯一名ノ證據人ヲ以テ足レリトス可キヤ將タ二名ノ證據人ヲ用ヒスンハ
アラサルヤト

五

夫レ羅馬法ハ一項ノ事實毎ニ必ス二名ノ證據人ヲ要セシト雖モ是レ蓋シ法理ノ裁智ニ淵源スルノ
制ニ非ラズシテ恐ラシハ聖典中載スル所ノ證以二三之口而言ク有徴ノ語ニ根據セル者ナル可シ

六

若果然ハ此語タル元來耶蘇教上殊別ナル事情ニ就テ説キシ者ナレハ引テ以テ法理上普通ノ原則トハ爲ス可カラサルナリ況ヤ宗教ノ原則タル之ヲ人生今日ノ道ニ比スレハ遙カニ高尚ニシテ亦同日ニ論ス可カラサルニ於テオヤ

凡ソ人間交際ノ道タル綱繆多端敢テ究盡ス可カラサル者ニシテ毎ニ人意ノ表ニ出テ豫メ期ス可カラサルヲ極メテ多シトス故ニ一罪毎ニ必ス二名ノ證據人ヲ要スル時ハ特リ其困難ヲ覺ユルノミナラス之ガ爲メ却テ其法制ノ實際ニ行ハレ難キ通弊ヲ免カレサル可シ是ヲ以テ此法制ノ不便ハ久シク世人ノ厭フ所トナリ常ニ種々ノ詭策方便ヲ設ケテ之ヲ規避セント欲シタリキ然ルニ實際ノ致ス所遂ニ一項ノ事實ヲ決スルニハ一名ノ證據人ヲ以テ足レリト爲スニ至レリ惟フニ證據法ヲ以テ風俗習慣ニ根據スル者トナシ乃チ其利害得失ハ他ノ法例ニ於ケル如ク特リ此法ノ實際ニ與フル効用如何ニ就テ量定ス可キ者トセハ假令ヒ一證據人ノ供スル證據ト雖モ苟モ信ヲ措クニ足ルノ理由有ルニ於テハ畜ニ之ヲ用ユル更ニ妨ケ無キノミナラス却テ復タ其當ヲ得タルノ制ト稱ス可シ

又エドワルド第三世即位二十五年發行ノ英國謀反律ハ凡テ謀反人ノ罪ヲ決スルニ必ス二名ノ證據人ヲ要シ且ツ罪蹟ノ諸事實中其一項ハ一名ノ證據人ノ見做シタリ然リト雖モ此成律ノ眞旨ハ固ト謀反人ノ罪ヲ判スルニ於テ國君ノ抑壓ヲ制シ以テ民權ヲ保庇スルニ出ツレハ自ラ尋常一般ノ罪犯ニ係ル證據トハ相殊ナル無キ能ハサルナリ夫ノモンテスキュー氏ノ言ニ一證據人ノ口供ヲ以テ人ヲ死罪ニ陷シ井ルハ大ニ民權ヲ害スルノ措置ト云フ可シ蓋シ眞理ノ上ヨリ論スルニ一罪ヲ決スルニハ必ス二名ノ證據人ヲ用ヒスルハアラス何トナレハ若シ一證據人ノ言ヲ以テ罪ヲ斷セント欲スル時ハ恰モ等子ノ量盤ニ同量ノ秤錘ヲ盛ルト同シク則チ一方ニ在テハ證據人罪ヲ證明スルモ亦一方ニ在テハ囚徒之ヲ拒絶スルヲ以テ其量相平均シテ更ニ彼此輕重ノ如何ヲ察スルニ足ラサレハナリ故ニ其罪ヲ決セントセハ則チ尙ホ一名ノ證據人ヲ一方ノ盤中ニ加ヘ以テ秤錘ノ平等ヲ失ハシメスンハアラスト云ヘルハ又謀反ノ罪ヲ論セル者ニシテ尋常ノ罪犯ヲ論セシニハ非サルナリ況ヤ氏ガ此説

ニ於ケル特リ羅馬法ニ係ル者ニシテ則チ英米ノ如ク證據人ノ外別ニ陪審ナル者アリテ囚徒并ニ證據人カ口供ノ輕重如何ヲ裁酌スル無キニ於テオヤ而シテ本篇ノ旨趣ハ固ヨリ何ナル罪犯ハ死ヲ以テ之ヲ刑シ何ナル罪犯ハ死ヲ以テ刑セサルヤ等ヲ論スルニ非ス唯、罪ヲ判スルニハ幾干ノ證據ヲ用ヒナハ之ヲ決スルニ足ルヤヲ辨スルニ在リ依テ以下尙ホ之ヲ詳論ス可シ

試ニ一問ヲ設ケテ問ハントス曰ク抑、證據ナル者ハ何レノ時ヲ以テカ其做備ヲ得タル者トナス可キヤ他ナシ至當ノ順序ヲ歴タル後チ法官心足スル所アレハ則チ此時ヲ以テ證據完備ノ時ト爲ス可シ何トナレハ總テ事ヲ證スルトハ法官ノ信心ヲ喚起セシムルニ外ナラサレハナリ(證者審司ノ信也トノ法言ハ蓋シ此謂ヒナリ英國ノ言語ニ於ケルモ亦然リ譬ヘハ爰ニ一事有リ此之ヲ爭フニ際シ主論者反論者ニ告ケ余之ヲ汝ニ證セン余汝ヲシテ之ヲ信セシメシ余此事ニ就キ汝ヲ心足セシメント云フ如キ等シク皆テ證トハ人ヲシテ證者言フ所ノ者ヲ信セシムルニ外ナラサルナリ然リ而シテ告罪者其獄事ニ係ル最良ノ證ヲ與ヘ法官亦之ニ據テ現犯ノ罪狀ヲ信スルニ足レリト爲シ然カモ被告ニ於テハ未ダ之ヲ辨破スルニ足ルノ證ヲ與ヘサル以上ハ即チ此時ヲ以テ其證據告罪者ニ在テハ正ニ做備ヲ得タル者ト稱ス可シ蓋シ一説爰ニ發シ未タ之ヲ排スルノ新説ヲ見サレハ先ツ其説ヲ以テ好シトス可シ之ヲ約スルニ一證有リ人既ニ信シテ罪跡ヲ決明スルニ足レリトセハ尙ホ又別ニ證據ヲ俟タサル可シ

設使又ハ假定ト稱スル論法有リ此法タル若シ能ク數多ノ現象ヲ説明シテ毫モ之ト牴觸スルナク且ツ又別ニ之ト反スル數條ノ假定ヲ設ケテ前ノ現象ト比照スルニ多少ノ撞着ヲ免カレサル者無ケレハ則チ當初ノ假定ハ最モ能ク措クニ足ルノ證ト謂フ可シサア、アイザック、ニュートン氏ガ星體運轉ノ理ヲ發見シ以テ大ニ物理ノ學ヲ開闢セシモ蓋シ此法ニ由レルナリ

抑、理アラサレハ則チ信ス可カラストハ吾人意思ノ證ヲ信スル唯一ノ理ナリ而シテ意思固ヨリ誤ラサル者ト雖モ會思動モスレハ過ヲ生スルノ恐有リ故ニ苟モ爰ニ信得的ノ一意見有ラハ別ニ又之ニ勝ルノ意見ヲ立定スルニ非サルヨリハ妄リニ之ヲ擴斥ス可ラストノ論有レハ顧フニ到底亦空論

七

タルヲ免カレサル可シ蓋シ世ノ證據法ヲ論スル大家カ毎ニ言フ所ヲ見ルニ曰ク凡ソ證據ナル者ハ總テ人々ノ任意ニ出ツルヲ以テ更ニ一定ノ規矩ヲ設ケテ之ヲ制ス可カラスト試ニ之ヲ以テ實際ニ徵セハ頗ル其正中セルヲ知ル可シ況ヤ最モ信得的ノ事項ト雖モ或ハ時有リテ假偽ヲ免カレサルニ於テオヤ若シ全ク假偽無キノ事項タラハ是レ則チ眞實のニシテ亦假偽のヲ以テ稱ス可カラス某會テアリストツルノ語ヲ譯セル文ニ曰ヘラク最モ能ク信ヲ措クニ足ル者ト雖モ或ハ假偽タラサル無キヲ保セス何トナレハ既ニ多少ノ假偽ヲ免カレザレバコソ即チ信得的のヲ以テ稱ス可シ若シ全ク假偽有ラザルニ於テハ即チ之ヲ以テ眞實のト稱セザルヲ得サレハナリト

加之人牛乘弊ノ外豫メ期ス可カラサル事件ノ却テ亦實際ニ發起スルハ古今其例尠カラスト故ニ羅馬人ノ如キハ夙ニ證ノ確ヲ得可カラサルト並ニ囚徒ノ罪狀ヲ決明スルノ難キトヲ察セシヲ以テ當時法庭斷案ノ式樣タルニ唯、渠、似、犯、罪ト謂フニ過キカリシノミ

要スルニ罪ノ有無ヲ決スルハ未タ必スシモ事實ノミニ據ル者ニ非スシテ幾分カ又法官ノ意見ニ據ル者トス故ニ某會テビザンシアルノ律師ニ質スルニ何々ノ件ニ就テハ法律ノ措置果テ如何ヲ以テセシ時律師答テ曰ク余カ欲スル所ニ任センノミト呼嗟鑑ミサル可ケンヤアナカーシス記 行第四卷四百丁

然リ而シテ證據ノ要ハ證據ノ事項ヲ決定スルニ在ルヲ以テ每獄ノ證據其直接ニ出ツルト情況ニ據ルトヲ問ハス苟モ陪審タル者ハ其判案ヲ發スルノ前ニ臨ミテ必ス先ツ右ノ證據ニ由テ充分囚徒ノ罪狀ヲ認定セシムルハアテサルナリ

近來情供證據ニ就テハ世人喋々其利益ヲ揚賛シ遂ニ一篇ノ好論題ヲ爲スニ至レリト雖モ法律ノ事タル他ノ人生ノ諸事ト等シク多少ノ偏執ヲ免カレサル者ニシテ偶々一僞儻者ノ名聲ノ如キ一大獄事ノ明斷ノ如キ有ラハ之カ爲メ時アリテカ或ハ世間假偽ノ論說ニ影響シテ隱然其勢焰ヲ援クルヲ妙ナシトセシ諺ニ曰ク情況ニ僞ナシト是レ實ニ然リト雖モ抑、又證據人タル者ニ至テハ終始僞ナキヲ得ス況ヤ情況ハ固ト之ヲ證據人ニ取ルニ非ラサレハ果テ亦別ニ得ル所ノ道無キニ於テオヤ若シ夫レ然ラハ是ニ至テ正ニ二種ノ訛謬ヲ生スルノ恐有リ曰ク第一證據人親ラ供白スル事實中ノ訛謬

第二聽者證據人ノ供白スル情況ノ應用スルニ於テ釀スル訛謬是ナリ今爰ニ證據人其實ヲ誓ヒ供白スル所ノ一事跡有ラハ則チ之ニ就テ酌奪ヲ行フハ極テ容易ニナル可シト雖モ若シ又數多ノ情況相組織シテ一連ヲ爲ス者ニ就キ酌奪ヲ下サントセハ乃チ爲メニ會思スル所ナクソハアラス然ルニ人ノ會思ハ彼此固ヨリ同一ヲ得サル者ニシテ譬ヘハ數人同一ノ事跡ニ就テ考案ヲ下タスモ其互ニ歸着スル所ニ及ヒ動モスレハ氷炭相容レサルニ至ル者有リ是即チ訛謬ノ恐ヲ免カレ能ハサル所以ナリ

往昔重罪ヲ以テ告訴サレシ囚徒ニ辨護者ヲ許サ、リシ法律ノ旨意ハ固ト其獄ニ係ル證據ヲシテ別ニ辨護者ノ援助ヲ俟タス陪審者ノ爲メニ自ラ明々白々ヲシメント欲スルニアリタリ而シテ又之ヲ裁スルノ法官ヲシテ自ラ囚徒ノ辨護者爲ラシメ以テ其情ヲ盡クシ更ニ不正不當ノ措置無キヲ期セシモ豈ニ計ラシヤ後日遂ニ一種ノ訛說ヲ釀シ來リ從來ノ旨意モ之カ爲メニ其正鵠ヲ誤ツニ及ヘリ訛說トハ何ソ即チ左ニ掲グル者はナリ

曰ク抑、情況ヨリ生セル推測ハ之ヲ他ノ證ニ比較スル時ハ其人ヲ信服セシムルノ功或ハ却テ大ナル者有リ蓋シ其然カル所以ハ從來詭計ヲ逞フシテ故サラニ數多ノ情況ヲ造爲シ然ル後チ之ヲ聯合組織シテ一連ヲ爲シ毫モ矛盾擲着ヲ其中ニ見ハサス以テ能ク囚徒ノ罪ヲ證明セシムル如キハ到底人智ノ企及ス可キ所ニ非サルナリアラル氏カビクシドネラシノ獄

抑、右ノ如キ論說ハ我輩敢テ採ラサル所ノ者ナリ試ニ今我輩ヲシテ之ヲ評セシメハ則チ(第一)世間一般ニ公認スル法理ニ悖リ然カモ證據法理ヲ以テ世ニ鳴レル(外邦諸大家ノ意見ト相容レス(第二)凡ソ實驗ナル者ハ一切ノ規矩以テ其憑據トスル所ニシテ之ヲ要スルニ證據ノ證據トモ稱ス可キ者ナリト雖モ此ノ說ノ如キハ未タ實驗ノ之ヲ保スルアラス(第三)此ノ說タル英國ノ法律上全ク新件ナリ即チ左ニ於テ逐次之ヲ開陳ス可シ

第一 世間一般ニ公認スル法理ニ悖リ且ツ證據法ヲ以テ著名ナル外邦諸大家ノ意見ト相容レス今爰ニ引證スル者ハ會テ證據總論ト題スル四卷ノ冊子ヲ撰著セル有名ノ學士マスカーダス氏カ說是ナリ氏曰ク諸種ノ證據中凡ソ物件ノ證ニ由テ得ルモノヨリ優レルハナク又證據人親シク目撃シ

タル現場ノ事實ヲ直供セルモノヨリ大ヒナルナシト又曰ク推測臆度ヨリ生スル證據ハ之ヲ真正妥當ノモノト稱ス可カラスト

此他メノチアス氏ノ一著書アリ全篇情供證據ノ原則ヲ論述ス惟フニ此ノ如ク一種特別ノ題目ニミ就テ專論スル者ハ自ラ多少ノ偏見ヲ免カル能ハサルモノニシテ氏ニ於ケルモ亦然カラサルヲ得スト雖モ仍ホ其書ノ首ニ於テ凡ソ證ハ證據人直供ノ證言ニ若クモノアラスト明言セリ

右ノ外尙ホ羅馬法學士ノ論スルモノ亦尙カラスト雖モ要スルニ以上二氏ノ如キハ諸大家中其萃ヲ以テ稱スル者ニシテ其意見ノ最モ憑藉スルニ足レルハ更ニ言ヲ俟タサルナリ且ツ此外余カ涉獵セラル諸家ノ説ヲ見ルモ亦敢テ之ニ殊ナラスシテ彼ノ情況ニ偽ナシト謂ヒ若クハ揣度ノ證ヲ以テ親シク日撃シタル現場ノ事實ニ係ル口供ニ優レリト言フ如キハ未タ曾テ之レ有ルヲ見サルナリ故ニ此等諸家ノ説ハ一々之ヲ贅スルヲ須ヒス

第二 此説未タ實驗ノ之ヲ保スル者無シ

抑情供證據ヲ以テ勿々囚徒ヲ罪ニ陷シ井レ後日始メテ其誤判ヲ發見セル近キ諸例ヲ取テ之ヲ引證ニ備フル如キ或ハ壞名ノ譏ナキ能ハサル可シト雖モ試ニ今内外法庭ノ履歷ヲ一覽セハ則チ誤判ノ諸例古今ニ累々タルヲ見正ニ思ヒ半ニ過クル者有ル可シ譬ヘハ大法官ヘール氏編纂刑事判例錄第二卷二百八十九丁ニ記スルモノ、如キ以テ徵トス可シ此他情供證據ノ判例ニシテ後日其誤判タルヲ發見セシ者亦尙カラスト雖モ其全ク誤判ニ出テシモ未タ誤判タル所以ヲ發見セサルモノ果テ幾許ナルヤハ蓋シ之ヲ察ス可カラス而シテ又謀殺ノ罪ヲ以テ冤獄ニ繫カレシ者カ將サニ刑ニ就カントスルニ臨ミ現犯ノ兇手其罪ヲ首シ是ニ至リ冤者始メテ其冤ヲ雪クヲ得タル如キハ間、之レ無キニシモ非スト雖モ現犯ノ兇手ニシテ冤者ノ爲メニ其罪ヲ首スルニ至テハ之ヲ必然ニ期ス可カラサルヲ以テ要スルニ本説ノ弊害ハ到底其波及スル所果テ幾何ナルヤ蓋シ得テ知ル可カラサルナリ

第三 此説タル英國ノ法律上全ク新件ナリ

刑事判決録ト稱シテ刑事ニ係ル諸斷例ヲ蒐集セル書有リ博ク刑律上ノ要件ヲ記載スト雖モ然レモ

書中俱ニ載スル所ニ係ル法官ノ意見ノ如キハ畢竟後日ノ釐革ニ際シ敢テ動カス可カラサルモノニ非ラザルヨリハ未タ必スシモ之ヲ以テ定法ト認ム可カラス蓋シ往時ノ法官カ意見ニシテ立法院新頒ノ成法ト文運進化ノ實驗トニ由テ今日既ニ其釐正ヲ歷タルモノ亦尙シトセサルナリ而シテ又法官ノ前説ヲ唱ヘシハ千七百五十二年法官レッツグ氏ガミス、プランデーナル婦人其父ヲ毒殺セル獄ヲ裁セシ時ニ臨ミ開陳シタルヲ以テ其嚆矢トス氏此獄ノ諸證ヲ總括シ陪審ニ告ケテ曰ク諸證中其最能ク人ヲシテ心足セシムルモノハ未タ情況ニ勝ルモノアラス何トナレハ事實ニハ固ヨリ偽リ有ル可カラサレハナリト

惟フニ情況ニ偽リ無シト云フ如キハ確實正當ノ論ナリト雖モ人ニシテ特リ偽リ有ルモノハ果テ之ヲ奈何ス可キヤ要スルニ吾人カ事實ノ有無如何ヲ識ルハ唯證據人ノ陳言ニ、ミ依ルモノニシテ其陳言ノ眞偽如何ハ特リ證據人ノ偽ハルト偽ハラサルトニ出ツルモノナレハ爰ニ一證據人有リ吾人ニ告クルニ數百ノ事實ヲ以テスト雖モ渠レ固ト不正ノ人ナランニハ其事實ハ一トシテ信ヲ措クニ足ラサル可シ然ラハ情況ニ偽リ無シト云フ論ノ如キモ亦憑藉スルニ足ラサルナリ

其後又此説ノ引用ヲ見ルハ千七百八十一年著名ナルカピタソド、子ランノ獄ニ就キ法官ブラル氏ノ述ヘシ所ニシテ即チ前段ニ掲出セルモノ是ナリ然レモ氏ハ法官レッツグ氏トハ稍、其語氣ヲ變シ事實ニ換ユルニ情況ヲ以テシ乃チ情況ニ偽リナシト言ヘリ故ニ前者ハ事實ヲ以テ眞誠ノ本基トセシモ後者ハ情況ヲ以テ眞誠ノ本基トセリ是レ果テ何等ノ故ナルヤ我輩其理由ヲ察スル能ハスト雖モ要スルニ情況トハ全ク事實ノ外ニ出テスト雖モ情況トハ元來事實ノ些細ナルモノヲ云フ而シテ些細ナル事實ヲ以テ尋常ノ事實ニ比スレハ却テ人ヲ誘惑スルノ弊甚々大ナリトス是レ他ナシ事實ハ自ラ全體ヲ成スカ故ニ之ヲ情況ニ較フレハ人々ノ意思ヲ以テ感得スルヲ易シト雖モ之ニ反シ情況ハ其極メテ些細ナルヲ以テ動モスレハ人々ノ着意ヨリ疎脱シ或ハ匆々之ヲ認了シテ其眞ヲ誤ルノ恐アルヲ以テナリ論者若シ之ヲ疑ハ、試ニド、子ランノ獄ヲ取テ一閱セヨ乃チ情況ナルモノハ誤解ヲ生シ易クシテ然カモ同一ノ情況ト雖モ若シ其判者ヲ異ナラシメハ全ク表裏ノ考案ヲ下タス

ニ至ル所以ノ理ヲ察スルニ足ル可シ
今此獄ヲ記スルニ臨ミ左ノ句ヲ冒頭ニ掲ケ其頭末ヲ形容セントス

欲見無影非無形 欲捉無形非無影

サア、シヲドシアスホウトンナル壯年ノ一紳士アリ性得身子虚弱ノ人ナリシカ或ル時藥舖ヨリ一
壘ノ水劑ヲ得テ之ヲ服ス然ルニ夫ヨリ暫時ヲ過キ忽焉トシテ胃中抽筋ヲ發シ口内ヨリ涎沫ヲ吐キ
煩悶數分時未タ自ラ其何タルヲ述フルニ暇ナクシテ頓ニ死ス依テ室内ニ貯フ數個ノ壘子ヲ取テ一
々之ヲ檢閲スルニ纔ニ沈渣物ヲ存スル一壘子アリ乃チ之ヲ嗅クニ月桂水ノ香氣ヲ發セリ蓋シ月桂
水ハ劇烈ナル毒藥ニシテ人之ヲ服セハ胃中ニ抽筋ヲ發シ口内ヨリ涎沫ヲ吐キ立トコロニ死ニ就ク
猶ホ氏ニ於ケルカコトシ然レモ右ノ諸徵ヲ示シテ死スル者ハ畢ク舉テ月桂水ノ毒之カ原因タリト
云フ可カラス譬ヘハ瘋癲、中風ノ如キ諸症ハ皆ナシ此徵ヲ示ス加之氏カ父ハ曩ニ此症ヲ以テ死セリ
ト謂フ此ノ如クナルニ本獄ニ於テハ單ニ沈渣物ノ香氣ノ月桂水ニ似タルアルノミニシテ未タ別ニ
月桂水ノ有無ヲ證スル者アラサリシナリ

爰ニ又カヒタン、ド、子ラント稱スル者アリ乃チホウトンノ姉夫ニシテ恰モ氏カ變死ノ時ニ際シ其
家ニ同居シタリ蓋シド子ランハ氏ノ財産相續者タレハ則チ其死ニ由テ利スル所アルハ固ヨリ言フ
俟タス加之此變ヲ見テ心中甚タ安カラサルカ如ク又嫌疑ヲ恐ル、カ如キ舉止ヲ現ハシ頗ル遠色ヲ
帶ヒタリシト然ラハ之ヲ以テド子ランハ正シク其兇手ナリト推定スルヲ得ルモノトナシ可キヤ
其レ豈ニ此ノ如キノ理アラランヤ試ニ思ヘ若シ其自ラ占ムル所ノ地位ニシテ將ニ人ノ嫌疑ヲ釀サン
トス可キ勢アルカ若クハ人ノ死ニ由テ利スルヲ有無ニ就キ犯罪者ノ所在如何ヲ示スモノト爲セ
ハ則チ其地位ド子ランノ如クナルニ於テハ其罪アルト否トヲ論セス畢竟其舉止ニ於テ倉皇難扼ノ
態度ヲ現ハスコト亦渠レカ如クナラサルナキヲ得ンヤ是レ人生ノ常情ト稱ス可キノミ然リト雖モド
子ランハ右ノ情狀ニ依リ遂ニサア、シヲドシアス、ホウトンヲ毒殺セルノ罪ヲ以テ訴ヘラレ法官ノ
審判ヲ受クルニ及ヒタリ

之ヲ要スルニ從來本獄ノ如キニ於テハ其死ノ果テ毒藥ヲ服セシニ出ツルヤ否ヲ確知スルヲ以テ第
一ノ要領ト爲ス可キナリ是レ他ナシ若シ其毒死ナラサルヲ知ラハ則チ獄事此ニ於テ全ク終ル可シ
蓋シ毒殺ノ罪ヲ裁セントスルニ方リ却テ毒藥ノ跡アラサレハ又罪囚アル可キノ理ナシ加之毒藥ノ
有無如何ニ至テハ其決ヲ醫學士ノ意見ニ取ル可キモノニシテ即チ此獄ニ於ケルモ現ニ醫學士ノ意
見ニ由リ然ラハ試ニ問ハン抑、此獄ニ於ケル醫學士ノ意見ハ果テ何等ニ根據セルカ夫ノ萬口一
辭以テ判定ヲ下タスニ足ル明々白々ノ證據有リテ而シテ後チ之ヲ憑藉セシモノ乎曰ク否蓋シ此獄
タル終始一ニ惟、情況アリシノミニシテ乃チ其意見ト稱スルモ僅々一二ニ情況ニ就キ徒ラニ揣摩
ヲ下タシテ漠然立定セシモノニ過キサルナリ其レ然ル所以ノモノハホウトンノ死後十一日ニシテ
法庭四名ノ醫學士ニ命シ其屍ヲ解剖セシム然ルニ右ノ四醫員ハ氏カ死前ノ情況即チ胃中抽筋等
ノ諸徵ニ基ツキ其死ヲ以テ毒藥ノ致ス所ト信シ乃チ此等ノ情況并ニ其意見ヲ以テ陪審ニ告ケシ
ニ過キサレハナリ

本獄訊鞠ノ際法官ハ右四醫學士カ其意見ヲ立定スルノ本基ト爲セシ諸情況ヲ取リ當時國手ヲ以テ
世上ニ稱揚サレシ「ドクトル」シヨ、ン、ハンタル氏ニ示シ其意見ヲ質セシニ氏ハ斷然之ヲ以テ毒死ノ
跡ヲ示スニ足ラストシ且ツ又此等ノ情況ハ概テ毒死スル者ノ其死ニ臨ミ尋常顯發スル所ノ徵候ニ
過キスト言ヘリ是ヲ以テ法官ハ敢テ復タハンタル氏ニ問ヒテ曰ク然ハ足下ハ四醫員ノ記スル所ヲ
以テ毫モサア、シヲドシアス、ホウトンノ毒死ヲ證スルニ足ルモノアラスト爲スカ氏曰ク然リ蓋シ
纔ニ毒死タルヤノ疑ヲ懷クニ足ル可キ證據スラ之アルヲ見スト

抑、學技上ノ諸問題中殊ニ醫術ニ係ル意見ノ信否如何ノ如キハ一ニ之ヲ述フル者ノ學識實驗ノ大
小深淺ニ出ツルモノトス之ニ反シ單ニ每人ノ意見ニ係ル純然タル一條ノ事實ニ至テハ概スルニ人
々皆ナ一ニシテ譬ヘハ茲ニ一專アリ今其之ヲ目撃セルト目撃セサルトヲ證セント欲セハ則チ其目
擊者ノ博識豪昧ハ固ヨリ之ヲ問ハサル可シ然リト雖モ學技上ノ事項ハ全ク之ト其性質ヲ殊ニシ
乃チ一人一己ノ定斷ニシテ遂カニ數者ノ意見ニ勝ルモノアリ試ニ法學士ノ例ヲ以テ之ヲ言ハ、三

四名ノ僻阪代官ノ意見ヲ以テ荷モ一人ノ大法官ノ意見ト比較シ其優劣ヲ問ハ、誰カ大法官ノ意見優レリト謂ハサランヤ況ヤ一名ノ僻阪代官ノ意見ニ於テオヤ然リ而シテ「ドクトル」ジョン、ハソナル氏ノ如キ當時醫術社會ノ領袖ヲ以テ稱セラル、所ニシテ其意見ハ英國及ヒ歐羅巴全洲ニ於テ正ニ醫術上ノ定律ヲ爲スニ足ルノ聲價ヲ保テリ故ニ若シ氏カ法庭ノ意見ヲシテ陪審ニ聽斷セシメズ之ヲ醫術社會ノ評論ニ附セハ恐クハ彼此表裏ノ判辭ヲ得タル可シ加之彼ノ解剖ノ技術ニ於ケル如キ又ハ抽筋ヲ發シテ遺死スル者ノ徵候ヲ察スルニ於ケル如キハ皆ナハンタル氏カ生平ヨリ最モ得意トスル所ニシテ然カモ其方法ニ至テハ同業者流ノ專ラ宗トスル所ナリ是ヲ以テ氏ハ四醫員カ解剖ノ方法ヲ評シテ頗ル參差未タ之ニ由テ正實ノ定見ヲ得ルニ足ラスト明言セリ蓋シ其方法參差ニシテ其檢核ニ盡サ、ル所アラハ則チ其收結ノ隨テ邈然タルハ更ニ言フ俟タサル可シ

惟フニド子ランノ獄ニ陪審タリシ諸士ハ氏カ學識ノ如何ト並ニ其意見ノ輕視ス可カラサルノ右ニ述フル如クナルヲ知ラサルヨリシテ遂ニ輕勿ノ判辭ヲ下タセシナル可シト雖モ其首坐ヲ占メシ審司ニ至テハ其之ヲ熟知セシテ蓋シ疑ヲ容レサル所ナリ若シ夫レ然ラハ諸證ヲ總括シテ其輕重ヲ度リ以テ之ヲ陪審ニ示スニ方リ乃チ先ツ氏カ意見ノ甚タ重ンス可キモノニシテ勿々聽了ス可カラサル所以ヲ忠告セスンハアラサルナリ是レ審司タルモノ本分ノ務ト謂フ可シ然レハ此獄ニ於ケルヤ敢テ此事アルヲ見ス獨リ意見ヲ吐クモノ、多寡ヲ以テ論シ徒ラニ四醫員ノ意見ヲ以テ一醫員ノ意見ニ換ヘタルノミ恐ラクハ其方ノ得タル者ニ非ラサル可シ此ニ由テ之ヲ觀レハ抑、此裁斷ハ其方法參差タルノ解剖ニ基キテ一定的ノ酌奪ヲ下タセシモノト謂フ可シ

蓋シ一條ノ事件ニ就キ數多ノ情況有リト雖モ其中ノ唯一ノ足ラサルモノアル時ハ全體ノ情況モ爲メニ其効力ヲ失フハ法律ノ通義トス個ハ人ノ死生ニ係ル獄事ヲ裁スルニ於テ殊ニ鑑ミスンハアラサルモノナリ譬ヘハ前陳ノ解剖ニ於ケル如ク其方法果テ不規參差タレハ假令ヒ之ニ就テ幾條ノ見解ヲ下シ何等ノ意見ヲ付スルモ到底一トシテ論スルニ足ラサルナリ尙ホ爰ニ一篇ノ論題アリ今證ヲ揭ケテ其真ヲ證セントスルニ方リ乃チ其引證ニ用ヒント欲スル他ノ論題ヲ取り未タ其真ヲ證

セサルニ之ヲ認メテ眞トナシ引テ以テ當初ノ論題ヲモ併テ眞ナリト臆測スル如シ

又世間ニ一種ノ論法有リ曰ク何々件ハ直チニ何々件ノ後ニ於テ發起ス故ニ何々件ハ何々件ヨリ生セルモノナリホウトンハ服藥ノ後チ直チニ死ス故ニホウトンノ死ハ其藥劑ニ原因スト蓋シ此ノ如キ論法ハ動モスレハ誤謬ヲ醸スノ恐アルモノトス

然リ而シテ今爰ニ論セント欲スルノ要旨ハ抑、ド子ラン審判ノ方法ハ果テ法律ノ眞旨ニ協ヘルモノカ將々其酌奪ハ折獄ノ正式ニ違ハサルモノカニ在リ蓋シ公正ノ酌奪ヲ行ハント欲セハ荷モ先ツ其本基トスル所ノ事實ヲシテ明晰の確更ニ一點ノ疑ナカラシメスンハアラサルナリ之ヲ要スルニ推測ニ推測ヲ加ヘ若クハ未タ知ル可カラサルノ事實ニ就テ酌奪ヲ下ス如キハ理ニ於テ斷然容レサル所ナリ故ニ一事一件ニ就キ法ノ斷案ヲ行ハント欲セハ必ス先ツ其事件ヲシテ明晰ナラシメスンハアラサス譬ヘハ毒殺ノ罪ヲ以テ囚徒ヲ刑セントセハ其當初先ツ毒藥ヲ用フルノ實否如何ヲ探究シテ毫髮ノ疑モ之ヲ遺サ、ラシム可シ

然ルニ本獄ニ於ケルヤ陪審ハ四醫員カ毒殺ノ口供ヲ以テ忽チ心足セリト雖モ畢竟審司タル者此獄ノ諸證ヲ總括スルニ臨ミ其輕重ヲ酌料シ之ヲ陪審ニ示シ且ツ荷モ人ノ死ヲ致ス如キ網繆錯雜ノ原因ヲ追跡セントシ若クハ毒藥ノ効驗ヲ究知セントスルニ於テ若シ其究知ノ方法ニ一點タリハ缺漏アラハ則チ其收結ニ至テモ隨テ亦缺漏ヲ免カレサル所以ノ理ヲ悉示シタランニハ未タ必スシモ四醫員ノ口供ヲ以テ心足セサル可シ乃チ事ノ實ヲ探リ物ノ眞ヲ知ルニ汲々タル彼ノ哲學者流ノ如キハ常ニ此理ヲ丹田ニ銘シ敢テ輕卒ノ見解ヲ下タサス故ニ此輩ニシテ若シ一項ノ試驗ヲ行フニ方リ其方法中僅ニ一步ノ序次ヲ誤マレリト覺トル時ハ斷然其試驗法ヲ廢シテ更ニ他ノ方法ニ據テ再試ヲ行フヲ其常トス

然リト雖モ世間右ノ理ニ暗キ者ハ動モスレハ自家ノ意見ヲ固執スルノミナラス飽マテ之ヲ自信シ心中一點ノ疑アラサルヲ誇ルモノ鮮カラス之ニ反シ本獄ノ證據ニ就テ其意見ヲ述ベシ着實老練ナルハンタル氏ノ如キハ固ヨリ皮相外觀ノ往々人ヲ瞞着シテ爲メニ訛謬ヲ生シ易キト未齊未完ノ

事實ニ就キ輕勿ナル見解ヲ下スノ甚タ危キヲ熟知セルヲ以テ必ス先ツ憑籍スルニ足ルノ事實ヲ發見セサル間ハ敢テ他ノ意見ニ同スルヲ肯ハサリキ故ニ氏言ヲ若シ余ヲシテ彼ノボウトンカ服セル水劑ノ果テ毒藥タルヲ確知セシメハ余モ亦恐ラクハ死前ノ徵候ヲ以テ毒藥ノ効驗トナスヘケレト未タ其水劑ノ毒藥タルヲ知ル能ハス又毒藥ノ外ニシテ尙ホ氏カ死ヲ致スニ足ルモノ極メテ尠カラサルヲ知ルニ於テハ余未タ其死ヲ以テ毒藥ノ効驗ナリト明言スルヲ得サルナリト

之ヲ要スルニ本獄ノ審判ハ其始ヨリ其終リニ至ルマテ僅ニボウトンノ死ト其死前抽筋煩悶遂ニ昏倒セルトノ二ヲ除ク外別ニ一事ノ證ニ由テ其確定ヲ得シモノアルヲ見ス而シテ又此二者ト雖モハンタル氏ハ目シテ以テ別ニ病痾ニ罹ラサルモノカ一朝俄然トシテ死スルニ臨ミ尋常顯發スル所ノ徵候ト爲シ乃チ未タ之ニ據テ毒藥ノ有無ヲ疑フニモ足ラストセリ況ヤ其有無ヲ證スルニ於テオヤ且ツ本獄ハ首ニ一條ノ事實ト雖モ其確ヲ得タルモノナキノミナラス亦一片ノ情況スラ毫モ其確ヲ得シヲ見ス何トナレハ固ト推測ヨリマテ生セル一片ノ情況ヨリ更ニ又一片ノ情況ヲ推測シ來リ尙ホ此兩者ヲ牽強シ以テ第三ノ情況ヲ附會セシニ過キザレハナリ乃チ月桂水ノ有無是ナリ其故ハ當初ボウトンノ母氏カ同氏ノ服用セシ水劑ヲ納レシ壺子ノ底ニ存スル沉渣物ヲ嗅キシヤ恰モ苦味杏仁ノ如キ香氣ヲ發シタリト言ヘリ而シテ又婦人ハ固ヨリ月桂水ノ香氣ヲ知ラサレハ自ラ月桂水ト苦味杏仁トハ其香氣相似タルヤヲ證スル能ハサリシナリ然ルニ其後チ苦味杏仁月桂水トハ香氣相似タリト推測セルヨリ終ニ又壺子中ノ藥劑ヲ以テ月桂水ナリト認定セシニ過キザレハナリ

加之壺子中ニ存スル香氣ノ如キボウトンノ母氏一度之ヲ嗅キシ後チ直ニ洗滌シ去テ再ヒ之ヲ試ム能ハサリシカ故ニ事全ク頃刻ノ間ニアリシモノト謂ハサルヲ得ス且ツ夫レハ五官中其最モ不定ニシテ變化ヲ生シ易ク然カモ又誤多キハ恐ラクハ鼻官ニ過クルモノアラシ譬ヘハ其人ヲ異ニシ若クハ其人ヲ同フスルモ其時ヲ異ニスルニ於テハ鼻官自ラ又同一ヲ得ス且ツ又胃腑ノ景況空氣ノ變化若クハ感冒ヲ患ヒ若クハ輕症ノ病ニ罹レル等一トシテ多少鼻官ノ力ヲ減却シ或ハ全ク之ヲ失ハサルトナキモノトス

斯ノ如キヲ以テ本獄ノ證據ハ全ク法理ノ原則ニ背キタルモノト稱スヘシ要スルニ前ニ述ル如ク一條ノ實事ヨリレテ他ノ實事ニ及ホスハ法律上ノ論法ナリト雖モ特リ本獄ノ證據ニ於テハ一朝偶然其愛子ヲ失ヒ憂悶ノ情全胸ニ塞カリ精神錯亂前後ノ如何ヲモ解スヘカラサルニ婦人カ一時ノ鼻官ニ憑籍セシニ過キサルノミ是レ豈ニ真正ノ論法ト稱ス可ケンヤ

惟フニ證據ナルモノハ總テ確乎タルノ基礎ニ淵源スルニアラサレハ之ヲ採ル可カラス而シテ彼ノ酌奪ヨリ裁酌ヲ得ント欲シ推測ニ推測ヲ加ヘントスル如キハ法律ノ容レサル所ナリ今此ニ不齊不完ナル二條ノ事アリ試ニ之ヲ合スルモ未タ完全ナル一條ノ事ヲ成ス可カラズ唯其足ラサル所ノモルハ或ハ彌縫スルヲナキニシモアラサル可シト雖モ到底其實ナキモノヲシテ完全ナラシメントスル如キハ果テ望ム可カラサルナリ而シテ法理上要スル所ノ證據トハ固ヨリ事物ノ類似如何ニアラスシテ特リ其有無如何ニアリ故ニ證據人タルモノハ實際ノ目撃ニ係ル現場ヲ景狀ニ就キ其信認スル所ヲ供セスンハアラス而シテ又類似比較ハ眞ノ論法ニ非ラサルヲ以テ刑事ノ審判ニハ筆跡比較ノ證ヲ取ラス然ラハ香氣ノ比較ニ於ケルニ等シク亦證ト爲ス可カラサルニ似タリ況ヤ世間苦味杏仁ト相似タル香氣ヲ有スル物品ハ其種類頗ル多ク且ツ此等ノ物品ニシテ其人身ニ害アル如キハ絶テ之ナキニ於テオヤ

情供證據ニ就テハ動モスレハ情況ト推測トヲ混淆スルノ弊アリ本獄ニ於ケルモ終始亦然リ夫レ情況トハ一條ノ事實ナリ推測トハ則チ此事實ヨリシテ酌奪スル所ノ意見ナリ故ニ此ノ如キ意見ヲ以テ定ムル證據ヲ名ケテ推測證據ト謂フ夫レ然リト雖モ情況ハ固ヨリ推測ヲ以テ得ヘカラサルモノナレハ始メヨリシテ其確ヲ得スンハアラサルナリ蓋シ事ヲ論スルニハ必ス先ツ既ニ確知確定シタルノ事ニ基カスンハアラス何トナレハ疑ハシキノ一事ヲ證スル爲メニ他ノ疑ハシキ事ヲ引用スルノ理アラサレハナリ譬ヘハサア、シオドシアス、ボウトンノ死ノ毒殺ナルヤヲ證セントセハ服用ノ藥劑果テ月桂水ナルヤヲ確知セスンハアラス若シ又其月桂水ヲザルヲ知ラハ則チ月桂水ナリト謂フノ證據ハ全ク其効ヲ失フヘシ然ルニ於テハ更ニ又他ノ事跡ヲ探討シ譬ヘハ氏ハ何處何人ヨリ

藥劑ヲ得シヤ其之ヲ得シハ凡ソ何時ナルヤ又之ヲ服用セル方法ハ果テ如何ノ如キ一々其確ヲ得ス
 ンハアラサルナリ然レ本獄ニ於テハ此ノ如ク搜討ノ道ヲ盡クセシトモ之アルヲ聞カサルナリ
 然ルニ月桂水ノ證據ハ單ニ香氣ノ比較ニ由リシノミニシテ他別ニ基ツク所ノモノアラサス其故ハ
 法官カドクトル、パーソン氏一名醫員ニ質セルニ足下ノ意見ハポウトンノ母氏カ記スル所ノ香氣ニ基
 スルヤヲ以テセシキ其答ニ然リ余カ意見ノ出所ハ右ノ香氣ト其後ノ成跡トニ外ナラサルナリト曰
 ヒシニ就テ了知スヘシ
 抑右ノ如ク事ノ成跡ヨリシテ其原因ヲ揣度シ以テ定斷ヲ下メシ或ハ香氣ノ相似タルニ基キ定斷
 ヲ行フト俱ニ其的確ヲ得サル所以ハハソナル氏既ニ之ヲ明示セリ然レ右ノ證據ハ遂ニ法官ノ
 容ル、所トナリシト雖モ之ヲ要スルニ藥劑ヲ以テ月桂水ナリト推測セルヨリシテポウトンノ死ハ
 毒殺ナリト推測シ又ポウトンノ死ハ毒殺ナリト推測セルヨリシテ藥劑ハ月桂水ナリト推測セシニ
 過キサルノミ吾輩固ヨリ此等ノ推測ヲ目シテ誤テリト言フヲ欲スルニアラスト雖モ畢竟此等ハ未
 タ憑籍スルニ足ルノ確證ナク又法律ノ定規ニ協ハサル純然タル一片ノ臆度ニ過キスト斷言センノ
 詰者或ハ言ハン夫レ然リト雖モ法庭審糾ノ際被告自ラ有罪ノ證據ヲ現ハセリ則チ其無辜タルヲ信
 セサルノ態度アリシモノ是ナリト願フニド子ランカ謀殺ノ罪ヲ以テ告訴サレ迷ニ法庭ニ拘引サル
 ハニ於テ頗ル恐懼ノ態度ヲ現ハセシハ更ニ疑ヲ容レズト雖モ此ノ如キ態度ヲ以テ犯罪ノ證ト爲ス
 ニ足レリト謂ハ、余又詰者ニ向テ將ニ質スル所アラントス曰ク抑無辜ニシテ罪囚ト冒認サルハ
 ヲ恐ル、者世間之ナントスル手詰者何ツ夫レ思ハサルノ甚シキ一ニ此ニ至ルヤ蓋シ無辜ヲ信認ス
 ルノ情ト有罪ヲ自知スルノ心トハ尋常一般ノ實事ニシテ吾人ノ擧テ識認スル所ナリト雖モ試ミニ
 既往ノ例ニ徵セハ無辜ノ信憑モ時トシテハ偏見ノ爲メニ壓セラレ迷ニ之ヲ失フアリ或ハ冤枉ヲ解
 カント欲スルノ哀情ヨリシテ多方々策ヲ運ラシ之カ爲メ却テ犯サヘルノ罪ニ自ラ陷ルモノモ亦尠
 ヲトセズ

某アッ曾テ其姪女ヲ養育セシカ蓋シ某ハ姪女ノ財產相續者ナリ姪女一日過失アリテ某ノ爲メ
 折檻ヲ受ク此時姪女ガ慈伯余ヲ殺ス勿レト悲號スルノ聲戸外ニ洩聞ス然ルニ此時ヨリシテ姪女ハ
 終ニ其踪跡ヲ失ヘルヲ以テ某ハ忽チ姪女ヲ殺死セルノ嫌疑ヲ被フリ法庭ニ拘引サレタリ然レニ某ハ
 法官ノ諭告ヲ以テ時日ヲ限り失踪者ノ探偵ニ着手ス既ニシテ其期滿ツルト雖モ不幸ニシテ尙ホ其
 踪跡ヲ知ル能ハサルヨリ進退茲ニ谷マリ其容貌年齢最モ能ク失踪者ニ似タル一童女ヲ需メ之ニ失
 踪者ト一様ナル衣服ヲ取テ扮容セシメ以テ失踪者ナリト告ケシカ審判ノ際忽チ其眞ナラサルヲ看
 破サレタリ而シテ當時人文ノ開進未タ今日ノ如クナラサルニヨリ乃チ此ノ如キ欺騙ヲ目シテ充分
 其有罪ヲ推測スルニ足ルノ事實ナリト認定シ未タ他事ノ搜討ヲ竭スニ及ハスシテ直ニ某ヲ死刑ニ
 處セリ然レ其實跡ヲ探ルニ姪女ハ某折檻ノ際之ニ堪ユル能ハス家ヲ出テ逃亡セシカ他人某之ヲ
 憐ミ家ニ携ヘ更ニ養育ヲ加ヘタリ其後チ數年ヲ過キ此兒人ト成ルニ及ヒ從來其所有ニ係ル不動產
 ヲ恢復スル爲メ故郷ニ歸リシ時法庭始テ其眞ノ姪女タルヲ認知シ某ノ冤枉モ爰ニ至リ始メテ之ヲ
 解ケシト雖モ亦救フ能ハサリキヘールス「ブリス」オフ、グ
 ラウン第ニ卷二百九十丁
 蓋シ右ノ獄ハ英名ノ法官ロルド、マンズツ、ド氏曾テドクラスノ獄ヲ裁スルニ臨ミ固ト幸ナキ
 モノト雖モ其疑ヲ解ク能ハサルニ於テハ詐僞欺騙ヲ用フルモ仍ホ其冤ヲ雪カント欲スルヲアル所
 以テ證スル爲メ引用セシ所ニ係ル氏曰ク善良ナル事ヲ保庇スル爲メニ不正ノ方策ヲ運ラシ若クハ
 詐僞ノ口實ヲ假ルモノ尠シトス可カラスト
 然リ而シテカピタン、ド子ランノ地位タルヤ元來嫌疑ヲ受ケ易キ關係ヲ有スルモノニシテ假令ヒ
 特別ナル情況ノ其罪ヲ指示スルモノアラストナスモ未タ全ク有罪ヲ免カレサルニ於テハ必ス萬人
 ノ疑ヲ被フル可シ今其大要ヲ左ニ記シ其然カル所以ヲ證ス可シ
 第一 氏曾テ陸軍武官ノ一職ヲ奉セシカ何等ノ失錯アリシニヤ自ラ辭シテ之ヲ去ラスンハ却テ軍
 律ノ處斷ニ由テ彼ヨリ黜ケラルハノ情實アリタリ
 第二 氏ハサア、シヲドシアス、ポウトンノ姉夫ニシテポウトンノ死後其財產ヲ襲フ可キ者タレハ

其死ニ由テ最モ利ヲ得可キノ人ナリ蓋シ今愛ニ一條ノ惡事アリ衆未タ其何人ノ造意ニ出シヤヲ
 確知セサルニ方リ先ツ其惡事ニ由テ利ヲ得可キノ地位ニアル者ヲ指シテ其造意者ナル可シト疑
 フハ人情ノ常ナリ世羅馬人カシマス、セヴェラスヲ以テ「カイ、ボ」（羅句）語ナリ蓋シ利スル所有無ニ由
 テ事ノ造意者ヲ推定スルヲ云フ
 ノ制定者ト臆定スル者アレトモ人間焉シ此人ヲ俟テ而シテ後チ始メテ此事アラシヤ
 ド子ランノ地位ニシテ猜疑ヲ被フルト右ノ如クナルヲ以テ人情ノ常ナリトセハ則チ其猜疑ヲ被フ
 ル可キド子ラン自己ノ身ニ在テハ等シク又之ヲ覺悟セサランヤ若シ夫レ然ラハド子ランハポウト
 シノ死後斯カル猜疑ヲ怕ルハ、衷情ヨリシテ自ラ其態度ニ於テ猖狂慌忙ノ姿色ヲ免カル可カラス
 是レ自然ノ勢ノミ或ハ言ハンは是レ頗ル至當ノ論ナリ然レド子ランノ如キハ尋常斯カル地位ニア
 ル者ガ態度ノ倉皇タルヨリ尙ホ一層甚タシキモノアリト夫レ豈ニ然ランヤ之ヲ要スルニ人類感覺
 ノ程度ヲ計ラントシ或ハ既ニ前日犯罪ノ處斷ヲ受ケシ者ガ後日再ヒ重罪ノ疑ヲ被フル可キ地位ニ
 立ツキハ果テ幾干ノ遠色ヲ其態度ニ顯ハスヤノ如キハ其事タル到底些細幽微ノ疑問ニ涉ルヲ以テ
 容易ニ決答ス可カラサルモノト謂フ可シ
 蓋シ客訴代言ヲ以テ其職トシ若クハ常ニ能ク右ニ述ル如キ不幸ノ地位ヲ占ムル者ニ親接シ若クハ
 之ヲ説諭スルノ實歷者ハ曩ニ一度法庭ノ審斷ヲ受ケシ者ガ後日再ヒ他ノ罪名ヲ以テ法庭ノ審判ヲ
 受ケントスルニ臨ミ其心ニ於テ頗ル懼怕惶惶ノ感アル所以ヲ察知ス而シテ此感覺ヲ察知スルハ特
 リ其實歷石ノ如キ者ニシテ始メテ之ヲ能クス可キノミ是レ他ナシ抑此感覺タル固ト衆人ノ知ラサ
 ル所ニシテ之ヲ要スルニ吾人未タ親シク實歷セルコトナク若クハ將來ニ於テ經驗スルコトナク又他人
 ニ就テ日撃セルコトナキノ感覺ハ吾人之ヲ測知スルニ於テ動モスレハ誤謬ヲ免カレス正ニ是レ
 知善未知惡 畢竟是頗偏

察善兼察惡 人情始完全

此ノ如キヲ以テ荷モ斷獄治罪ノ事ニ關カル者ハ曩ニ罪ヲ犯シ法庭ノ審斷ヲ受ケシ者ガ後日更ニ又
 告訴サルハ前罪ノ後告ニ影響スル極メテ大ナル所以ヲ察セズンハアテナルナリ而シテ又此影
 響ハ殊ニ推測證據ニ憑リ審判ヲ行ハントスル時ニ於テ愈々大ナルモノトス何トナレハ此際推測證
 據ノ能ク明示セサル所ハ陪審ノ感覺臆測若クハ意見等動モスレハ之ニ附會シ以テ其罪ヲ決スレハ
 ナリ
 猜疑ト證據トハ正ニ之ヲ辨別セズンハアテス猜疑ハ其數千百ニ超ユルモ未タ以テ一片ノ證據ト爲
 スニ足ラサルナリ蓋シ猜疑トハ別ニ證據ナキノ事ヲ取テ恰モ良カラサルモノ、如ク想像スルノ意
 ニシテ多クハ事ノ比擬相肖ニ淵源シ或ハ每人生平ノ行狀ニ根基シ未タ吾人カ一時一項ノ行爲ニ因
 ラス故ニ猜疑ハ以テ告訴ノ基礎トナスヲ得可シト雖モ未タ以テ斷罪ノ憑據ト爲スニ足ラス之ヲ約
 スルニ猜疑トハ人ノ腦裏ニ感得スル一片ノ現像ニ過キサルモノニシテ證據トハ親シク事實ニ就テ
 酌奪スルモノヲ云フナリ願フニド子ランノ獄ニ於ケルヤ審判ノ始メヨリ其局了ニ至ル迄一トシテ
 氏カ犯罪ノ行爲ヲ證據スルニ足ルモノナシ譬ヘハド子ラン果テポウトンニ毒藥ヲ與ヘシヤ或ハ氏親
 シクポウトンノ毒藥ヲ服セルヲ目撃セシカ或ハド子ラン自ラ毒藥ヲ携帯セルヲアリシヤノ如キハ
 毫モ之ヲ査核セシテ特リ其舉止言語ニ頗ル猜疑ス可キモノアリトシ乃チ之ニ由テ以テ其罪ヲ斷
 セシニ過キサルノミ是レ決テ至當ノ處法ト云フ可カラサルナリ羅馬法ノ如キハ斷然猜疑ヲ以テ罪
 ヲ斷スルヲ許サス我法焉シ亦獨リ之ヲ許スノ理アラシヤ

英國ノ法官ロルド、カウパル氏ローチエスタルノ僧官某ノ獄ヲ裁セシ時ノ論ニ曰ク我國法ノ善良
 ニシテ荷モ其匹儔ヲ他邦ニ見サルヲ誇ルニ足ル所以ノモノハ他ナシ唯、人ノ生命自由財產等ニ係
 ル罪ヲ決明スル爲メ以テ憑藉トスル所ノ證據ハ專ラ其詳明定著ヲ主トシ傍觀者ト雖モ一度之ヲ見
 聞スルニ於テハ直チニ其確實ヲ信得シ秋毫ノ疑ヲモ容ル可カラサルモノヲ要スルカ故ナリ是ヲ以
 テ我法律ハ荷モ衡平ヲ旨トシ天理ニ協ヘルノ證據ニ非サレハ敢テ之ヲ採ラズト
 以上開陳スル所ハ專ラド子ランカ獄ノ評論ニ係ルモノナリ讀者或ハ余ニ向ヒ其冗長ヲ責メンカ然
 レハ是ハ先例中ニモ最モ有名ノ獄ニシテ後人數之ヲ引證シ以テ情供證據ノ木鐸標準タル如ク思

惟シ如何ニモ千古ノ名斷ナリト誤認スルノ徒アルヲ以テ殊サテニ之ヲ辨駁シ從來此獄ノ却テ未タ充分ノ證ヲ得サルニ囚徒ヲ罪ニ斷セル一大粗漏アル所以ヲ指摘シ以テ向後ヲ警戒スルニアリ而シテ又以上論述スル所ヲ以テ見レハ凡ソ人ノ生命ニ係ル如キ重罪ヲ斷スルニ方リ當ニ猜疑若クハ證據ナキノ推測ニ由ルコトノ極メテ妥當ナラサル所以ハ自ラ氷解スルニ足ル可シ凡ソ行作ノ規矩(即チ法律ノ義)ヲシテ方正善良ナラシメント欲セハ其基ツク所ノモノ固ヨリ善良ナラスノハアラスト雖モ亦能ク吾人ノ在存スル社會ノ現況ト相合ハズンハアラサルナリ而シテ幸ニシテ英國ノ如キハ幸ニ民俗法律ヲ以テ定メ眞理ヲ以テ保スルノ證據ニ非サルヨリハ罪ヲ決スルヲ肯セサルノ風アリ

且ツ又不充分ナル證據ヲ以テ罪ヲ斷スルハ其弊必スシモ其獄ニ止マラサルモノトス乃チ英國ノ如ク先例ヲ以テ法律ノ基礎トナス國ニ於テ一度此失ヲ致セハ其弊忽チ後世ニ波及シテ更ニ底止スル所ヲ知ラサル可シ況ヤ我證據法ノ如キハ專ラ先例ヲ以テ本ト爲スヲ他法ノ比ニアラサルニ於テオヤ以上掲出スル諸獄ノ如キハ告罪ノ主義ニ關セサル比擬想像ニ由テ卒然情供證據ヲ應用セル諸例ナリ而シテ此他近キ諸例ニモ等シク又輕卒ノ譏ヲ免カレサルモノ尠カラスト雖モ一々之ヲ掲クルハ今日現存ノ法官カ名譽ヲ傷ツクルノ恐ナキニシモアラサレハ試ニ俊秀ノ法官ハイド氏ノ金言ヲ假リ以テ當路者ノ鑑戒ニ供セントス氏曰ク抑人殺ノ如キ罪ヲ判スルニ於テ本罪ノ主義ニ關セサル事項ヲ取り喋々シ以テ其罪ヲ決セントスルヨリ恐ル可ク又不正ナル措置ハ未タ之アラシトイハス

プリーズ、オ、フ、グ、ラ、ウ
ニ二百四十一丁

之ヲ要スルニ情供證據ヲ用ヒントスルニハ必ス犯事ノ現狀ニ限リ勉メテ之ヲ他事ニ推及ス可カラズ蓋シ一條ノ行作アラハ必ス之ニ先タツ所ノ造意ナクンハアラス而シテ又此造意ナルモノハ固ト隱裏ノ現像ニシテ肉眼之ヲ直視ス可カラサレハ唯、行爲ノ前行タル諸情況ニ就テ之ヲ審定ス可キノニ然ルニ此等ノ情況ト雖モ未タ始ヨリ憑籍スヘキニアラサレハ一々之ヲ取テ各項ノ事實ト見做シ

證ニ據テ其確ヲ得ヘシ若シ然カラサレハ假令ヒ幾多ノ情況アルアリト雖モ以テ罪犯定斷ノ憑據ト爲スヘカラス然ルニ審判ヲアル氏ト子ランニ向ヒ惟フニボウトンカ資産ノ大ハ則チ汝カ罪ノ大ナル因故ナルヘシ而シテ今諸証ニ基キ熟考スルニボウトンノ毒殺ハ全ク其資産ヲ横奪セント欲スル汝カ一片ノ慾心ニ出テシモノト謂フヘシト言ヘルヲ見ルニ未タ此獄ニシテ此ノ如キ意見ヲ吐カシムルニ足ルノ證據アルヲ見ス又法官ノ意見ト法庭ノ證據トハ固ヨリ一ナラサレハ判然之ヲ分別スヘシ然カラサレハ意見證據ノ兩者相混淆シテ自ラ其區域ヲ立ツルニ於テ頗ル難キヲ覺ユヘシ然リ而シテ刑事ノ審判中殊ニ重罪ニ係ルモノハ每事毎件總テ定知ノ則アツテ存シ審司法官ト雖モ擅ニ其意ニ任セ之ヲ超越スヘカラス蓋シ囚徒ノ罪ヲ判スル證據ハ恰モ其罪ヲ斷スル法律ノ刑名ト一般ニシテ其原則ハ古今累積ノ實験ヨリ出テ若クハ先例ニ胚胎シ若クハ成法ニ權輿スル條理ノ萃ナリ故ニ苟モ法官タルモノハ職トシテ此等ノ原則ヲ將テ一々陪審ニ開說セズンハアラサルモノトス某會テ言ヘルヲアリウエストミニスタルノ法衛ヲウエストミニスタルト云フニ行ハルノ法則ハ特リ此ニ行ハルノ故ヲ以テ條理ナリト言フヘカラス唯、能ク古今累積ノ實験ニ徴シ萬古不易ノ道理ニ愜フヲ以テ條理トハ稱スヘキノミト

「ステート・ト・ライアルス」
第四卷二百七十一丁

惟フニ審判ヲアル氏カ意見ノ如キ或ハ頗ル公正ニシテ暗ニ能ク實事ト的中セシヤハ亦測知スヘカラスト雖モ其基ツク所ノモノ甚タ參差トシテ敢テ證據法ノ正理ニ愜ハス故ニ之ヲ以テ法庭外ノ人カ尋常事ノ眞偽ヲ談スルニ於テ吐露スル所ニ係ラシメハ或ハ不可ナカルヘシト雖モ苟モ公然タル斷獄ノ先例ト爲スハ其後弊恐ル、ニ餘アルヘシ試ニ我刑法史ヲ案スルニ古來冤枉ニ屈シテ終ニ其生命ヲ空フセルモノハ一トシテ眞ノ罪囚ヲ裁セシ先例ニ因ラサルナシ諺ニ曰ク弊害ハ總テ美事ヨリ釀スト豈ニ鑑ミサルヘケンヤ然ルヲ況ヤ法律ノ要ハ一ニ有罪兇手ヲ懲罰シテ無辜ノ良民ヲ保護スルノ外ニ出テサルニ於テオヤ

ロルド、ベ、イ、コン、氏ハ世間類似ノ情況ヲ目撃シテ輕々シク同一ノ見解ヲ下タシ往々誤謬ヲ釀シ失敗ヲ招クノ弊アルヲ憂ヒ會テ言ヘルヲアリ曰ク人心ノ奇ナル凡ソ事物ヲ見ルニ於テハ直チニ之ヲ

以テ互ニ和諧調勻スヘキモノト臆度シ以テ其實ニ過クルヲ察セサルノ性質アリ故ニ宇宙間ノ事物ハ概テ人意ノ表ニ出テ頗ル差忤ヲ生シ易キモノナリト雖モ却テ此等ノ事物ヲ目シ毎ニ相和シ相應スル緻密ノ交渉アリト想像ス而シテ虚心靜思能ク其實ヲ察スレハ果テ然カラサルモノ頗ル多シトルガイコン氏著ノ「バム」試ニ今此箴言ヲ以テ實際ニ徴セハ誰カ敢テ其真ヲ疑ハシヤ由テ思フニ凡ソ狹量矮見ノ徒ハ臆昧孟浪ノ類例比擬ト雖モ未タ確証ヲ俟タスシテ卒然之ヲ妄信スルノ弊アリ之ニ反シ深思持重ノ輩ハ類例比擬ヲ見ルモ容易ニ之ニ眩セシテ先ツ其類例比擬ニ就キ互ニ相岐シ相反スル所ノモノヲ查核シ尋思百方而後チ漸ク其見解ヲ下シ或ハ之ヲ信シ或ハ之ヲ斥ケ到底其始ヨリ皮相ノ類似ヲ以テ心ニ安ンセサルナリ蓋シ類例比擬トハ彼此相似ノ謂ヒナリト雖モ亦到底其微尾同一ナリトノ義ニハアラス既ニ類例ト稱シ比擬ト謂フハ畢竟多少ノ岐異アルヲ以テナリ思フニ定斷ノ要ハ事ノ類似ヲ察スルヨリ寧ロ其岐異ヲ識ルニアリ然ニ方今世人ノ情供證據ニ於ケルヤ恐ラシハ類似ヲ搜索スルニ汲々トシテ岐異ヲ識別スルニ匆々タルハ果テ何等ノ故ゾ抑テ法廷ニ出テ諸類ノ證據ヲ示シテ罪跡ヲ明カサントスルノ要ハ告罪者ニアリ而シテ又囚徒ノ安危ハ特リ此等ノ證據ヲ辨析スルニアリ是ヲ以テ人々若シ類似ヲ先ニシ岐異ヲ後ニスルコト前ニ論スル如クナレハ之カ爲メ自ラ囚徒ヲ罪ニ斷スルノ勢アルモ亦之ヲ恕スルコト鮮キニ至ルヘシ此ノ如ク論セハ詰者或ハ之ヲ目シ罪跡ヲ發露スルノ方ヲシテ故ラニ滯滞セシムルモノト爲サシカ是レ豈ニ然ラシヤ蓋シ余輩論旨ノ存スル所ハ畢竟罪跡發露ノ方ヲシテ簡且ツ明ナラシメントスルニアリ然レモ今簡明ノ方ヲ得ント欲セハ先ツ證ヲ取捨決明スル爲メ若干ノ定規ヲ設ケテ之ニ準據セシムルハアラス乃チ以下專ラ此等ノ定規ヲ論セントス然レモ證據法ノ全體ニ係ル定規ノ如キハ紙數固ヨリ限アレハ姑ク之ヲ措キ諸定規ノ中條理殊ニ亮明ナルモノニシテ却テ能ク世人ノ往々誤謬ヲ生シ從テ弊害ヲ賸々ノ中ニ胚胎セシモノ數條ヲ論セントス前段トナランノ獄ニ就キ故ラニ纏々タル評論ヲ下タセシモ蓋シ此ノ謂ヒナリ而シテ右誤謬中其最モ著シキハ情況ニ僞ナシトノ通謬ヲ信スルヨリシテ漫ニ證據ト直接證據トヲ同一視スルノ妄念ト並ニ類似ヲ造爲セントスルモ未タ岐異ヲ識別

スルノ觀念ナキトノ二事ヨリ生スルモノ是ナリ
要スルニ審司法官ノ口ヨリ出ツル成語設辭ノ類ニシテ徒ラニ陪審ノ想像ヲ縮籠シ之カ爲メ其意ヲ訴事固有ノ證據ニ注クノ念ヲ薄カラシメ却テ其會思縱橫ノ活動ヲ箝制スルモノヨリ恐ルヘキハナシ蓋シ陪審タルモノハ悉ク法理ノ設辭ヲ解スヘキモノニ非ラズト雖モ苟モ法庭ニ於テ審問スル所ノ事實ヲ聽カハ之ヲ其生平ニ實歷セル情況ニ比較シ而シテ後チ其事實ノ信否如何ヲ自ラ冥思スルノ心ナキモノアラサルヘシ是ヲ以テ凡ソ陪審ヲシテ罪跡ノ有無ヲ信セシムルニ之ヲ其輩自己ノ感想ニ任セシテ特リ論議ノ力ニ藉ル法官ハ動モスレハ誤判ヲ釀スノ恐アリ惟フニ人々性賦ノ感想ナルモノハ固ト人爲ノ行作ヲ料定シ若クハ無辜ヲ保庇スル天賜ノ能力ナルヲ以テ苟モ忽ニスヘカラサルナリ
右ニ述フル所ヲ以テ見レバドテランノ獄ニ係ル次ノ設辭ノ如キ苟モ之ヲ讀ム者ハ最モ能ク用心セズンハアラス其言ニ曰ク「故ラニ各種多端ノ情況ヲ組織シテ一連トナシ詭巧ノ致ス所彼此ノ情況能ク連續シテ毫モ矛盾抵觸ヲ其中ニ見ハサス以テ遂ニ囚徒ノ罪ヲ證スルニ足ラシムル如キハ蓋シ人智ノ及ハサル所ナリ」ト惟フニ此言タル素ト高材博識ノ法官カ設辭ニ係ルヲ以テ世人未タ其臧否如何ヲ檢覈スルニ及ハスシテ之ヲ信認シ敢テ疑ヲ容ル、モノナシト雖モ之ヲ古今ノ實驗ニ徴スルニ其妥當ヲ得サルヤ亦之ニ過クルモノアラサルヘシ若シ假ニ此言ヲ以テ誤謬ナシトセハ之ヲ實例ニ應用スルモ必ス又其正當ヲ得ズンハアラサルモノトス然レモ古來情供證據ニ由テ誤判ヲ生セシ諸例ヲ涉獵スルニ一定總括ノ設辭ヲ以テ固有殊別ノ事實ヲ見斷スルノ失ニ原因スルモノ其多キニ居ルヲ以テ見レハ抑、右ノ如キ設辭ノ漫ニ輕信ス可カラサルハ更ニ言ヲ俟タサルナリ
加之囚徒ヲシテ情況ノ連續ヲ辨駁セシメ以テ其矛盾抵觸ヲ冒露セシムルコトノ難キヲ顧思セハ右ノ設辭ヨリ生スル弊害ノ大ナルハ愈々亮明ナルヘシ試ニ問ハン抑、何等ノ方法ヲ用ヒナハ純然タル冤者ニシテ全ク覺知セサルノ諸情供ヲ辨駁スルヲ得ヘキヤト試ニ告罪ノ時ヲ去ル數年前法庭ヨリ遠隔セル地方ニ於テ犯セシ罪ヲ告訴スルモノアリテ然カモ其罪狀タル全ク被告ニ在テハ冤誣ニ係ル

如キモノアテシメハ則チ此冤ヲ破フレル人ハ之ヲ辨明スルニ唯ニ一方アルノミニ二方トハ第一證據ト
 スル情況ノ連續ニ就テ其中互ニ撞着スル所ノ要點ヲ冒露スルト第二犯罪ノ時其地ニアラサルヲ明
 證スル犯罪ノ時其地ニアラサルヲトニ是ナリ 證據人平生ノ品行如何ノ如ク然レモ第一方ノ如キハ冤
 者自ラ犯罪ノ事實ヲ熟知セス若クハ法律上ノ論法ニ曉通スルニアラサルヨリハ連續ノ撞着ヲ冒露
 スルノ極メテ容易ナラス況ヤ假造ノ事實ハ必ス皮相ノ合宜ヲ備フルニ於テオヤ加之寧ロ信得的ノ
 虛事ハ人之ヲ信スルモ意外ノ實事ハ却テ輒ク之ヲ信セサルモノトス是レ即チ人生ノ常ナリ而シテ
 第二方ニ於ケルモ不幸ニシテ冤者犯罪ノ日ヲ記セス若クハ其日何所ニアリシヤヲ忘レテ之ヲ憶起
 スルヲ得スハ此ニ至テ忽チ辨護ノ道ヲ失フヘシ蓋シ不許ノ證據ハ之ヲ示スニ必ス困難ヲ覺ユル
 ノミナラス或ハ亦毫モ之ヲ示ス能ハサルト尠カラサルモノトス
 試ニ重罪ヲ以テ告訴サレシ冤者ノ地位ヲ觀察セヨ蓋シ此ノ如キ嫌疑ヲ被フルモノハ概チ貧窶不遇
 ノ人ヲ以テ多シトス且ツ久シク獄裏ニ繫カレ精神頗ル錯亂シ又法庭ニ出テハ審判ヲ受ケントスル
 モ別ニ辨護ノ道ヲ告グルノ人ナク既ニ此ニ出ツルモ敢テ其冤ヲ辨明スルノ代辨者ナシ此ノ如クニ
 シ一度其審判ヲ受クルニ臨ミテハ告罪ノ證據人タルモノ網繆多端ナル情況ノ連續ヲ取テ之ヲ供白
 ス然レモ其罪固ト冤枉ニ出ツルヲ以テ囚徒ハ一トシテ其情況ヲ先知スルナシ故ニ囚徒ハ之ニ就テ
 緊要ノ疑問ヲ質スル能ハサルノミナラス又其合宜セサル點ヲ取テ之ヲ陪審ニ示ス能ハサルヘシ若
 シ又其情況ノ何タルヲ知ラスシテ質問ヲ爲スニアラハ之カ爲メ愈々疑ヲ醸シ却テ冤枉ニ陥ルニ
 至ルノ之ナシト明言スヘカラス加之證據人ハ其口供ノ眞ヲ誓ヒ囚徒ノ品行ハ既ニ多少ノ惡猜ヲ被
 フル是時ニ際シテ之ヲ裁スル法官ノ度量果テ狹隘ヲ免カレス且ツ獄事歲月ヲ閱シ尙ホ未タ決セス
 法官ノ注心漸ク鈍ルコアラハ將ニ諸證ヲ總括シテ其局ヲ結了セントスルニ及ヒ漫ニ情況連續ノ要
 點ヲ看過シ未タ其確ヲ得サルノ事實ヲ取テ既ニ其確ヲ得タリト速了シ或ハ當局ノ事實ヲ證セント
 欲シテ未タ其確ヲ得サルノ事實ヲ引用シ却テ證據人カ生平ノ品行如何ノ如キニ至テハ全ク之ヲ顧
 慮スルニ及ハサルヘシ之ニ加フルニ囚徒ニ辨護者ヲ許サハルモ告罪人ニハ審判ノ當初ヨリ代官人

ヲ許ス如キアラハ之カ爲メ亦幾干カ陪審ノ思想ニ影響スル所ノモノナシトスヘカラス若シ夫レ審
 判ノ方此ノ如キニ陥ルラハ其收結ノ果テ如何ハ別ニ辨テ俟タズシテ知ルヘキナリ然レモ今日ノ實
 際ニ於テ此ノ如キ現例ノ極メテ罕ナルハ我輩ノ信スル所ニシテ又我輩ハ今日此ノ如キ現例ノ全ク
 地ヲ拂フニ至ルヲ熱望スルモノナリ
 右ニ論スル所ハ姑ク之ヲ措キ再ニ前掲ノ設辭ヲ評センニ抑、囚徒ノ罪ヲ證セントスルノ情況多端ナ
 ルハ囚徒之ヲ辨駁スルニ於テ却テ其易キヲ覺ユルモノト爲スカ豈ニ夫レ然カラノヤ蓋シ證據ノ
 數其多ヲ加フルニ於テハ之ヲ辨駁スルノ困難ハ隨テ愈々大ナルヘシ何トナレハ尋常一般ノ人物ニ
 在テハ荷モ多端ノ情況ヲ見レハ之カ爲メ忽チ心魂ヲ奪ハレ惶然トシテ先ツ其辭ヲ失ヒ更ニ爲ス所
 ヲ知ラサルニ至レハナリ是ヲ以テ羅馬法ノ如キハ夙ニ此弊害ヲ察シ囚徒ヲシテ證據人ノ多數ニ眩
 惑セシメサランヲ期シ審判ノ專權ヲ以テ證據人ノ多數ニ眩惑セシメたり或ハ言ヘテ證據人ノ多數ナル
 ハ囚徒ノ爲メ却テ利アリ之ヲ如何ニ若シ此等ノ證據人タル全ク假偽ノ事ヲ告クルモノナレハ
 囚徒ハ必ス其中ニ就キ多少合宜セサルモノヲ覆見シテ其非ヲ冒露スルヲ得レハナリト夫レ或ハ然
 ラン然レモ未タ之ヲ以テ一般ノ定規トナスヘカラスナリ
 又曰ク情況ノ連續ハ僅ニ其一環子ヲ破毀スルモ忽チ全體ノ結構ヲ失フヘシト是レ恠然リト雖モ
 事實ノ眞偽如何ヲ鑑定スルニ於テハ實際上未タ必スシモ其眞ヲ保スヘカラスナルノ論ナリ譬ハ既ニ
 其罪ニ斷セラレタル囚徒ニ就テ思考セヨ抑、此囚徒ハ其始メ審判ヲ受クルキヨリ斷罪ノ日ニ至ル
 迄全ク其身ヲ辨護セシメナク又全ク連續ヲ破毀セシメナシトスルカ何ソ此ノ如キ理アラノヤ要ス
 ルニ一身ノ損亡特リ其辨駁ノ如何ニ係ルモノナレハ果テ陪審ノ考案ヲ促スニ足ル多少ノ辨駁ヲ爲
 サハルノ理ナシ然ルニ尙ホ斷罪ニ至ル所以ノモノハ他ナシ多端ノ情況アルキハ唯、其大體ノ如何
 ニヨリ囚徒ノ罪迹ヲ證明シ以テ其罪ニ斷スルカ謂ヒナリ
 然リ而シテ告罪者ノ供セントスル證據ニシテ全ク囚徒ノ意外ニ出ツルモノアリ此時ニ際テハ囚徒
 之ヲ辨駁スルノ難キヲ覺ユルコト頗ル大ナリ況ヤ所告ノ證其實ヲ得サルニ於テハ尙ホ一層ノ困難ヲ

免カレサルニ於テホヤ何トナレハ凡ソ假偽ノ事實ハ多少之ヲ先知スルニアラサルヨリハ固ヨリ之ヲ辨駁スル能ハサルヲ以テナリ譬ヘハ今ヨリ數年前ハウンスロー、ヒースニ於テステールナル者ヲ殺死セルノ嫌疑ニ由テ鞠問ヲ受ケシ某二人ノ獄事ニ於ケル如ク告罪ノ情況頗ル多シト雖モ今囚徒ノ辨スル所ヲ見ルニ曰ク余輩犯罪ノ當日其犯所ニアラス又ステールノ何人タルト其死ヲ知ラサレハ奚ソ其情況ヲ取テ一々之ヲ辨駁スルヲ得ンヤ是レ余輩ノ眞ニ爲ス能ハサル所ナリト以テ證トスヘシ而シテ此獄ハ犯罪ノ時ヨリ數年ヲ歴タル後ナレハ囚徒ハ其當日何處ニアリシヤヲ記セサルニヨリ終ニ「アリビ」ノ證ヲ示ス能ハサリキ其後別人某又其嫌疑ヲ被リ正ニ法官ノ審判ヲ受クルニ及ハントセシカ此際法官ハ告罪代官ノ供スル證ヲ認メテ充分ナラスト爲シ遂ニ審判ニ及ハスヲ止ミタリ

之ヲ要スルニ情據ナルモノハ固ヨリ充補ノ證ナリ故ニ直接原基ノ證據ヲ得ヘカラサルニ於テ始メテ之ニ據ルヘキノミ他ナシ充補附加ノ事ハ之ヲ直接原基ノ事ト同視スヘカラサルヲ以テナリ故ニロルド、チイフ、パロンギルバルト其著書證據法第一卷百ニ論シテ曰ク當局ノ事實ヲ證スル能ハサルハ其事實ノ證據ニ最モ近キモノニシテ即チ必ス之ト相連續スル情況ヲ採テ證據トスヘシ之ヲ稱シテ推測ト云フ然レモ未タ之ヲ以テ眞正ノ證據トハ爲スヘカラス何トナレハ反對ノ證據ヲ得ル迄ハ先ツ假ニ之ヲ以テ當局事實ノ證據ニ換ユルニ過ヤサレハナリト

社會ノ安寧整肅ヲ謀ル爲メニハ情供證據ニ由テ罪ヲ決スルコト固ト止ムヲ得サルニ出ツルト雖モ從來證據取捨ノ方法ヲ制スル爲メ確タル定則ヲ設クルハ等シク亦缺クヘカラサルモノトス然リ而シテ事ノ何タルヲ論セス苟モ其性質ノ如何ニ由テ制スル所ニ係ル定規ノ數甚ク僅少ナルハ殊ニ之ヲ遵奉セズンハアラサルナリ沉思ノ學士グラヴナ曾テ言アリ曰ク兵ヲ以テ基トスルノ國ニ於テハ法律ノ數甚ク寡シト雖モ斯ル寡數ノ法律ハ殊ニ之ヲ遵奉セシメズンハアラサレハ此國ノ民ヲシテ戰場ニ臨マシムルハ特リ此等寡數ノ法律ヲ奉體スル心情ノ輕重ニアルヲ以テナリト證據法ノ定則ニ較ケルモ亦此ノ如シ

蓋シ事ノ眞偽臧否ヲ發露セント欲セハ必ス若干ノ定規ヲ設ケテ之ニ準據スヘシ若シ然ラサレハ聽証析獄ノ方法頗ル參差放逸ノ弊ニ流レ易ク法官ハ自ラ專横ヲ恣ニスルニ至リ無辜ハ動モスレハ證據人ノ認罪ニ陷ルヘシ依テ左ニ定則數條ヲ掲出セントス

第一則 本罪現犯ノ如何ハ必ス之ヲ確定セズンハアラサス(コルバズデリクタイ)

第二則 情況ハ每條別ニ之ヲ證明セズンハアラサス

第三則 情況ヲ以テ罪ヲ決セントセハ其情況ト所告ノ事實ト尋常相連絡スルモノカ或ハ必ス連絡セズンハアル可カラサル者ヲ用フヘシ

第四則 數條ノ情況アリト雖モ總テ一證據人ノ供スル所ニ係ルキハ其多數ヲ以テ證據ノ効力ヲ増スヘカラス

蓋シ本則ノ旨意タル凡ソ一證據人ノ告白ニ係ル情況ハ假令ヒ其數多シト雖モ亦一證據人ノ告白ヲ以テ論セサル可カラサル所以ヲ示スニアリ何トナレハ右諸情況ノ信偽如何ハ單一ニ其證據人ノ僞ルト僞ラサルトニ根據スレハナリ

第五則 直接ノ證情況ト合宜セサルハアルモ特リ此故ヲ以テ直接ノ證ヲ擯斥ス可カラサス

蓋シ人爲ノ行作ニハ多少ノ不合ヲ免カレサルモノトス

第六則 法官タル者審聽ノ未事實情況ヲ總括スルニ臨ミ未タ此等ノ事實ヲ以テ其確ヲ得シモハト認定スヘカラス必ス總括セシモノヲ以テ假ニ陪審ニ示シ其効力ノ大小信否ノ如何ハ之ヲ陪審ノ意ニ任スヘシ

第七則 不許ノ事ヲ證スルハ固ヨリ困難ヲ免カレサルヲ以テ多少ノ酌料ヲ加フヘシ

然レモ事實情況ヲ以テ罪ヲ證スルニ方リ囚徒固ト其罪ナケレハ一々之ヲ辨明スルヲ得ヘキモノト雖モ却テ緘黙ニ付シ一言ナキモハ之ヲ以テ囚徒ノ罪ヲ示スニ足ルノ一證ト爲スヲ得ヘシ蓋シ是レ囚徒法庭ニ出テ未ダ審判ヲ受ケサルニ於テモ將ニ告罪人ノ供セントスヘキ證據ノ果テ何物タルヤヲ既知ストノ推定ヨリ生スルノ論ナリ

第八則 四徒ノ辨護者ニ許スニ告訴人ノ法廷ニ出サントスル諸證中其陪審ニ示スヘカヲサルモノ若クハ法ノ信認ヲ與フヘカラスト認ムルモノアルハ之ヲ法廷ニ出スヲ拒絕スルノ權利ヲ以テスヘシ

カピタン、ドチランノ獄ニ於テハ辨護者此權ヲ使用セザリシモノ、如シト雖モ此事タル實ニ辨護者ノ爲メニハ寔ニ樞要ナル一大權利ナルヲ以テ忽ニス可ラサルハ更ニ言フ俟タサルナリ
第九則 諸條ノ情況集合ノ効ニ由リ陪審ヲシテ囚徒ノ罪ヲ信認セシムルハ猶ホ直接ノ證據ニ於ケルカ如クナラズンハアラス
之ヲ要スルニ情況ト罪狀トノ間ニ存スル干係ハ果テ必然ニ出ツルカ將タ不慮偶然ニ出テシカヲ熟考シ乃チ囚徒ノ罪タル全ク此等ノ情況ニ由テ決明スヘキヤ或ハ此等ノ情況ニ由テ僅ニ之ヲ推考スルニ足ルモ未タ之ヲ斷定スルニ足ラサルヤヲ尋思シ又此等ノ情況アルモ囚徒尙ホ無辜タルヤ如何ヲモ併セテ鑑定セスンハアラスナルナリ然リ而シテ囚徒ヲ罪ニ斷セント欲セハ苟モ現犯ノ罪跡ニ近キ行爲ヲ證明セスンハアラス必ス皮相外觀ニ拘泥シテ輕卒速了スルヲ勿ルヘシ譬ヘハ犯罪ノ地ニ於テ囚徒ヲ視認シタルヲ以テ其罪ヲ推定スル如キハ最モ慎マズンハアラスナリ願フニ裁斷ノ不當ナルモノハ多ク此主義ヲ奉體セサルノ弊ニ原因セサルナシ蓋シ皮相外觀ノ實ニ能ク罪ヲ證スルニ足ルカ如キモノト雖モ只管之ニ拘泥シ別ニ囚徒カ一片ノ行爲ヲモ證セシテ其罪ヲ斷スルハ往々冤枉ノ弊ヲ免カレサルモノナリ法官聽獄ノ終ニ臨ミ諸證ヲ總括スルニ方リ時トシテ言ヘルヲアリ曰ク何々ノ證ハ此獄ノ本體ニ就テハ先ツ最良ト見做スヘキモノナリト然レモ陪審タルモノハ獨リ此ノ如キ理由ヲ以テ心足スル所アル可カラズ其然ラサル所以ノモノハ他ナシ抑獄事ノ大體ヲ知ルハ唯證據ニ據ルノ一方アルノミト雖モ凡ソ冤獄ニ在テハ冤者自ラ其證ノ乏シキニ艱ムルヲ以テ常トス然リト雖モ陪審ニシテ正シク囚徒ノ定奪ヲ行ハント欲セハ必ス證ニ由テ確然其罪跡ヲ認定セスンハアラス是ヲ以テ法官獨リ認メテ最良ノ證ト爲スモ陪審モ亦之ヲ以テ漫ニ心足スヘカヲサルモノトス蓋シ普通法ニ依レハ陪審ノ面前ニ於テ行フ事實ノ審問其秩序ヲ失ハス法官之ヲ總括スルニ於テ亦指錯スル所アラサレハ則チ此ヲ以テ證據ノ完全ヲ得ズル時トス此際ニ陪審之ヲ以テ心足セハ法律ノ目的モ亦始メテ其歸着ヲ得シモノトス要スルニ罪跡發露ノ方法ヲ便ニシ冤枉ヲ未然ニ防キ以テ社會ノ安寧ヲ保持スルニハ亦之ニ勝ルノ原則アラサルナリ
第十則 既ニ行作ノ本體ヲ明證スルハ假令ヒ其細條ニ於テ多少ノ齟齬ヲ免カレスト雖モ之ヲ以テ其大體ノ證據ヲ破毀セサルモノトス
譬ヘハ二三ノ證據人アリ等シク正實ノ人物ナルカ各別ニ何日何時何處ニ於テ謀殺或ハ強盜ノ罪ヲ犯セル者アリト供シ彼是其所說ヲ同フセハ何國ノ法術ト雖モ果テ之ヲ信セサルモノアラサルヘシ若シ又眞實ノ士數名相會シ曾テ佛蘭西國王ノ斬罪ニ處セラレシ實況ヲ目撃セシノ談ニ及ヒ各自其記スル所ヲ述フルニ於テ刑機ノ大小獄吏ノ容貌或ハ國王刑ニ就クト白布ヲ以テ其面部ヲ蔽ヒシヤ如何或ハ其刑場ニ臨ムヤ從容トシテ更ニ屈セサリシカ或ハ頗ル遠色ヲ帶ヒシヤノ如キ些細ノ情況ニ至ツテハ彼是相岐スル所口頗ル多シト雖モ特リ國王ノ斬罪ニ處セラレシ事實ニ至ツテハ衆口一辭更ニ異說ヲ唱フルヲ見サレハ天下何國ノ法術ト雖モ右ノ如キ些細ノ情況ニ岐異アルヲ視テ國王ノ斬罪ニ處セラレシ事實ヲモ併テ疑貳スルモノアラランヤ
ドクトル、ワットソン氏其著書聖典辨妄ニ論シテ曰ク抑、人ノ事ヲ談スルヤ苟モ其要トスル所ハ其談話ニ係ル些細ノ情況ニアラスシテ其精神眼目ニアリ故ニ其精神眼目ニ於テ岐異ヲ見サレハ假令ヒ其細條ニ於テ多少ノ齟齬ヲ免カレサルモ尙ホ足レリト爲サ、ル可ラス若シ然ラスシテ二三證據人ノ供スル諸證中其些細ナル情況ニ多少ノ齟齬アルハ隨テ精神眼目トスヘキ證據ノ効力ヲ併テ之ヲ失フモノト爲セハ凡ソ事實ヲ決セント爲スモ恐ラクハ能ハサルヘシ事實關係ハ之ヲ事理ノ表明ニ比スルニ到底同一ヲ得ヘキモノニアラス蓋シ事理ノ表明ハ其全體ヲ組織スル鏈鎖ニ於テ僅ニ其一環子ヲ疎脱スルモ忽チ其歸着ヲ誤ルヘシ之ニ反シ事實ノ關係ニ至テハ假令ヒ數證據人ノ口供中多少ノ岐異アルモ若シ之ヲシテ些細ノ情況タラシメハ敢テ妨ヲ見サルヘシト
第十一則 主眼ノ事實又ハ本罪ノ現犯ヲ定ムルニ一ニ諸般ノ情況ニ據ラズンハアラサルキ此等ノ

括スルニ於テ亦指錯スル所アラサレハ則チ此ヲ以テ證據ノ完全ヲ得ズル時トス此際ニ陪審之ヲ以テ心足セハ法律ノ目的モ亦始メテ其歸着ヲ得シモノトス要スルニ罪跡發露ノ方法ヲ便ニシ冤枉ヲ未然ニ防キ以テ社會ノ安寧ヲ保持スルニハ亦之ニ勝ルノ原則アラサルナリ
第十則 既ニ行作ノ本體ヲ明證スルハ假令ヒ其細條ニ於テ多少ノ齟齬ヲ免カレスト雖モ之ヲ以テ其大體ノ證據ヲ破毀セサルモノトス
譬ヘハ二三ノ證據人アリ等シク正實ノ人物ナルカ各別ニ何日何時何處ニ於テ謀殺或ハ強盜ノ罪ヲ犯セル者アリト供シ彼是其所說ヲ同フセハ何國ノ法術ト雖モ果テ之ヲ信セサルモノアラサルヘシ若シ又眞實ノ士數名相會シ曾テ佛蘭西國王ノ斬罪ニ處セラレシ實況ヲ目撃セシノ談ニ及ヒ各自其記スル所ヲ述フルニ於テ刑機ノ大小獄吏ノ容貌或ハ國王刑ニ就クト白布ヲ以テ其面部ヲ蔽ヒシヤ如何或ハ其刑場ニ臨ムヤ從容トシテ更ニ屈セサリシカ或ハ頗ル遠色ヲ帶ヒシヤノ如キ些細ノ情況ニ至ツテハ彼是相岐スル所口頗ル多シト雖モ特リ國王ノ斬罪ニ處セラレシ事實ニ至ツテハ衆口一辭更ニ異說ヲ唱フルヲ見サレハ天下何國ノ法術ト雖モ右ノ如キ些細ノ情況ニ岐異アルヲ視テ國王ノ斬罪ニ處セラレシ事實ヲモ併テ疑貳スルモノアラランヤ
ドクトル、ワットソン氏其著書聖典辨妄ニ論シテ曰ク抑、人ノ事ヲ談スルヤ苟モ其要トスル所ハ其談話ニ係ル些細ノ情況ニアラスシテ其精神眼目ニアリ故ニ其精神眼目ニ於テ岐異ヲ見サレハ假令ヒ其細條ニ於テ多少ノ齟齬ヲ免カレサルモ尙ホ足レリト爲サ、ル可ラス若シ然ラスシテ二三證據人ノ供スル諸證中其些細ナル情況ニ多少ノ齟齬アルハ隨テ精神眼目トスヘキ證據ノ効力ヲ併テ之ヲ失フモノト爲セハ凡ソ事實ヲ決セント爲スモ恐ラクハ能ハサルヘシ事實關係ハ之ヲ事理ノ表明ニ比スルニ到底同一ヲ得ヘキモノニアラス蓋シ事理ノ表明ハ其全體ヲ組織スル鏈鎖ニ於テ僅ニ其一環子ヲ疎脱スルモ忽チ其歸着ヲ誤ルヘシ之ニ反シ事實ノ關係ニ至テハ假令ヒ數證據人ノ口供中多少ノ岐異アルモ若シ之ヲシテ些細ノ情況タラシメハ敢テ妨ヲ見サルヘシト
第十一則 主眼ノ事實又ハ本罪ノ現犯ヲ定ムルニ一ニ諸般ノ情況ニ據ラズンハアラサルキ此等ノ

情況中其主眼ノ條款ニ於テ、岐異、抵觸ヲ免カレサルハ、右情況全體ノ効力ヲ失フハシ
 本則ハ恰モ第十則ト表裏スルモノト稱スヘシ蓋シ情況ナルモノハ一々其收結ニ向テ多少ノ効力ヲ
 與フルモノナレハ荷モ其情況ニ岐異ヲ生スルニ於テハ將ニ證セントスヘキ當局ノ事實ノ全面ニ
 モ隨テ變化ヲ起サ、ルヲ得ス之ヲ例セハ茲ニ一論アリ數條ノ論體ヨリ組織シテ其全體ヲ爲シ以テ
 其妥當ヲ得タリ然ルニ其妥當ヲ得ル所以ノモノハ特リ之ヲ組織スル論體ノ一々其妥當ヲ得タルヲ
 以テナリ本則ニ於ケルモ猶ホ亦此ノ如キノミ
 第十二則 情況ノ鏈中一點ノ岐異ヲ見サルハ、即チ之ヲ以テ事ノ然ルヘキヤヲ(信得的證スル
 ハ證據ト爲スニ足ルモ未タ尙ホ其果テ然ルヲ(眞實的證スルノ證ト爲スヘカラス之ニ反シ一點
 タリトモ岐異アルニ於テハ全ク其然カラサルヲ證スルノ證據ト爲スヘシ
 第十三則 事ノ有無ヲ證セントスルニ臨ミ其事ニ就キ自ラ現在スヘシト思惟スルニ足ルハ證據現
 在セサルハ即チ其事ノ現跡ヲ否ムニ於テ著シキ効力ヲ有スルノ口實ト爲スニ足ルヘシ
 ロルト、マンズフ、キールド、氏ドクラフノ訴訟ヲ裁スル片言ハレトアリ曰ク法官タル者原被互ニ諍
 辨スル所ノ事情ヲ鑑裁シ以テ其眞偽ヲ斷定セント欲セハ所謂信得的ノ事項ヲ整理スル諸定規
 「ルールオズ」ニ準據セシムルハアラサ蓋シ人事ナルモノハ固ト千故百出ニシテ到底數術等ノ現象ニ
 於ケル如ク其確ヲ必然二期スルヲ得ルハ頗ル稀ナリ是ヲ以テ法官ハ固ヨリ言ヲ俟タヌ其他世上ニ
 般ノ人ト雖モ自ラ事ノ眞偽ヲ決セントセハ諍者ノ孰レヲ論セス專ヲ信得ノ事項ノ多少ニ由リ其事
 項ノ言論若クハ數量ニ係ルヲ論セス苟モ其多數ナル一方ヲ取テ眞正ナル者ト定ムヘシ是レ止ムヲ
 得サルノ勢ニ出ツレハナリト然レモ氏カ此論ハ全ク民事ノ上ニ就テ述ヘシ所ナリ又民事ノ上ニ於
 テハ恠ニ名論ト稱ス可シ然レモ未タ之ヲ以テ刑事ニ應用ス可キモノナラス何トナレハ刑事ニ於テ
 陪審ノ心ニ感得セシム可キハ囚徒カ罪犯ノ信得ノニアラスシテ眞實的ニアレハナリ故ニ其證據ニ
 於テ一點タリトモ疑ハシキアラハ斷然之ヲ解放セシムルハアラサルモノトス
 情況ノ連鎖ヲ破毀セハ忽チ全體ノ結構ヲ失フヘシトハ信得的ノ證ニ係リ能ク世人ノ通唱スル語ナ

ト雖モ凡ソ此ノ如キ感得ハ先ツ其意義如何ヲ分析セシ後ニアラザレハ未タ其應用如何ニ論及ス
 へカラス然リ而シテ今此語ノ意義ヲ推考スルニ毫モ其確ヲ得サル如シ譬ヘハドグラスノ獄ニ於ケ
 ル加キ其證タル全ク情況ニ出テシモノト雖モ之ニ係ル法官ノ論說又ステワルド氏ノ東嶺等ニ就テ
 見ルニ未ク一トシテ其意義ヲ窺フニ足ルモノナシ而シテ此獄ニ於テハ所謂連鎖ナルモノハ隨テ
 破毀サルレハ隨テ更設シ或ハ議論以テ事實ノ缺ヲ補ヒ或ハ事實ノ缺ニ由テ論議忽チ其効ヲ失ヘル
 等錯雜一ニミテ足ラサルモ其意義如何ニ至テハ全ク其解明ヲ得シトナシ
 夫レ此ノ如シト雖モ之ヲ要スルニ所告ノ事實中解明スヘカラサルノ缺漏アルカ若クハ信得的ノ理
 ト相容レサルノ抵觸ヲ見ルハ即チ之ヲ以テ連鎖ノ破毀ト稱スヘキノミ
 情據ニ係ル定則ハ概テ右ニ掲出スル如シ此他尙ホ之ニ類スルノ規矩ナキニアラスト雖モ徒ラニ其
 數ヲ増スハ却テ人々當局ノ情況ヲ見斷スル會思縱橫ノ活動ヲ箝制スルノ恐レナシトスヘカラサル
 ニヨリ姑ク先ツ之ヲ以テ足レリトスヘシ蓋シ人ノ行爲ナルモノハ極メテ不規不定ニ出テ豫メ普通
 ノ定見ヲ以テ之ヲ見斷スヘキニアラザレハ荷モ事ヲ裁スルニ方リテハ其事發生ノ時若クハ之ニ關
 係セル人物并ニ其本心如何或ハ其他凡百ノ細情ヲ思料シ徒ラニ純然タル定規等ニ拘泥シテ之ヲ信
 否セサルヘシ

情況中其主眼ハ條款ニ於テ岐異、抵觸ヲ免カ、ハサルモ、右情況全體ハ効力ヲ失フハシ
 本則ハ恰モ第十則ト表裏スルモノト稱スヘシ蓋シ情況ナルモノハ一々其收結ニ向テ多少ノ効力ヲ
 與フルモノナレハ苟モ其情況ニ岐異ヲ生スルニ於テハ將ニ證セントスヘキ當局ノ事實ノ全面上ニ
 モ隨テ變化ヲ起サ、ルヲ得ス之ヲ例セハ茲ニ一論アリ數條ノ論體ヨリ組織シテ其全體ヲ爲シ以テ
 其妥當ヲ得タリ然ルニ其妥當ヲ得ル所以ノモノハ特リ之ヲ組織スル論體ノ一々其妥當ヲ得タルヲ
 以テナリ本則ニ於ケルモ猶ホ亦此ノ如キノミ

第十二則 情況ノ鏈貫中一點ノ岐異ヲ見サルモ、即チ之ヲ以テ事ノ然ルヘキヤヲ(信得的)證スル
 ハ證據ト爲スニ足ルモ未タ尙ホ其果テ然ルヲ(眞實的)證スルノ證ト爲スヘカラス之ニ反シ一點
 タリトモ岐異アルニ於テハ全ク其然カラサルヲ證スルノ證據ト爲スヘシ

第十三則 事ノ有無ヲ證セントスルニ臨ミ其事ニ就キ自ラ現在スヘシト思惟スルニ足ルハ證據現
 在セサルモ、即チ其事ノ現跡ヲ否ムニ於テ著シキ効力ヲ有スルノ口實ト爲スニ足ルヘシ

ロルト、マンスタフ、キールド氏ドクテ、ノ訴訟ヲ裁スルモ、言ヘルコトアリ曰ク法官タル者原被互ニ諍
 辨スル所ノ事情ヲ鑑裁シ以テ其眞偽ヲ斷定セント欲セハ所謂信得的ノ事項ヲ整理スル諸定規
 「ルビルオス」ニ準據セシムルハアラサ蓋シ人事ナルモノハ固ト千故百出ニシテ到底數術等ノ現像ニ
 於ケル如ク其確ヲ必然ニ期スルヲ得ルハ頗ル稀ナリ是以テ法官ハ固ヨリ言フ俟タス其他世上一
 般ノ人ト雖モ自ラ事ノ眞偽ヲ決セントセハ諍者ノ孰レヲ論セズ專ラ信得的事項ノ多少ニ由リ其事
 項ノ言論若クハ數量ニ係ルヲ論セズ苟モ其多數ナル一方ヲ取テ眞正ナル者ト定ムヘシ是レ止ムヲ
 得サルノ勢ニ出ツレハナリト然レモ氏カ此論ハ全ク民事ノ上ニ就テ述ヘシ所ナリ又民事ノ上ニ於
 テハ恂ニ名論ト稱ス可シ然レモ未タ之ヲ以テ刑事ニ應用ス可キモノナラス何トナレハ刑事ニ於テ
 陪審ノ心ニ感得セシム可キハ囚徒カ罪犯ノ信得的ニアラスシテ眞實的ニアレハナリ故ニ其證據ニ
 於テ一點タリトモ疑ハシキヤアラハ斷然之ヲ解放セシムルハアラサルモノトス

情況ノ連鎖ヲ破毀セハ忽チ全體ノ結構ヲ失フヘシトハ信得的ノ證ニ係リ能ク世人ノ通唱スル語ナ
 二

「羅」難モ凡ソ此ノ如キ感語ハ先ツ其意義如何ヲ分析セシ後ニアラザレハ未タ其應用如何ニ論及ス
 ヘカラス然リ而シテ今此語ノ意義ヲ推考スルニ毫モ其確ヲ得サル如シ譬ヘハドグラスノ獄ニ於ケ
 ル加キ其證據タル全ク情況ニ出テシモノト雖モ之ニ係ル法官ノ論說又スチワルド氏ノ東贖等ニ就テ
 見ルニ未ク一トシテ其意義ヲ窺フニ足ルモノナシ而シテ此獄ニ於テハ所謂連鎖ナルモノハ隨テ
 破毀サルレハ隨テ更設シ或ハ議論以テ事實ノ缺ヲ補ヒ或ハ事實ノ缺ニ由テ論議忽チ其効ヲ失ヘル
 等錯雜一ニシテ足ラサルモ其意義如何ニ至テハ全ク其解明ヲ得シトナシ

夫レ此ノ如シト雖モ之ヲ要スルニ所告ノ事實中解明スヘカラサルノ缺漏アルカ若クハ信得的ノ理
 ト相容レサルノ抵觸ヲ見ルモ、即チ之ヲ以テ連鎖ノ破毀ト稱スヘキノミ

情據ニ係ル定則ハ概テ右ニ掲出スル如シ此他尙ホ之ニ類スルノ規矩ナキニアラスト雖モ徒ラニ其
 數ヲ増スハ却テ人々當局ノ情況ヲ見斷スル會思縱橫ノ活動ヲ箝制スルノ恐レナシトスヘカラサル
 ニヨリ姑ク先ツ之ヲ以テ足レリトスヘシ蓋シ人ノ行爲ナルモノハ極メテ不規不定ニ出テ豫メ普通
 ノ定見ヲ以テ之ヲ見斷スヘキニアラザレハ苟モ事ヲ裁スルニ方リテハ其事發生ノ時若クハ之ニ關
 係セル人物并ニ其本心如何或ハ其他凡百ノ細情ヲ思料シ徒ラニ純然タル定規等ニ拘泥シテ之ヲ信
 否セサルヘシ

情供證據判録

第一判例

距今凡ソ百年前佛蘭西ノ首府巴倫セイノド、ミカエル街ノ近傍ニ住シテ商塵ヲ設ケシ老媽アリケ
 ルカ曾テヨリ幾多ノ金圓ヲ貯蓄シ頗ル富豪ノ聞ヘアリ又年來老媽ニ事フル一人ノ小价アリ晝間ハ
 常ニ塵ニ出テ商事ヲ掌トリ夜ニ入レハ自ラ之ヲ鎖鑰シテ後チ樓房ニ昇リ臥ス而シテ又老媽ハ塵ノ
 後邊ニ設置セル一室ヲ用テ其寢所ト定メ毎日ノ業ヲ終レハ必ス之ニ入り小价ヲシテ外ヨリ鎖鑰セ
 シムルヲ常ト爲セリ蓋シ右ノ樓房ハ當時ノ建築法ニテ其樓梯ヲ家屋ノ外ニ設置シ屋内ヨリハ之ニ
 昇降スルヲ得ス是ヲ以テ小价ハ生平其鑰ヲ管保セルノミナラス渠レニ非サレハ亦其戸ヲ開鎖スル
 ヲ得サリシト然ルニ一朝塵ノ戸扉常ヨリモ早ク開放シ其内寂トシテ人跡有ラザル如クナルヲ以
 テ隣人大ニ之ヲ怪ミ試ミニ戸内ニ入りテ一檢スルニ塵内別ニ暴動ノ狀無シト雖モ憫ム可シ老媽ハ
 身上ニ敷箇ノ疵ヲ負ヒ床上ニ昏倒シテ既ニ生ナシ是ニ於テ隣人ハ駭然其傍ヲ熟視スルニ塵内臺板
 ノ中央ニ生血淋漓タル小刀ヲ遺シタリ仍ホ又一々死骸ヲ點檢スルニ右手ニ一束ノ髪の毛ヲ攪ミ左手
 ニ一片ノ頸巾ヲ握レリ之ヲ以テ先ツ其小刀頸巾ヲ查スルニ兩ナカラ生平ヨリ小价カ所有セル者ニ
 係ル又試ニ髪の毛ヲ以テ小价ノ頭髮ト參較スルニ恰モ好ク吻合セリ是ニ於テカ小价ハ忽チ法官ノ嫌
 疑ヲ被トリ乃チ捕ニ就キシカ其後チ終ニ罪ニ服シ日ナラスシテ死刑ニ處セラレタリ惟フニ當時拷
 問ノ制尙ホ行ハレシヲ以テ恐ラクハ其苦ニ堪ユル能ハサルヨリシテ其罪ニ服セシナル可シト雖モ
 此兒ヤ從來一點ノ罪跡モ之レ有ラザリシナリ其故ハ渠レカ刑ニ遭ヒシ後チ未タ幾ナラザルニ近隣
 酒ヲ鬻クノ家ニ事フル小价別ニ罪アリテ縛ニ就キシカ懲獄ノ苦ニ堪ユル能ハサルヨリ突然自ラ彼
 ノ老媽ヲ謀殺セルノ罪ヲ自首シタリ是ニ依テ法官ハ犯罪ノ情狀ヲ糾問スルニ此小价ハ從來冤者ト
 相知ルヲ以テ渠レノ爲メ時々其髮ヲ理メシヲアリ然ルニ毎時齒ニ存スル髪の毛ヲ秘カニ藏匿シ漸ク
 積テ一束ヲ爲スニ至ルヲ待チ巧ミニ之ヲ修飾シテ犯時之ヲ老媽ノ右手ニ握ラシメ頸巾小刀ハ曾テ冤
 者ノ虚ヲ覓ヒテ之ヲ偷ミ又塵ノ鑰ハ前日竊ニ之ヲ蠟塊ニ推入シテ其摸型ヲ得之ヲ以テ更ニ一鑰ヲ偽

造シ其準備盡ク整フニ及ヒ一夜終ニ老媽ヲ殺死シ其財ヲ奪掠シ爰ニ始テ其望ヲ果セシナリト抑此獄ノ證據タル一目シテ其亮明ニ且ツ自然ニ出タルカ如キモノ有ルヲ以テ勿々之ヲ信認スル者ナル可シト雖モ亦其甚タ充分ニ過クルモノ有ル所以ニ着眼セハ却テ疑フ可キ所頗ル多シトス故ニ苟モ此ニ注目シ尙ホ一層持重ヲ旨トシ以テ眞偽ノ如何ヲ冥想セハ恐クハ小价ヲシテ此ノ如キ冤枉ニ屈セシムルノ誤判ハ之レ有ラサル可シ

第二判例

紀元一千七百四十二年ハルノ近傍ニ於テ假造ノ證據ニ由リ無辜ヲ罪ニ陷ルレタル著ルシキ獄事有リタリ今其顛末ヲ記スルニ旅客某一日同所ニ向テ發セシカ之ヲ隔ツルコト仍ホ七里程ノ所ニ達セシ頃既ニ夜ニ垂タルヲ以テ頻ニ歩ヲ早メテ行クニ忽焉路傍ヨリ假面ニテ其顔ヲ蔽ヒタル騎馬ノ一賊前徑ニ跳出シ更ニ一言ヲモ加ヘス直チニ旅客ニ迫テ其懷中ヨリ金貨二十「ギニア」ヲ豪奪シ再ヒ間道ニ入テ忽チ其跡ヲ失ヘリ然レモ旅客ハ幸ニシテ唯、金圓ヲ奪ハレシノミニテ別ニ傷害ヲ負ハサレハ夫ヨリ愈々急歩シテ速カニハルヘ達セント爲セシカ時既ニ深更ニ及ヒタルヲ以テ自ラ恐悸ノ心ヲ生シ唯、一刻モ早ク旅店ヲ搜メ得テ之ニ投宿セント欲シ未タ同所ニ達セサルニ偶、ジエムス、ブル―子ルナル者ノ開設セル「メルイン」ト稱スル旅店ヲ發見セルニ由リ大ニ心ヲ安シ直チニ之ニ投宿セリ而シテ某ハ先ツ晚餐ヲ喫セン爲メ自ラ厨房ニ來リ之ヲ命セリ此時厨内ノ人ニ向ヒ其夜途上賊ノ爲メニ金圓ヲ豪奪サレシ始末ヲ告ケ且ツ某ハ金圓ヲ懷ニシテ行旅スル時ハ必ス之ニ一種特別ノ符號ヲ記シ以テ搜索ノ便ニ供シタルハ賊ノ踪跡ヲ探ル尙ホ難キニ非ラズト言ヘリ此時晚餐ノ設ケ全ク整ヒタルハ厨房ヲ去テ席ニ就キシカ餐後須臾ニシテ店主ブル―子ル其席ニ來リ寒暄ノ叙辭ヲ終リ某ニ質シテ曰ク貴客今夕途上ニ於テ賊ノ爲メ若干金ヲ豪奪サレシト聞ク果テ眞ナルヤト某答テ曰ク然リ店主曰ク又其金圓ニハ盡ク符號アル由ヲモ聞ケリ是レ亦眞ナルヤト某曰ク然リ是ニ於テ店主ハ更ニ聲ヲ低フシ耳語シテ言ヘラク然ラハ拙子ニ於テモ竊カニ疑フ所ノモノ有リ恐ラク

ハ賊ノ踪跡ヲ知ル甚タ容易ナラン但シ貴客ノ其賊ニ遭ヒシハ凡ソ今夕何時ナリシヤト某曰ク黄昏ナリ店主曰ク果テ然ラハ益々疑フ懷クニ足ルコト有リト是ヨリ店主ハ從來其雇人ニシヨシ、シエンニシテスナル者有リ然ルニ渠レ近來頗ル其分ニ過キタル金錢ヲ浪費シ怪シムベキノ行跡極メテ多キヲ以テ斷然其雇使ヲ解カント決シタル所以ヲ某ニ告ケ且ツ又此日未タ夜ニ入ラサル前一「ギニア」ノ金貨ヲ錢ニ換ヘント欲シ渠レニ之ヲ命セシカ某ノ此ニ投宿セシ後ニ及ヒ漸ク歸リ來テ交換ヲ果ス能ハサル旨ヲ告ケ乃チ金貨ヲ還附セリ然ルニ此時渠レハ充分ノ酒氣ヲ帶ヒタルハ其遲延ヲ責ムルモ到底其益アラサル可シト思惟シタルハ別ニ一言ヲモ加ヘス直チニ命シテ眠ニ就カシメタリ又心中ニ此時ヨリシテ翌朝ヲ俟チ速カニ渠レヲ放逐ス可シト決シタリ又此際何心ナクシエンニシテスカ還附セシ金貨ヲ見ルニ當初交付セシモノト異ナリ其裏面ニ一個ノ符號ヲ記セリ然レモ近來渠レハ常ニ若干ノ金圓ヲ有スルヲ以テ敢テ之ヲ怪ムニ及ハサリシモ過刻厨房ニ於テ某カ賊ノ爲メニ金圓ヲ豪奪サレシ事並ニ其金圓ニハ一々符號ヲ記セル云々ヲ聞クニ及テ茲ニ始メテシエンニシテスノ怪ム可キヲ覺トリ大ヒニ喫驚セシカ右ノ金貨ハ店主未タ此等ノ事實ヲ聞カサル前既ニ人ニ償却シ且ツ其人ハ既ニ家ニ歸リタルハ今直チニ之ヲ得可カラスト雖モ此等ノ情況ニ由テ察スルニシエンニシテコソ正シク其賊タル可キヲ以テ店主ハ之ヲ默止スルニ忍ヒス敢テ某ニ密告スル所以ヲ述ヘタリ是ニ於テ某ハ大ヒニ店主ノ忠告ヲ謝シ又其忠告ニ由テ見レハシエンニシテコソ行爲益々怪ム可キニ極マリ此上ハ尙ホシエンニシテコソ糾問シテ彼ノ符號ヲ記セル殘餘ノ金貨ヲ發見セハ則チ其罪跡更ニ疑フ可カラズトナシ乃チ主客相伴ヒ房中ニ入ルニ渠レハ既ニ酣醉シテ前後モ知ラス熟睡セリ乃チ竊カニ其懷中ヲ探ルニ果テ十九片ノ「ギニア」金ヲ納メタル金囊ヲ發見セリ某之ヲ一檢スルニ正シク賊ノ爲メニ豪奪サレシモノト異ナラス是ニ於テカ渠レカ犯跡ハ毫モ疑フ容ルハ所ナキニ及ヘリ此時主客聲ヲ放チ衆ヲ呼ビ且ツシエンニシテコソ喚起シテ憤然床上ヨリ拳下シ其罪ヲ責メタリ然ルニ渠レハ全ク之ヲ知ラズト陳シ仍ホ頻ニ其冤ヲ鳴ラシテ頑然其罪ニ服セザリシト雖モ前後情況ノ効力極メテ大ナルカ故ニ一人トシテ其辨解ヲ信スル者有ラザリキ依テ其夜

ハ人ヲシテ嚴ニ渠レヲ看保セシメ翌朝ヲ俟テ店主並ニ某相伴ヒテ渠レヲ警官ノ前ニ拘引シ兩人誓ヲ立テ犯罪ノ情况ヲ供セリ然ルニシエンニシグスハ特リ其無辜ヲ訴フルノ外別ニ其冤枉タル所以ノ證據ヲ與フル能ハザリシヲ以テ警官ハ更ニ其陳述ヲ信セシテ遂ニ其審判ヲ次ノ裁判期ニ附セント決シ其旨ヲ宣告シタリ

却說シエンニシグスノ知己親友ハ此ノ如キ情况アリテ存スルヲ見密カニ其罪ヲ信シ且ツ交誼ノ情ヨリシテ頻ニ渠レヲ慰ミ乃チ其冤ヲ固執シテ漫ニ法官ノ怒ヲ惹起サンヨリハ寧ロ其罪ヲ首白シテ寬恕ノ措置ヲ哀願スルニ如カサル所以ヲ懇々諭セシト雖モ渠レ敢然トシテ之ニ從ハス既ニシテ審鞠ヲ受クルニ及ヒテモ依然冤枉ヲ鳴ラシタリ然レモ告罪者(即チ旅客)ハ誓ヲ立テ前日ノ實況ヲ開陳シ又現犯ノ賊ハ黃昏ニ際シ假面ヲ被レルヲ以テ其面貌ノ正シクシエンニシグスタリシヤ否ハ之ヲ誓言スル能ハスト雖モ其體格ハ今ヨリ之ヲ考フルモ全ク渠レト同一ナリト供シ又其金囊ハ全ク某カ携帶セシモノニシテ彼ノ符號ヲ記セシ金圓ニ至テハ正ニ某カ有セシモノト登證ノ殊異ナキ所以ヲ述ヘ且ツ又右ノ金囊金圓ハ親シク之ヲ被告ノ懷中ヨリ搜出セルコトヲ誓言シタリ

又ブルー子ルハ犯罪ノ當夜彼ニ一片ノ「ギニア」ヲ附シテ之ヲ錢ニ交換スルコトヲ命セシカ其歸ルニ及ヒテ之ヲ質スルニ更ニ之ヲ交換セサルノミナラス始メ交付セシ金貨ニハ素ヨリ符號ナキモ此時還付セシモノニハ一種ノ符號ヲ存セシコトヨリ同夜旅客ト共ニ渠レノ房中ニ於テ金囊金貨ヲ發見セシマデ盡ク之ヲ供述シ加之右ノ供述ニ尙ホ一層ノ効力ヲ與フル爲メ同夜ブルー子ル未タ旅客カ賊ニ遭ヒシコトヲ聞知セサル前同人ヨリ右ノ金貨ヲ領收セル某ヲモ法庭ヘ誘ヒ之ヲシテ其一片ヲ出シテ法官ニ示サシメタリ且ツ又之ヲ告罪者ニ示シ他ノ十九片ト比較セシムルニ其符號一々相吻合セルヲ以テ告罪者ハ又其違ハサルヲ誓ヘリ

之ヲ以テ法官ハ右ノ諸情况ヲ總括シ其要點ヲ揭ケテ之ヲ陪審ニ示スニ陪審ハ其證ヲ認メテ充分ナリトシ立ドコロニ有罪ノ斷案ヲ宣告セリ是ニ於テシエンニシグスノ罪始メテ定マリ以後數日ヲ出テスシテ終ニ死刑ニ處セラレタリ然レモ渠レハ其刑ニ就ク時ニ至ルマテ憤然其冤ヲ鳴シ全ク其罪

ニ服セザリシト

然ルニ渠レカ處刑ノ後凡ソ一年ヲ過キ店主ブルー子ルハ一日其家ニ宿セシ旅客某ノ物品ヲ豪奪スルノ罪ヲ以テ縛ニ就キシカ審判ノ末其罪定マリ遂ニ死刑ニ處セラレタリ蓋シ罪跡既ニ定マリ處刑ノ日將ニ近キニ在ラントスルニ方リ大ヒニ悔悟ノ念ヲ發シ告訴ノ罪ハ固ヨリ其他是迄ニ犯セシ數回ノ劫掠豪奪ノ罪ヲ併セテ一々白狀シ就中シエンニシグスノ罪ハ即チ全クブルー子ルカ假構ニ出テタル誣告タルコトヲ陳告セリ而シテ此時ノ方審判會ヲ聽クニ曩日ブルー子ル旅客ノ金圓ヲ豪奪セシヨリ直チニ馬ヲ飛シテ間道ヨリ家ニ歸リシガ此時欠帳ヲ店主ニ促ス者其家ニ來リテブルー子ルノ歸ルヲ待ツ有リシヲ以テ乃チ匆卒所奪ノ金圓ヨリ其一片ヲ出シテ債主ニ付セリ其ヨリ暫時ヲ過キ彼ノ旅客ハ辛クシテ此店ニ達シ前段ニ述ヘシ加ク其廚房ニ入テ途上賊ニ遭ヒシ顛末ヲ告ケ且ツ被奪ノ金圓ニ符號アルコトヲモ語リシカ恰モ此時店主ハ麻舎ニアリテ此客ノ投宿ヲ知ラサレヒ須臾ニシテ廚房ニ來リ始テ之ヲ聞知シ慌然爲ス所ヲ知ラサリシト雖モ若シ既ニ償却セシ金圓ヲ回復セント欲セハ爲メニ罪跡忽チ發覺ス可シ然レモ若シ又別ニ罪ヲ蔽フノ方策ヲ運ラサハレハ愈々其身ヲ危フス可シ乃チ一身ノ危急存亡正サニ瞬間ニ在リテ毫モ躊躇ス可キ所ニ非ラスト爲シ忽然一策ヲ案出シ乃チ其罪ヲ以テシエンニシグスニ假託セントシ渠レカ昏醉ノ虛ニ乘シ竊カニ金囊ヲ以テ其懷中ニ插ミ夫ヨリ前段ニ述フル如ク旅客ニシエンニシグスヲ以テ賊ナリト告ケ以テ其奸策ヲ果セシナリト

第三判例

英國ヨーク州ヨリ凡ソ十八里ヲ距ツル所ニシエームスハリスト稱シ一酒店ヲ開設シテ毎日ノ業ヲ營ム者有リ又其家僮ニモルガント稱スル者有リ一日鐵工グレイナル人エヂンバラ府ニ行旅スルノ路次正サニ黃昏ニ垂タルヲ以テ乃チ此酒店ニ投宿ス然ルニ翌朝モルガンハ突然其地ノ警官ニ至リ前夜其雇主ハリスガ旅客グレイヲ床上ニ於テ絞殺セシ狀ヲ告發セリ其畧ニ曰クモルガン同夜理

場ニ臨ミ此暴擧ヲ目撃シタリ又此暴擧ヲ制止セント欲シグレイノ室ニ入り先ツ何事ヲ爲スカヲ質セシニハリスハ旅客グレイ俄然病ヲ發セシヲ以テ室ニ入り其看保ニ從事スト答フモルガン尙ホ其細條ヲ推問セント欲セシカ若シハリスノ猜疑ヲ惹キ出サハ却テ其身ヲ危フセシト恐レ恰モ其言フ所ヲ信セル如キノ状態ヲ示シ直チニ室ヲ出テ竊カニ其戸ノ鑰孔ヨリ室内ヲ覗ヒ見ルニハリスハ之ヲ覺ラズシテ死体ノ懷中ヲ搜リ其金囊ヲ擄掠セリトハリス之ヲ聽キ憤然トシテ其冤ヲ鳴ラシモルガノニ向ヒ若シ再ヒ此ノ如キ妄言ヲ吐カハ誣告假誓ノ罪ヲ以テ更ニ汝ヲ訴ヘント揚言セリ此時警官グレイノ死骸ヲ檢スルニ渾身一點ノ疵痕ナク敢テ其横死タルヲ表スルモノナキヲ以テ將サニハリスヲ放免セントスルニ臨ミ恰モ此時同人ノ雇女突然此ニ來リテ罪犯ノ證ヲ申白センコトヲ請ヘリ依テ其述フル所ヲ聽クニ同夜雇女洗衣場ノ階級ヲ降りナカラ偶然其扉戸ヨリ庭内ヲ見ルニハリスハ庭中ニ立テ竊カニ懷中ヨリ金貨數片ヲ出シ紙片ヲ以テ之ヲ密封セシ後チ一樹下ノ地ヲ穿チ之ヲ埋メタリト且ツ其地位ノ如キモ詳ニ之ヲ示セリ是ニ至テハリスハ顔色忽チ變シ倉皇トシテ失ヘル所有ル如シ依テ警官直チニ小吏ヲ派遣シテハリスノ庭中ヲ搜索セシムルニ果テ雇女ノ言ヘル如ク紙片ニ密封セル金貨二十磅ヲ地中ヨリ發出セリ警官此證ヲ以テハリスヲ責問スルニハリス之ヲ辨解シテ曰ク金貨ヲ地中ニ埋藏セシハ身ニ於テ固ヨリ覺知スル所ナリト雖ヒ其金貨ハ余カ平生ヨリ貯蓄スルモノニシテ又之ヲ埋藏スル所以ハ特リ盜難ヲ防クニ在リ故ニ右ノ金貨ハ毫モ不正品ニ非スト然レモハリスガ之ヲ辨スルヤ頗ル遠色ヲ帶ヒ言語甚タ吃スルヲ以テ爲メニ警官ノ嫌疑ヲ受ケ遂ニ獄裏ニ繋留サルニ及ヒタリ其後チ數日ヲ歷ヨクノ裁聽ニ於テ更ニ法官ノ審判ヲ受ケシカ警官小吏モルガノ雇女四名ノ口供ヲ遂ニ審覆セシカ其供スル所ニ於テ別ニ疑ヲ容ルノ跡無キヲ以テハリスハ直ニ謀殺ノ罪ニ處斷サレタリ然レモハリスハ刑ニ就クノ日ニ至ルマテ其罪ニ服セスシテ頻ニ其冤ヲ訴ヘントシ然ルニ故アリテ後日全ク其眞ニ冤枉タルヲ發露セリ然レモ既ニ憲刑ノ後タルハ亦救フ能ハサリシト隱抑 後日ハリスガ此ノ如キ冤罪ニ陥非リシ所以ヲ察スルニハリス曾テモルガノ等ヒ憤怒ニ乘シ拳ヲ上ケテ之ヲ打擲セシコトアリ是ヨリモルガノハ心中大ニ

ニハリスヲ怨ミ頻ニ其警ヲ報ヒント欲シ竊ガニ之ヲ心ニ記シテ時ノ到ルヲ待テリ然ルニ一々偶、旅客グレイノ投宿スルニ遇ヒ此ニ始メテ其意ヲ果スノ好機ヲ得乃チハリスヲ誣告シタルナリ然レモ雇女カ元來何等ノ故ヲ以テモルガノト板聯シテ俱ニ惡計ヲ運ラセシヤヲ尋ヌルニ此兩人ハ曾テヨリ相好通シ互ニ膠漆ノ交アリシヲ以テナリ蓋シ是ヨリ先キ雇女ハ一日偶然ハリスガ竊カニ庭内一樹下ノ土ヲ穿チ何物ヲカ此ニ埋藏スルヲ密覘シテ直チニモルガノニ通告スモルガノ之ヲ聽キ雇女ト俱ニ庭内ニ至リ樹下ヲ穿ツニ紙片ニ密封セル金貨五磅ヲ發見セリ兩人聲ヲ低フシ語テ曰ク今之ヲ偷ミ去ルハ甚タ容易ナレモ其額仍ホ些少ニシテ事ヲ爲スニ足ラス寧ロ今ヨリ以後埋藏ノ金額大ニ増加シ以テ一資産ト爲スニ足ルヲ俟チ始メテ之ヲ掠奪シ去ランニ如カスト飽マテ茲計ヲ逞フセシニ恰モグレイノ事有ルニ際シタレハ則チ此機失フ可カラスト思惟シ遂ニハリスヲ誣告シタリ然ルニハリスハ從來其身ニ於テ毫モ知ラサルノ冤枉ナレハ言ヲ盡シテ頻ニ之ヲ辨解シ且ツモルガノノ誣告ヲ憤フリ假誓ノ罪ヲ以テモルガノヲ告訴セント憤言セシカ雇女之ヲ洩漏シ頗ル其勢ニ辟易シ又心中其隱謀ノ發露センコトヲ恐レ如カス埋藏ノ金貨ハ之ヲ捨ルモ寧ロ情夫ヲシテ罪ニ陷非レシメザランニハト是ニ於テ斷然心ヲ決シ乃チ再ヒ僞計ヲ運ラシ自ラ證據人ト稱シテハリスガ掠奪セル金貨ノ所在ヲ示シ辛フシテ漸ク其情夫カ危急ヲ救ヒヨリ然レモ固ヨリ此ノ如キ浮薄ノ徒カ一時ノ情慾ニ由テ野合セルノ夫妻タルニ過キザレバハリス處刑ノ後チ未タ幾ナラサルニ其間忽チ風波ヲ生シ一日爭論ノ極互ニ往時ノ惡業ヲ指摘シテ相習ルニ方リ其聲外ニ洩レ之カ爲メ忽チ夫妻並ニ縛ニ就ケリ然レモ兩人未タ審判ヲ受ケザルニ牢獄ニ感染シ獄内ニ於テ遂ニ苦死ス其後チ又グレイガ實況ヲ探偵スルニ渠レハ生平二種ノ癩癩症ヲ患ヒ動モスレハ不時ニ之ヲ發スルコト有リシトゾ加之從來貧困ニシテ一生ノ中未タ曾テ一時五磅ノ金額スラ之ヲ懷ニセシ如キハ絶テ有ラスト聞ケリ要スルニ本獄ニ係ル情供證據ノ如キハ冤者ニ於テ知ラヌ覺ラヌ自ラ之ヲ誣告者ノ爲メニ備ヘシ者ト謂フ可シ

第四判例

噠馬國法庭ノ記録中情供證據ノ假造ヲ構ヘ巧ニ無辜ヲ法網ニ籠絡シテ遂ニ之ヲ冤杜ニ陷井レタ
 ル一獄事有リ蓋シ其伎倆ノ慧黠乖巧ニシテ頗ル人意ノ表ニ出テシヲ以テ噠馬及ヒ日耳曼兩國ノ學
 士ハ言ヲ盡シテ其レカ評論ヲ下シタリ即チ此冤認ヲ被フリシハソレン、グイストト稱スル宣教師
 ニシテ其獄ハ既ニ數十年前ニ在リト雖モ荷モ之ヲ一讀スル者ハ愴然感泣ノ情ニ堪ヘザラシムル
 ヲ以テ自ラ人口ニ險矣シ今仍ホ世人ノ追悼シテ止マサル所トナレリ
 回説ソレンハ噠馬國シアットランド半島ナルグレネエト名クル地ヲ距ル數里ノ所ニ在ル一村落
 ウエルビーノ宣教師ナリ性賦敦厚仁愛ニシテ然カモ能ク其職ニ從事シ敢テ怠フサルノ君子ナレト
 唯、惜ムラクハ天性過劇ニシテ動モスレハ忿恚ヲ發シ復タ一タヒ之ヲ發スル時ハ自ラ其宜シカラ
 ザルヲ知ルト雖モ之ヲ抑制スル能ハスシテ猥リニ人ヲ罵詈訾シ又其甚タシキニ至テハ之ヲ毆擲スル
 等大ニ生平ノ言行ニ齟齬シ之カ爲メ大ヒニ人徳ヲ傷フヲ妙シト爲サ、リシナリ要スルニ後年氏カ
 冤枉ノ爲メ遂ニ其終リヲ全フスル能ハザリシモ抑、亦之ニ根據スト謂フ可シ
 氏宣教師ヲ以テ其本務トナセドモ其業間ハ自ラ田園ヲ耕ヤシ其收穫ヲ以テ富マス貧セス今日ノ生
 計ヲ營メリ然レト不幸ニシテ夙トニ其妻ヲ失ヒ男女二人ノ子ヲ遺ス男ハ陸軍士官ノ職ヲ奉シ女ハ
 専ラ家事ヲ掌リ以テ一家ヲ成ス是ヲ以テ氏ハ他事ナク其餘生ヲ樂メリ
 爰ニ又其隣邨イングザオルストラツプニモルレン、バルンスナル牧畜者アリ性來強慾貪慾ニシテ
 荷モ利ノ爲メニハ事ノ正否臧惡ヲ顧ミス故ニ内頗ル貨賈ニ富ムト雖、在外學ツテ其賤劣ヲ惡マサル
 者無シ然ルニ曾テソレンノ女ニ懸戀セルヲ以テ一日嫁娶ノ意願ヲ通セシガソレン父子ハ從來モル
 テンノ賤劣ヲ厭忌セルヨリシテ斷然其意願ヲ謝絶セリ是ニ於テカモルレンハ隱然私恨ヲ抱キ是ヨ
 リ心ニ誓テ專ラ其怨ヲ報ヒント決セリ
 其後數日ヲ歷嫁娶ノ件モ全ク忘記ニ屬セシ頃ソレンハ其田畝ヲ耕ヤサシムル爲メ一人ノ雇夫ヲ
 索メシガモルレンノ弟ニニエルスバルンスト名ケ其兄トハ大ニ異ナリ極メテ貧窶ナル者有リ依テ

氏之ヲ雇ヒ耕耘ノ事ヲ托セリ然ルニニエルスハ其性頑愚ナルノミナラス頗ル懶惰ニシテ毫モ其業
 ヲ務メザルニヨリソレン常ニ之ヲ憂ヒ多方督責ヲ加フト雖、從來頑愚人ノ性トシ容易ニ之ニ從ハ
 ス却テ動モスレハ其極口論ヲ惹起シ主僕ノ間常ニ共和スルヲ見ヌ又氏自ラ手ヲ下シテ嚴ニ鞭撻ヲ
 加エシト有リト雖、更ニ其功ナシ斯クテ一日ソレン庭内ノ土ヲ培起セシメントテニエルスヲ呼ビ
 之ヲ命シ稍、暫ラク有リテ自ラ庭内ニ入ツテ見ルニ豈ニ計ランヤニエルスハ未タ其業ニ着手セザ
 ルノミナラス漠然トシテ鋤柄ニ凭リ手ニ菓實ヲ持チ頻ニ其硬殼ヲ去リ居タリ此ヲ以テソレンハ大
 ヒニ其怠慢ヲ憤フリ之ヲ責ム然ルニニエルスハ却テ之ニ捋言シテ曰ク園庭ヲ培起スル如キハ余カ
 職ニ非スト是ニ於テカソレンハ怒氣忽チ心願ニ發シ拳ヲ舉テ其面部ヲ毆ツニエルス固ヨリ白痴徒
 ナレハ鋤ヲ抛チ却テ其主ヲ罵詈訾ス之ヲ以テソレンハ怒氣愈、燃ユル如ク遂ニ前後ヲ忘レニエルス
 ノ抛チタル鋤ヲ操リ力ヲ極メテ之ヲ連毆セシカ渠レ忽チ地上ニ顛仆シ恰モ絶息セルカ如此時ソ
 レン始メテ其過劇ナルヲ覺リ愕然トシテ先ツ之ヲ扶起スルニ既ニ絶息セリト思ヘルニエルスハ突
 然起立セシマ、一言ナクシテ庭内ノ藩籬ヲ跳過シ側ノ林中ヘ奔入シ忽チ其踪跡ヲ失フ是ヨリソレ
 ンハ心中頗ル安カラサルヲ以テ多方之ヲ搜索スレ、更ニ其効ヲ見サリシトソレン蓋シ是レハソレン後
 日法庭ニ出テ審判ヲ受クルノ際親ヲ口供セル處ノ大綱ナリ
 ニエルス失踪ノ後未タ幾ナラスシテ四隣曉々流言シテ曰クモルラン、バルンスハ假令ヒソレンヲ
 シテ地ヲ穿チ土ヲ撥カシムルモ飽マデ其弟ニエルスノ踪跡ヲ搜索セシメスソレバ敢テ止マスト是ヲ
 以テソレンハ心中甚タ穩カナラス秘カニ人ヲ雇ヒ隱然搜索ニ盡力スト雖、更ニ其効ヲ見ヌ然ルニ
 此際既ニモルレンハラルセント名クル一賤夫及ヒ寡婦カーステンナル者ト其女エルストヲ證據人
 ト爲シ相伴フテ警官ニ至リ右三名ノ證據ニ由テソレンノ兇犯タルヲ疑フニ足レリト告訴シ頻ニ其
 寤鞠ヲ請求セリ警官ハ告罪ノ旨意固ヨリ容易ノ件ナラサルヲ以テ懇々モルレンニ諭スニ抑、此ノ
 如キ重罪ヲ訴フルニハ必ス其以前充分鈎索ノ道ヲ盡クシ荷モ輕舉ヲ以テ無辜ヲ陷井ルヲ有ル可カ
 フサル所以ヲ以テスト雖モモルレンハ悍然其證ノ確ヲ得タルヲ主張シ敢テ聽從セサルヲ以テ警官

亦止能ハス遂ニ證據人ノ口供ヲ糾問スルニ至レリ蓋シ寡婦カーステンノ供スル所ヲ聽クニエ
 ルスノ失踪シタル日ノ正午ト覺シキ頃其女エルスト俱ニソレンノ庭外ヲ過キントセシニ藩籬ノ内
 ヲ出シテエルスノ携フル菓實ヲ乞ヘリ女異議ナク諾シテ之ヲ與フ而シテニエルスニ質スルニ汝庭
 中ニ在テ何事カ爲スヤヲ以テセシニ其主ソレン園地ノ培起ヲ余ニ命セシカ毫モ意ニ違ハス故ニ今
 汝ニ菓實ヲ乞フテ口腹ヲ肥サント欲スルノミト答ヘリ此時恰モ庭内ニ於テ戸扉ヲ開クノ響有リテ
 ソレンノ來ルヲ報ス依テ二人互ニ相分レニエルス庭内ニ入ラントスルニ驚ミ戯ニエルスニ云テ曰
 ク牧師正ニ來レリ宜シク離外ニ在リテ其說法ヲ聽聞シ賜ヘト夫ヨリエルスハ母ト俱ニ離外ニ立テ
 私カニ庭内ヲ伺フニ忽チソレンニエルス爭鬪ヲ援起シ主僕互ニ罵詈スルノ喧聲ヲ聽ク之ヲ暫クシ
 テソレン又大喝シテ汝狗奴今余カ足下ニ於テ格殺セズンハ止ム可カラスト警ル聲ト俱ニ恰モ物ヲ
 打ツカ如キ響キヲ聞ク此時再ヒニエルスノ聲ニテソレンヲ惡漢獄卒ト罵詈セシガソレン別ニ又言
 フ加ヘスシテ唯劇シキ毆打ノ響ニ聲ヲ聞キ且ツ同時ニ藩籬ノ上ヲ越ヘ鐵頭ノ閃クヲ二回目撃セ
 リ然レモ藩籬甚々繁鬱シテ庭内ヲ覘フ可カラサルニヨリ其鐵ノ何人ノ掌中ニ在リシヤハ之ヲ知ル
 能ハス而シテ其後庭内寂然トシテ音有ラサレモカーステン母子ハ心中自ラ安カラサルカ如ク匆
 卒其所ヲ去リテ家途ニ就ケリト
 次ニラルセンカ陳告ヲ尋ヌルニニエルス失踪ノ日隣郡トルストラップニ至リシカ歸途深更ニ及ヒソ
 レンノ庭園ノ南面ニ沿フ所ノ一細路ヲ經過スルニ方リ庭内ニ於テ地ヲ培起スルノ響アリ此深更ニ
 及ヒ斯カル專有ルハ甚々奇怪ナリト思惟シ恰モ月夜ニシテ明光晝ヲ欺ク如クナレハ竊カニ其實況
 ヲ探ントテ先ツ木履ヲ脱シ藩籬ニ躡攀シ枝葉ヲ左右ニ披キ庭内ヲ窺視スルニ綠衣ヲ着シ白色ノ夜
 帽ヲ戴キ手ニ鍬ヲ取リ既ニ培起シタル地ヲ再ヒ平坦ナラシメントシテ頻ニ土ヲ鈎撫スル者ヲ見ル
 是レ即チ別人ナラスソレンナリ然ルニ此時藩籬ノ枝葉ヲ披クノ響ニ感セシカ忽チ手ヲ止メ遽然ト
 シテ四邊ヲ窺視セリラルセンソレンニ認視サレンヲ恐レ速ニ藩籬ヲ下タリ直チニ家ニ還ル是ヲ以

テ其他ノ事ハ之ヲ知ラサレモ親シク目撃セシ所即チ右ニ述ル如シト云ヘリ
 證據人右ノ陳告ヲ終リテ後チモルテンハ頻ニ警官ニ迫マリ速ニソレンヲ逮捕シテ其鞫鞫ニ着手セ
 ンコトヲ請ヘリ然レモ警官ハソレントハ營ト互ニ相知ルノ友タルカ故ニ卒然之ヲ縛シテ明ニ縛縛ノ
 辱ヲ被ラヌニ忍ヒス先ツモルテンニ諭スニ自他同伴フテソレンノ家ニ到リ親シク氏ニ接シテ其辨
 明ヲ需メンコトヲ以テセシカモルテン之ニ同意シ乃チ同伴ヒ其家ニ向テ發スソレン遙カニ來人ヲ見
 テ自ラ之ヲ邀フル爲メ戸ヲ出ツルニ臨ミモルテン忽チ之ヲ目シテ其前ニ赴ミ怫然トシテ其弟ヲ殺
 死セルノ罪ヲ鳴ラシ且ツ其死骸ヲ搜索スル爲メ警官ヲ誘ヒ來レリト言ヒ放テリ之ヲ聽テソレンハ
 心中其無禮ヲ憤フルト雖モ敢テ言フ加ヘス警官ニ向テ目禮ヲ終リ側ラニ圍集スル農夫數名ニモル
 テント俱ニ百方力ヲ盡シテ死骸ヲ搜索シ以テ其猜疑ヲ晴ラサシム可シト命セリ之ニ由テモルテン
 ハ農夫ヲ率ヒテ庭内ニ入り先ツ四邊ヲ熟視シ終ニ一所ヲ指示シテ之ヲ穿タシムルニ穿ツト未タ尺
 ニ滿タサルニ土中忽チ堅牢ニシテ全ク新埋ノ地タラサルヲ示ス此際ソレンハ端然タリシカ是ニ至
 テ愈モルテンノ愚ヲ嘲ケリ且ツ曰ク汝謀倭者果テ能ク何物ヲカ搜リ得シヤトモルテン之ニ答
 フルニ及ハスシテ證據人ラルセンニ向ヒ先夜藩籬ニ登リ親視セシ所ハ那レナルヤヲ質セシニラル
 センハ庭内別ニ野菜雜穀類ヲ以テ堆ヲ爲ス所ヲ示シテ曰ク此個ソ正シク先夜親視セシ處ナル可シ
 ト依テ堆ヲ壞シ直チニ其下ノ土ヲ撥カシムルニ忽チ土中ヨリ一帽子ノ頭ヲ現スモルテン之ヲ一目
 シテ是レ則チニエルスノ帽子ナリ其死骸モ必ス此中ニ在ラシカ極ハメテ尙ホ穿ツ可シト叫フ衆
 之ヲ聽キ皆ナ此ニ集リシカ其言誤ラヌ果テ一腕ヲ發見ス暫クシテ遂ニ又全体ヲ露ハヌ然ルニ全
 体殆ト腐敗シ容貌既ニ分明ナラサルノミナラス劇シク面部ヲ毆打サレシト覺シク口鼻兩眼俱ニ辨
 ス可カラヌ是ヲ以テ其衣服ヲ査スルニ農父學ナニエルスノ衣服タルヲ證シ且ツ其襯衣ヲ見ルニ
 エルスノ名ヲモ記シタリ其他左邊ノ耳朶ニ着ケタル鉛製ノ耳環ノ如キ盡ク臨場ノ農夫カ平生慣視
 セルモノト異ナラサレハ衆皆ナ此死体ヲ以テ全クニエルスニ外ナラズト確信スルニ至レリ
 勢ヒ此ノ如クナルヲ以テ最早警官モ牧師ヲ逮捕セシムハ非ラサルニ至レリ又ソレンハ固ヨリ其冤

タルヲ主張スト雖モ敢テ其逮捕ヲ拒ムノ色ナク從容トシテ自ヲ捕ニ就キ且ツ曰ヘテク抑、這般ノ
 情況タル恰モ余ヲ執ヘテ罪ニ陷井レントスル者ニ似タリ是レ果テ魔神ノ爲ス所ニナシハ非ラス
 然レモ尙ホ眞神ノ在ス有リ如カス一身ヲ以テ神意ノ邀フ所ニ任カセシニハ依テ速カニ獄ニ致セ余
 甘心樂從以テ天命ノ期スル處ヲ待タンノミト
 此日ノ夜ニ及ヒソソレンハ終ニグレチーノ獄ニ繫カレ其翌朝ヨリ法庭ニ於テ初回ノ訊鞠ヲ受ケタリ
 此時前出三名ノ證據人ハ前日ノ所述ヲ再ヒ供シ誓ヲ立テ其僞ナキヲ證セリ然ルニ恰モ又此際ニ臨
 三更ニ又三名ノ證據人生庭ニ來リ各々告白スル所アリト訴テ蓋シ其内二人ハソソレンノ雇使スル農
 夫ニシテ一人ハ其下婢ナリ先ツ二夫ノ供スル所ヲ記スルニニエルス失踪ノ日俱ニ其室内ニ在リシ
 カ窓外ニ於テソソレンニエルス爭論スルノ聲ヲ洩聞シ又ソソレンカ再三再四ニエルスニ向ヒ汝狗奴今
 余カ足下ニ於テ格殺セヌハ止マスト罵レルヲ洩聞セリト言フ之ニ續キ下婢ノ陳フル所ヲ聽クニ
 以前ノ證據人ヲレセンカ庭内ニ於テソソレンヲ認メシト言ヘル夜既ニ床上ニ在リシカ未タ睡ニ就カ
 サルニ家内忽チ寔然ノ響アリ須臾ニシテ又庭内へ出ル所ノ戸扉開聲ヲ發ス依テ其何タルヲ探知ス
 ル爲メ寢室ヲ出テ竊カニ之ヲ視フニ其主ソソレン綠衣ヲ着ケ白帽ヲ戴キ庭内ニ出テソソレンハ尙
 ホ之ヲ怪ムニ至ラスシテ再ヒ寢室ニ入ル是ヲ以テソソレンハ庭園ニ出テ果テ何事ヲ爲セシカ之ヲ知
 ラサレモ夫ヨリ凡ソ一時間ヲ過キ後チ再ヒ戸扉ノ開聲ヲ聞ケリト云フ
 以上六名ノ證據人各々其口供ヲ終リシヲ以テ法官又ソソレンニ向テ其答辨ヲ促カセシニソソレンハ從
 容トシテ曰ク余誓テ實ヲ告ケン前日庭内ニ於テ漫ニ一時ノ憤怒ニ乘シ鐵ヲ揮ヒニエルスヲ毆打セ
 シハ余甘心シテ首服スル所ナレモ其時ニエルスハ尙ホ庭内ヨリ奔出スルヲ得タルハ余カ親シク目
 撃セシ所ナリ然レモ爾後毫モ其踪跡ヲ知ルニ策ナキヲ以テ渠レ果シテ之カ爲メニ死ヲ致セシヤ否
 ハ之ヲ知ル能ハサルノミナラス又奈何シテカ其死体ヲ余カ庭内ニ埋メシヤ余ニ於テ愈々覺ヘサル
 所ナリ是ニ依テ見レハ彼ノラレセン及ヒ下婢ノ供スル所ハ固ト純然タル証告ニ非ラスハ抑亦
 穩然タル欺騙タラスシハ非サルナリ然ルニ今夫レ此ノ如ク言ヲ盡スモ固ヨリ單身ニシテ敢テ一人

ノ余ヲ辨護シテ其冤ヲ雪ク者ナキハ實ニ慨嘆ニ堪ヘサルナリ若シ今ニシテ天帝其怒ヲ垂レヌハ
 特リ生命ヲ以テ無量不可思議ノ神意ニ之レ任センノミ噫
 此後チ數日ヲ歷再度ノ審鞠ヲ行ハントスルニ臨ミ更ニ又二名ノ證據人法庭ニ來リ告白シテ曰ク余
 等二人ニエルス失踪ノ夜ソソレンノ庭園ヨリ傍ヲノ樹林ニ通スル細路ヲ行過スルニ大ナル布囊ヲ背
 上ニ負ヘル男子一人突然トシテ林中ヨリ奔出シ余等ノ前ヲ過キ直チニ庭園ノ方ニ向ツテ去レリ此
 時余等ハ眼ヲ定メテ其顔ヲ認メント爲セシカ布囊ノ爲メニ遮キラレテ之ヲ認定スル能ハサリシト
 雖モ皎々タル月光其背上ニ反照スルヲ以テ其人ノ綠衣ヲ着ケ白帽ヲ戴キタルハ正シク之ヲ認メタ
 リ而シテ此人既ニ庭園ノ前ニ達セシキ忽チ其跡ヲ失ヘリトソソレンハ法庭ニ在テ一々右ノ口供ヲ傍
 聽セシガ其結了ニ至ルヤ墮焉トシテ顔色忽チ變シ叫喚一聲殆ント絶倒セントス滿庭ノ人ノ目シ
 テ大ニ駭然タリ漸クシテ獄裏ニ運搬シ暫時休養セシメントセシカ頗爾愈劇ヲ加フ頃刻ニシテ稍
 快方ニ赴クニ及ヒ當初氏ヲ逮捕セル警官ニ向ヒ此ニ始メテ奇異ヲ極メタル白狀ヲ行ヘリ今其所述
 ヲ聞クニ曰ク余性賦過劇ニシテ幼時ヨリ今日ニ至ルマテ輒ク怒ヲ移シ動モスレハ人ト爭鬪ヲ援起
 スルモ自ラ之ヲ抑制スル能ハサルノ惡癖有リ然リト雖モ未タ敢テ良心ニ許サ、ルノ所業ヲ爲シ或
 ハ怨ヲ人ニ含ム如キ等ノ事ハ毫モ之レ無シ唯、一生ノ間荷モ心ニ背キタル所ノモノハ余未タ少壯
 ナリシ時一日家犬余カ卓上ノ食物ヲ喰フヲ見忽チ怒ヲ發シテ之ヲ毆殺セシト余又往年書生タリシ
 日外國ニ遊歴シレヒシ一府ニ於テ日耳曼ノ一壯士ト爭論ノ末終ニ挑戰ニ及ヒ渠レニ重傷ヲ負ハセ
 シトノ二件是ナリ願フニ今日ニ及ヒ斯カル繫獄ノ厄ヲ招キシモ畢竟義ニ人命ヲ危フセシノ冥罰ナ
 ル可シ思フテ此ニ至レハ坐ロニ懺悔ノ心ニ堪ヘサラントス況ヤ苟モ牧師ノ任ヲ擔フ老年ノ身ニ在
 テハ其罪業ヲ感スルノ衷情愈々亦大ナルニ於テオヤト言ヒ訖ツテ慘然タリ之ヲ暫ラクシテ復タ口
 ヲ開キ言ヘテ余今所告ノ罪ヲ首セントス蓋シ此罪タル余ニ於テハ毫モ之ヲ知覺セサレト其余カ
 所犯ニ出テシヤ更ニ疑ナシ抑、往日庭内ニ於テニエルス爭論ノ末怒ヲ發シ鐵頭ヲ以テ渠レヲ捶
 テシハ前ニ首セシ如ク余全ク之ヲ記ス然ルニ此時既ニ怒氣天ヲ衝クカ如クナルヲ以テ鐵頭ノ平面

或ハ側面ヲ以テ推テシヤハ之ヲ知ラスト雖モ之レカ爲メニエルスハ忽チ地上ニ顛仆ス余之ヲ見
 愕然トシテ之ヲ扶起セントセシニ渠レ亦自ラ踢起シテ庭内ヲ奔出ス是レ余カ親シク目撃セシ所ニ
 シテ今仍ホ能ク記セリ其後ノ事ニ至テハ余固ヨリ知覺セス然リト雖モ是ニ至テ既ニ四名ノ證據人
 有リ其供スル所ヲ聽クニ畢ク際ナ余カ夜ヲ冒シテニエルスノ死骸ヲ林中ヨリ運搬シテ庭内ニ埋メ
 シヲ目撃スト言フヲ以テ見レハ余亦其口供ノ真誠ナルヲ知ル蓋シ余ニ於テ勢ヒ之ヲ信セスハ非
 サルノ理有リテ存ス是レ他ナシ余性來庭中行歩スルノ病有リ而シテ今日ニ至ルマテ自ラ記スル所
 ノ者ノ凡三四回アリ其中今ヲ去ル既ニ九年一日隣人某不測ノ害ニ遭フテ横死セシカ余葬儀ノ祭司
 タルヲ以テ前夜其祭文ヲ綴ラントシテ筆ヲ操ルニ臨ミ偶然希臘ノ古哲某カ一人ノ幸福ハ墳墓ニ入
 ルノ後ニ非スハ之ヲ評ス可ラストノ金言ヲ憶起ス依テ此語ヲ祭文中ニ引用セシト欲セシカ其
 身耶穌教ノ徒ニ在リナカラ希臘古哲ノ語ヲ其祭文中ニ引用スルハ頗ル穩當ナラスト雖モ思シ「アポ
 クリハア」種ナリニ於テ恰モ右ノ語ト其意ヲ同フシ其文ヲ異ニスル一行ノ文アルヲ回想セシ
 カハ直チニ此書ヲ採テ搜スト雖モ終ニ之ヲ得ス然ルニ夜既ニ深更ニ及ヒ身心自ラ倦ミ且ツ睡
 眠ヲ催フセルヲ以テ未タ其搜索ヲ果サスシテ直チニ房中ニ入テ臥ス翌朝夙ニ起キ机ニ向ハントス
 ルニ奇ナル哉机上一片ノ紙箋三人ノ幸福ハ死後始メテ之ヲ評ス可シ「アポクリハア」シラクノ篇第
 十一章二十四節ノ語ヲ自筆ニテ大書セルノミナラス又葬儀ノ祭文モ既ニ稿ヲ脱シ其文長カラサレ
 トモ然カモ簡明ニシテ別ニ刪正ヲ要スル所ナシ此ニ至テ愈々奇異ヲ覺 先ツ室内四邊ヲ熟視スルニ
 別ニ他ヨリ人ノ入ル可キ所ナシ依テ右祭文ノ全ク余カ手ニ成リシヲ始メテ知ル是レ余カ睡歩ノ一
 ナリ又今ヨリ凡ソ半年前一日近傍ノ禮拜堂ニ至リ之ヲ去ルハ誤テ堂内卓机ノ後邊ニ手巾ヲ遺セシ
 カ夜院再ヒ此ニ來テ手巾ヲ携ヘ歸リ翌朝始メテ睡歩中ノ行作タルヲ知レリ是レ其ニナリ然ルニ前
 ニ二名ノ證據人カ前夜余カ緑衣ヲ服シ白帽ヲ戴キ死骸ヲ運搬セシヲ目撃スト供スルヲ聽クニ於テ
 ヤ心中忽チ睡歩病ノ事ヲ憶起シ來リ又彼此相能ク吻合スルノ跡有ルヲ以テ神心之カ爲メ刺衝サレ
 覺ヘス昏倒セント爲セリ是レ他ナシ即チ二證據人カ記セシ夜ノ翌朝自覺メタレハ先ツ衣服ヲ着ケ

ントシテ臥床ノ側ニ有ル椅子ヲ見ルニ衣服無シ依テ尙ホ四邊ヲ見ルニ牀上ニ散布ス余毎夜睡ニ就
 グキハ衣服ヲ脱シテ之ヲ臥床ノ側ニ在ル椅子ニ掛クルヲ常トセシカ此日ニ限リ牀上ニ散布セシハ
 其タ奇異ナリト思ヒシカ今證據人ノ供スル所果シテ能ク其何タルヲ示ス是ニ由テ推考スルニエ
 ルスハ余カ爲メニ毆打サレ林中ニ奔入シテ遂ニ苦死シ余亦夜陰林中ニ睡歩シテ其死骸ヲ運搬シ庭
 中ヘ埋没セルニ外ナラス其罪固ヨリ道レ可カラサルナリ然レモ思ハサリキ此ノ如ク罪ヲ瞑々不識
 ノ中ニ犯サントハ是レ果シテ何等ノ不幸ゾヨ希クハ天帝幸ニ慈愛ヲ垂レヨト是レ則チ宣教師クイ
 ストガ首罪ノ全狀ナリ
 右ノ首罪ニ因リ法官ハ其次日遂ニ死刑ヲ以テソレンニ宣告セリ然ルニ氏カ知己親友ハ之ヲ傳聞シ
 皆チ其刑ノ過酷ヲ憤リ協心同力シテ氏ヲ獄裏ヨリ救ヒ出サントシ既ニ氏ヲ看守スル獄吏モ此義舉
 ニ與ミシ又其他漁父某ノ如キ氏ヲ救出セシ後チ海上ヨリシテ瑞典ノ地ニ奔リ其生命ヲ全フセシメ
 ントテ竊カニ一小艇ヲ備ヘ以テ頻ニ脱艦ヲ氏ニ慫慂スト雖モ氏ハ固ヨリ正直無二ノ人タルヲ以テ
 諸友性情ノ厚キハ一之ヲ謝セシカ終ニ之ニ從ハス且ツ此輩ニ向ヒ其赤心ヲ吐露シテ抑々死ハ余
 ニ於テ固ヨリ渴仰スル所ナリ然ルニ一旦諸友ノ援ヲ以テ獄裏ヲ脱シ幸ニ身ヲ全フスルヲ得ルモ之
 カ爲メ却テ餘生ヲ貪ホルノ汚名ヲ被ムルニ忍ヒスト斷言シ其志操ノ潔白ナル得テ勳カス可カラサ
 ル者有リ然リ而シテ將ニ刑ニ就クノ日ニ及ヒタルハ從容トシテ刑場ニ臨ミ曾テ獄中ニ在テ其文ヲ
 稿セル怒説ト題セル一編ヲ以テ刑場ノ四方ニ蠅集セル傍觀人ニ演述シ專ラ憤怒ノ抑制セシハ有
 ル可カラサル所以ヲ論シ遂ニ氏カ其爲メニ大罪ヲ犯シ爲メニ一身ヲ誤マルニ至リシヲ以テ其引證
 トシ以テ全論ノ局ヲ結了セシカ頗ル聽衆ヲ感動セシメタリ是ヨリ氏ハ徐々トシテ其外衣ヲ脱シ手
 ツカラ手巾ヲ以テ雙眼ヲ蔽ヒ默然顚ヲ延ヘ遂ニ晃々タル白刃ノ下ニ其首領ヲ授ケタリソレン處刑
 ノ後チ二十一年ヲ過キモルテンバルンスモ既ニ世ヲ去リシニ一日ヴエルビーノ隣邸エールンニ
 跛脚老衰ノ一乞丐漂泊シ來リ邸人ノ救恤ヲ乞フ者有リ然ルニ其容貌ノ頗ルモルテンニ似タルノミ
 ミナラス邸人ニ向テ頻ニ往時ノ事ヲ質スルニヨリ衆皆チ之ヲ怪ミシガ其中エールンノ宣教師某

ハ往年モルテン死去ノ際其吊祭ヲ司レルヲ以テ密カニ彼ノ乞丐ヲ邸中ニ招キ入レ其何人タルヤヲ質セシニ是ヲ果シテ眞ノニエルスバルンスニシテ即チ往年之カ爲メニツレンカ刑戮ニ就キ者ナリ然レモニエルスハ失踪後郷里ノ實況ヲ知ラサルヲ以テ宣教師ノ問フニ任セ輕々其名ヲ告ケタリ惟フニ此時モルテン尙ホ世ニ在ラハ渠レノ隱惡ハ到底之ヲ發露スルノ機アラサリシモ頃日ニエルスハ他邦ニ在テ其兄モルテンノ死ヲ傳聞シ此際郷里ニ歸ラハ必ス其遺產ニ依テ多少利スル所有ル可シト思惟シ遠路ヲ厭ハス遙ニ此地ニ來リ一度ツレンカ獄事ヲ聽クニ於テ駭然色ヲ失ヒ先ツ言フ處ヲ知ラサリシカ漸クシテツレンカ獄ハ全ク冤枉ニ出テ然カモ此冤枉ノ造意者ハ全クモルテンナリシト述ヘタリ然レモニエルスハ其事ノ極メテ極惡ニシテ又意外ナルニ戰慄シ暫時ハ呆然トシテ訊問ノ諸件ヲ答フル能ハサリシモ漸クシテモルテンカ隱謀ヲ逐次告白セリ今其顛末ヲ尋ヌルニ抑當初モルテンカツレンノ女ヲ懇望セシキ父子俱ニ拒絶シテ其望ニ應セサリシカ之レヨリモルテンハ大ニ私恨ヲ挾ミ爾來心ヲ凝ラシテ此宿怨ヲ報セント企テシカ恰モツレンノ雇夫ヲ要スルノ機ニ遭ヒ忽チ奸計ヲ案出シ乃チ其弟ニエルスヲ德憑シ強テツレンノ雇役ニ應セシメ又隱然ニエルスヲ挑唆シテツレンカ急性ニ乘シ故サヲニ爭擾ヲ援起セシメント謀リシニ其策恰モ正中シテ未タ幾日ナラサルニ主僕ノ間頗ル和セス常ニ爭鬪ヲ生セリ然ルニニエルスハ曾テモルテンノ命ヲ受ケ毎事毎件務メテ之ヲ渠レニ通セシカ夫ノ庭内ニ於テ劇シキ爭鬪ヲ援起シツレンノ爲メ鐵頭ヲ以テ毆打サレ遂ニ庭内ヨリ奔出セシ時ニ於ケルモ直チニインゼルストラップニ至リ其實狀ヲ通知セリモルテン耳ヲ欬テ之ヲ聽キシカ忽チニエルスヲ一室内ニ閉居セシメ以テ外人ノ耳目ヲ禁シタリ而シテ其夜深更ニ及ヒ四隣合璧眠ニ就クヲ待チモルテンハ弟ヲ伴ヒ密カニ家ヲ出テ行クニ數丁ニシテ道路十字ヲ爲ス所ニ達ス蓋シ此所ハ是ヨリ二日前年齡体格恰モニエルスニ同シキ一壯年者ノ死骸ヲ埋葬セシ地ナリモルテンハ固ヨリ心ニ期セシ事ナレハニエルスノ留ムルヲモ願ヒス其死骸ヲ撥シテ直チニ之ヲ家ニ運搬シ先ツニエルスニ命シテ死骸ノ衣服ヲ脱サシメ而シテ又ニエルスノ衣服并ニ其耳環等ヲ取テ盡ク之ヲ死骸ニ着ケ又鐵頭ヲ以テ再三其面部ヲ毆打シ其姿色ヲシテ全ク何人

ナルヤヲ辨シ難カラシメ然レ後チ之ヲ布囊ニ盛リ翌日ノ夜ヲ待テツレンカ庭園ノ側ニ在ル林中ニ致セリ此時ニ及ヒニエルスハモルテンノ所爲甚ダ奇異ナルヲ以テ其何故タルヲ質セシニモルテン口角ヲ尖ラシ是レ汝ノ知ル所ニ非ラス只余カ命ニ從ヘハ足ラムノミト放言シ又死骸ヲツレンノ庭中ニ埋没セントスルノ夜再ヒニエルスニ命シテ密カニツレンノ家ニ忍ヒ其綠衣白帽ヲ偷ミ來ラシメントセシカニエルス之ヲ否ミシヲ以テモルテン自ラ至テ之ヲ携ヘ來ル此時ニ及ヒモルテン始メテ容ヲ改メニエルスニ告ケテ曰ク汝ヲ用此ニ至テ既ニ足ル依テ今日ヨリ以後速カニ此地ヲ去リ其姓名ヲ更メテ毫モ汝ヲ知ル者無キノ地ニ至リ再ヒ驢馬國ノ地ヲ踏ム可カラズ乃チ今百金ヲ以テ汝ニ與フ可シ宜シク之ヲ以テ其資トナス可シ若シ此言ニ背クニ於テハ汝カ生命モ亦必ス安全ナラサル可シト是ニ由テニエルスハ勢ヒ止ムヲ得ス唯命之レ從ヒ直チニモルテンニ別離ヲ告ケ其地ヲ去レリ然ルニ其後外國ニ在テ兵籍ニ編入シ或ル時戰場ニ於テ一脚ヲ失ヒ終ニ廢人ト爲リ乞丐ト變シ再ヒ故郷ニ漂泊シ此ニ始テモルテンノ隱謀ヲ知レルナリト

第五判例

英國ヨリ州ニ酒店ヲ開設シテ生業ヲ營ムミツセス、ウキルヤムスナル一婦人有リ從來老實ヲ旨トシ恂々其業ニ意ヲ注クノ厚キヲ以テ大ヒニ衆客ノ愛顧ヲ被フリ頗ル繁榮ヲ極メタリシカ此婦人ニ事フル家僮ニトマス、ケッドレイナル者有リ然ルニ一朝何人カ婦人ノ秘藏スル金函ヲ擊碎シテ中ヨリ若干ノ金圓ヲ奪掠セル者有リ然レモ甚タ怪ム可キハ此日ノ朝ヨリシテトマス、ケッドレイハ偶然失踪セリ是ヲ以テ人皆十渠レヲ賊ト推定シ敢テ亦他人ヲ疑フニ及ハサリキ是ヨリ凡ソ一年ヲ過キシ後チシエームス、クラウト稱スル一賤夫ノヨリ州ニ漂泊シ來リ挑夫ト爲テ生計ヲ營メル者有リ此地ニ在ルコ未タ數日ヲ出テサルニ其容貌ノ恰モ能クケッドレイニ似タルヲ以テ忽チ前年ノ賊ト誤認サレ衆人モ亦渠レヲ呼フニトマス、ケッドレイノ名ヲ以テスト雖モ元來渠レハ始メテヨリ州ニ來レルモノニテ固ヨリ此地ニ知音ノ人有ラサレハ頻ニ其所以ヲ辨解シ且ツ其姓名ノシエ

一ムス、クヲウニシテ是ヨリ以前未タ管テヨーク州ニ來リシテ有ラスト陳シタリ然レモ之ヲ聽ク者ハ個ハ是レ前年ノ罪跡ヲ蔽ハントスルノ口實ニ過キスト爲シ更ニ其言ヲ所ヲ信セサルノミナラス愈亦渠レヲ疑フニ及ヘリ其後テ州人渠レノ果シテゲッドレイナルヤヲ確知セント欲シ先ツ數名ノ人買ヲ集メ而シテ渠レヲ其中ニ交ヘ試ニ婦人ウヰルヤムスヲ呼ビ之ヲ示スニ婦人ハ忽チ渠レヲ團集ノ中ヨリ認メ其名ヲ指呼シ憚然トシテ前年ノ罪惡ヲ實メ大ヒニ其不義ヲ罵レリ是ニ於テ州人ハ直チニ渠レヲ執ヘテ警官ノ面前ニ拘引シ鞠問ヲ加フルニ渠レ亦口角反唇以テ其身ノゲッドレイニ非ラサルト又ゲッドレイナル者ハ渠レ曾テ其何人ナルヤヲモ知ラス且ツ其以前未タ一回モヨーク州ニ來リシト無キ所以トヲ辨スレモ單身ニシテ別ニ其誣問ヲ辨解スル者ノ無キヲ以テ到底其陳述スル所ハ毫モ人ヲシテ信セシムルニ足ラサルノミナラス却テ其生平頗ル放蕩無賴ノ行跡有ルヲトモ併セテ冒認サルハニ及ヘリ加之婦人以下ノ者ハ擧テ渠レヲ目シテゲットレイニ違ハサル所以ヲ誓言シタルニヨリ警官ハ遂ニ渠レヲヨーク州ノ牢獄ニ繋留シテ次ノ裁判期ヲ俟ツニ及ヘリ是ヨリ數日ヲ過キ始メテ其審判ニ着手セシキモクラウハ前日ノ如ク頻ニ其冤ヲ鳴ラシ斷然其身ノゲッドレイニ非サルヲ揮言スト雖モ婦人并ニ其他ノ證據人數名ハ依然渠レヲ以テ本犯トマシ、ゲッドレイト冒認シ然カモ當時又ゲッドレイト供ニ婦人ニ事ヘシ小婢ノ如キハゲッドレイ失踪ノ朝渠レカ掌中ニ一火杖ヲ握リ金函ヲ納置スル室内ニ佇立セシヲ目撃セシヲ供セリ之ニ反シ囚徒ハ只管其罪ヲ犯サスト陳スルノ外別ニ告罪人及ヒ證據人ノ證ヲ破毀スルニ足ルノ辨解ヲ爲ス能ハサルヲ以テ遂ニ其罪ニ陥リ日ナラスシテ死刑ニ處セラレタリ然レモ其死ニ就クニ及ヒテモ飽マテ冤ヲ鳴ラシ且ツ其身ノトマス、ゲッドレイニ非ラスシテ其姓名ノシエームスクラウナルヲ陳セシトシ其後未タ幾ナラスシテ忽チ囚徒ノ辨解ノ果シテ偽ナラス乃チ其冤枉タルヲ證明スルノ機會ヲ得タリ然レモ本ハ既ニ處刑ノ後ナレハ亦之ヲ奈何ス可カラズ今其顛末ヲ記スルニ真正ノトマス、ゲッドレイハ先年ヨーク州ニ於テ婦人ノ貯金ヲ奪掠シ直チニ愛耳蘭土ニ逃亡シ一時爰ニ潜伏セシカ爾來惡心仍ホ去ラス或ル時此地ニ於テ再ヒ同様ノ罪ヲ犯セリ然ルニ此際ハ其罪忽チ發覺シダブリシ府

ニ於テ逮捕サレ審判ノ末遂ニ死ニ處セラレタリ而シテ斷罪ノ後チ未ダ其刑ニ就カサル片髪ニトマス、ゲッドレイト稱シヨーク州ニ於テ偷盜ノ罪ヲ犯セシヲ自首シ又刑場ニ臨ミシキモ傍觀人ニ向テ之ヲ告ケタリ然ルニ恰モ此時傍觀人ノ中ニゲッドレイ曾テヨーク州ニ在テミツセス、ウヰルヤムスニ事ヘシ日能ク渠レヲ知リタルヨーク州人一名有リシカ親シク此現況ヲ目撃シ其後チヨーク州ニ歸リ此事ヲ傳ヘタルヲ以テ爰ニ始メテクラウノ冤枉ヲ發見セシトシ今此人ノ言ニ據レハクラウ及ヒゲッドレイ兩人ガ容貌ノ相似タルヤ實ニ著ルシク若シ此兩人ヲ一所ニ竝立セシムルニ非サルヨリハ何人ト雖モ亦之ヲ識別スルコト殆ント難カル可シト

第六判例

容貌ノ兇犯ト能ク相似タルヲ以テ一朝不慮ノ冤罪ニ陥リ遂ニ其命ヲ空フシタルモノ古來其例尠カラスト雖モ荷モ後人ヲシテ最モ嗟嘆ノ情ニ堪エサラシムルハ抑、此判例ニ過クル者有ラサル可シ今其始末ヲ尋ヌルニ佛國巴倫府ノ近郊ドアイト稱スル一村落ニ住スルシヨセフ、ルサルクナル者有リ其齡三旬有三每歲凡ソ六百磅ノ金額ヲ収ムルノ資産ヲ有セシカ家ヲ巴倫府ニ移シ永ク此地ニ在住セント欲シテ千七百九十六年四月郷地ヲ出テ巴倫ニ來リ邸宅等ヲ貸借シ專ラ其準備ヲ爲セリ又是ヨリ先キドアイノ人ニマテグエスノト名クル者ヨリ二千フランクノ債ヲ負ヒシヲ以テ先ツ其全額ヲ償却セリ其翌朝グエスノハルサルクヲ鑿應セントシテ外ニ二名ノ朋友ヲ伴ヒルサルクヲ訪ヒ乃チ相誘フテ酒食店ニ至レリ但シ右二名ノ内クウリヲルト稱スル者ハ恰モグエスノハルサルクヲ誘ヒ家ヲ出ツルニ臨ミ此ニ來レルヲ以テ偶然之ニ加ハリシナリ飲食ヲ了リシ後チ四名ハ此店ヲ出テ更ニ又相伴フテパレイ、ロイヤルニ至リ珊瑚球ヲ喫了シ夫ヨリ互ニ別ヲ告ケ四方ニ散ス回説其後チ四日ヲ過キ四人ノ男子永キ外套ヲ裝ヒ腰間ニ長劍ヲ佩ヒ借馬ニ跨リ巴倫ヨリ市外ヘ馳スルヲ見シ者有リ蓋シ一人ハ正シク右ノクウリヲルナリト而シテ右四人ノ者ハ其日ノ十二時ヨリ一時ノ間ニ於テメラムノ街道ナルモンゲロン村ニ達シ同所ニ於テ午飯ヲ喫セシ後チ更ニリウ

ルセイント村ニ向ヒ徐行シ午後二時頃同所ニ到着シ其地ノ一客寓ニ投ス此ニ在テ四人ハ打波戲ヲ演スルヲ數刻ノ後再ヒ馬ニ跨リ同所ヲ出テメヲムニ向テ發ス時ニ午後七時半ナリ此時ヨリ凡ソ一時間ヲ過キタル後チ巴倫ヨリリヲンニ至ルノ傳驛者此地ニ達シ其馬ヲ換ヘテ忽チ又リアルトノ林中ニ向テ發ス蓋シ當時傳驛ニ用フル車ハ今時用フル所ノ郵便馬車ニ類シテ車中ノ後部ニ大ナル一皮積ヲ裝置シ此内ニ傳驛物ヲ納メタリ又車中乘客ノ席ヲ設ケ傳驛者ノ坐ヲ占ムル傍ヨリ之ニ昇降セシム而シテ此日車中一人ノ乘客有リ年齡凡ソ二十歳許ノ男子ナリ但シ此乘客ハ此日ノ朝ラホルドト稱シ乘車セシ者ナリト

然ルニ其翌朝傳驛者ヲ殺シテ傳驛物ヲ劫奪セシ者有リト見ヘ傳驛者ハ數所ノ重傷ヲ負ヒ車中ニ死シ又其車夫ハ路上ニ斃レテ死ス同シク數所ノ重傷ヲ負ヘリ乃チ兩人ノ傷ヲ見ルニ孰レモ刀劔ヲ以テ負ハセシ者ナリ而シテ車傍ニハ其車ニ用ヒシ馬ノミアリテ車夫ノ乘リタル馬ヲ見ス又傳驛物中銀貨銀行券ヲ併セテ七萬五千「リール」ノ巨額ヲ失フ是ヲ以テ警官ハ直チニ八方ヘ人ヲ派遣シテ兇手ノ踪跡ヲ探偵スルニ其日ノ朝四時ヨリ五時ノ間ニ於テ五人ノ男子近傍ノ堤上ヲ過キ巴倫ニ向テ去ル者有ルヲ發見セリ又車夫ノ馬ハブレイン、ロイヤルノ近傍ニ浪遊スルヲ搜出ス其他傳驛者遭難ノ前日巴倫ルーデフヲセ街ニ住スルマイロンノ家ヘ男子二人來リ四頭ノ馬ヲ借り翌朝五時頃再ヒ右四頭ヲ牽キ同人ニ還付セシ者有リトノ報ヲ得タリ但シ此時四頭ノ馬ハ渾身汗ニ濡レ頗ル倦勞ノ狀有リシト又右二人ハ一「リール」ト云ヒ一「クウリ」ト稱セシト此ニ由テ警官ハ直チニ二人ヲ逮捕セントスルニベルナルドハ輒ク捕ニ就キシモクウリハ頓ニ之ヲ察シテ潛逃セリ是ヨリ警官ハ他ノ四名ノ年貌書ヲ得テ百方其踪跡ヲ探偵セシニ漸クニシテシアトウ、チエリイニ於テクウリヲ捕ス而シテ此際渠レト俱ニ同所ニアリシグエスノ一前「ブルール」ノ兩人ヲモ併セテ捕縛セリト然レモ此二人ハ犯罪ノ當日其犯所ニアラザリシノ證ヲ明示セシヲ以テ巴倫ヘ拘引ノ後直チニ放免サレタリ

警官ハグエスノ一及ヒブルールニ放免スルニ鑑ミグエスノ一ニ前日兇徒逮捕ノ時シアトウ、チエ

リイヨリ搜出シテ携帶セシ書類ヲ回収スル爲メ其翌日仍ホ再ヒ出廳スヘシト告ケ又同時警吏ニモンゲロン及ヒリザルセイントニ至リ曩ニ兇徒ノ年貌書ヲ與ヘシ證據人ノ拘引ヲ命セリ然ルニグエスルノ途上偶然サルツニ邂逅セシヲ以テ其故ヲ告ケ相伴フテ官廳ニ至レリ此時警官ドゥベントンハ未タ出廳セサルニヨリ兩人ハ別室ニ入テ其出廳ヲ俟テリ既ニシテ二時ニ垂タルキ漸ク出廳ス然ルニ前日證據人拘引ノ爲メ派遣サレシ警吏モ同時之ヲ拘引シテ俱ニ此ニ會セシカ其證據人ノ中二名ハ別室ニ坐スルグエスノ一及ヒルサルツノ兩人ヲ見何ソ計ラン個ハ正シク現犯兇手ノ二人ナリト密告セシヲ以テ警吏ハ直チニ其事ヲモドゥベントンニ告ケタリ然ルニドゥベントンハ大ニ之ヲ疑ヒ兇手自ラ此ニ來テ故サラニ危儉ヲ冒ス如キノ理アラスト爲シ未タ其言ヲ信セサリシガ先ツ試ニ右二名ノ證據人ヲ面前ニ召喚シテ各別ニ審問シ其供スル所ヲ聽クニ果シテ警吏ノ告ケル如キノミナラス證據人ハ確然二人ヲ以テ兇手ナリト固言セリ是ニ於テドゥベントンハ容ヲ改メ更ニ證據人ニ向ヒ然ラハ渠レ等二人ノ生死ハ全ク汝カ所告ノ眞偽如何ニ在ルヲ以テ苟モ輕擧ニ失シ後日ニ至リ臍ヲ噬ムカ如キノ有ル可カラスト言ヒ仍ホ其確ヲ得ル爲メ直チニ別室ノ二人ヲ各別ニ召喚シ證據人ノ目前ニ於テ親シク渠レト面晤セシ上又別室ニ還ラシメ然ル後チ再ヒ證據人ニ向ヒ尙ホ二人ヲ以テ兇手ト認定スルヤ否ヲ質セシニ其答依然前ノ如クナルヲ以テ乃チ其口供ヲ筆記セシメ終ニ二人ヲ面縛セリ夫ヨリ日ナラスシテ審判ニ着手スルニ及ヒシカ凡ソ此獄事ニ關係ヲ有スル者總テ七名有リ其中四名ハクウリヲルマデリン、クウリヲル、雇主及ヒグエスノ一、サルクノ二人ナリ然リ而シテルサルクハ數名ノ證據人皆ナ之ヲ目シテ犯罪ノ當日路上ニ出沒セシ兇徒ノ一人ナリト告ケ乃チ其一人ノ如キハ同日兇徒カモンゲロンニ於テ飲食セシキ其席ニ陪侍セシカ食後個漢ルサルクヲ指示スル銀行券ヲ出シテ其費ヲ辨セント爲セシニ高軀黑色ノ漢クウリヲルヲ指示スル之ヲ遮キリ自ラ銀貨ヲ出シテ之ヲ辨セリト供ス又モンゲロンノ廐舎ニ住スル一小僮ハルサルクヲ以テ前日見シ所ノ人ニ異ナラスト告ク此他リウルセイントノ一婦人アルフロイ及

ト同所客寓ノ主人某夫妻ノ如キモ口ヲ並ヘテ俱ニルサルコト兇手ノ一人ナリト陳告シタリルサル
クハ一々之ヲ聽了セシカ其述ル所ノ一トシテ未タ其身ニ覺知スル者非ラサルノミナラス當時モ
ケロンリウルセイントノ兩所ニ有リシヲ無キヲ以テ固ク之ヲ執リ頻リニ其冤ヲ訴フルト雖モ各證
據人ノ陳告ハ頗ル効力ヲ有シ衆人擧テ之ヲ信認シ毫モ其訛謬ヲ察セサルニヨリルサルコトウリヲ
ルノ兩人ハ遂ニ其罪ニ斷セラレタリ(但シクウリヲルノ罪跡ハ既ニ顯然タルヲ以テ別ニ贅セス)而
シテケニスノ一モ當初ハ二人ト同シク疑ヲ被フリシト雖モ無罪ノ跡自ラ判然セマヲ以テ獨リ其罪
ヲ免カレタリ

ルサルコトハ既ニ其罪ニ斷セラレシト雖モ冤枉ニ屈シテ一身ヲ亡ホスニ忍ヒス百方力ヲ竭シテ其誣
罔ヲ證明セント欲シ當時老實ノ聞ヘアル知友十五名ヲ招引シテ罪犯ノ當日其犯所ニ非ラサリシ
ヲ證セントセシカ其中ノ一人某ナルモノ熱心以テルサルコト救済スルノ衷情ヨリシテ故サラニ其
日記簿ヲ假造シテ證據ノ効力ヲ増サント爲セシカ假造ノ甚々拙ナルヲ以テ忽チ法官ニ看破サレ之
カ爲メ他ノ證據モ却テ其信任ヲ失ヒ更ニ一層ノ嫌疑ヲ増スニ至レリ此外ルサルコト知ル者凡ソハ
十名ハ擧テ渠レカ生平ノ品行端正ニシテ一點ノ瑕瑾ナキヲ懇説セシト雖モ勢ヒ既ニ右ノ如クナル
ヲ以テ到底其効ヲ見ル能ハサリキ
爰ニ至テ爾サルコトハ其冤誣ノ解ク可カラサルヲ曉リ遂ニ其死ヲ決シ端然トシテ容ヲ更メ衆人ニ向
ヒ痛言シテ曰ヘラク余ヤ實ニ罪ナシ諸士少シク顧慮スル所アレ若シ槍奪殺人ヲ以テ容ル、ニ所ナ
キノ重罪ト爲セハ無辜ヲ死ニ陥ル、モ豈ニ亦之ニ一步ヲ讓ラサルノ重罪タラサル無ケンヤト
又マテレシブレバンハ右ノ辭ヲ聽キ忽チ呼喊シテ曰ク爾サルコトハ全ク其罪ニ非サルナリ然ルヲ
今之ニ陥リシ所以ノ者ハ獨リ其容貌ノ最モ能クドボスグナル兇漢ニ似タルカ故ノミト
右ニ續キクウリヲルモ亦法官ニ向テ言ヘラク余カ罪ノ更ニ容ル、所ナキハ固ヨリ言フ俟タス故ニ
余ヤ甘心シテ之ニ服従ス可ク而シテ又曩日現ニ余カ同謀ノ兇手タリシ者ハウヰタルロッシイドロサ
トドボスグノ四名ナリト雖モ獨リルサルコトニ至テハ從來本犯ニ係リ一點ノ罪跡モ之レ非サルナ

此他マデリン、フレバンハ斷罪宣告ノ後ニ及ヒテモ尙ホ頻ニルサルコト冤枉ヲ訴ヘテ歌マス且ツ
其冤枉タル渠レカ容貌ノ極メアドボスグニ似タルニ原因スル所以ヲ懇々辨シ又未タルサルコト審
判ニ着手セサル前ニ方リ既ニマデリンニ向テ此事ヲ告ケシ者二人有リシヲモ告白シタリ是ニ於
テ法官ハ其大要ヲ記シテ之ヲ「ダイレクトリ」佛國革命ノ時ニ設置セ「通牒シルサルカ處刑ノ
延期ヲ乞ヒシカハ「ダイレクトリ」ヨリハ直チニ復タ之ヲ五百名議院ニ通牒シ其議決ヲ仰キ且ツ
通牒ノ結末ニ次ノ一文ヲ加ヘ殊ニ寬恕ノ處典ヲ促セリ其文ニ曰ク爾サルコトハ其容貌ノ特ニ能ク現
犯ノ罪人ニ似タルノ謂ヒヲ以テ將ニ死ニ處セラレシハアラストナスヘキカト然ルニ其答辨タル
ヤ其要ニ曰ク尙モ陪審者ニ於テ既ニ被告ノ罪ヲ斷定シ致テ法ニ違ヒシヲナクハ今ニ至リ又如何
ス可カラズ況ヤ昨日マテハ赦罪ノ特典有リマモ今日全ク廢止ニ歸シタルニ於テオヤト此ノ如キヲ
以テ爾サルコト冤枉ヲ解クノ道ハ爰ニ全ク絶了シ唯、快々トシテ死ヲ俟ツ、ミナリシカ將ニ刑ニ
就カントスルノ朝ニ臨ミ左ノ一書ヲ其妻ニ贈レリ
冤枉ニ屈シテ一身ヲ誤ツハ實ニ憤恚ノ情ニ忍ヒスト雖モ今日ニ迫テ尙ホ之ヲ解ク能ハザレハ正
ニ心ヲ決テ死ニ就キ以テ男子タルニ耻チサラントスルヨリ亦別ニ道アルヲ知ラス依テ今余カ記
念トシテ鬚髮一束ヲ贈ル乃チ諸子成人ノ後ヲ俟チ之ヲ配賦セヨ是レ蓋シ今日ニ在テ愛子ニ遺留
スルヲ得ル余カ唯一ノ贈物ナリ
又クウリヲルハルサルコトニ向テ懇々ドボスグノ履歷ヲ說話シ且ツルサルコト刑スルコトノ明々白々
ノ過誤タル所以ヲ開陳セシヲ以テ就刑ノ夕ニ臨ミ左ノ短文ヲ稿シテ諸新聞紙ニ投寄セリ
余、人ノ爲メ冤罪ニ陥リ今日將ニ刑ニ就カントス乃チ其人ヤ余カ生贖ヲ以テ心足スル所アレ
然レモ汝一度法網ニ罹ラハ須カラク汝カ爲メニ被フリタル余カ三子ノ耻辱ト余カ妻ノ心裏如何
トヲ惇測シ徒ラニ此汚名ヲシテ永遠ニ存セシムルコト勿レ
既ニシテルサルコト處刑ハ千七百九十七年二月十日ト定マリタレハルサルコトハ殊ニ其冤枉ヲ表ス

ル爲メ白衣ヲ以テ渾身ヲ纏ヒ此日ノ夕半舎ヲ出テ囚車ニ乘リ正ニ刑場ニ向テ發セリ又クウリヲル
 モルサルクト車ヲ並ヘ同所ニ發セシカ行々車中ヨリ大呼シテ路上ノ人ニ告ケテ曰ク余ハ固ヨリ其
 罪有リト雖モルサルクハ全ク冤枉ニ陥リシ者ナリト既ニシテ刑場ニ達シタレハルサルクハ從容
 トシテ檣上ニ昇リ遂ニ刑ニ就ケリ蓋シ死ニ至ル迄絶ヘス其冤ヲ鳴ラセシトゾ
 然ルニ其後ニ至リ世間喋々ルサルクノ冤枉ヲ鳴ラス者最モ多キヲ以テ曩ニルサルクヲ逮捕シ且ツ
 其初審ヲ掌トリシドウベントンハ心中大ニ安カラス竊カニ其實跡ヲ探知セント欲シ先ツクウリヲ
 ルノ告白セル四名ノ兇徒ヲ逮捕糾問シタル上其眞偽ヲ定ム可シト決シ專ラ其踪跡ヲ探偵セシカ其
 効ヲ見サルコト既ニ二年ノ久シキニ及ヒタリ然ルニ此頃偶然セイント、ペラシイニ潜居スルドロサッ
 トナル者強盜ノ罪ニ由テ捕ニ就キシカ個ハ即チ前年ヲホルトト偽名シ傳驛者ヲ欺キ乗客トナリシ
 者ナリトドウベントンハ忽チ此事ヲ聞知セルヲ以テ直チニ自ラ周旋シテ傳驛檢査官某ニ其囚徒
 ヲ見斷セシメタリシカ果テ前年傳驛者ト俱ニ乘車セシ兇徒ニ違ハス是ヲ以テ速カニ其審鞠ニ着手
 シ頻ニ其舊惡ヲ擧ケテ詰問ヲ加ヘシカ當初ハ飽マテ言ヲ飾リテ之ヲ蔽ヒ其實ヲ吐カサリシモ終ニ
 遁辭ニ窮シ細大ノ實況ヲ擧テ畢ク之ヲ白狀セリ乃チ其供述セシ所ハ恰モクウリヲルノ陳告ト符節
 ヲ合スルカ如シ今其要ヲ撮ミ之ヲ記スルニ抑、本罪ノ首謀者ハウキタルナル者ニシテ直チニ其謀意
 ニ同セシハ即チドロサットナリ此他仍ホクウリヲルロシイ、實名ベロルギイ、ドボスクト稱スルニ
 名ノ同謀アリ而シテドボスクハラボルドノ偽名ヲ以テ往來券ヲ贗造シ即チ之ヲ僞用シテ別ニ又巴
 倫ヨリリヲンニ至ルノ往來券ヲ騙取シ之ヲドロサットニ交付シテ輒ク傳驛車ニ乘ラシメタルナリ
 又四頭ノ馬ヲ供給セシハベルナルドト稱スル者ナリシトゾ斯クテ右ノ如ク其準備整ヒシカハ四名
 ノ兇徒ハ傳驛車夫ノ馬上ニ在テ車前ニ立チ正ニ坂路ニ就カントスルニ臨ミ突然之ヲ侵襲シタリ乃
 チ其景狀タルドロサットハ車中ニ在テ不意ニ傳驛者ヲ刺殺シ之ニ應シロシイハ馬上劍ヲ揮ヒ有
 無ナク一撃ノ下ニ車夫ヲ殺死ス然ル後チロシイハ直チニドロサットヲシテ其馬ニ跨ラシメ其身ハ
 軍夫ノ馬ヲ掠奪シテ之ニ跨リ五名相伴ヒ巴倫ニ還リドボスクノ家ニ密會シテ贓物ヲ配賦ス此時ベ

ルナルドモ此ニ來會セシヲ以テ其配賦ヲ乞ヒシニ若干ノ贓物ヲ得タリト是レ其大要ナリ此口供ヲ
 終リ別ニ又告白シテ曰ク余其後聞ク所ニ據レハルサルクナル者アリテ右罪犯ノ嫌疑ヲ受ケ遂ニ冤
 枉ニ陥リ死刑ニ處セラレシト然ルニ此人タル管ニ此事ノ謀意現犯ニ干カリシコトナク又贓物ノ配
 賦ヲ受ケシコトナキノミナラス其實余ハ亦何人ナルヤヲモ知ラサルナリト
 法官ハ一々右ノ口供ヲ筆記セシメテ後チ更ニ又ドボスクノ容貌如何ヲ質シタリシニドロサットハ
 具サニ之ヲ陳述シ且ツ犯罪ノ當日ドボスクハ淡色ノ假髮ヲ被フリシコトヲモ告白シタリ
 ドロサット逮捕ノ後チ幾ナラスシテウキタル亦捕ニ就ケリ乃チ證據人數名ヲ勾喚シテ之ヲ見斷セシ
 ムルニ皆十兇徒ノ一人タルヲ供ス然レモ渠レ飽マテ陳シテ其罪ニ服セサレハ姑ク之ヲラセイノ
 獄裏ニ繋留セリ其後チ千七百九十九年ノ末ニ至リドボスクハアリエル州ニ於テ強盜ノ罪ニ由リ逮
 捕サレシカ兇徒ノ一人タルコトヲ證セシヲ以テ直チニウエルセイニ護送シウキタルト共ニ其地ノ刑
 法院ニ於テ審鞠ヲ行ヘリ此時法庭ノ簿吏先ツドボスクノ履歷ヲ調査セシニ渠レハ頗ル罪惡ヲ積ミ
 シ老練ノ賊タルヲ發見シ曩ニ終身懲役ノ刑ニ處セラレシコト有シカ服役中役場ヲ脱出セシノミナラ
 ス其他復々脱檻ノ罪凡ソ四回ニ及ヒタル者ナリ故ニ今ノ逮捕ハ即チ其第六回ナリ然リ而シテ其罪
 ヲ訊問スルニウキタルト等シク當初ハ毫モ其實ヲ吐カサルヲ以テ姑ク之ヲ獄中ニ禁錮セリ然ル
 ニドボスクハ此時モ仍ホウキタルト俱ニ脱檻ヲ謀リシニ脱檻ノ際誤テ其一脚ヲ折り之ヲ果サス
 ウキタルノミ辛クシテ之ヲ脱出シ一時他ニ潜伏セリ然レモ渠レモ亦數日ヲ出テス忽チ其所在ヲ探
 知サレ再ヒ捕ニ就キ審斷ノ上終ニ死ニ處セラレタリ
 然リ而シテドボスクハ獨リ獄内ニ在テ傷ノ癒ニルヲ俟チ更ニ又脱檻ヲ試ミシカ此時ハ遂ニ其望ヲ
 果シタリ個ハ即チ此老賊カ第六回ノ脱檻ナリ然レモ脱檻後依然惡業ヲ改メテ捨奪以テ其生ヲ貪ホ
 リシカ未タ一年ヲ出テスシテ忽チ警官ノ手ニ捕ヘラレ再ヒウエルセイニ法衛ヘ拘引サレタリ是
 ヲ以テ法衛ノ長官ハ試ニドボスクニ淡色ノ假髮ヲ被ラシメ往年ルサルクヲ以テ兇徒ノ一人ト認定
 セシ諸證據人ヲ勾喚シテ之ヲ示スニ是ニ至テ此等ノ證據人始メテ往年ノ誤認ヲ發見シルサルクノ

兇徒ナラサルヲ覺リ大ヒニ其誤ヲ悔ヒシモ今日亦之ヲ救フノ道ナカリキ
 是ヲ以テ千八百〇二年二月遂ニドボスコヲ死刑ニ處セシカ兇手ノ一人ロッシイノミ尙ホ其所在ヲ探
 知セサルヨリ未タ其根ヲ絶ツニ至ラザリシモ其後チ西班牙ノ首都マドリッドノ近傍ニ於テ遂ニ捕
 ニ就キ同國ノ政府ヨリ之ヲ佛國政府ニ送付セリ然ルニ此漢ハウダルドボスコノ如クナラズ速カ
 ニ其罪ヲ首白シ大ヒニ悔悟ノ狀ヲ見ハシ且ツルサルクノ全ク無辜ナル所以ヲモ繼々告白セリ然レ
 正當賄何等ノ理由有ツテ存セシヤロッシイノ處刑後凡ソ六箇月ノ間ハ其口供ヲ世ニ公ニスルヲ許
 サハリシトゾ
 回説ルサルクノ財産ハ當時ノ法制ニ由リ處刑後盡ク之ヲ官ニ没入セシヲ以テ遺留ノ妻子ハ殆ント
 糊口ノ道ヲ失ヒ爾來流離艱難更ニ其不遇ヲ告クル所ナキニ至レリ蓋シ後日其冤ヲ發見シ前日ノ誤
 判タルヲ知ラハ政府ハ職トシテ其遺族ノ爲メニ百方償却ノ道ヲ盡クサスンハ非ラズト爲スハ苟モ
 人タル者ノ同情ナリ然ルニ其後ルサルクノ寡婦ハ人ノ勸メニ從ヒ現犯兇手ノ白狀ト證據人ノ反供
 トヲ頼ミルサルクカ斷罪ノ反案ヲ請求シ以テ其冤枉ヲ世ニ公布シ且ツ財產ノ恢復ヲ謀リシカ佛國
 ノ成典ニ財産恢復ノ明文ナキヲ以テ之ヲ「ダイレクトリ」若クハ「コンシニレ」若クハ復古ノ王
 家ニ乞ヒシモ一トシテ其望ヲ果ス能ハス僅ニ「ホルボン」帝家治世最末ノ二年ニ於テ其一小部分ヲ
 恢復セシノミト其不幸モ豈ニ亦甚タシカラズヤ

第七判例

千八百五十一年二月七日ノ夜陰ヲ冒シテ英國ペンノック州ツルアスニ任スルデビット、ウヰルヤムス
 ナル者ノ家ノ窓戸ヲ毀ツテ侵入スル一賊アリウヰルヤムスハ既ニ睡ニ就キシ後ナレトモ忽チ其音ヲ
 聽テ目ヲ覺マシ大ヒニ之ヲ怪ミ乃チ臥床ヲ出テ妻ト共ニ手燭ヲ携ヘ其何タルヤヲ探知セント欲シ
 音ヲ察ヒテ家内ヲ搜索スルニ其一隅ニ人影アリ乃チ手燭ヲ揚ケテ之ヲ見レハ近傍ノ一鏡工トマス、
 ウヰルヤムスト稱スル者ナリ蓋シ此者曾テウヰルヤムスノ家ニ來リ賤ヲ乘リシヲ有リシト然リ
 ト

ト雖モ賊ハ其面ヲ認メテレノイヲ恐レ直チニ手燭ヲ撲滅シ更ニ一言ヲ加ヘスシテウヰルヤムス夫
 妻ヲ毆マントセシ故二人ガ賊ノ面ヲ認メシハ寔ニ瞬間ヲ出テ然レモ賊ハ單身能ク二人ニ敵スル
 能ハス忽チ辟易シ慌然家外ヘ亡ク夫妻ハ敢テ又之ヲ追捕スルニ及ハスシテ速カニ屋内ヲ險闕セン
 カ別ニ何物ヲモ失ハス唯、廚房ニ裝置セル架棚ノ抽斗ヲ搜尋セシモノト見ヘ其中ヨリ諸書類ヲ濫
 出シタリ然レモ其書類ハ皆ナ白紙ト一般ニシテ更ニ價值ヲ有スル書券ノ類ハ一モ之レアラザリシ
 ト

是ヲ以テ其後チブレコンノ法庭ニ於テ夜襲ノ罪ヲ以テ鏡工ウヰルヤムスヲ審鞠スルニ及ヒ彼ノ老
 人ハ固ク其本犯タルヲ誓言シ且ツ此者ハ幼童ノ時ヨリシテウヰルヤムスハ能ク之ヲ知リタル旨ヲ
 モ告ケシニヨリ渠レ遂ニ其罪ニ陷リ流刑ニ定擬サレタリ然レモ此時法庭ニ參集セシ一人ニモリ
 スト稱スル者アリシガ右ノ宣告ヲ聽クト等シクトマスノ無辜ヲ唱ヘ別ニポーウエルナル者ヲ指摘
 シテ本犯ナリト告發ヒリ是ヲ以テトマスノ處刑ハ姑ク之ヲ措キ先ツ警官ヲ馳セテポーウエルヲ逮
 捕セシメ法官タルフオレド氏之ヲ糾問スルニ忽チ其本犯タルノ確証ヲ得タリ蓋シポーウエルハ曩
 ニ地券ヲ抵當トシテウヰルヤムスヨリ六百磅ノ金圓ヲ貸借ヒシガ其期ヲ過キ尙ホ之ヲ辨償セサル
 ヲ以テ遂ニ之ヲ法庭ニ訴ヘラレ當時其訴訟中ナリ然レニポーウエルハ竊カニ抵當ノ地券ヲ回復セ
 ノト謀リ夜陰ウヰルヤムスノ家ニ忍ヒシカ前ニ記スル如ク事遂ニ成テサリシナリ即チ前日抽斗ヲ
 搜尋シテ書類ヲ濫出セシハ蓋シ此故ナリ
 本犯ノ罪跡右ノ如キヲ以テトマス、ウヰルヤムスハ法官タルフオレド氏ノ申告ニ由テ直チニ放免サ
 レタリ而シテ又ポーウエルノ罪跡ハ正ニ其確ヲ得シモ同シク放免サレタリ其故ハ當初告罪ノ要領
 ハ夜陰人家ヲ襲フテ其家具什器ヲ偷マントセシ者ノ刑ヲ求ムルニ有リト雖モ陪審ノ宣告ハ地券ヲ
 偷マントセシノ罪アリト斷セシニヨリ控訴院認メテ不規ノ處斷ト爲セシヲ以テナリ

第八判例

距今凡二十年、前化學的ノ方法ヲ須ヒ猛烈ナル火氣ヲ以テ人體ヲ窯中ニ鎔化シ、既ニ四分五裂シタル殘骨ノ鳥獸等ノ骨碎ト俱ニ混和セシモノ、中ヨリ採蒐シテ即チ其被害者ノ遺骨タルヲ證明シ、遂ニ兇手ヲ發見シタルノ一奇獄アリ、蓋シ其兇手ハ北米合衆國ホストン府ナル醫學校ノ授業師ニシテ、プロフェッソル、ウエブストルト稱スル者ナリ、而シテ其被害者ハ「ドクトル」パークマント稱スル人ナリ、今其罪ヲ得シ顛末ヲ聞クニ、抑、ウエブストルトハ、恰モパークマンノ殺害サレシ時ニ方リ、金銀貸借上ノ件ニ付キ、パークマンノ爲メ頗ル心ヲ苦メ、隨テ大ヒニ渠レヲ厭フノ情狀アリ、タリ又ウエブストルトハ從來醫學校ヲ以テ其居住ト爲セシカ、一日パークマンニ逢ヒ、殊ニ金銀貸借上ノ事ヲ談セント欲シ、千八百四十九年十一月二十三日ノ午後第二時、期シテ醫學校内ニ相會セ、ソノ約セリ、而シテ其日ニ至リ、凡ソ午後二時十五分トモ覺シキ頃、パークマンノ校内ニ入リシハ、正シク之ヲ目撃セシ者有リト雖、其後又一入トシテ再ヒ氏ヲ見シ者有ラスト、是レ即チウエブストルトノ始メテ嫌疑ヲ受クルニ至リ、所以ナリ、然リ而シテ法官其訊問ニ着手セシキウエブストルトノ陳述セシ者ヲ聞クニ、渠レバ「パークマン」ト十一月二十三日ヲ以テ校内ニ會スルコトヲ約セシハ、全ク實事ナリト雖、其日パークマンハ約ニ背キ、終日校内ニ來リシコトナント辨解セリ、夫ヨリ法官ハ更ニ又一週日ヲ費ヤシテ、百方檢覈ノ策ヲ竭クスト、雖、渠レ遂ニ渠レカ罪ヲ證スルニ足ルノ脈絡ヲ發見セサルヨリ、此ニ始メテ校内ヲ搜尋セ、ント決セリ、然レハウエブストルトハ豫メ之ヲ察セシ、故隱然手ヲ竭クシテ、專ラ搜尋ノ道ヲ妨ケタリト、既ニシテ警官校内ニ來リ、嚴ニ搜尋ノ道ヲ盡クス、二日ニ及ヒシカ、偶、ウエブストルトノ試驗場ニ設置スル窖中ヨリ、鐵碎殘灰等ノ中ニ混和シタル骨碎數片及ヒ礮石ヲ以テ製シタル義齒ノ一塊并ニ鎔解シタル金塊若干ヲ發見シ、タリ、又校堂ノ地下ニ設ケシ窖中ヨリモ數片ノ骨碎ヲ得、タリ、其外茶匣ノ中ヨリ、櫟皮末ニ塗ミレタル體骨ノ全部及ヒ其他數片ノ骨碎ヲ搜出ス、之ヲ以テ此等ノ骨碎ヲ盡ク一所ニ蒐集シ、一々其次序ヲ逐ヒテ之ヲ整置スルニ恰モ是レ「パークマン」ト其年齡(其年齡六十歲許)ヲ同フスル一男子ノ骸骨ノ全体ヲ成セリ、之ニ加フルニ、全身結構ノ後チ其骨格ノ形狀ヲ熟視スルニ、正シク「パークマン」カ生前ノ體格ニ固有シタル特形ヲ顯ハシ、秋毫モ殊異ノ跡アルヲ見ヌ、且ツ又茶匣ノ窖

中其他ノ所ヨリ發見シタル骨碎中未タ一介人ノ骸骨ヲ結構スル爲メ敢テ過剩ナル者有ルヲ見サリ

右ノ諸證ヲ得タル後、チ仍ホ「刀圭」家ニ遺骨ヲ示シテ之ヲ鑒定セシメシニ、個ハ荷モ「刀圭」ノ道ヲ知ラサル者ノ手ヲ以テ解體セシニ、非ラス故ニ骨碎ハ既ニ四分五裂スト、雖モ頗ル解剖ノ方ニ協ヒタリト見斷セリ、之ニ加フルニ、此時ヨリ三年前「パークマン」ノ爲メニ義齒ヲ製シタル三名ノ齒科醫ヲ向喚シテ、窖中ニ存セシ義齒ヲ檢閲セシメシニ、即チ其時ニ造リタルモノニ差ハサル所以ヲ供述シ、且ツ當時之ヲ造ル爲メ「パークマン」ノ顯ノ模型ニ製セシカ、今仍ホ現存スルヲ以テ三名ハ乃チ之ヲ出シテ義齒ヲ檢ムルニ、奇ナルカナ兩者相吻合シテ、更ニ髮ヲ容ル、ノ間隙モナシ、蓋シ偶然ト稱ス可カラサルナリ、是ニ於テカウエブストルトノ罪跡ハ又疑ヲ容ル、所ナク立トコロニシテ、其罪ニ斷セラレタリ、然レハ若又校内各所ニ散逸シタル骨碎ヲ發見シ、或ハ此等ノ骨碎ヲ結構シテ、僅ニ「パークマン」ニ似タル骨格ヲ得タル如キ諸證ノミアリテ、別ニ義齒ノ證據ヲ得サレ、ソノハ未タ之ヲ以テ渠レカ罪ヲ證スルニ足レリト云フ可カラズ、况ヤウエブストルトカ平素ノ品行ニ於テハ未タ一モ疑フ可キモノナキニ於テオヤ、然ルヲ既ニ窖中ニ投シタル義齒ノ奇異ニモ、其底ニ墜チテ毫モ火氣ニ觸レヌ、其形ヲ全フセシヲ以テ之カ爲メ、遂ニ其罪ヲ證スルニ至リシハ、豈ニ亦天命ナラスヤ

第九判例

英國「グロウ」チエスタル州ニ於テ巨大ノ不動產ヲ有スル一婦人「レデイ」カムプデンノ家宰ニウヰルヤ、ハ、ハリソンナル者アリ、千六百六十年八月六日主婦ノ租銀ヲ集ムル爲メ家ヲ出テ、タリ、又近傍ニベリト稱スル貧家アリ、母子三口以テ一家ヲ爲シ、母ヲシヨアント稱シ、長男ヲシヨ、次男ヲリチアルドト稱ス、而シテ長男シヨ、ハ性賦痴呆ニシテ、事理ヲ解セズ、母又最モ凡庸ノ人物ナリ、シト云フ、然ルニハリソンハ前日家ヲ出テシヨリ數週日ヲ過クルト雖、未タ歸ラサルノミナラス、以後何等ノ報信ナキヲ以テ、カムプデンハ固ヨリ四隣合壁ノ人ニ至ルマテ、大ヒニ之ヲ怪シ、ミシカ人々遂ニハリ

ソノハ賊ノ爲メ全ク其命ヲ失ヒシモノナラント推定シ一時露々タリ然ルニ世評忽チ皮葉ヲ生シ事ヲ好ムノ走ハ敢テ詭聞ヲ造爲シテ之ヲ傳フルニ及ヘリ此時ニ方リ彼ノ痴漢シヨシハ腦中如何ナル感覺ヲ起セシカ或ル日自ラ警官ニ至リハリソソノ殺セシハ其弟リチアルドノ所業ニシテ乃チ其時渠レモ亦母ト俱ニ其傍ニ立テ之ヲ熟視セシカハリソソノ絶息スルヲ俟チリチアルドヲ援ケテ死骸ノ懷ヨリ百四十磅ノ金額ヲ掠メタリト首白ヌ是ヲ以テ直チニ母子三名ヲ捕ヘ獄ニ投シ次ノ裁判期ヲ俟チ槍奪謀殺ノ罪ヲ以テ其審判ニ着手ス然レモ其時ノ法官長サアチアールレス、スタル氏ハ未タハリソソノ死骸ヲ發見セサルニ渠レ等ヲ謀殺ノ罪ニ定擬スルハ頗ル不當ナリト爲シ唯槍奪ノ罪ヲ以テ訊鞠シ加フルニ渠レ等ハ若シ速カニ之ヲ首白セハ其命ヲ全フスルヲ得可シト安信センヨリ概ク其罪ニ服シタリ就中シヨソハ繫獄中ニモ頻ニ其罪ヲ首白セシノミナラス其他母并ニ弟ハソヨソノ首罪ヲ怒リ獄中ニ於テ竊カニ渠レヲ毒死セント企テシヨアリト云ヒ頻ニ無恨ノ事ヲ訴ヘヌリ然ルニ其後ノ裁判期ニ至リテモ仍ホハリソソノ踪跡發露セサルヲ以テサア、ロバルト、ハイド氏ハ爰ニ始メテ謀殺ノ罪ヲ以テ三人ヲ訊鞠セシ上シヨソノ口供并ニ錢ニ槍奪ノ罪ヲ糾問セシト三人ノ首服セシ口供トヲ以テ遂ニ其罪ニ斷セリ然レモ此期ニ迫リシヨソハ頻ニ前日ノ口供ヲ以テ全ク偽ナリト辨解シ且ツ當時其身ハ瘋癲ヲ發セシヲ以テ從來何事ヲ供セシヤ今日毫モ之ヲ記セスト陳セシカ法官之ヲ信セズシテ遂ニ三人ヲ死刑ニ定擬シ母ノ罪最モ重ク且ツ之ヲ初メニ死ニ處セストハ二子亦其實ヲ吐カサル可シト思惟シ先ツ母ヲ刑ス而シテ後チ二子ニ及ボセシガ二子ハ死ニ至ル迄露々其冤ヲ訴ヘ止マサリシトソ然レモハリソソノ踪跡ノ今日ニ至ルマテ尙ホ發露セザルトシヨソノ首白并ニ槍奪ノ罪ヲ犯セシト云フ三人ノ口供トヲ以テ既ニ充分ノ證據ト認定セシ故當時此獄ヲ疑フ者ハ一人モ之レアラサリキ

然ルニ是ヨリ三年ノ星霜ヲ經過セシ後ハリソソハ一朝偶然グルウチエスタルニ掃郷セリ之ヲ見聞セシ者豈ニ又喫驚セサルヲ得ンヤ然リ而シテ今其所以ヲ聞クニ前年レデイ、カムプデンノ租銀ヲ集メ將ニ家ニ還ラントスルノ路次偶、山賊ノ一群ニ遭ヒ之カ爲メ忽チ捕ヘラレ夫ヨリ直チニ海上

四

ヨリ土耳其ニ送ラレ此地ニ於テ一醫師ノ奴隸ニ賣ラレタリ其後又二年ヲ過キ醫師世ヲ去リシヲ以テ忽チ其家ヲ逃レ出テハムバルグノ商船ニ搭載シテリスボンニ達シ是ヨリ又多少ノ艱難ヲ經歷シ今日始メテ本國ニ歸レルナリト

第十判例

千八百〇六年十月六日トマス、ウードト稱スル壯年ノ一水夫ブレイマウスノ海軍裁判所ニ於テ去ル千七百九十七年ハルミヤン「號船」ノ水夫徒黨ヲ起セシ渠渠レ亦之ニ與ミシテ其勢焰ヲ援ケシト云フノ罪狀ニ據テ法官ノ訊鞠ヲ受ケタリ蓋シウードハ此時其年齡漸ク二十五歳ナリ是ヲ以テ暴動ノ日ニ於テハ未タ十六歳ニ超ヘサル一少年ノミ然リ而シテ本罪ヲ告發セシ證據人ハ唯一名ニ過キサルノミト雖モ其證據人ハ「ハルミヤン」號船ノ船長ナルヲ以テ其供スル所却テ又著シキ効力ヲ有セリ即チ口供ノ要旨ニ曰クウードハ暴動者中正シク其尤ナルモノ、一人ナリ然レモ當時其姓名ヲジエームス、ヘイスト稱セリト惟フニ此口供タル特リ當時ノ現況ヲ日撃シタル船長ノ口ヅカラ陳述スル所ニ係ルヲ以テ或ハ頗ル其確ヲ得タルモノ、如シト雖モ試ニ男子タルモノ、凡ソ十六歳ヨリ二十五歳ニ至ルノ間ニ生スル面貌ノ變化ノ著大ナルヲ熟思セハ又必スシモ其確ヲ得タルモノト稱スヘカラス果シテ然ラハ何ゾ之ヲ將テ其罪ヲ斷スルニ足ランヤ況ヤ暴動ノ時ヨリ今日ニ至ル迄凡ソ九年ノ星霜ヲ過クル間被告并ニ證據人ハ全ク相離隔シテ其際互ニ面ヲ接ヘシ一回モ之レナキニ於テオヤ

然レモ其後チウードハ自ラ一篇ノ首罪書ヲ携帶シテ之ヲ法官ニ示セシカ之ニ由テ證據人ノ口供モ忽チ其確ヲ得シノミナラス滿庭ノ人亦其罪ヲ疑フモノナキニ及ヒタリ其文ニ曰ク抑、前年ハルミヤン「號船」中ニ暴動ヲ起セシ時余ハ僅ニ二十四歳ニ過キサル幼童ニシテ固ヨリ此ノ如キ非擧ヲ企ツル心アラサリシモ主謀者ノ銳氣頗ル大ニシテ荷モ之ニ與ミセサルモノハ立ドコロニ殺害サル、ヲ親シク目撃シ余モ亦之ニ與ミセサルハ忽チ其命ヲ失フニ至ルヲ知り乃チ其暴威ニ脅カサレテ止ムヲ

得ス同謀ノ盟ヲ行セシノミト此他尙ホ又口ツカラモ其罪ヲ首白シ大ヒニ悔悟ノ狀ヲ現ハシ悵然トシテ法官ノ前ニ身ヲ投シ只管其哀愍ヲ促セリ然レモ法官ハ證據人ノ口供及ヒ右ノ首罪書ニ由テ遂ニウードヲ其罪ニ斷シ死刑ヲ宣告セリ夫ヨリウードハ十一日ヲ過キシ後チ其刑ニ就ケリ但シウードノ兄妹二人ハ渠レ未ダ刑ニ就カサル前法庭ニ出テ抑ウードハ「ハルミオン」號船中暴動ノ時ニ方リ恰モ他ノ船中ニ在リタレハ其中ニ與ニスルノ謂レナシ故ニ其首罪書ノ如キハ全ク無根ノ事ナリト告ケ且ツ海軍局ヨリ當時ウードハ他船ノ中ニアリシヲ保スルノ證據ヲモ携帶シテ之ヲ示シ頻ニ其放免ヲ哀願セシト雖モ更ニ其効ヲ見ル能ハサリシトシ

然ルニウードノ罪ハ其後チ故アリテ其冤ヲ發見セリ今其始終ヲ尋ヌルニ「インデペンデント」ウード「グ」ト題スル毎週刊行ノ雜誌アリ其記者某偶ウードノ裁斷ヲ聞テ大ヒニ之ヲ駁撃シ公然其不當ヲ指摘シタルノ評論ヲ紙上ニ掲出セシガ海軍裁判所ノ法官ハ之ヲ憤リ直チニ海軍省ニ稟シテ其處置ヲ仰キタリ之ヲ以テ海軍省ニ於テモ忽チ之ニ應シ乃チ讒謗ノ罪ヲ唱ヘテ記者ヲ法衛ニ訴ヘシガ幸ヒニシテ其時ノ法官ハ老練ノ紳士サア「アルサル」ビゴツトサア「サミゴール」ロミリーノ兩氏タルヲ以テ敢テウードノ罪跡ヲ疑フトニハアヲサレモ輕舉以テ失敗ヲ招カンコトヲ恐レ其聽訟ニ着手スル前テ先ツウードノ獄ニ係ル事實ヲ探究シテ其眞偽ヲ決シ然レ後チ始メテ此訴ヲ聽斷セント欲シ試ニ海軍省ノ代訴師ニ此事ヲ委子專ラ事實ヲ探究セシムルニ豈ニ計ランヤ恰モ「ハルミオン」號船中暴動ノ時ニ方リウードハ「ボート」ツマウス港ニ繫泊セシ「マルボロ」號ノ船中ニ在テ現ニ其務ニ從事セシトノ確報ヲ得乃チ之ニ由テ忽チウードノ無辜ヲ證セリ然レモ讀者或ハ詰問セン抑ウードノ果シテ無辜タラハ固ト何等ノ理由アリテカ自ラ其罪ヲ首白セシヤト今其理由ヲ尋ヌルニウードハ性來質樸無心ノ人物ニシテ平素其援助ヲ乞フ可キ程ノ朋友トテハ一人モナシ然ルニ一朝冤名ヲ得テ法官ノ糾問ヲ受ケシガ其際「ハルミオン」號船ノ船長某ノ口證ヲ聽キ竊カニ惟ヘラク假令自ラ其誣罔ヲ辨解セントスルモ到底其効ヲ見ル能ハサル可シト是ニ於テ直チニ一夜ニ逢ヒテ實情ヲ告ケ其去就ヲ詢リシニ其友人ハ之ヲ聽キ忽チ一篇ノ首白書ヲ作りウードニ示セリウード之ヲ一讀セシカ

若シ之ヲ法官ニ示サハ必ス哀愍ノ情ヲ發シテ恕スル所アル可シ然ラハ寧ロ法庭ニ出テ、一ニ其罪ヲ犯サスト陳スルヨリ蓋シ此策ヲ用フルニ如カスト慮度シ之カ爲メ却テ其身ヲ誤ツニ至レリ推フニウードノ首白ハ自ラ其冤枉ヲ招キシモノト云ハサル可カラズ何トナレハ若シ其證ヲシテ彼ノ船長某一人ノ口證ニ止マラシメハウードノ兄妹海軍局ノ保證狀ヲ法庭ヘ携ヘテ其冤ヲ解カント爲セシモ法官ハ徒ラニ之ヲ採ラサル如キト亦之レナカル可キヲ以テナリ然レモ被告既ニ其罪ヲ首白シ之ニ加フルニ證據人ノ口供アルヲ以テ其時法庭ニアリシモノハ其罪跡ニ於テ一點ノ疑ヲ容ル可キ所ナシト認メ即チ其裁斷ニ餘蘊ナシト信セシヨリ以後人アリテ其誣冤ヲ辨解セントスルモ敢テ之ヲ願ミカリシナリ夫ノ保證狀ノ如キモ恐クハ法官之ヲ一閱スルニ及ハスシテ直チニ却下セシヤモ亦知ル可カラズ

第十一判例

佛京巴倫ルイアル街ニ宏大ナル一客樓アリ貴族モントゴメリー侯夫妻其樓下ニ居ヲ占ム蓋シ侯ハ頗ル富豪ノ聞ヘ有ル人ニシテ常ニ僕婢數人ヲ雇使ス且ツ平素專ラ施恤喜捐ノ事ヲ脩メ恰モ之ヲ以テ家業ノ如ク爲スヨリ殊ニフランシスガゲナルドト稱スル一人ノ僧ヲ養ヒ常ニ其事ヲ掌ラシメタリ又此客樓ニ第二層樓及ヒ第三層樓有リテシウル、ダンケレーツト稱スル人其妻子ト俱ニ此ニ其居ヲ占ム但シダンケレーツ氏ハ固ヨリモントゴメリー侯ノ如ク富豪ニハ非ラキレモ性來誠實篤行ノ人ナルヲ以テ常ニ衆人ノ崇尊ヲ享ケタリ而シテ此兩家ノ人ハ一樓中ニ住シ且夕互ニ面ヲ接シ語ヲ交ユルヨリ自ラ懇親ヲ通シテ交ヲ結ヘリ或ル時モントゴメリー侯夫妻ハ豫テ市外ニ設ケタル別業ニ漫遊スルノ企有リシヲ以テダンケレーツ氏ノ一家ニモ頻ニ其同行ヲ勸メタリシニ氏ハ速カニ之ヲ承諾シテ同行ヲ約シ已來兩家ノ人ハ各指ヲ屈シテ其日ヲ俟チタリシニ其後チ何等ノ事故ヲ生セシニヤ將ニ市外ニ發セントスルノ夕ニ臨ミダンケレーツ氏ハ突然同行ヲ謝絶セリ是ヲ以テ侯夫妻ハ別ニ又之ヲ強ユルヲ須ヒス直チニ從者數人ヲ引率シテ市外ニ發セリ蓋シフランシス、

ガ少ナルドモ此一行ニ加ハリタリト而シテ侯ハ市外ニ遊フコ數日ニシテ歸府セシカ其歸府ハ何事
 カ侯ニ先有ノ意有リシヲ以テ豫メ期セシヨリ一日ヲ早フセリ其夜ダングレーツ氏ハ之ヲ聞キ直チ
 ニ侯ヲ訪ヒテ其無恙ヲ祝シタリ
 却説侯ハ歸府ノ翌朝ニ至リ始メテ其金匣ヲ見ルニ豈ニ計ラシヤ侯ガ市外ニ遊ヒシ虛ニ乘シテ假鎗
 ヲ用ヒ之ヲ開放シ中ヨリ銀貨各一千「リーブル」ヲ納メシ金囊十二個金貨凡ソ一萬二千「リーブル」
 其他「ダブルピストル」及ヒ「オーコルドン」ト稱スル新貨幣若干并ニ凡ソ四千「リーブル」ノ值ヒスル
 珍珠製ノ頸環一個ヲ併セテ奪掠セシ者有リ是ヲ以テ侯ハ速カニ人ヲ馳セテ警官ヲ招引シ具サニ其
 實況ヲ告ケテ之ヲ詢ルニ警官ハ未タ一議ニモ及ハス個ハ正シク此家内ニ住スル者ノ所業ニ出テシ
 モノナリト斷定シ且ツ又別ニ據ル所ナキニダングレーツ一家ノ者コソ甚タ疑フ可キ者有リト云ヒ
 漫ニ之ヲ惡猜シタリ然ルニダングレーツハ忽チ之ヲ傳聞セシカ廉士ノ心情亦之ヲ默止スルニ忍ビ
 ス憤然トシテ警官ノ前ニ至リ自ラ迫リテ直チニ其室内ヲ點檢センコトヲ乞ヘリ乃チ警官ハ之ニ應シ
 テ氏ノ室内ヲ搜索シ毫モ遺ス所ナク且ツ寢床ヲ取テ一々之ヲ檢スト雖モ未タ一トシテ其罪跡ヲ證
 スルニ足ルモノヲ發見セズ是ヲ以テ更ニ家什雜具ヲ納ムル一小室ニ至ルニ其隅ニ極メテ古ビタル
 一皮積アリ警官之ヲ開クニ中ヨリ紙類其他ノ摺摺物ヲ得仍ホ煩ニ其中ヲ搜索スルニ忽チ系圖ヲ印
 行シタル一片ノ紙箋ヲ以テ密包シタル「オーコルドン」貨幣七十斤ヲ發見セリ警官之ヲモントゴメ
 リー侯ニ示スニ侯ハ其紙箋ヲ一目シテ直チニ其所有ニ係ル所以ヲ告ケ且ツ又之ヲ以テ包ミタル貨
 幣ノ如キハ固ヨリ世間一般ニ通用スルモノナルヲ以テ果シテ前夜偷マレシ所ノ貨幣ニ係ルヤ否ハ
 別ニ之ヲ確言スル能ハサレヒ恐クハ又其貨幣ナル可シト述ヘタリ蓋シ是時ヨリシテ侯ハ始メテダ
 ングレーツ氏ヲ疑フノ心ヲ起シ又往年シウルクリマンテッドナル人ノ同シク此客樓中ニ居ヲ占メ
 ム時一夕賊ノ爲メニ銀製ノ盤子一個ヲ偷マレシコト有リシカ當時ダングレーツ氏モ既ニ其客樓ニ在
 住セシコトヲ回想シ又氏ノ平素金錢ヲ徒費スルノ習癖アルヲ知リ之ニ加フルニ恰モ今警官カ氏ニ命
 シテ紙箋ニ包ミタル貨幣ヲ算セシメタル時頗ル戰慄シテ其姿色ニ極メテ慌忙タル者有ルヲ親視セ

シヨリ侯ガ氏ヲ疑フノ心ハ忽チ全ク其胸裏ニ凝結セリ惟フニ氏ガ其姿色ニ慌忙タル態狀ヲ現セシ
 如キハ心裏固ヨリ其誣罔タルヲ知ルト雖モ右ノ如キ諸情況ノ全ク不慮ニ出テ、恰モ氏ヲ執ヘ其罪
 ニ陷井ルハニ似タル者有ルヲ以テ乃チ其カ爲メ冤枉ニ屈センコトヲ懼レ覺ヘス寒心シテ忽チ戰慄セ
 シニ非ラサル無キヲ得ンヤ
 却説警官ハ尙ホ充分ノ證據ヲ得ント欲シ頻ニ諸室ヲ搜索セシカ遂ニ氏ノ家僕ガ常ニ其起臥ニ用ユ
 ル一小室ニ來リテ嚴密ニ搜索スルニ偶ニ其壁ニ一凹所有ルヲ發見シタルヲ以テ其中ヲ檢スルニ銀貨
 ヲ盛リタル金囊六箇ヲ得タリ但シ其中一個ハ既ニ貳百「リーブル」ヲ失ヒシト雖モ他ノ五箇ハ依然
 トシテ每囊壹千「リーブル」ヲ納メタリ是ニ於テ警官ハ既ニ充分ノ證據ヲ得タリト爲シ直チニダ
 ングレーツ一家ノ者ヲ盡ク執ヘテ獄ニ投セリ然ルニ當時佛國ニ於テハ警官ニシテ審司ヲ兼ヌルヲ得
 ルノ制有リシ者ト見ヘ此偏倚ナル警官ハ自ラ其審判ヲ掌トリ勿々氏ヲ其罪ニ斷定セリ然レモダ
 グレーツ氏ハ大ヒニ其裁斷ヲ不當ナルモノトシ更ニ議院ニ上控シテ其覆審ヲ乞ヒシカト其効ヲ見
 ル能ハサリキ又モントゴメリー侯ハ既ニ氏ヲ疑ヒシモ其證據ニ未タ確ヲ得サル所有ルヲ顧慮シ乃
 チ氏ヲ其罪ニ陷井ルハ衷心仍ホ未タ安セサル所有ルヲ以テ一日彼ノ施恤ノ事ヲ掌ルガダナルド
 ニ命シテセイト、エスプリツトノ教會ニ於テ犯罪者發見ノ件ニ就キ聽衆ニ向ヒ一遍ノ演説ヲ爲
 サシメシニガダナルドハ忽チ得意ノ色ヲ帶ヒテ漫ニ其名ヲ神ニ假リ頻ニダングレーツノ罪ヲ實メ
 タリ是ニ於テ侯ハ始メテ心ヲ安ンセリ而シテ此事法庭ノ聞ニ達セシモノカ後日ダングレーツ氏鞠
 問ノ際ガダナルドハ其證據人トシテ法庭ニ勾喚サレタリ然レモ到底其所述ニ就テ考フルニ未タ一
 モ氏ノ罪ヲ確認スルニ足ルノ證ヲ與ヘシヲ聞カス加之内外ノ人士ハ熱心法官ノ措置如何ニ注目シ
 敢テ假サハル如キ者有ルヲ以テ法官假令ヒ偏倚ノ人ナリト雖モ勢ヒ又之ヲ誣ユル可カラサルヨリ
 未タ一ニガダナルドノ口供ノミニ據テ氏ノ罪ヲ決スル能ハサリキ然レモ不幸ニシテ佛國ニハ當時
 尙ホ拷問ノ制度專ラ行ハレテ苟モ證據ノ確ヲ得サル時ハ威勢ヲ之ニ借リ強迫以テ囚徒ニ其實ヲ吐
 カシメントスルノ苛法アリシヲ以テダングレーツ氏モ亦遂ニ之ニ處セラレ大小ノ拷問ヲ受クルコト

數回ニシテ之カ爲メ渾身紫色ニ變シ骨節挫折シ體格漸ク其形ヲ失ヒ又或ル時ハ痛苦ニ堪ヘス殆ント絶命セトスルニ至リシコトニシテ足ヲス其慘狀實ニ見ルニ忍ヒサル者有リ然レモ其精神ハ自若トシテ飽マテ屈セス類ニ冤枉ヲ鳴ラシテ更ニ罪ニ服セス是ヲ以テ法官モ亦爲ス所ヲ知ラヌ先ツ一時氏ヲ獄裏ニ繋ガシメタリ其後チ數日ヲ過キ更ニ復タ拷問ニ處セシカ其冤ヲ固執スルコト依然トシテ前日ニ異ナラヌ然ルニ何等ノ故ナルカ法官ハ此際遂ニ氏ヘ宣告スルニモントゴメリ一侯ノ失ヒシ全額ノ収贖ト之ニ加ルニ鎖鑰苦役九年ノ刑ヲ以テセリ豈ニ亦奇怪ノ裁斷ナラヌヤ然レモ氏ハ其後チマ一セ一ユノ獄ニ在ルコトナラヌシテ死セリ而シテ又其妻子ハ一タヒ氏ノ収贖ノ宣告ヲ受ケシヨリ忽チ其資産ヲ擧ケテ没入サレ其甚シキハ寢具ニ至ル迄テ盡ク之ヲ剝カレ剩ヘ巴倫府ヲ追放サレシヲ以テ一朝忽チ無告ノ人トナリ已來四方ニ漂泊シ流離艱難實ニ名狀ス可カラサルノ慘憺ヲ極ムルニ至レリ

然ルニ其ヨリ若干ノ星霜ヲ過キシノ後チ始メテダングレーツ一家ノ無辜ヲ證明スルノ時ニ遭ヘリ今其原由ヲ尋ヌルニ或ル時法庭ヘ匿名ノ一書ヲ寄セテモントゴメリ一侯ノ財貨ヲ偷ミシ眞犯兇手ノ罪跡ヲ告發セシ者有リ但シ此匿名書ハ後日ニ至リアベ、フランチビエルト稱スル僧ノ手ニ成リシコトヲ探知セリ然レモ此告發者ハ牧師ヲ以テ自ラ任シ口常ニ神聖ノ道ヲ唱ヘ專ラ世俗ヲ善ニ誘致スルノ重職ヲ負擔シナカラ其實又賊手ノ一人ニシテベレスタルト稱スル他ノ一賊ト與ミシ積年ノ間隱惡ヲ逞フセリ而シテモントゴメリ一侯ノ財貨ヲ偷ミシハ即チ此ベレスタルニシテ然カモ其時ノ主謀者ナリ蓋シフランチビエルハ身ツカテ同謀ノ一人ニシテ之ヲ告發スルニ至リシハ抑、後日ダングレーツ氏ノ不遇ヲ感ムノ情ヲ感發セシニ出テシカ將タ主謀者ベレスタルト偶、間隙ヲ生セシヨリ宿怨ヲ渠レニ含ムニ出テシヤハ得テ知ル能ハサレハ姑ク之ヲ措キ其匿名書ニ記スル頭末ヲ聞クニ主謀者ベレスタルハ固ヨリ單身ニシテ侯ノ財貨ヲ偷ムコト能ハサルヨリ當時侯ノ家ニ居ヲ占メシフランチビエ、ガゲナルドト應援シテ終ニ望ヲ遂ケシナリ然ルニ此者ハ即チ前年侯ノ爲メニ教會ニ於テダングレーツノ罪ヲ演說シ聽衆ヲ瞞着シタルノ惡僧ナリ蓋シベレスタルハ元來何等ノ縁

由有リテガゲナルドト應援シテ其惡ヲ爲セシカヲ尋ヌルニ此二人ハ俱ニマンズ府ノ産ニシテ固ヨリ竹馬ノ儔友ナルヲ以テナリ又ガゲナルドハ同府ノ獄吏某ノ子ニシテ往年郷地ヲ逸奔シ巴倫ニ來リテ糊口ノ道ヲ需メシカ恰モモントゴメリ一侯ノ渠レヲセイント、エスプリット教會ノ說教者ニ任スルニ遭ヒシヲ以テ一時ハ之ヲ以テ生路ヲ得シト雖モ性來無頼ノ惡徒ナレハ忽チ侯ノ恩惠ヲ忘記シ却テベレスタルノ爲メニ侯ノ虛ヲ窺ヒ金匣ノ鑰匙筒ヲ出シテ竊カニ之ヲ蠟塊ニ印シ其模型ヲ得テ或ル時隱然之ヲ渠レニ交付セリ而シテ又ベレスタルノ爲人如何ヲ尋ヌルニ渠レハガゲナルドニ比スレハ尙ホ一層ノ惡漢ニシテ往年兵籍ニ編入サレシコト有リシカ一日其司令長官ヲ殺死シテ兵營ヲ脱出シ夫ヨリ巴倫ニ逃レ來リテ或ル時ハ賭博者ノ黨ニ入り又或ル時ハ其形ヲ乞丐ニ假扮シ常ニ賊巢ノ中ヲ徘徊シ出沒最モ測リ知ル可カラサルノ兇徒ナリシト

回説ガゲナルドハダングレーツ氏處刑ノ後チ幾モナクモントゴメリ一侯ヲ辭セシカ爾來益々奸惡ヲ逞フセシヲ以テ或ル時遂ニ法網ニ罹リ獄ニ投セラレタリ然ルニ是ヨリ先キ同謀ベレスタルモ別ニ犯セル罪有リテ既ニ同獄ニ繋カレシヲ以テ恰モ此兩賊ハ獄中ニ奇遇セリ而シテフソチ、ビエルノ匿名書ヲ寄セシモ亦此頃ニ際セリ之ヲ以テ當路ノ法官ハ大ヒニ之ヲ怪ミ直チニガゲナルドベレスタルノ二兇徒ヲ法庭ヘ勾喚シテ各別ニル、ロイアル街ノ件ヲ鞫問シタリ蓋シ匿名書中最モ要樞ト稱ス可キ告發ノ證ハ往年寄書者偶々一酒肆ニ入テ獨酌ヲ催フセシ時其隣室ニ於テベレスタルガゲナルドノ二人ガ席ヲ同フシテ醺飲シナカラ談話セシモ是ナリ其要領ハ即チ左ニ掲クル如シ

ベレスタル曰ク憐△可シダングレーツハ我輩ノ爲メ獄裡ニ繋カレ却テ我輩ニ幸福ヲ與ヘタリ我輩何ツ之ヲ祝スルノ宴ナカラシヤ宜シク相醺飲ス可シ
 ガゲナルド曰ク然リダングレーツハ毎ニ我輩ノ爲メニ幸福ヲ與フルノ善良人ナリ我輩亦多少渠レカ爲メニ痛△ノ情無キ能ハサルナリ
 ベレスタル冷笑シテ曰ク嗚呼痛△可シ嗚呼痛△可シ渠レハ實ニ我輩ノ囊裡ヲシテ重カラシメ我

輩ヲシテ其嫌疑ヲ免カレシメ又遂ニ我輩ノ爲メニ其罪ニ陷并リタリ
 此外ドラコムブルト稱スル一婦人ノ口供ニ曩日ベレスタルハ此婦人ニ精巧ナル頭環ヲ示シテ箇ハ
 賭博ニ勝テ得シモノナリト告ケシヲ再三有リト又是ヨリ先キ和蘭國ノ一新聞紙上ニベレスタルノ
 事ヲ記スル一項ヲ載セタリ其要ハダングレーツノ罪ノ全ク冤枉ニ出テシヲ論シ且ツ其真犯ノ兇
 手ハ頃日別ニ犯セル罪有リテ遂ニオルレンスニ於テ刑戮ニ處セラレシ顛末ヲ記スルニ在リ然レモ
 後日ニ至リ個ハ全クベレスタルカ豫メ自己ノ探偵ヲ防クノ奸策ニ出テシモノナラント評決サレタ
 リ加之法官ベレスタルヲ鞫問スル時計ヲスモ其身邊ヨリシテガグナルドノ渠レニ寄セシ一通ノ手
 書ヲ發見シタリ蓋シ其中記スル所ハ專ラ彼ノ匿名書ノ件ニ涉リ且ツフヨンチビエルノ所業ヲ論シ
 今日速カニ渠レヲ除クノ策ヲ運ラサレハ却テ兩人ノ身ヲ危フスルニ至ル所以ヲ告ケ乃チベレス
 タルニ渠レヲ除クノ策ヲ諮ルニ在リフランチビエルヲ以テ匿名書ノ寄者ト推シ又此手書ノ外ニガグ
 ナルドハ當時モントゴメリーニ事ヘシ時ニ方リ其貧窶更ニ措ク所無キヲ以テ特リ侯ノ給スル俸給
 ヲ貯蓄スル餘裕無キハ固ヨリ言ヲ俟タサルニ一旦侯ヲ辭スルヤ忽チ許多ノ金錢ヲ酒色等ニ浪費セ
 シヲ有リト又ベレスタルハガグナルドノ侯ヲ辭セシ後チ幾モナク其父某カ製革ヲ以テ生ヲ營メル
 郷地モンス府ニ來テ若干ノ不動産ヲ購求セシトノ確報ヲ得タレハ法官ハ一々之ヲ引テ兩人ヲ詰問
 セリ之ヲ以テ兩人ハ既ニ其舊惡ノ蔽フ可カラサルヲ曉リ盡ク之ヲ首白シテ遂ニ其罪ニ伏セリ是ニ
 至テダングレーツ氏ノ一家ハ忽チ晴天白日ニ遭ヒシ如ク始テ其冤枉ヲ雪ケリ又兩人首服ノ際ガグ
 ナルドカ法官ニ向テ告ケシ言ノ中ニ渠レ前年モントゴメリー侯ノ家ニ在リシ時證據人ト爲テ鞫問
 ヲ受ケシカ其時渠レハ心中頗ル倉皇正ニ爲ス所ヲ知ラサリシヲ以テ若シ其時法官ノ爲メニ零細ノ
 鞫問ヲ受ケナハ必ス頓ニ其罪ヲ首白セシナル可シト雖モ幸ニシテ其法官ハ極メテ偏倚ナル人物ナ
 ハヲ得タリト嗚呼當路者亦鑒ミサル可ケンヤ

第十二判例

佛京巴倫ニレデイマセルト稱シ最モ能ク當世ノ時好ヲ追フ一婦人有リ其家屋ノ結構頗ル高大ヲ
 極ム今試ニ其大様ヲ記スルニ先ツ樓下ニ大ヒナル一書院有リテ其一隅ヨリ樓上ヘ昇ルノ梯房ヲ設
 置ス又此梯房ヘ通スル一室有リ婦人ノ老僕ルーブラント稱スル者之ヲ以テ常ニ睡房トス此外客室
 ト定メタルモノ仍ホ數多有リ然レモ婦人ハ別ニ樓梯ヲ屏ルヲ僅ニ二級許ノ所ニ設ケタル一小室ヲ
 以テ睡房ト爲ス但シ此睡房ノ戸扉ハ毎夜ルーブラン外ヨリ之ヲ鎖鑰ス又内ヨリハ婦人法條ヲ以テ
 其戸ヲ緊固シ外ヨリ開クヲ能ハサラシメタリ此外房中仍ホ二所ノ戸扉有リテ一ハ後梯ヘ通シ一ハ
 衣房ヘ通ス又其衣房ヨリ後梯ヘ通スルノ戸扉有リ而シテ第二層樓ハアベポーラドト稱スル一僧
 ノ睡房有ルノミニシテ第三層樓モ均シク婦人ノ下婢ノ睡房ノミニナリ其他第四層樓有リト雖モ個ハ
 全ク雜具ヲ納ムルノ用ニ供スルノミニナレハ平時ハ別ニ其戸扉ヲ鎖鑰スルヲ無シ
 却説老僕ルーブランニ二人ノ女子有リ婦女子ノ頭飾ニ用フル時樣ノ諸品ヲ製スルヲ以テ手工トナ
 セシカ其餘暇有ル時ハ必ス主家ニ來リテ婦人マセルノ徒然ヲ慰藉スルヲ常トス然ルニ一日(恰モ
 日曜日ナリ)二女ハ例ノ如ク相伴ヒテ婦人ヲ訪ヒシカ此日婦人ハ午後ヨリ教會ニ赴クノ企有リシ
 ヲ以テ談話頃刻ノ後チ二女ニ其故ヲ告ケ其夕再ヒ來訪ス可シト命シ直チニルーブランヲ從ヘテ教
 會ヘ至レリルーブランハ婦人ヲ教會ヘ送リシ後チ自己モ又他ノ教會ニ至リ說教ヲ傍聽セシカ之ヲ
 了リシ後チ此ヲ出テ、仍ホ諸所ニ奔走シ既ニ黄昏ニ垂タル時一友ノ家ニ至リ此所ニテ俱ニ晚餐
 ヲ食シ然ル後チ始メテ主家ニ歸レリ又婦人ハ此夕歸家ノ後チ常ノ如ク第二層樓ニ住スルアベ、ポ
 ーラドト俱ニ晚餐ヲ食シ夫ヨリ凡ソ十一時ト覺シキ頃ニ至リ二三ノ下婢ニ誘ハレテ睡房ニ入り
 タリ恰モ此時ルーブランハ婦人ニ翌朝ノ家事ヲ質スル爲メ睡房ノ戸前ニ來リシカ下婢ハ之ト交代
 シテ婦人ノ前ヲ退キ房内ヲ出テタリ但シ其中一人ノ下婢ハ房内ヲ出ツル時其鑰ヲ取テ戸前ニ在ル
 椅子ノ上ニ置キテ他ノ下婢ト俱ニ樓下ヘ去レリ又ルーブランハ翌朝ノ家事ヲ質セシ後チ直チニ右
 ノ鑰ヲ取テ睡房ノ戸ヲ鎖シ下婢ニ後ル、ヲ暫時ニシテ同シク此所ヲ去レリ

ルーブランハ翌朝夙ニ起キテ市街ニ至リ其日一日ノ用ニ供スル諸物品ヲ購求シテ家ニ歸リシカ其時將ニ八時ニ垂タルモ婦人ハ平常ニ異ナリ未タ晨起セサルヲ以テ大ヒニ之ヲ怪ミ且ツ心中自ラ安セサル所有ルヨリ直ニ其妻ノ比隣ニ住スルヲ訪ヒ其故ヲ告ケ殊ニ婦人ハ今朝未タ睡房ノ鐘ヲ鳴ラサハルサヘ甚々怪ム可キニ昨夜ルーブランノ手ヨリ婦人ニ若干ノ金圓ヲ遞與シタルヲ有レハ何等ノ椿事起リシヤモ亦知ル可カラスト言ヒ放チシマ、再ヒ主家ヘ奔馳シテ其緣故ヲ知ラント欲スルニ下婢等モ今ニ及ヒテ仍ホ婦人ノ起キ出テサルヲ以テ皆ナ色ヲ失ヒ互ニ面ヲ合セテ一言ヲ出サハリシカ一人ノ下婢突然ルーブランニ告ケテ曰ク婦人若シ病ニ侵サレシニ非ヌヤトルルーブラン之ヲ聽キ稍傾テ傾ケシカ否恐ラクハ此ノ如キニ止マラサル可シ其故ハ昨夜舉家睡ニ就キシ後チ余モ又門戸ヲ鎖シテ睡ニ就カント欲シ家外ニ出ツルニ怪ム可キハ外門ノ戸扉開放セルヲ發見セリ其何者ノ所業ナリシヤハ之ヲ知リ得サレト思フニ果シテ一大異變ノ起リシヤモ知ル可カラスト言ヒ夫ヨリ直ニ人ヲ馳セテ婦人ノ息男モツシユド、サヴヲ呼ビ之ヲ諮ルニサヴヲニエルハ之ヲ聽キ個ハ其母不時ニ癡癡ヲ露スルノ病癖有ルヲ以テ今朝モ亦正シク之ヲ發シテ床中ニ昏臥セシナル可シト告ケルニルーブランハ頻ニ頭ヲ左右ニ搖リ恐ラクハ然ラサル可シト云ヒ再ヒ前夜外門ノ戸ヲ開放セシ者有リシヲ告ケタリ然レト徒ラニ商議ノミヲ以テ時ヲ費シ却テ臍ヲ噬ムニ至ルヲ有ランヲ恐レ先ツ試ニ睡房ノ戸ヲ毀テ其内ヲ點檢ス可シ決意シ乃チ鏡工ヲ呼ビテ其戸ヲ毀タシメ僅ニ身ヲ容ル、ニ至ルヲ俟チルーブランハ直ニ奔入シテ寢床ノ前ニ進ミ聲ヲ放ツテ婦人ヲ喚起スルヲ數回ニ及ヘトモ更ニ一言ノ應答ナキヲ訝リ仍ホ進テ帳幕ヲ揭ケ床中ヲ見ルニ個ハ如何ソヤ婦人ハ數個重傷ヲ負ヒ渾身血ニ染ミテ既ニ其命ヲ絶テリルーブラン之ヲ一見ニ室内ヘ奔入セシカ唯、喫驚スルノス後ヘ亂跳シテ聲ヲ放テリ舉家ノ人ノ之ヲ聞キ慌然トシテ一齊ニ室内ヘ奔入セシカ唯、喫驚スルノミニシテ正ニ爲ス所ヲ知ラス之ヲ暫クシテルーブランハ漸ク心ヲ鎮メ先ツ衣房ニ入りテ金函ヲ見ルニ敢テ之ヲ開放セシノ跡無キヲ以テ個ハ正シク盜賊ノ所業トシモ覺ヘスト云ヒ衆人モ亦此ニ至テ愈々其何人ノ所業ニ出テシヤヲ察スル能ハス俱ニ默然タリ其ヨリ又婦人ノ死骸ヲ點檢スルニ

疵傷ノ數凡ソ五十餘所有リ又床中ニ粗布ヲ以テ製シタル頸巾ノ離斷シタル一片ト手巾ヲ以テ夜帽ト爲シタルモノ一個有リ但シ此手巾ハ夥シク生血ニ汚レト雖モ其一隅ニ記セシ符號ノ跡判然タリ又婦人ノ右手ニ負ヒシ傷ヲ細查スルニ婦人ハ其死ニ臨ミ極メテ劇シク賊ト爭ヒシヲ全ク顯然タリ而シテ寢床ノ上ニハ婦人其下婢ヲ召呼スル爲メ裝置シタル鐘有リト雖モ其繩索ヲ鐘蓋ニ纏附セリルヲ以テ婦人ハ自ラ手ヲ延ハシテ之ヲ鳴ヌヲ得サリシナリ思フニ個ハ兇賊頓ニ之ヲ察テ豫メ之ヲ纏附セシモノト覺ヘタリ此外室隅ノ爐中ヨリ燒壞シタル小刀ヲ發見ス又睡房ノ戸ハ前夜下婢ノ椅子上ニ置キシ鑰ヲ以テ開放セシモノ、如シ故ニ戸扉ニハ別ニ之ヲ毀テタルノ跡無シ加之金函及ヒ他ニ藏貯セシ巨額并ニ寶玉類等ニ至テハ敢テ之ヲ掠奪セシ如キノ顯跡無キヲ以テ畢竟婦人ヲ殺害セシハ盜賊ノ所爲ナリト信スル者ハ一人モ之レ有ラサルニ及ヘリ是ヲ以テ警官ハ先ツルーブランヲ拘引シテ訊問スルニ前夜樓梯ニ於テ下婢ニ別レシヨリ須臾ノ後チ之ヲ降リテ厨房ニ來リ暫ク火邊ニ坐セシカ忽チ睡ヲ催フシテ覺ヘヌ假眠セリ夫ヨリ凡ソ一時間許ヲ過キント思ヒシ頃眼ヲ醒マシ直チニ起テ家外ニ出テ外門ノ戸ヲ鎖鑰セント爲セシニ何者カ夜ニ乘シ此ヲ出シト見ヘ盡ク其戸ヲ開放セリ依テ速カニ之ヲ閉シ仍ホ嚴ニ内ヨリ鎖鑰シ然ル後チ始メテ睡房ニ入り再ヒ睡ニ就キタリト供ヌ又ルーブランノ身邊ヲ搜尋スルニ其懷ヨリ一個ノ鑰ヲ得タリ警官之ヲ取テ點檢スルニ其口ニ稍開張シタル所有ルヲ以テ其因由ヲ搜討スルニ即チ婦人ノ睡房衣房並ニ外門ノ戸扉ニ至ルマデ總テ此鑰ヲ用テ開放セシヲ證明セリ又試ニ手巾ヲ以テ夜帽ノ形ニ爲セシモノヲ取リルーブランノ頭ニ戴カシメタルニ恰モ能ク吻合シテ毫モ大小ノ殊違ヲモ見ス是ニ於テルーブランハ忽チ警官ノ嫌疑ヲ受ケ其所ヲ去ラス直ニ面縛サレ遂ニ獄ニ投セラレタリ然ルニ其後チルーブランヲ法庭ニ勾喚シ訊鞠ヲ加ヘ具サニ前後ノ情況ヲ取テ一々之ヲ檢覈スルニ抑、ルーブランハ自ラ手ヲ下シテ婦人ヲ殺害セシニハアラスシテ渠レハ唯、現犯ノ賊ヲ房内ヘ先導シタルニ過キサルカ如キモノアリ其故ハ渠レ若シ自ラ手ヲ下シテ婦人ヲ殺害セシ者ナレハ婦人亦

死ヲ極メテ劇シク之ト相争ヒタルノ證據有ルヲ以テ渠レ其肢体ニ於テ多少ノ傷ヲ負ヒ又生血迸出シテ其衣服ヲ汚セシ跡ナクシテハアラスト雖モ敢テ此ノ如キモノアルヲ見サルヲ以テナリ然レモ之ニ反シ室内ノ諸戸ハ一トシテ人ノ爲メニ幹開サレシ跡ナク又其夜ルーブランハ親シク外門ノ戸ノ開放セシヲ發見シタリト供シ及ヒ渠レカ懷ヨリ婦人ノ睡房并ニ外門ヲ開放セシ鑰ヲ發見シ又手巾ヲ以テ作リタル夜帽ノ渠レカ頭ニ吻合セシ如キノ情況アルヲ以テ法官ハ渠レ假令ヒ現犯ノ賊ニアラサルモ到底其罪ヲ免カル可キモノニハアラサル可シトノ疑ヲ懷キ加之其翌朝家後ニ架セシ繩梯ヲ發見セシカ個ハルーブランカ其罪ヲ他ニ假託セントノ奸策ニ出タルモノナリト推定シ又生血ニ汚レタル頸巾ヲ下婢ニ示セシニ此頸巾ハ今ヨリ四箇月前マテ婦人ノ使僕ベリナナル者アリ一日婦人ノ金圓ヲ偷ミシ罪ニ依リ直ニ放逐サレシカ恐ラクハ渠レノ所有ニ係ルヘシ即チ其故ハ當時下婢ノ一人ニシテ現ニ渠レカ爲メニ之ト同シキ頸巾ヲ洗滌セシコトアルハナリト告ケシヲ以テ法官ハ正シクルーブランニ一人ノ同謀者アリト臆斷セリ其他又雜具ヲ納メシ第四層樓中ニ葉堆アリシカ其下ヨリ血跡淋漓タル親衣一個ヲ搜出セリ然レモ此親衣ハ全クルーブランノ有ニアラサルノ確證ヲ得タリ前後ノ情況此ノ如キヲ以テルーブランハ更ニ之ヲ辨解スルノ道ヲ知ラス只管數年間婦人ニ事ヘテ頗ル誠實ニシテ今日ニ至ル迄未タ曾テ毫モ婦人ニ對シテ野心ヲ挾ミシコトナキト平素ノ品行端正ナルトヲ頼ミ頻ニ之ヲ陳述シテ其冤ヲ解カント欲セシト雖モ法官ノ疑ハ既ニ其胸裏ニ先入シタルヲ以テ依然之ヲ固執シ飽クマテ其實ヲ吐カシメ且ツ同謀者ノ所在ヲモ究知セント欲シ終ニ拷問ヲ加ヘテ渠レヲ實メタリ之カ爲メ渠レハ大ニ其肢體ヲ毀損サレ未タ數日ヲ出テサルニ忽チ其命ヲ失ヘリ然レモ其死ニ至ル迄精神端然毫モ拷問ノ痛苦ニ由テ挫折スルナク終始其冤ヲ訴ヘタリルーブランノ死後未タ一月ヲ過キサルニ偶ニセンス府ノ市尹ヨリ法官ヘ一通ノ公信ヲ寄セリ其要ニ曰ク頃日センス府ニ於テジョンガレットト稱スル者新ニ馬商ノ業ヲ開キタリ然ルニ渠レハ其本名ヲベリト稱シ曩日巴倫ニ在テ某ノ主僕タリシモノナルコトヲ探知ヌ云々ト是ヲ以テ法官ハ直ニ渠レヲ逮捕セシムルニ其將ニ捕ニ就カントスル時ニ臨ミ故ナク捕吏ニ賄賂ヲ贈ラントセシヲ

以テ愈々法官ノ疑心ヲ増シ試ニ其家ヲ搜索スルニ忽チ金製ノ時辰鏢一個ヲ得タリ乃チ之ヲ諸證據人ニ示シテ見斷セシメシニ果シテ前日迄レデイマゼルノ有セシモノニ違ハスト告白セリ又巴倫ニ住スル某ノ如キハ婦人ノ殺害ニ遭ヒシ夜ニ方リ正シク渠レカ婦人ノ家ヲ潜出スルヲ目撃シタリト誓言ス其他又一人ノ剃工アリ其證言ニ曰ク婦人殺害ニ遭ヒシ翌朝渠レノ髮ヲ理メシカ其時渠レノ雙手ニ數箇ノ抓傷アルヲ見シヲ以テ親シク其故ヲ質セシニ渠レ之ニ即答シテ曰ク個ハ昨夕猫兒ヲ殺セシ時誤テ抓傷サレシモノナリト是ニ至テベリノ罪跡ハ殆ント判然セシヲ以テ終ニ拷問ヲ加ヘテ仍ホ斷罪ノ後ハ車輪ヲ以テ生ナカラ挽殺スルノ刑ニ處ス可シト豫メ決定シ夫ヨリ直ニ拷問ヲ加ヘタリ然レモ其當初渠レハ全ク假偽ノ言ヲ構ヘ婦人ノ殺害ハ曾テ其女マダムサヴラニエルの唆聲ニ由テルーブラント相謀リ窃カニ婦人ヲ殺シ其財貨ヲ偷マント決シ即チルーブランハ夜陰婦人ノ睡ニ就クヲ俟チ其睡房ニ忍ヒ虛ニ乘シテ之ヲ行ヒシナリ然レモ此時ベリハ獨リ睡房ノ戸前ニ立テ外ヨリ人ノ來ルヲ看守セシノミニテ自ら手ヲ下シルルーブランヲ援ケシコトハ毫モナシト陳セリ然レモ其後全ク罪ニ斷セラレテ將ニ刑場ヘ引カルニ臨ミ終ニ實情ヲ舉テ具サニ之ヲ白狀シ且ツルーブラン及ヒマダムサヴラニエルの二人ノ誣告ヲモ反悔シタリ今白狀ノ顛末ヲ聞クニベリハ婦人ヲ殺害セシ前ノ水曜日ヲ以テ巴倫ニ來リシカ金曜日其翌々日ノ夕ニ方リ婦人ノ家前ニ來リ竊カニ窺フニ其中寂然タルヲ以テ獨リ點頭シテ直ニ第四層樓ニ上リ夫ヨリ日曜日朝ニ達スル迄此所ニ潜伏シ自ラ携帶シタル菓物麵包ヲ以テ其間ノ食料ニ供セリ然ルニ日曜日午前十一時頃樓上ニ在リナカラ私カニ婦人ノ教會ニ至リシヲ察知セシ故先ツ試ニ踏歩シテ樓下ニ來リ婦人ノ睡房ニ至リシカ其戸全ク開放セルヲ以テ外ヨリ人ノ來リテ爲メニ親認サレシコトヲ恐レ匍匐シテ婦人ノ寢床下ニ入ラント爲セシカ其間頗ル狹隘ニシテ軋ク身ヲ容レ難キヲ以テ復タ樓上ニ還リ外衣并ニ胸衣ヲ脱シ襯衣ノミニテ再ヒ睡房ニ來リ漸クシテ寢床下ニ忍フヲ得タリ而シテ此ニ忍ブコト暫時ニシテ既ニ午後ニ及ヒタルレモ仍ホ數時ヲ過クルニアラサレハ婦人ノ歸家セサルヲ知り徐々トシテ再ヒ床下ヨリ匍出シ其帽子ノ床底ニ觸レ身體ヲ左右スルニ甚タ不便ナルヲ以テ更ニ之ヲ脱シテ

床下ニ匿シ房内ノ椅子上ニ置キタル手巾ヲ拾ヒ之ヲ疊ミテ帽子ト爲シ頭ニ戴キ又鐘繩ヲ取テ鐘蓋ニ纏附シ然ル後チ火爐ノ側ニ至テ端坐セシカ須臾ニシテ忽チ門前馬車ノ輾聲ヲ聽キタリ之ヲ以テ再ヒ床下ヘ忍ヒシニ夫ヨリ仍ホ數刻ノ後チ漸ク婦人ハ房内ニ來リ終ニ床上ニ横ハリ須臾ニシテ眠ニ就ケリ是ヨリ凡ソ一時間ヲ過キシ頃ハ突然床下ヲ出テ婦人ニ迫リ金圓ヲ強求セリ婦人ハ睡眼ニ之ヲ認メ駭一駭暫ク呆然タリシカ將ニ聲ヲ放チ且ツ鐘ヲ鳴サントセシヲ以テ渠レ忽チ小刀ヲ揮ヒ婦人ヲ刺シタリ婦人モ亦死ヲ極メカヲ竭メテ劇シク相爭ヒシト雖モ纖手固ヨリ兇漢ニ敵ス可カヲサレハ忽チ數多ノ傷ヲ負ヒ立トコロニ死セリ是ヲ以テベリハ床中ノ一隅ニ秘シタル衣房ノ箆箆ニ用フル鑰ヲ搜出シテ直ニ衣房ニ至リ箆箆ヲ開キ又其中ヨリ金函ノ鑰ヲ搜出シ之ヲ以テ更ニ金函ヲ開キ得ルニ任セテ金貨凡ソ六百「リ」ヲ奪掠セリ然ル後チ金函并ニ箆箆ヲ前ノ如ク鎖鑰シ又箆箆ノ鑰ハ再ヒ床中ニ置キテ舊ノ如クナラシメ小刀ハ直ニ爐中ヘ投シ又手巾ヲ以テ作リタル帽子ヲ脱シテ床下ニ投シ前ニ床下ヘ匿セシ帽子ヲ出シテ之ニ換ヘ夫ヨリ椅子上ニ在リシ鑰ヲ得テ睡房ノ戸ヲ開キ戸外ヘ出テ再ヒ樓上ヘ來リ始メテ襪衣頸巾ヲ脱シ之ヲ其傍ヘ投棄シ前ニ脱セシ外衣及ヒ胸衣ヲ服シ夫ヨリ踏歩シテ樓梯ヲ下リ前門ニ至リ其戸ヲ擁スルニ輒ク開キタルヲ以テ直ニ門外ヘ出テ再ヒ之ヲ閉ツルニ及ハスシテ此所ヲ逃レタリ又繩梯ハ正シクベリノ架セシモノニシテ事ヲ遂ケシ後チ窓口ヨリ之ニ傳ハリテ門外ヘ出ツル爲メ豫メ準備セシト雖モ輒ク門戸ヲ開キ得タルヲ以テ全ク之ヲ用フルニ及ハサリシナリト右ニ依テ前日ルーブランノ罪ヲ證シタル情況モ此時始メテ其信憑スルニ足ラサルヲ發見シ乃チ渠レノ冤枉モ此ニ漸ク之ヲ證スルヲ得タリ然レモ當時法官ノ執拗ナルト拷問ノ苛酷ナルトニ由テ恰モ前判ノダングレーヅニ於ケル如ク渠レ業ニ既ニ泉下ニ冤鬼ト爲リシ後ナレハ亦之ヲ奈如ス可カラス噫

第十二判例

千八百十五年英國倫敦府ニ於テ情供證據ニ係ル判例ニシテ頗ル哀愍ノ情ニ堪ヘサルモノアリ惟フニ今日仍ホ生存スル所ノ人ニシテ當時親シク其現況ヲ目撃セシモノ多カル可シ今其顛末ヲ尋ヌル

ニ同府チアソセリイ街ニ住スル某ノ家ニ事フル一雇婢アリ其名ヲエリザ、フエンニングト稱ス齡齒二旬ノ上僅ニ一ヲ過キ標致極メテ艶麗ナリ其雙親ハ既ニ老年ニ及ヒタレハ其子ハ唯、エリザ一人ニ止マルヲ以テ眷愛常ニ超ヘタリ又エリザハ能ク子タルノ道ヲ盡クシ毫モ怠ルヲアラザリシトア然ルニ千八百十五年四月其雇主夫妻及ヒ其父某ノ毒殺ヲ謀リシ嫌疑ヲ被フリ忽チ捕ニ就キオールド、ベイリーニ於テ龍動府主書官某ノ糾問ヲ受ケタリ蓋シ此罪タルロルド、エレン、ポロー、氏ノ條例ニ由レハ重罪中其最モ重キモノナレドモ其証タル全ク情據ニ出テシノミニテ即チ雇婢ノ調製セシ湯麵ニ毒ヲ含ミシモノ是ナリ又此時毒藥ノ現跡ヲ發見セシ外科醫某ハ雇婢モ亦之ヲ喫了シ爲メニ煩悶セルヲ猶ホ雇主ノコトクナリシ所以ヲ證セリ然レハ雇婢ノ之ヲ喫セシハ固ト其罪ヲ隱匿スルノ伎倆ヨリ出テシモノニハアラサルニ似タリ其故ハ若シ故意ヲ以テ毒ヲ加ヘシナレハ湯麵ヲ盛りシ盤子ヲ速カニ洗滌ス可キニ左ハナクシテ其翌日ニ至ルマデ依然之ヲ厨房ニ置キ之カ爲メ迷ニ盤中砒霜ノ氣味アルヲ發見サル、ニ至リシヲ以テナリ若シ又其罪ヲ蔽ハントセハ奚ソ初ヨリシテ之ヲ洗滌セサルノ理アラシヤ

抑、右ノ如キ情據ニ由テ其罪ニ斷ス可カラサルハ更ニ言フ俟タサル所ナリト雖モ主書官某ハ心中頗ル囚徒ヲ惡猜セシ故聽獄ノ後チ諸證ヲ總括スルニ臨ミ極メテ不理不當ノ語ヲ吐キ隱然陪審ノ心裡ニ影響シ之カ爲メエリザハ遂ニ有罪ト認定サレ乃チ毒殺ノ罪ニ定擬サレタリ是ノ如キヲ以テ苟モ其實況ヲ知ル者ハ擧ツテ皆ナ之ヲ愍ミ大ヒニ力ヲ竭クシテ其命ヲ救ハントシ乃チ一編ノ哀願書ヲ作り之ヲ國君ニ奏シテ特赦ノ典ヲ仰ケリ但此哀願書ニ連署スル者數千人ノ人ノ多キニ達シタリ雇主某ノ如キモ有志者之ヲ説諭シテ其名ヲ連署セシメント爲セシガ主書官某ノ妨ケニ由テ之ヲ果ス能ハザリキ是ヲ以テ有志者ノ義舉モ到底徒勞ニ歸シエリザ、フエンニングハ終ニ處刑ノ宣告ヲ受ケタリ然レモ既ニ其死ヲ決シ端然トシテ政テ駭カス唯、靜カニ其無辜ヲ告ケタリ又處刑ノ日ニ及ヒ刑場ニ護送サレ正ニ一戸扉ヲ出テ、其場ニ臨マントシテ恰モ半身ヲ戸外ニ露ハセシカ前ヨリ此ニ來集セル傍觀人ノ中ヨリコツトナル者大呼シテ曰クエリザ汝子亦余ニ向

テ言ハント欲スルトコロノモノアラスヤトエリガ其聲ニ應シテ曰ク今ニ及ヒテ別ニ告ク可キト無シ唯、公明全能ナル眞神ノ前ニ於テ其冤ヲ訴ヘンノミ是レ即チ余カ誓願ナリト言訖テ其全身ヲ見ハス之ヲ見ルニ渾身白衣ヲ裝ヒ宛モ嬋妍タル一佳人ナリ公衆之ヲ評シテ曰ク正ニ是レ神使ノ如シト亦宜ナリ而シテエリザハ二名ノ罪囚ト俱ニ死ニ處セラレタリ四方ニ蟬集セル傍觀人ハ是ニ至テ坐ロニ滂ヲ催フシ覺ヘス潜然タリ

然ルニエリザ處刑ノ日ヨリシテ世人忽チ其裁斷ノ不正ヲ鳴ラシ大ニ激動ヲ生シ其勢ト殆ソド底止スル所ヲ知ラス主書官ノ邸宅ノ如キハ暴動ノ恐アラシク察シ豫メ之ヲ避クル爲メ兵卒ヲ以テ之ヲ護衛スルニ至レリト然リ而シテ其後テ送葬ノ景況ヲ聞クニエリザノ雙親ハ悵然トシテ棺前ニ立テ徐歩シ之ニ續ク者ハ白衣ヲ裝ヒタル妙齡ノ婦人六名トエリザノ親戚八名ナリ其他ハ皆ナ其死ヲ周悼スル公衆人ニシテ其數凡ソ一萬人ヲ超ヘタリ又路傍ノ人家ハ固ヨリ言ヲ俟タス其屋上ニ至ル迄盡ク縱觀人ヲ以テ充滿シ實ニ立錐ノ地ヲモ餘サス其雜沓警フルニ物ナシ既ニシテ送葬人ノ一行ハセイント、シタルシノ墓地ニ達セシヲ以テ此ニエリザノ遺骸ヲ埋メリ蓋シ前代未聞ノ送葬ト稱ス可シ却說エリザ斷罪ノ後チ未ダ其刑ニ就カサル日主書官ニ訴出セル者一人アリ其要ニ曰クエリザノ雇主毒ニ中リシ時其家族ニ一人ノ癡狂者アリシガ渠レ一日人ニ告グルニ余狂病ノ爲メ家族ヲ暴殺スルコアル可シ若シ然ラサレハ余果シテ自死セントス可シ是レ余ガ甚タ恐ル、所ナリト此他訴出者別ニ其證ヲ示サントセシガ主書官ハ苟モ今日ニ迫リ何等ノ證ヲ示スモ更ニ益ヲ見スト斷言シ毫モ其言ヲ所ヲ採ラサリキ然レモ此ニ由テ見レハ彼ノ癡癡人ノ本犯タルヤ殆ソド疑ヒナキモノニ似タリ蓋シ右ノ事實ヲ告白セシ者ハホルボヤーン街「コルビン」會社ニ屬スルギブソンナル人ナリ仍ホ其口供ヲ抄出スルニ昨年ノ八月九日覺シキ頃〇〇氏(其名ヲ公ニセズ)一日余ヲホルボヤーン街ノ寓居ニ訪フ余〇〇氏ノ容貌舉止ヲ一目スルニ頗ル常ニ異ナル所アルヲ以テ直チニ別室ニ誘ヒ其所以ヲ質セントセシカ其突然ギブソンニ向ヒ言ヲ發シテ曰クギブソン氏希クハ余ヲ禁錮セヨ若シ然カラザレハ余必ス不測ノ患害ヲ援起ス可シ而シテ余又自死スルニ至ルノミナラス必ス妻

ヲモ俱ニ殺死スルコアル可シ余固ヨリ其不可ナルヲ知ルト雖モ自ラ之ヲ抑制スル能ハス況ヤ何物カ冥々ノ中此非擧ヲ余ニ德憑スルモノアルニ於テオヤ汝チ幸ヒニ友誼ヲ知ラハ速カニ余ヲ執ヘテ禁錮セヨト余之ヲ聽キ心中頗ル駭キシカ苟モ默止ス可キニアラスト思惟シ直ニ之ヲ其家族ニ忠告セリ然レモ家族ハ毫モ之ヲ心頭ニ懸ケサルモ、ノ如ク其後チ遂ニ毒藥ノ變ヲ援起スルニ至レルナリト

第十四判例

前紀ノ中頃リチアルド、コールマンナル者サラ、グリーンント稱スル婦人ヲ殺死セルノ罪ヲ以テ英國サレイ州キングストンノ法衙ニ告訴サレタリ蓋シコールマンハ良、文字ヲモ解スル人ナルヲ以テ年來釀酒家某ニ事ヘテ簿吏ト爲リ妻子數人ヲ養育セリ却說被害者サラ、グリーンハ固ヨリ卑賤ノ一婦人ナリシカ一日三人ノ惡漢ノ爲メ強姦サレ之カ爲メ重傷ヲ負ヒ夫ヨリ日ナラス落命セリ但シ右三名ノ惡漢ハ其狀態孰レモ釀酒家ニ雇役サル、者ノ如シト又遭難ノ後チ幾モナク婦人未ダ病院ニ在リシ時一日人ニ告ケントコロヲ聞クニ兇手ノ一人ハ正シク釀酒家ベリーニ事フル者ナリト然レモ其時婦人ハ其何人タルヤヲ告グル能ハサリキ又婦人遭難後二日ヲ過キシ日ノ夕ニ方リコールマンハ近傍ノ酒店ニ投シテ一杯ヲ傾ケントセシガ此時其知友ダニールトロットマント稱スル者モ既ニ此ニ在テ飲酒セリ而シテコールマンハ其席ニ就キ酒精并ニ冷水ヲ得テ匙子ヲ取リ將ニ之ヲ混和セントスルモ又其傍ニ飲酒スル一人アリテ毫モコールマントハ相知ラサル者ナルガ突然コールマンニ向ヒ曰ヘラク汝チ過日ノ家ヲバ如何セシト(頃ハ近傍ニ於テ一頭ノ豕ヲ失ヒシ者アルヲ以テ故ラニ此語ヲ設ケ暗ニコールマンヲ詰リシナリ)コールマンハ其言ヲ聽クヤ大ヒニ怒氣ヲ發シ口角ヲ尖シテ其不敬ヲ咎メシヨリ忽チ一場ノ爭論ヲ援起シ彼此互ニ罵詈譎ヲ盡クセシガ其際渠レハコールマンヲ目シテ前日サラ、グリーンノ殺死セル兇手ノ一人ナリト罵レリ是ニ至テ口論ハ益、過劇ニ及ヒシカ幸ヒニシテ相搭闘スルニ至ラス互ニ唯、十分ノ怒氣ヲ含ミテ一時先ツ其場ヲ

退散セリ

是ヨリ一二日ヲ過キダニール、トロツトマンハ別ニ某一人ヲ誘ヒ警官ノ廳前ニ至リコールマンヲ以テサラ、グリーンヲ姦セシ本犯ナリト告訴セリ警官ハ固ヨリ其告狀ヲ信セザリシト雖モ試ニ先ツ屬吏ニ命シテコールマンヲ病院ニ勾引シ親シク渠レヲグリーンニ示シテ其全ク兇手ノ一人タルヤ否ヲ質セシメシニ患者ハ僅ニ寢中ヨリ頭ヲ擡ケ其一人タルヲ信スト對ヘシモ未ダ其眞ヲ誓フヲ否ミタリ之ヲ以テ警官クラークハ先ツコールマンニ保釋ヲ許セリ其後テ日ナラヌシテ警官再ヒコールマンヲ勾喚シ更ニ鞫問ヲ爲セシカ此際モ又確証ヲ與フルモノナキヲ以テ是ニ至リ警官ハ將ニ渠レヲ放免セント爲セシカ宛モ此時被害者ノ雇主ウヰノ子ナル者ノ警官ニ乞フテ今一タビコールマンヲグリーンニ示サンコトヲ欲セリ此ニ由テ警官ハ時日ヲ定メコールマンニ再度ノ出廳ヲ命ス而シテ其日ニ至リコールマンハ毫モ時ヲ違ヘス出廳セリ且ツ犯罪ノ當夜サラ、グリーンガ二人ノ男子(即チ現犯ノ兇手)ト飲齋セシ酒店ノ主人ヲ誘引セリ而シテ此店主及ヒ此他仍ホ數名ノ證據人ハ齊シク口ヲ竝ヘテコールマンノ兇手ニ非サルコトヲ誓言セリ又警官クラークハ親シクグリーンヲ審問シテ其實否ヲ確知セント欲シ其翌日自ラ病院ニ至リグリーンヲ病牀ニ訪ヒコールマンノ果テ兇手ノ一人タルヤ否ヲ質セシニ婦人ハ被害ノ時既ニ夜ニ入り黑暗能ク其面ヲ識別セサルカ故ニコールマンノ果テ其一人タリシヤ否ハ今之ヲ確言スル能ハスト答ヘタリ是ヲ以テ警官ハ先ツコールマンヲ其所ヘ勾喚シテ親シクグリーンニ示シ再ヒ其有無ヲ質シ且ツ誓テ眞ヲ告ク可シト諭セシガ此時ニ及ヒグリーンハコールマンヲ目シ兇手ノ一人タリト供シタリ然レモ警官ハ右ノ陳告ヲ聽キ個ハ婦人腦苦ノ爲メ心神既ニ亂レタルヲ以テ此ノ如キ妄言ヲ吐クナリト信シ且ツ夙ニコールマンノ無辜タルヲ信セシニヨリ其翌日ヲ期シ保釋金ヲ出シ仍ホサレイ州次期裁判ノ時ヲ俟テ再ヒ答辨ヲ行フ可シト命シ遂ニ渠レヲ解放セリ之ヲ以テコールマンハ其翌日毫モ時ヲ誤マラス保釋金若干ヲ携ヘテ之ヲ警官ニ納レタリ

然ルニ其後チサラ、グリーンハ療養遂ニ効ヲ奏セズシテ死去セリ是ヲ以テ檢死官ノ陪審直ニ參集シテ其死ノ原因ヲ檢査セシガコールマン及ヒ其他不明ノ二人ヲ以テグリーンヲ謀殺スルノ罪ニ定擬シ乃チ逮捕狀ヲ發シテ渠レヲ拿捕セシメント爲セシガコールマンハ從來其身ニ於テ一點ノ罪ナキヲ知ルト雖モ頗ル謀殺ノ名ヲ以テ獄裏ニ繋カレンコトヲ恐レ慌然郷地ヲ逸奔シハルローオンゼヒルノ近傍ビソナルト稱スル地ニ潜伏セリ此時國君ハノザアルニ行在シ本國ニハ貴顯其政ヲ攝セシガコールマンヲ逮捕スル者へ五十磅ノ賞金ヲ給與ス可シトノ公令ヲ頒布シ又サウフアル州聖徒サザヰル治下ノ民更ニ二十磅ノ金ヲ贈シ之ニ加フ可シト廣告セリコールマン忽チ之ヲ官報中ニ於テ一見セシガ頗ル狼狽セシモノト見ヘ前後ノ如何ヲ顧ミスシテ愈々其身ヲ匿セリ惟フニ勢ヒ此ニ迫リテ速カニ法衙ヘ出テ、飽マデ其冤ヲ辨明スルコト却テ一身ヲ全フスルノ良策ト稱ス可シ然レモ渠レ世人ノ爲メニ兇犯ト冒認サル、ヲ嫌フノ心極メテ大ナリシト見ヘ專ラ其身ヲ匿スニ汲々タリシモ殊ニ左ノ一文ヲ綴リテ之ヲ諸新聞紙上ニ掲出セリ

余頃日官報中ニ廣告スル所ヲ見ルニサラ、グリーン謀殺ノ罪ヲ避クル爲メ逸奔云々ノ件アリト雖モ余固ヨリ一點ノ罪惡アラサレハ何ソ敢テ逸奔スルノ理アラナヤ故ニ必ス次期裁判ノ時ヲ俟テ自ラ訴出シ乃チ其冤ヲ解ク可シ

リチアルド、コールマン

然ルニ當路ノ法官ノ一タヒ右ノ廣告ヲ聞知スルヤ却テ仍ホ其探偵ヲ一層嚴ニシ遂ニ十一月廿二日渠レヲビソナルニ捕獲シテ直ニサウスウアルクノ監獄ニ投シサレイ州キングストン次期裁判ノ時ヲ俟チタリ既ニシテ其時ニ達シ法官ノ訊鞫ヲ受クルニ方リ數名ノ證據人法庭ニ出テ、コールマン犯罪ノ當日犯所ニアラサリシコトヲ誓言セシト雖モ法官ハ毫モ之ヲ信セズ專ラダニールトロツトマンノ告白及ヒサラ、グリーンガ生前ノ口供ニ憑據シテ遂ニ其罪ニ斷セリ而シテコールマンハ之ヲ聽クモ神色自若トシテ毫モ其死ヲ恐ル、ノ動止ヲ表ハサ、リシト雖モ飽マデ其無辜ヲ固執シ亦動カス可カラサル如キモノアリタリ

然リ而シテ千七百四十九年四月十二日ヲ處刑ノ日ト定メタルヲ以テ此日獄吏ハコールマンヲクン

ニングトコムモンナル刑場へ引キタリコールマン將ニ刑ニ就カントスルニ方リ其冤枉ヲ論述シタル一編ノ文章ヲ刑場ニ臨ミタル僧官某ニ交付シ後事ヲ託セリ然ル後チ端然トシテ刑ニ就キシガ更ニ臆色ヲ帯ヒス唯其妻子ヲ遺シテ艱難貧窶ニ陥ラシムルヲ嗟嘆シ潜然タリシトア

其後チ凡ソ二年ヲ過キカラ、グリーンヲ死ニ致セシ現犯ノ兇手ハシエームス、ウエルクトマス、シヨーン、シヨーン、ニコルス、ト稱スル三名ノ杜氏タルヲ始メテ發見シタリ蓋シ此三兇徒ハ元來竹馬ノ友タルヲ以テ一タヒ其罪ヲ犯セシモ相謀シテ之ヲ秘匿シ他ニ洩ラサ、リシガ所謂ル天網恢々遂ニ之ヲ蔽フ能ハス一朝忽チ其隱惡ノ發覺スルニ及ヒタリ今其發覺セル顛末ヲ尋ヌルニ右ニ兇徒ノ一人ナルシエームス、ウエルクハ一日友人シエームス、デツシユト俱ニニユーイングトノ近傍ヲ遊歩シ行々世事ヲ談話セシカ語次偶然無辜者ノ冤枉ニ陥リ遂ニ刑戮ニ遭フ者ノ談ニ涉レリ然ルニ此時ウエルクハ談話ノ興ニ乘シリチアルド、ユールマンノ如キハ即チ此不幸ニ遭ヒシ一人ニシテ其現犯ハニコルス、シヨーン、ス及ヒ余トノ二八ニ外ナラサルヲ告ケ且ツ其時ノ實況ヲ逐一演ヘタリブツシユハ耳ヲ欬テ之ヲ聽キシガ唯、ウエルクハ唐突此ノ如キ隱惡ヲ自ラ吐クヲ怪シムノミニシテ未タ之ヲ信スルニ至ラス其後モ更ニ此談話ヲ心頭ニ掛ケキリシカ仍ホ數日ヲ過キシ時一日偶然之ヲ其父ニ告ケシヲアリ然ルニ又其ヨリ三五日ノ後チブツシユノ父ハトマス、シヨーン、スニ邂逅セシヲ以テ試ニ其眞偽ヲ探ラント欲シ突然渠レヲ擁シ汝チカラ、グリーンヲ殺死セル兇徒ノ一人ニアラスヤト質セリシヨーン、スハ之ヲ聽キ覺ヘス戰慄シテ面色土ノ如ク更ニ言ハントスルトコロヲ失ヒシカ私カニ心ヲ勵マシ聲ヲ放チテ曰ヘラク是レ果テ何等ノ事ゾコールマン既ニ刑ニ處セラレグリーン又死セリ今日何人カ得テ能ク余輩ヲ害ス可ケンヤト然ルニ此一言ニ由テ忽チ法庭ノ嫌疑ヲ生シニコルス、已下三名ノ兇徒ハ直ニ捕ニ就キ糾問ヲ受ケシカ當初ハ皆チ其罪ヲ蔽ヒテ毫モ其實ヲ告ケス然ルニ其後チニコルス、一人ハ法官ノ諭告ニ從ヒ其罪ヲ首白シ且ツ同謀二名ノ罪ヲ證スルノ證據人ト爲ランコトヲ約セリ

然リ而シテ次期裁判ノ時ニ至リ再ヒ其審鞫ニ着手シ遂ニニコルスノ口證ニ據リ二名ヲ罪ニ斷シテ

死刑ヲ宣告セリ是ニ至テ二名ノ兇手ハ始メテ悔悟ノ心ヲ生シ盡ク其罪狀ヲ首白シ又コールマンノ解冤書ヲ作り之ニ署名シ以テ世上ニ公告センコトヲ乞ヘリ

第十五判例

臨終ノ口供ニ據テ無辜ヲ罪ニ陷井レシモノ前例ノ外尙ホ亦一例有リ英國サレイ州リース府ノウ井ルヤム、シヨート稱スル者ノ冤獄是ナリ抑、ウ井ルヤム、シヨートハリースニ於テ年來工匠ノ業ヲ營ミ僅ニ其生ヲ送ルモノナリ又シヨートニ唯一人ノ女子アリカザリン、シヨート稱ス曾テ其近隣ニ住スル一男子ローンナルモノニ懸戀ス然レモ父シヨートハ從來ローンノ性質甚タ不良ナルヲ知ルヲ以テ大ニ之ヲ憂ヒ或時其女ニ斷然ローンノト交ヲ絶ツ可ヘシト命セリ然ルニ女ハ飽マテ渠レヲ想フノ情ヲ抑ユル能ハサルヨリ自ラ父ヲ恨ムノ心ヲ生シ以來父子ノ間常ニ風波ヲ生シ日トシテ口論ヲ爲サ、ルナシ一日シヨート隣ニ住スルシエームス、モリソンナル者其家ニ在テ父子爭論ノ聲ヲ洩聞セシガ始メハ之ヲ以テ其常トシ敢テ怪マザリシモ爭論ノ聲ノ漸次過劇ニ涉リ父子互ニ暴言ヲ吐キ殊ニ又カザリンノ聲ニテ殘酷兇惡殺死等ノ語ヲ再三發スルヲ聞キ其騷擾常ニ超ヘタルヲ以テモリソンハ覺ヘス耳ヲ欬テタリ之ヲ暫クシテ父ハ憤然室内ヲ出テナカラ其戸ヲ鎖錮シテ女ヲ室内ニ閉居セリ夫レヨリ又須臾ノ後チ室内ニ於テ更ニ劇シキ響ヲ發セシカ其音漸々減却シテ遂ニ全ク寂トシ亦聲ナシ是ニ至テモリソン其他ノ隣人ハ大ヒニ之ヲ怪ミ先ツ警官ニ其顛末ヲ告ケ乃チ相誘フテ其室ノ戸ヲ毀テ内ニ入ルニ豈ニ計ンヤカザリンハ渾身血ニ塗レ床上ニ顛仆シ又其傍ニ生血淋漓タル一小刀アリ警官直ニカザリンノ傍ニ至テ其生死ヲ檢スルニ僅ニ縊ノ如キ呼吸ヲ存ス之ニ依テ警官ハ試ニカザリンニ質スルハ抑、汝チヲシテ此災害ヲ受クルニ至ラシメタルハ汝ノ父之カ原因ヲ爲セシニアラスヤト云ヒシガ此時女ハ辛フシテ點頭シ立トコロニ瞑目セリ又此時迄シヨートハ外ニ在リシカ宛モ今始メテ家ニ還リ室内ニ入テ此景況ヲ一目シ愕然トシテ更ニ言フ所ヲ知ラス然レモ室内ニ集リタル人々ハ皆チ眼ヲ凝ラシテシヨートヲ見ルニ怪ム可シ其縊衣ノ一端ニ血痕アリ

リ之ヲ以テ愈々嫌疑ヲ増シ人々シヨールヲ目シテ現犯ト爲スニ及ヘリ然レモシヨールハ口ヲ酸シテ之ヲ辨解シ且ツ襦衣ノ血痕ノ如キハ全ク腕部ノ腫物ヲ纏ヒシ布帶ノ離斷セルニ由リ其血流レテ襦衣ヲ汚セルナリト陳述スレモ一人トシ之ヲ信スル者ナキヲ以テ遂ニ警官ニ拘引サレテ獄ニ投セラレタリ其後チ數日ヲ出テスシテ法官ノ訊鞠ヲ受ケシカ其陳述スル所ハ其女ガザリノ曾テローソント稱スル一男子ト交通スルヲ憂ヒ乃チ斷然其交通ヲ絶ツ爲メカザリノ一室ノ内ニ閉居シ又之ヲ閉居スル夕(即チ女横死ノ夕ナリ)父子爭論ヲ爲セシト雖モシヨール自ラ手ヲ降シテ渠レヲ殺害セシトアラス而シテ襦衣ニ存セシ血痕ノ如キハ全ク前日腫物ノ布帶ヲ疎脱セシ時過テ汚セシモノナリト是レ陳述ノ大要ナリ然レモ陪審ハ前夜カザリノ殘酷兇惡殺死等ノ語ヲ吐キ又其死ニ臨ミ點頭以テ警官ノ質問ニ應ヘシ事實及ヒ襦衣ヲ汚セル血痕等ヲ以テ充分シヨールカ其女ヲ殺害セシヲ證スルニ足ルモノトシ遂ニウヰルヤム、シヨールヲ死刑ニ斷シ尋テ死ニ處セリ

然ルニ處刑後數週日ヲ過キ偶然ウヰルヤム、シヨールノ無辜タルヲ發見セリ管ニ其無辜ヲ發見セシノミナラス渠レ其女カザリノシヨールヲ保庇眷愛スル赤情ノ爲メ却テ冤枉ニ陥リシ所以ヲ證スルノ事實ヲモ得タリ今其大様ヲ聞クニシヨールノ處刑後其家ヲ借テ此ニ移轉セシ某一日カザリノ死ニ就キシ室内ヲ掃除スルニ方リ偶然烟筒ノ一側ニ在ル四所ヨリカザリノ自筆ニ係ル一書ヲ搜出セリ之ヲ讀ムニ其自殺ヲ決心セシ所以ヲ記セシモノニシテ又其結尾ニ次ノ一文ヲ加ヘタリ曰ク余カ父ノ不慈ハ即チ余カ死ノ原因ナリト蓋シ疑ニ警官カカザリノ其故ヲ質セシ時ニ點頭以テ之ニ應セシモノハ乃チ此ニ由テ其何タルヲ知ルニ足ル可シ然リ而シテ右ノ遺書ハ其親戚朋友ニ至ル迄盡ク其自筆タルヲ誓セシモノヲ以テ官府ニ於テモ之ヲ默止スル能ハス乃チ疑ニ其罪人タルヲ公示スル爲メウヰルヤム、シヨールノ墓標ニ掛ケタル鐵鎖ヲ除去セシメ且ツ其遺骸ヲ親戚ニ還附シテ公然其葬祭ヲ執行スルヲ許セリ此他仍ホ追悼ノ情ヲ表シ又其汚名ヲ雪カシムル爲メ殊ラニ彩色ノ標示ヲ造テ之ヲ其墓碑ニ裝置セシメタリシト云

第十六判例

佛國ノ脫走人ニヤーク、ジユ、ムーラント稱スル者アリ脫走ノ際其眷屬ヲ率ヒ又若干ノ金圓ヲ貯ヘタルヲ以テ一タヒ其住居ヲ定メシヨール爾來專ラ其地ノ關稅ニ没入サレタル不正品ヲ購索シ再ヒ之ヲ市ニ鬻キテ其生ヲ營メリ然ルニ此等ノ物品ハ輸入ノ際大抵重稅ヲ課セラル、ノ制アルヲ以テ極メテ密賣ノ弊多ク隨テ之ヲ販賣スル者ハ陽ニ官沒品ノ名ヲ假リ陰ニ密賣品ヲ之ニ交ヘテ販賣スルノ嫌疑ヲ多少免カレサルモノトス而シテ凡ソ之ヲ販賣スル者ハ必スシモ皆ナ不正ノ人ト稱ス可カラサレモ到底世人ノ信ヲ得サルモノトスジユ、ムーランノ如キ即チ亦之ヲ免カレヌ加之渠レ近來贗造貨幣ヲ携ヘ前日渠レヨリ物品ヲ購求セシ者ノ家ニ至リ之ヲ出シテ個ハ前日ノ交銀中ヨリ之ヲ發見スト告ケ乃チ之ヲ以テ正貨ニ交換センヲ乞フ數回ニ及ヒ若シ購求者之ヲ拒絕シテ需ニ應セサル時ハ飽マテ固執シテ之ヲ請求スルヲアリシカ此等忽チ四方ニ傳聞シ之カ爲メニ漸ク其業ヲ失ヒシノミナラス其信ヲ併セテ失フニ至レリ又或時ハリスト稱スル人ニ一包ノ貨物ヲ販賣シ其價七十八磅ヲ領收セリ然ルニ其金額中英、國、并ニ葡、國、ノ金貨ヲ交ヘタルノミナラスジユ、ムーランハ今日ニ至ル迄未タ一回モハリヌニ物品ヲ鬻キシヲナキヲ以テ右貨幣ノ眞贋ヲ疑ヒ頗ル躊躇スル所アリシカハリヌ之ヲ察シジユ、ムーランニ告グルニ此貨幣ハ曾テ自ラ每片ヲ取リ檢定打量シタルニ一トシテ贗造ニ係ルモノ或ハ輕量ナルノモノアラサル所以ヲ以テセシニ渠レ漸ク諾シテ之ヲ收メ更ニ收領券ヲ出シテハリヌニ交付セリ

其後チ兩三日ヲ過キジユ、ムーランハ金貨七片ヲ携ヘハリヌノ家ニ至リ告ケテ曰ク個ハ是レ前日収領セル七十八磅ノ内ニ在リシモノナルカ其後チ之ヲ視ルニ果シテ贗造タルヲ發見セルヲ以テ今日之ヲ携ヘタリ速ニ正貨ヲ出シテ之ト交換ス可シトハリヌ之ヲ聽キ先ツ試ニ其貨幣ヲ取テ掌上ニ置キ一々點檢セシカ須臾ニシテ之ヲ了リシユ、ムーランニ向ヒ今此貨幣ヲ檢スルニ一片トシテ余カ前日汝チニ交付セシモノニアラス然ラハ余亦何ソ之ヲ交換スノ責ニ任センヤト斷言セリジユ、ムーランハ之ヲ聽キ再ヒ告グルニ抑此貨幣ハ前日汝チヨリ収領セシ後チ抽斗ノ裡ニ藏置シ固ク

之ヲ鎖鑰セシニ昨日適一金券ヲ携へ若干ノ金圓ヲ求ムルモノアリシヲ以テ即チ抽斗ヲ開キ中ヨリ其貨幣ヲ出シテ此者ニ交付セシカ此時ニ至リ始メテ其中ヨリ七片ノ贋造金ヲ發見セリ然カモ此七片ハ前日汝ヨリ收領スル前ニ方リ余其眞贋ヲ疑ヒシモ汝チ其眞ヲ保セシヲ以テ始メテ收領セシモノナリト云ヒ固ク之ヲ執リ飽マテ交換ヲ乞ヒ更ニ止マサルヨリハリスハ遂ニ忍ヲ發シテシユ、ムーランヲ棍騙者ナリト嘗ルニ至レリ然レモシユ、ムーランハ毫モ屈スル色ナク頻リニ前言ヲ主張シ且ツハリス仍ホ之ヲ信セズンハ誓詞ヲ立テ之ヲ證ス可シト云ヒ乃チ右七片ノ贋造貨幣ハ正シク前日ハリスヨリ收領セルモノニ違ハスト誓言ス是ニ至テハリスハ愈々怒ニ堪ヘスト雖モ別ニ爲ス所ヲ知ラサルヨリ遂ニ枉ケテ渠レノ言ニ從ヒ正貨ヲ出シテ之ト交換セリ然レモ是ヨリハリスハ假誓ノ爲メ渠レニ陥井レラレタリト信シ頗ル鬱憤ニ忍ヒサルヲ以テ至ル所人ニ遭ヘハ則チ之ヲ訴ヘ口ヲ極メテ渠レヲ罵詈セシカ之ヲ聽キタルモノ、中ニ吾輩モ亦既ニ此術中ニ陥井レラレタリ是レ則チシユ、ムーランカ平素ヨリ行フ所ノ得策ナリ敢テ今日ニ始マリシニアラスト告クルモノ甚々多シ是ヨリシテ人皆ナシユ、ムーランヲ嫌惡シ遂ニ一人ノ渠レト交ハル者ナキニ及ヘリ之ニ反シシユ、ムーランハ之ヲ傳聞シ是レ全クハリスノ讒謗ニ出ツルモノナリト爲シ一日讒謗ノ罪ヲ以テハリスヲ法衙ニ告訴セリハリス忽チ此事ヲ知リ益々憤懣ヲ増シ精神烈火ノ如クナリ覺ヘス嘗テ曰ク渠レ事ヲ好ムノ惡漢自カラ一身ノ殃ヲ招ガントス何ソ之ヲ懲サ、ルヲ得ンヤト乃チ讒謗ノ訴結局ニ至ルヲ俟タスシテ前日渠レト等シクシユ、ムーランノ術中ニ陥井リシト云ヒシ者數名ト相會シテ告罪狀ヲ作り其顛末ヲ記シ之ヲ法庭ニ致セリ是ヲ以テシユ、ムーランハ忽チ貨幣贋造ノ嫌疑ヲ受ケ逮捕サレタリ而シテ逮捕ノ時渠レカ家内ヲ搜索スルニ抽斗ノ中ヨリ夥多ノ贋造貨幣ヲ發見ス此他諸匣ヨリ搜出セル贋造貨幣亦頗ル多シ之ニ加フルニ鑿子一個、銼子數個、模型一個、細末白土アクワレシ「水」若干其他數種ノ器具ヲ發見セリ是ヨリ先キ人々舉テ渠レカ贋造貨幣ヲ携ヘ其外人ノ手ヨリ出テタルヲ固執シ假誓以テ之ヲ誣ユルヲアリトノ風説ヲ聞知シ且ツハリスヲ讒謗ノ罪ニ告訴セル如キ舉アルヲ以テ一人トシテ渠レヲ嫌惡セサルナク又其刑戮ニ就クヲ渴望セサル者ナキ

ノ勢ニ至レリ此ノ如キヲ以テ法官直チニ渠レヲ訊鞫シ以上諸情狀ノ外贋造貨幣ノ全ク其家内ヨリ搜出シタル器具ヲ用ヒテ鑄造セシコ際然タルニヨリ遂ニ其罪ニ定擬シテ死刑ヲ宣告セリ
 爰ニ又ウ井ルヤムス某ト稱シ往年迄會テ彫印術ヲ以テ生業ト爲セシカ頃日其業ヲ廢止シ別ニ生業ヲ營マスシテ坐食セリ然ルニウ井ルヤムスハシユ、ムーランノ罪既ニ定マリ將ニ死ニ處セラレントスル二三日前ニ方リ偶々騎行ヲ試シニ過テ馬ヨリ落チ立トコロニ死セリ其妻ナルモノ宛モ當時懷胎中ニテ分娩ノ日ニ迫リシカ之ヲ聞クヤ愕然トシテ忽チ氣ヲ失ヒ昏倒セリ夫ヨリ須臾ノ後チ始メテ生ニ復セシカ爲メニ心身ヲ激衝シ頗ル衰弱ヲ生シ到底其生ヲ保ツ可カラサルヲ覺リ速カニ人ヲ馳セテシユ、ムーランノ妻ヲ喚ビ竊カニ密室ニ招入シテ秘事ヲ告ケタリ其要左ニ掲クル如シ
 曰ク爰ニ四名ノ兇徒アリ貨幣贋造ヲ以テ業トスルコト既ニ數年ウ井ルヤムスハ即チ其一人ナリ是故ニ其妻ハ是時ニ至ル迄夫ノ命ヲ奉シ右贋造貨幣ヲ通用セシコ際回ニ及ヘルノミナラス亦能ク其秘訣ヲ知レリ而シテ四名中其一人ハ曾テシユ、ムーランノ雇夫ト爲リ竊カニ假鑰數個ヲ貯ヘシユ、ムーランノ家ニ在ラサル時ヲ窺ヒ其金匣ヲ開放シ其中ニ藏貯スル正貨ヲ偷ミ能ク其員數ヲ算シ又自ラ貯フル所ノ贋造貨幣ヲ出シテ偷盜セル正貨ト同數ニ算シ然ル後チ密ニ之ヲ金匣ニ緋レ以テ其惡ヲ逞フシ此奸策ヲ以テ今日ニ至ル迄既ニ許多ノ金圓ヲ偷了セリ然ルニシユ、ムーランハ之カ爲メ日ヲ逐テ生業ヲ失ヒ信任ヲ損セシノミナラス今日遂ニ贋造ノ罪ニ誣ラレテ其死將ニ日夕ニ迫リ若シ一刻モ早ク此事ヲ告發シテ其誣罔ヲ解クニ非ラサレハ則チ亦救フ可カラスト是レ其要領ナリ蓋シウ井ルヤムスノ妻ハ此陳告ヲ訖リシカ精神頓ニ衰ヘ辛フシテ他ノ二兇ノ所在ヲ告ケシノミニテ俄然抽筋ヲ發シテ悶死セリ是ニ於テシユ、ムーランノ妻ハ直チニ此處ヲ奔出シ慌然警官ノ前ニ至リ具サニ其顛末ヲ告ケシカハ警官捕吏ヲ派遣シテ其日ノ中ニ二名ノ兇徒ヲ逮捕セリ而シテ警官ハ此三兇徒ヲ各別ニ審鞫セント欲シ先ツ試ニシユ、ムーランノ雇夫タリシモノヲ訊問スルニ全ク知ラスト陳ス他ノ一名モ亦然リ之ヲ以テ仍ホ一人ノ兇徒ヲ糾問スルニ恰モ此時ニ際シ曩ニ兇徒ノ家内ヲ搜索セシムル爲メ派遣セシ捕吏一名贋造貨幣及ヒ之ヲ鑄造スル器具各種ヲ携ヘ還レリ然ルニ

右ノ兇徒ハ之ヲ一目シ忽チ顔色ヲ失ヒ頗ル慌然タリシカ警官頓ニ之ヲ認了シ容ヲ更メ渠レニ向ヒ
 諭シテ曰ク汝チ若シ證據人ト爲テ自他ノ罪ヲ首白セハ死刑一等ヲ宥ム可シト是ニ於テ渠レハ異義
 ナク之ニ服シ乃チ年來ウ井ルヤムス並ニ他ノ二兇徒ト同謀連合シテ貨幣ヲ贗造シタリト供シ又他
 ノ贗造貨幣及ヒ器具ノ所在ヲモ詳示セリ然レモシム、ムーランノ雇夫ト爲リシ兇徒カ贗造貨幣ヲ
 加何ニ措置セシヤハ全ク之ヲ知ラズト告ク是ノ如キヲ以テシム、ムーランノ處刑ハ暫ク先ツ之ヲ
 停止スルニ至レリ而シテ右ノ證據人ハシム、ムーランノ雇夫及ヒ他ノ一名ノ兇徒カ會テ其目前ニ
 於テ貨幣ヲ贗造セシヨ曰鑿シ又其際自他ノ兇徒カ各其鑄造ニ從事シ甲ハ何々ヲ製シ乙ハ何々ヲ
 造リシ等逐一之ヲ具狀シ且ツ其實ヲ誓ヒタリ是ニ由テ二名ノ兇徒ハ遂ニ其罪ニ定擬サレ死刑ノ宣
 告ヲ受ケタリ然レモ二兇徒ハ仍ホ此證據ニ屈服セサルノミナラヌ世八カシム、ムーランヲ疑フノ心
 モ亦未タ解散スルニ至ラザリキ今シム、ムーランガ辨駁ヲ聞クニ曰ク其家内ニ於テ搜出セル贗造貨
 幣ノ一塊後ハ日其贗造タルヲ發見セシモ既ニ其何人ノ手ヨリ收領セシモノナルヤヲ知ル能ハサル
 モノハ、ヨニシテ其他ノ貨幣ハ收領ノ際毎ニ之ヲ別ニ藏置シ後日之ヨリ贗造貨幣ヲ發見スルハ直
 ニ之ヲ交付セシ者ニ就テ交換スルノ備ヲ爲セシニ過キサレハ敢テ之ヲ流通セントノ企計アルニア
 ラス然レモ構型其他ノ器具等ニ至テハ如可シテ家内ニ現在セシヤ全ク其因由ヲ知ラズト是レ其要
 領ナリ然ルニ其雇夫ノ罪跡ニ於ケルヤシム、ムーランノ妻カウ井ルヤムスノ妻ヨリ聞知セシモノ
 ハ外ニ出テサルヲ以テシム、ムーランモ他ノ兇徒ト等シク其罪アリト雖モ其妻渠レヲ保庇セント欲
 スルノ衷情ヨリシテ故ヲニ他ノ兇徒ノ罪ヲ告發シテ之ヲ隱匿スルノ設計ニ非サヤトノ疑惑ヲ生ス
 ルニ至レリ然レモ三名ノ兇徒ハ此時ニ至ル迄未タ一言ノ以テシム、ムーランヲ其同謀ナリト告クル
 者ナキヨリシム、ムーランノ友人等ハ頻ニカヲ之ニ假リテ其誣罔ヲ辨解セリ此ノ如キヲ以テシム、
 ムーランノ獄ハ恰モ半吞半吐ノ形ニテ未タ其確定ヲ得ザリシカ一日其雇夫ノ私有ニ係ル匣中ヨリ
 數個ノ鑰并ニ一個鑰ノ模型ヲ印存スル蠟塊ヲ發見セリ依テ右ノ諸鑰ヲ取り一々之ヲ其模型ニ比ス
 ルニ之ト吻合スルモノ一個ヲ得タリ而シテ此一個ハ鑿ニ贗造貨幣及ヒ器具ヲ搜出セルシム、ムー

ランノ金匣ト適合ス乃チ之ヲ雇夫ニ示スニ顔色忽チ變シテ土ノ如ク又頻ニ流涕シ其舊惡ヲ懺悔シ
 始メテ罪ニ服セリ此時法官渠レニ質スルニ何如シテカ右ノ器具ヲシム、ムーランノ匣中ニ納メシヤ
 ヲ以テセシニ其答辨ニ曰ク前日警官雇主シム、ムーランヲ逮捕スル爲メ其家ニ侵入セシ時自己私有
 ノ匣中ニ器具ヲ納置セルヲ憶起シ若シ之ヲ搜出サレハ必スシム、ムーランノ遺累ト認メテラレ
 ント思惟シ驚愕一ニシテ足ヲサリシカ辛クシテ警官渠レニ昇ラントスルキ竊ニ右ノ假鑰ヲ出シテ雇
 主ノ金匣ヲ開キ匆卒器具ヲ其中ニ納メ恰モ再ヒ之ヲ鎖鑰セシキ警官始メテ樓上ニ來レルナリト
 右ノ如ク兇手ノ罪跡顯然スト雖モ前日シム、ムーランカハ、スヨリ金匣ヲ收領シ後日其贗造ヲ發
 見シタルキハリスニ至リ其交際ヲ乞ヒシモノハ即チ前日收領セシモノト同一ナリト供セシハ全ク
 其眞ヲ得ス然レモ是レ固ヨリシム、ムーランノ測知ス可カラサル所ナレハ敢テ假誓ノ罪ヲ犯セシ
 モノト稱ス可カラス

第十七判例

日耳曼ノ一都府ニクリストフアル、ループレヒトト稱スル一人ノ打金師アリ年齡六旬ヲ超ヘシ老
 爺ニシテ頗ル金錢ニ富ミシカ性質甚々頑愎言行極メテ鄙野眼一丁字ヲ解セス且ツ常ニ爭ヲ好ムノ
 白徒ナリ生平酒肆ノ間ニ彷徨シテ下流社會ノ匪類ヲ友トシテ專ラ飲酒ニ耽ル是ヲ以テ其親戚ハ夙
 ニ交際ヲ絶チ更ニ之ヲ顧ミザリシカ唯一人ノ妹アリテ年來渠レノ家ニ住シ又其他一人ノ女アリ
 テ幾ニ他ヘ嫁セシカ此二人ノミハ骨肉ノ情ト其資産ニ望ヲ屬スルトヲ以テ未タ其交際ヲ絶ツニ及
 ハザリキ

爰ニループレヒトノ平日其友人ト會飲スル賤陋ノ一酒店アリ蓋シ其酒店タル頗ル狹窄ノ街巷ニ位
 置ヲ占メタルヲ以テ店內晝尙ホ闇黒ヲ覺テ依テ人ノ呼テ夜繼樓ト云ヘリ千八百十八年二月七日
 ノ夕八時半ループレヒトハ此樓ニ登リ常ノ如ク暖爐ノ圍繞ニ圍集セル友人ノ席ニ來リ其列ニ加ハ
 リテ會飲シ俗談平話以テ時ヲ移シ既ニ其夜ノ十時ヲ過キシ頃更ニ又樓主ニ命シテ麥酒數盞ヲ出サ

シム樓主命ヲ受ケ直ニ樓下ニ來リ之ヲ携ヘ再ヒ樓上ニ至ラントシテ恰モ櫛房ノ中段ニ達セシ時忽チ戶外ヨリ聲ヲ放チループレヒト樓上ニ在リヤト質スル者アリ樓主之ヲ聽キ戶外ヲ顧ミルニ及ハスシテループレヒト樓上ニ在リト答フ然ルニ戶外ノ人又聲ヲ放チ余今ループレヒトヲ見ント要ス渠レニ樓下ニ來レト告ケヨト云フループレヒト室內ニ在テ之ヲ聽キシカ直ニ席ヲ起テ樓ヲ下リタリ是ヨリ未タ一分時間ヲ過キサルニ戶外ニ一聲ノ呻吟ヲ聞クト等シク宛モ重キ物ノ地ニ倒ルカ如キ響ヲ發セリ此時樓上ニ會飲セル者十一人アリシカ之ヲ聽キ其何タルヲ知ラントシテ一齊ニ席ヲ起テ遽然樓ヲ下リ四邊ヲ見ルニ豈ニ計ラザループレヒトハ頭上ニ一大重傷ヲ負ヒ生血淋漓トシテ迸出シ戶外ニ顛仆シテ煩悶セリ又其側ニループレヒトノ草帽アリ斜ニ刀痕ヲ存ス而シテ衆人相集リ渠レヲ扶起シテ其因故ヲ質スルニ僅ニ聲ヲ放チテ惡漢々々渠レヲ携ヘタリト叫ビ又須臾ノ後チ其女ノ名ヲ呼フコト二回ニ及フ是ニ於テ直ニ人ヲ馳セテ女ヲ召喚セシニループレヒトハ負傷ノ爲メ既ニ精神錯亂シタルヲ以テ其何人タルヲ辨スル能ハサルニ至レリ

此ノ如キヲ以テ別ニ兇手ノ踪跡兇器ノ所在ハ漠然トシテ毫モ之ヲ知ルニ策ナキヨリ試ニ先ツループレヒトノ負傷ヲ檢スルニ左鬚ノ前ヨリ後ヘ達シ其徑凡ソ四寸アリ而シテ其中央ハ之ヲ兩端ニ比スルニ稍深シ乃チ此ニ依テ考フルニ其傷タル全ク戶外ニ在テ負ヒシモノニ違ハス之ヲ如何ニ戸内ハ其頂格極メテ低キカ故ニ若シ戸内ニ在テ此ノ如キ重傷ヲ負ハサントシ兇器ヲ揮フト雖モ其頭之ニ觸レテ自在ヲ得サレハナリ果シテ然ラハループレヒトハ傷ヲ負ヒシ時惶然戸内ニ奔入シ立ドコロニ顛仆セシモノナル可シ又戶外ノ左側ニ其高サ二尺許ノ石几アリ兇手ハ其上ニ立テループレヒトノ出ツルヲ俟チ一撃ノ下ニ傷ヲ負ハセシモノハ如シ而シテ又ループレヒトノ言ニヨルニ其兇器ハ斧ナリト雖モ仍ホ醫學士ヲシテ其傷ヲ鑑定セシメシニ恐ラクハ刀法ニ鍊達スルモノカ長劍ヲ以テ負ハセシナルモノト見斷ラ下セリ然レモ要スルニ此等ノ事實如何及ヒ兇手ノ所在等ヲ探知センニハ到底ループレヒトノ口供ニ因ラスンハ亦其道ナキヲ以テ其翌夕ループレヒトノ精神稍ハ恢復シ且ツ少シク人專ヲ辨スルニ至ルヲ俟テ法官之ヲ審問セシカ此審問ニ由テ得タルトコロノモ

ハ僅ニ左ニ掲出スル二三回ノ問答ニ過キス

法官 汝ヲ傷ケシハ抑何人ナリ

ループレヒト スミッドナリ

法官 渠レ固ト可人ニシテ又其住所ハ何處ニ在ルヤ

ループレヒト モスト街ニ住ス

法官 渠レ又何ナル兇器ヲ以テ汝ヲ傷ケシヤ

ループレヒト 斧ヲ用ヒタリ

法官 汝チハ如何シテ渠レノ果シテスミッドナルヲ知リシヤ

ループレヒト 其音聲ニ由テ之ヲ知レリ

法官 渠レ汝チニ償ヲ負フヤ否ヤ

此時ループレヒトハ頭ヲ揮リ其然ラサルヲ示セリ是ヲ以テ法官ハ更ニ又質シテ曰ク然ラハ渠レ何故ニ汝チヲ傷ケシヤ其因由アル可シ汝チ果シテ之ヲ記スルヤ如何トループレヒト曰ク曾テ渠レト爭論ヲ爲セシコトアリト言ヒ訖フ氣力忽チ竭了シ法官再ヒ兇手ノ名ヲ質セシ時辛フシテ渠レハ樵夫スミッドナリト答ヘシノミニシテ其他法官ノ審問ニ答フルコト能ハザリキ

然ラハ此スミッドナル者ハ抑何人ナルヤ今之ヲ考フルニ從來此名ハ英國ノスミツスニ於ケル如ク日耳曼國ニ在テ最モ尋常普通ノ俗稱ナリ是故ニ先ツ市中ニ於テスミッドト稱スル樵夫ヲ搜索スルニ忽チニシテ三名ヲ得タリ但シ其中二名ハ兄弟ニシテ然カモループレヒトノ告ケシ如クモスト街ニ住シ他ノ一人ハクリストクアルスミッドト稱シホーヘンブラスタル街ニ寓ス又右兄弟二名ハ體軀ノ高矮ニ由テ一ヲ大スミッドト稱シ一ヲ小スミッドト呼ビ俱ニループレヒトノ舊友ナリシカ會テループレヒトヲ告訴セシ者アリシ時大スミッドハ右告訴人ノ爲メニ證據人ト爲テ法官ニ證ヲ與ヘシコトアルヲ以テ之ガ爲メ近來ループレヒト及ヒ右二人ノ間ニ隙ヲ生シ相和セザリシトゾ又クリストクアルスミッドハ前年強盜ノ從ヲ以テ獄ニ繫カレシコトアリト云ヘリ然レモ此等ノ者ヲ逮

捕スル前ループレヒトノ負傷ヲ療スル爲メ腦中ニ壓入セル骨碎ヲ揚ケシカ此時渠レ亦少シク人事ヲ辨スルニ至リシヲ以テ再ヒ前ノ如キ數條ノ質問ヲ爲シタリ然ルニ其答ヘシ所ハ概テ前ニ全クト雖モ唯一個ノ要點ニ至テ著シキ支吾アリタリ他ナシ法官渠レニ質スルニ大小ノスミッド中孰レカ汝ヲ傷ケシモノナルヤヲ以テセシニ渠レ僅ニ口ヲ開キ將ニ言フ所アラントナセシカ未タ聲ヲ放ツ能ハスシテ歇ミタリ之ヲ暫クシテ法官再ヒ渠レノ居住ハ正シクモスト街ナルヤヲ問フニ又默然タリ是ヲ以テ更ニ其居住ハホーヘンプラスタル街ナルヤト質セシニ此時ハ辛クテ口ヲ開キシカ明カニ然リト答ヘタリ然レループレヒト是ヨリ後テ再ヒ慘トシテ更ニ人事ヲ覺サルニ至レリ

ループレヒトノ告ケル所前後反覆右ノ如キヲ以テ三名ノスミッドハ皆ナ多少ノ嫌疑ヲ免カレサルニ及ヘリ仍テ先ツ三名ヲ逮捕シ親シク之ヲループレヒトニ示シテ其何レカ眞ノ兇手タルヤヲ摘指セシメントセシカループレヒトハ未タ全ク人事ヲ辨セサルニ至ラサレト既ニ雙眼密閉シテ之ヲ開ク能ハサルヲ以テ遂ニ此事ヲモ果スヲ能ハカリキ然ルニ兄弟ノスミッドハループレヒトノ面前ニ引カレシ時端然トシテ更ニ遠色ヲ帶ヒス其ループレヒトヲ見ルニ於テモ大ヒニ其不幸ヲ慙ミ且ツ其名ヲ指呼シテ頻ニ語ヲ接ヘ懇情ヲ現ハシタリ之ニ反シクリストフアル、スミッドハ同シク渠レノ面前ニ引カレシカ舉止頗ル倉皇タリ法官試ニループレヒトヲ渠レニ示シ汝ヲ曾テ此者ヲ知ルヤト質セシニ渠レ愈々倉皇トシ一タヒハループレヒトヲ知レリト答ヘ一タヒハ知ラズト答ヘ反覆定マラス又ループレヒト遭害ノ夜十一時頃ニハ渠レ其妻ノ母某ノ家ニ在リシト云ヒ又其夜九時自己ノ家ノ寢床中ニ在リシト云ヒ且ツ頻リニ其無辜ヲ訴ヘ妻及ヒ其母并ニ隣人等皆ナ能ク之ヲ知レリト陳告スル等其語氣前後錯亂シテ毫モ其序アルヲ見ス是ヲ以テ人舉テ渠レヲ疑ヒ却テ大小ノ兩スミッドヲ疑ハサルニ至レリ是ニ於テ法官ハ渠レヲ執ヘテ遂ニ獄ニ投セシカループレヒトハ癡癡功ヲ奏セズ遂ニ其翌日(負傷ノ翌々日ナリ)死亡セリ是故ニ直チニ遭害者ニ就キ事實ヲ探討スルノ道ハ爰ニ全ク絶ヘタリ

然レモ其後テ仍ホ百方ヲ竭クシテ事實ヲ檢數スルニクリストフアル、スミッドノ罪跡ヲ疑フニ足ルモノ益々多キヲ加フルカ如キアリ蓋シ一日法官人ヲ派シテスミッドノ家内ヲ搜尋セシムルニ血跡ノ其柄ヲ汚セル斧一挺ヲ發見シ渠レ亦法庭ニ於テ前年獄ニ繫カレシ顛末ヲ引問サレシ時其獄ニ繫カレシハ毫モ之ヲ蔽ハサリシト雖モ其罪タル唯臆物ヲ知ラズシテ之ヲ運搬セシニ過キサル所以ヲ辨解シ之ニ加フルニ法官又前日渠レカ前日渠レノ床中ニ認メテループレヒトナルヲ知リシヤト詰リシ時渠レ之ニ答フルニ余ループレヒトカ人ノ爲メニ傷ヲ負フト聞キシニヨリ乃チ始テ渠レヲ知レルナリト云ヒ又ループレヒト遭害ノ夜余ハ燈火ノ費ヲ省ク爲メ妻子ト俱ニ妻ノ母ノ家ニ至リ手工ヲ營メリト告ケシモ同夜何時頃其家ヲ出テシカニ至リテハ其答辨頗ル曖昧ニ屬シ乃チ最初法官之ヲ質セシ時ハ同夜九時其子ト俱ニ家ニ還リ妻ハ夫レヨリ凡ソ一時間ヲ過キシ後チ還レリト告ケシカ仍ホ再度之ヲ質セシ時ハ同夜十時妻ト俱ニ還レリト云ヒ或ハ家ニ在テ熟睡セシ故妻ノ還リシハ凡ソ何時頃ナリシヤ之ヲ記セスト答ヘシ等首尾毫モ整フモノアルヲ見ズ但シ其舉止始終倉皇トシテ垂頭喪氣頗ル怪ム可キノ状態アルノミナラス髮ニ一タヒ罪ヲ犯シテ刑ニ遭ヒ今日更ニ又ループレヒト臨終ノ語アルヲ以テ其罪跡宛モ確ヲ得タルモノ、如クニシテ將ニ其罪ヲ疑フモノハ始ント之レナカラントスルニ及ヘリ

然レモ凡ソ事其過キタル後ニ至リ心ヲ靜メテ之ヲ顧慮スル時ハ抑々右ニ掲クルクリストフアル、スミッドノ口供ニ前後ノ撞着ヲ生スル如キハ概スルニ腦力ノ缺乏ニ原由スルカ或ハ心痛或ハ恐怖スル所アリテ一時ノ精神錯亂ニ因故スルモノ多クシテ苟モ其罪ヲ隱蔽セント欲スルニ生スルモノハ蓋シ稀ナリトス是ヲ以テ試ニ其後チスミッドノ隣人ニ就キ探知シタル事實ニ由テ審考スルニ此言ノ果シテ亦誣トサルヲ知ルニ足ル可シ其故ハスミッドハ稟性魯鈍ニシテ言語ノ力ヲ借りテ自カラ心ニ意ヲ所ヲ述フル能ハサルノ癡漢ナリ之ヲ以テ隣人渠レヲ呼フニ常ニ羊ノ混名ヲ用ヒタリ然ルヲ一朝偶然殺人ノ罪ヲ以テ責メラルハニ於テハ其狼狽亦推シテ知ル可キナリ果シテ然ラハ法官之

ニ質スルニ如何シテルーアレヒトヲ知ルヤヲ以テセシ時渠レ人ノ爲メニ傷ヲ負フト聞キシニヨリ乃チ知ルト答ヘシ如キハ固ヨリ怪ムニ足ラス又前夜スミツドカ歸家ノ時ニ就テ其所述ニ抵牾アルハ試ニ當初スミツドノ妻ハスミツドハ二子ヲ伴ヒ其家ニ至リスミツドノ寢床ニ入ルヲ俟チ再ヒ母ノ家ニ還リ此ニ止ル頃刻ノ後チ漸ク歸家セシモノト鑒定セハ恐クハ怪ム可キヲアラサル可シ其後チスミツドノ母妻及ヒ他ノ證人ニ就テ審問スル所ヲ聞クニ果シテ然リ乃チ其要ニ曰ク當夜スミツドノ妻ハ夫ヲ家ニ送り再ヒ母ノ家ニ至リ寢ル所ノ手工ヲ終ヘ凡ソ一時間乃至一時間半ノ後チ自家ニ歸レリト然レモ爰ニ最モ著シトス可キハ右ニ證據人ノ供セシ時刻ノ差異是ナリ蓋シ是レ正ニ二月七旬ノ事ナレハ夜最モ永クシテ然カモ其近傍ニ於テハ一ノ時辰器ヲ備フル家アラサリシヲ以テ然ルナル可シ是故ニスミツドカ歸家ノ時ニ就キ著シキ抵牾ヲ生セシモ亦宜ナリ況ヤスミツドノ爲人極メテ魯鈍訥解其言其意ヲ盡クス能ハサリシニ於テオヤ

試ニ右ニ述アル所ヲ以テ僞ナシト做セハスミツドノ妻夫ヲ家ニ送りシ後チ復タ母ノ家ニ至リ再ヒ家ニ歸ル迄凡ソ一時乃至一時半ノ間ハスミツド只一人家ニ在リシヲ以テ此際或ハルーアレヒトヲ殺死セシニアラスヤノ疑問ヲ下タシテ仍ホ之ヲ析スルニ先ツルーアレヒトノ殺害サレシ酒店トスミツドノ家トハ其距離凡ソ一里三丁餘アリ是ヲ以テスミツド若シルーアレヒトヲ殺死セシモノナレハ渠レ其妻ノ家ヲ出ツルヲ俟チ直ニ寢床ヨリ跳起シテ酒店ニ奔馳シ急遽ルーアレヒトヲ殺害シ慌然家ニ歸ラスンハアラス是レ其人ニシテ固ヨリ爲シ得可カラサルノ事ニハアラスト雖モ恐ラグハスミツドカ生平ノ魯鈍愚ニシテ輕捷尖銳此ノ如キノ作業アリシトモ思フ可カラズ此ニ至テ衆人モ亦之ヲ疑ハサルニ至レリ

然ラハ試ニ仍ホ一步ヲ進メ彼ノ斧柄ヲ汚セシ血痕如何ニ論及センニ抑テ法官之ヲ以テスミツドヲ詰リシ時スミツド毫モ斧柄ニ血痕アルコトヲ記セサレモ若シ之レアラハ前日手中ノ腫物破潰セシコトアルヲ以テ即チ其時之ヲ汚セシナル可シト答ヘリ又其腫物ハ何レノ手ニ在ルヤヲ質セシニ右手ナリト答フ然ルニ斧柄中血痕ヲ存セルハ其上部ニシテ常ニ左手ノ觸ル、所ナリ是ヲ以テ法官ハ忽チ

其故ヲ推問スルニスミツドハ從來左手ヲ慣用スト告ク法官尙ホ其眞僞ヲ究ムル爲メ直ニスミツドノ同業人ニ就テ之ヲ探偵スルニ果シテ然リ加之斧口ヲ取テ之ヲ測度スルニ其徑三寸ニ超ヘス之ニ反シルーアレヒトノ傷口ハ其徑凡ソ四寸アリ是ニ至テ全ク其斧ノ兇器ニ非ラサルコト明晰ナリ然リ而シテスミツド往年獄ニ繫カレシコトアリシモ此時ニ方リ遂ニ其冤枉ニ出テシヲ發見セリ且ツ衆人擧ナスミツドノ性得順良溫和ニシテ最モ能ク其業ヲ勤ムル者タルコトヲモ證シタリ

斯ノ如キヲ以テスミツドハ當初頗ル嫌疑ヲ被フリ殆ント其罪ニ陷井ラントスルノ勢ニ迫リシモ此ニ至リテ自カラ氷解シ未タ全ク放免サル、ニ至ラスト雖モ亦一人トシテ其無辜ヲ信セサルモノナキニ及ヘリ之ニ反シモスト街ノ大小スミツドハ其カ爲メ却テ一時嫌疑ヲ受クルニ至レリ其故ハクリストフアル、スミツドハルーアレヒトノ知人ナラサレモ此兩人ハ平素ヨリ渠レヲ知リ之ニ加フルニ往日二名ノ測量家某ルーアレヒトノ爲メニ公然讒謗サレシトキ其毀害ヲ憤リ之ヲ告訴セシニ兩人ハ證據人ト爲テルーアレヒトノ罪ヲ證シ之カ爲メ遂ニ禁錮ニ處セラレシ已來渠レ常ニ私恨ヲ兩人ニ狹ミ又禁錮滿期ノ後チ渠レハ更ニ測量家ヲ告訴セシニ其訴事未タ落着ニ及ハスシテ殺死サレシヲ以テナリ然ラハ試ニ測量家ハルーアレヒトノ告訴ヲ厭ヒ私カニスミツド兄弟ヲシテ渠レヲ殺死セシメタルニアラスヤノ疑問ヲ設ケ之ヲ推考スルニ從來兩人ノ測量家ハ其品行端正高尚ニシテ苟モ此ノ如キ非學ヲ設計ス可キ人物トシモ思ハレス且ツ其後數日ヲ出テサルニ數名ノ證據人アリテスミツド兄弟ハルーアレヒト遭害ノ夕夙トニ家ニ歸リ次朝ニ至ル迄全ク戶外ニ出シコトナキ所以ヲ證セシヲ以テ終ニ其嫌疑ハ全ク晴レタリ

右ノ如ク當初ヨリ多少ノ嫌疑ヲ受ケシモノモ遂次其無辜ヲ證明スルニ至リシヲ以テ是ヨリ後ハ法官全ク兇手探偵ノ方向ヲ一變セシカ更ニ又府外ニ住スル樵夫ニシテ同シクスミツドト稱スル者二名ヲ得タリ但シ其一名ハルーアレヒトノ女婿ベレンシアルト稱スル人ニ事フル樵夫ナルコトヲ發見セリ是ヲ以テ未タ別ニ渠レヲ疑フニ足ル證據アルニアラズト雖モ法官ハ渠レカルルーアレヒトノ女婿タルコトニ着意シタルヲ以テ忽チ新タニ一片ノ想像ヲ喚起シ乃チルーアレヒト遭害ノ際頗ニ其女

ヲ呼ヒタルハ此時迄全ク變ニ遭ヒ其子ヲ見ント欲スルノ丹心ヨリ出シモノト認定セシモ或ハ反對ノ意味ヲ包含セシニアラサヤトノ疑貳ヲ生セシモノ是ナリ加之ベレンシアル夫妻ノ間曾テ熟セサルヲアリシカ渠ノ數ループレヒトノ家ニ至リ妻ノ非ヲ訴ヘシヲアリタリ然ルニ其後故有リテ夫妻ノ間自カラ和熟スルニ至リシカ何故カ此頃ヨリシテループレヒトハ却テベレンシアルニ對シ大ヒニ憤フリヲ含メルヲアリ又ループレヒト遭難ノ前日ベレンシアルヲ惡漢ナリト謗レルヲ洩聞セシモノアリ此他遭難ノ日ヨリ凡ソ二箇月前ループレヒト其女并ニ使僕ボグ子ルト稱スル者ニ向ヒ一家ノ資産ヲ擧テ女ニ遺留シ毫モ其夫ベレンシアルノ爲メニ左右サル、一ナカラシム可シト告ケタリ而シテ遭難ノ日彼ノ酒店ニ至ル數刻前ニ臨ミ竊カニボグ子ルヲ一室ニ招キ遺書ノ筆記ヲ補助セシメ乃チ直ニ其翌日ヲ俟テ之ヲ實踐セント爲セリト是レ蓋シループレヒトノ下婢カ同室内ニ在テ親シク之ヲ目撃セシモノニ係ル法官ハ此等ノ情况ヲ得タルヲ以テ抑、ベレンシアルハループレヒトノ資産ヲ占領セント欲スルノ心事ヨリシテ或ハ之ヲ殺シタルニアラスヤトノ疑ヲ懷キタリ又ベレンシアルハループレヒト遭難ノ實況ヲ聞知セシ時毫モ駭嘆悲愴ノ形狀ナク且ツ其妻モ等シク之ヲ心頭ニ懸ケサル如キモノアリタリト其故ハ婦人一ヲヒ父ノ遭難ヲ聞クヤ直ニ夫ヲ伴ヒ其側ヘ至リシカループレヒト常ニ帶フル所ノ鎗アルヲ知リタルヲ以テ第一ニ父ノ身邊ヲ探リ遂ニ之ヲ搜出シテ自カラ之ヲ懷ニシ忽チ其處ヲ去リシヲ以テナリ又婦人法官ノ前ニ出テシ時モ口ヲ極メスミツド(大小スミツドノ一ヲ云フ)ヲ謔シ心中暗ニ渠レヲ罪ニ陷非レントスル如キ狀態ヲモ現ハセリ此他些細ノ情况ニ至テハ亦一々枚擧スルニ違アラサ此ニ至テ法官ハ抑、ループレヒト其終ニ臨ミ告ケシ所ノモノハ渠レ突然傷ヲ負ヒシ時匆卒其兇器ヲ斧ト認メシヨリ恰モ當時樵夫スミツドノ一人ハループレヒトノ被告人タル測量家ニ應援スル者ナルヲ以テ即チ其兇手ハ果シテスミツドナリトノ速了ヨリ出テシモノナル可シト推斷シ一時愈、ベレンシアル夫妻ヲ疑ヘリ然ルニ右ノ疑モ亦前ノ諸件ニ於ケルカ如ク均シク氷解シテ遂ニ一懸ノ疑ヲ遺サ、ルニ至レリ警ハループレヒト遭害ノ際其女ヲ呼ヒシカ如キハ固ヨリ疑フニ足ラサルモノニシテ乃チ後日法官ル

プレヒトノ妹某ニ就テ之ヲ質セシニ渠ノ事有ルニ際シテ其心ヲ苦シムル時ハ必ス其女ヲ呼フヲ其常ナリト告ケタリ又婦人ハ現ニ父ノ負傷ヲ見テ歔歔酸嘆敢テ禁ス可カラサルノ狀アリトノ證ヲ得タリ且ツ鎗ヲ携ヘ去リシハ全クループレヒトヲ看保セル醫師某カ兇手ノ意匠或ハ先ツループレヒトヲ殺死シ然カハ後更ニ又其資財ヲ搶奪セントスルニアルヤモ知ル可カラサレハ速ニ之ヲ携ヘ去ルニ如カスト忠告セシニ由ルヲ證明セリ然レハ婦人并ニ家僮下婢ノ二人ハ遺書ノ事ニ付キ曾テ互ニ談話セシヲアラサト誓言ス之ニ加フルニループレヒト遭害ノ當日ベレンシアルハ、ゾールデノフ井ツシユト稱スル酒店ニ在リシノ確證ヲ得タルニ由テ其身ノ全ク兇手タラサリシハ爰ニ至テ灼然タリ之ヲ以テ他ノ諸情况ノ如キハ更ニ辨ヲ俟タスシテ信ヲ措クニ足ラサルニ及ヘリ右ノ如ク百方手ヲ竭シテ兇手ノ所在ヲ探知スルニ未タ一トシテ實効ヲ見ルニ至テスト雖モ法官ハ仍水屈セスシテ依然其探偵ニ從事セシカ更ニ又一人ヲ得タリ蓋シ此者ハ一兵卒ニシテ曾テループレヒトヨリ若干ノ金圓ヲ借り既ニ其期ヲ過キテ之ヲ償却セサリシカ適、遭害ノ日ループレヒトニ邂逅シ爲メニ其違約ヲ責メラレ又大ニ恐嚇サレシヲアリ是レ則チ法官ノ嫌疑ヲ釀セシ因由ナリ然レハ法官訊鞫ノ後渠レ亦犯罪ノ當日犯所ニ在ラサルノ確證ヲ明示セシヨリ忽チ其誣罔ヲ解ケリ是ニ至テ法官ハ到底兇手ノ所在ヲ知ルニ道ナシト斷念シ始メテ此獄ヲ放棄シタリ爾來今日ニ至ルマテ尙ホ未タ之ヲ知ル能ハスト聞ケリ

第十八判例

此ニ揭クル一條ノ奇獄ハハムマルスミツスノ外科醫バルフエクト氏ノ演述ニ係ル所ニシテ載セテ千八百三十九年一月刊行ノ「ランセツト」ト題セル雜誌ニ在リ惟フニ情供證據ノ容易ニ確實ヲ得カタク動モスレハ誤謬ヲ生シ易キ所以ト凡ソ支體ノ傷害ニ係ル疑獄ニ於テハ最モ精妙幽微ナル醫學的ノ證據ノ必ス其裁斷上ニ缺ク可カラサル所以ヲ明示スルノ的例ト稱ス可シ其全文ハ即チ左ニ掲出スル如シ

距今凡三十年余偶タルンハム、グリーンン客舎パツクホースノ前ヲ過キラントスル時其戶外ニ村民蟬集シ某ナル者其弟ヲ謀殺セルノ嫌疑ヲ受ケシ事ヲ將テ露々渠レヲ誹謗スルヲ聽ケリ余歩ヲ止メテ仍ホ村民ノ言ヲ所ヲ聽クニ疑ニ右某カ邸宅ヲ構フヘキ地内ニ於テ昨日偶然其遺骨ヲ發見セルヲ以テ其日ノ内直チニ陪審ヲ募集シテ事實ヲ檢査セシメシカ未タ其結局ニ至ラサルニ因リ今日モ現ニ又客舎ノ内ニ於テ頻ニ之ヲ搜討シ既ニ外科醫二名ヲモ召喚シテ遺骨ヲ檢査セシムルナリト云フ余敢テ其言ヲ所ヲ疑フノ心アルニ非サレモ親シク其實況ヲ目撃セント欲シテ直ニ舍内ヘ入ルニ檢視官及ヒ陪審相參坐シテ頻ニ檢問討議ヲ行フヲ見ル乃チ耳ヲ欲テ之ヲ聽クニ其頃ヨリ數年前サツトノコルト、アームニ一農夫某アリ曾テ一人ノ弟ト居テ同フシ俱ニ農業ヲ營ミシカ弟ナルモノハ其性極メテ放恣專橫ナリ加之兄ノ性モ亦弟ニ讓ラス均シク放恣專橫ナルヲ以テ平素其間ニ風波ノ絶ユルヲ見ス其甚シキニ至テハ或ハ互ニ毆闘ヲ爲スアリ之ヲ以テ一家ノ中常ニ和睦スルコト有ルヲ見サリキ然ルニ或ル年ノ冬弟ハ雪夜ニ乘シテ竊ニ其家ノ窓戶ヨリ脱出シテ失踪セリ蓋シ其家内ノ人ハ毫モ之ヲ知ラサリシカ翌朝ニ至リ始メテ渠レノ家ニ在ラサルヲ怪ミ頻ニ家外ノ四邊ヲ搜索スルニ一窓戶ノ下ヨリシテ雪中ニ渠レノ足跟ヲ印シ若干ノ距離ニ達スルモノアルヲ發見シ其他敢テ別人ノ足跟アルヲ見サルヲ以テ茲ニ至リ始メテ其失踪ヲ察セリ而シテ其後數日ヲ過クルモ更ニ其踪跡ヲ得サルノミナラス既ニ二三年ノ星霜ヲ閱スニ及ヒテモ仍ホ未タ一回ノ音信ナシ又夫レヨリ今日ニ至ル迄何人モ其所在ヲ聞キシコト無シ然ルニ近頃兄ハ從來ノ邸宅ヲ人ニ賣リ家ヲ他ニ移セシカ之ヲ購ヒシ人一日其邸内ノ形狀ヲ變更スル爲メ地ヲ開掘スルニ偶然土中ヨリシテ全體ヲ具備スル人骨ヲ發見セリ近隣此事ヲ聞クモノハ個ハ正シク往年失踪シタル弟某ノ遺骨ニシテ惟フニ其兄ノ竊ニ渠レヲ殺シテ邸中ニ埋メシヲ今日計ラスマ發見セシモノナル可シト推定シ驚然兄ノ罪ヲ唱ヘシヨリ遂ニ陪審ヲ募集シテ之ヲ檢査セシムルニ及ヘルナリト

余室隅ニ在テ右ノ顛末ヲ聽了セシカ仍ホ親シク其遺骨ヲ檢査セント欲シ試ニ之ヲ檢視官ニ乞ヒシニ檢視官輒ク之ヲ諾シ直ニ小吏ニ命ジ籃中ニ入レテ室内ノ一隅ニ置キタル人骨ヲ出シ余ニ示セリ

余又自カラ之ヲ取テ一々骨碎ヲ並列シ試ニ全體ヲ造成スルニ其體格甚々矮少ナル人ノ骸骨タルヲ知レリ然レモ頭骨ノ縫口殆ト消失シ齒牙頗ル磨損セシ所有ルヲ以テ見レハ其老年者ノ骸骨ニ係ルヲ察シタリ加之仍ホ眼ヲ凝シテ腰部ノ骨格ヲ熟視スルニ全ク婦人ノ遺骨タルヲ發見ス余此ニ至リ豈ニ喫驚セサル無キヲ得ンヤ是ヲ以テ直チニ此事ヲ陪審ニ告ケ且ツ前日之ヲ檢査セシ二名ノ外科醫ヲ再ヒ召喚センコトヲ乞ヘリ然ルニ其一名ハ須臾ニシテ此ニ來會セシヲ以テ余告クルニ此事ヲ以テセシカ渠レ未タ一言ニ及ハスシテ忽チ之ニ服シタリ

右ノ如キヲ以テ兄某ノ訊問モ全ク之ヲ廢止シ檢視官更ニ渠レニ向ヒ其誤謬ヲ謝シ直ニ解放セリ而シテ後日ニ至リ右人骨ヲ發見セシ地ハ往年マテ山賊ノ巢窟ニシテ其黨類ニ死亡者有ル時ハ之ヲ埋沒セシコト有リトノ確證ヲ得タリト之ニ由テ考フルニ此邊ノ地中ヲ開掘セハ尙ホ又許多ノ人骨ヲ發見センコト蓋シ疑ヒナカル可シ

第十九判例

夫レ喜怒哀樂ノ情モ感發ノ甚シキヨリシテ其極度ニ超ユル時ハ爲メニ人命ヲ絶ツニ至ルノ恐アルコトハ彼ノ假ヲ以テ眞ヲ寫サント欲スルニ汲々タル稗官者流ト雖モ未タ其想像ヲ此ニ及ホス能ハサル可シ千八百四十一年二月二十日ヲ以テ地中海ノ咽喉タル英領シブラタル海門ノ一人ヨリ寄セシ信書中ニ記スル所ノ奇獄ハ蓋シ此言ノ眞ヲ證スルニ足ル可シ其要領即チ左ニ掲出スル如シ

シブラタルニシエームス、バツクスウエルト稱スル老實ノ一巨商アリ其產地ハ本國倫敦府ナレトモ從來此地ノ住民ハ畢ク擧ナ羅馬加特力教ヲ奉スルノ徒ニシテバツクスウエルモ亦年來此教ヲ渴仰スルノ一人タルト並ニ商業上ノ便宜トニ由テ夙ニ本國ヲ去リ此地ニ移住シ已來數年間此地ノ「マウント、セイント、ミカエル」ト名クル山ノ麓ニ一小屋ヲ構ヘテ其居ヲ占メ本國ノ物産ヲ西班牙ヘ輸送スルヲ以テ專修ノ業ト爲セシカ多年ノ功ヲ積ミ近來ハ大ニ其產業ヲ興シ尙モ商業ノ資トスル者ノ外仍ホ巨大ノ家産ヲ有シシブラタルノ人ハ皆ナ其富ヲ以テ宗トセサル者無キノミナラス歐

洲全地至ル所ノ貿易商ハ一人トシテ亦商業上ノ信ヲバツクスウエルニ措カサル者無キニ至レリ
 シエームス、バツクスウエルニ一人ノ女有リ其名ヲエレシヤ、バツクスウエルト稱シ妙齡僅ニ十七
 歳ニ過キス其標致ノ極メテ麗艷ナル衆人皆ナ評シテ絶世ノ美人ト稱ス是ヲ以テシブラルタルノ壯
 年男子ハ盡ク之ニ戀々シ一人トシテ爲メニ其情思ヲ焦サ、ル者ナシ然ルニ此地ニ一字ノ教會堂有
 リ毎安息日ヲ以テ老若男女此ニ參集シ教法ヲ傍聽スエレシヤモ亦其聽衆ノ一人ナリ是故ニ壯男輩
 ハ名ヲ傍聽ニ假リ此ニ參集スル者多シト雖モ其會堂ニ在ルヤ唯、戀々トシ前後ヲ忘レ特リ眸ヲ凝
 ラシテ女ヲ見ルノミ又此輩常ニ惟ヘラク若シ此人カ一笑ヲ得タランニハ苟モ男子タル者ノ大幸
 ナリト之ニ反シエレシヤノ會堂ニ在リテ説教ヲ聽クヤ常ニ專心眼ヲ凝ラシテ聖書ヲ見姿色肅雍未
 タ會テ秋波ノ毫モ人ニ及フ者有ルヲ見ス是ヲ以テ此輩カエレシヤヲ眷戀スルノ情ハ却テ尙ホ其甚
 シキヲ加ヘタリ
 抑、本獄ノ端緒ヲ開クノ日ニ至ルマテハエレシヤノ其心ヲ人ニ移サ、ルヲ概子右ニ述ル如シト雖
 モ渠レ豈ニ無情ノ人ナランヤ去レハ一日偶、夫ノ會堂ニ來レル一人ノ風流男子有リエレシヤヲ一
 視シ心中忽チ恍惚トシテ其姿色ノ艶ナルニ眼ヲ奪ハレ更ニ措キ難キノ情ヲ惹起セシカ恰モ好シ婦
 人モ自カラ亦渠レヲ想フノ情ヲ感發シ此ニ始メテ其心ヲ動カシ已來忽チ貞靜稠雅ノ性ヲ一變シテ
 頻ニ渠レヲ戀々シ恰モ醉ヘル者ノ如ク舉止騷々トシテ其心常ニ安カラス然ルニ彼ノ風流男子ノ心
 衷モ亦此ノ如キヲ以テ或ル時人ノ紹介ヲ得テ偶、エレシヤヲ訪ヒ親シク語ヲ接ヘタリ爾來日ヲ累
 ルニ隨ヒ遂ニ互ニ其衷心ヲ吐露シ好機ヲ俟テ借老ノ契ヲ結ハンコト約セリ願フニ後日此二人カ遂
 ニ其身ヲ誤ツニ至リシハ蓋シ之ニ淵源スト云フ可シ
 其後チ彼ノ風流男子ハ日ヲトシテシエームス、バツクスウエルヲ訪ヒ始テ渠レニ謁シ先ツ寒暄ノ
 叙辭ヲ終リ然レ後チ容ヲ改メ更ニ曰ヘラク不肖ハウ井ルヤム、カツトト稱スル者ニシテ足下ト同
 シク英國ノ人ナリ幸ニシテ今日家、資産ニ富ムモ未タ良偶ヲ得ス希クハ貴娘ヲシテ不肖ニ嫁セシメ
 ヨ不肖必ス情交ヲ密ニシテ夫妻ノ道ヲ全フス可シト

シエームス、バツクスウエルハ此時ニ至ルマテ毫モウ井ルヤム、カツトトノ爲人如何ヲ知ラサルニ突
 然其女ヲ懇望セシカハ右ノ一言ヲ聽クヤ未タ熟慮スルニ及ハスシテ直ニ之ヲ謝絶シ且ツ言ヘラク
 惟フニ足下ハ英國ニ在テ新教ヲ奉スルノ徒ナル可シ然ルニ余カ一家ハ從來加特力教ヲ信スルノミ
 ナラス余カ先考ノ如キハ往年本國ニ在リテ新教ノ爲メニ頗ル窘處シ今日ニ至ルマテ仍ホ之ヲ忘記
 セス是故ニ若シ余カ女ヲ以テ足下ニ配スルモ後日其一和ヲ得サルハ必然ナリ果シテ然ラハ余カ一
 家ノ不幸敢テ言フ俟タヌ是ヲ以テ足下ノ請望ハ余ニ於テ斷然之ヲ謝絶セサルヲ得スト此時エレシ
 ヤハ別室ニ在リテ竊ニ之ヲ聽シカ大ニ望ヲ失ヒ暫ク默然タリ然レモ一心既ニ決シテ固ヨリ其念ヲ
 絶ツニ意無キヲ以テ自カラ父ニ謁シ強ヒテ其許可ヲ得ント欲シ乃チ父ノ前ヘ出テ膝下ニ跪キテ懇
 々其請願ヲ容レンコト乞ヒウ井ルヤム、カツトトモ傍ヨリ其語ニ續テ仍ホ頻ニ哀願セリ然レモバツ
 クスウエルハ頑然前言ヲ固執シテ更ニ之ヲ容ル、ノ色ナシ此ニ至テエレシヤハ正ニ忍フ可カラサ
 ルノ想ヲナシ怒氣忽チ心頭ヨリ發シ滿面赤ヲ濺クカ如ク聲ヲ荒ラ、ケ父ニ向ヒテ言ハク假令ヒ何
 等ノ障礙在ル有リト雖モ余ハウ井ルヤム、カツトトニ嫁スルヲ得サレハ飽マテ止マスト是ニ於テ父
 モ亦頗ル其專橫ヲ憤リ汝チ若シ父ノ命ニ恃リ渠レニ嫁セハ余亦汝チヲ死ニ致サ、レハ敢テ止マサ
 ル可シト誓レリウ井ルヤム、カツトトハ此爭論ノ際默然其傍ニ立テ之ヲ聽キ更ニ一言ヲモ加ヘサリ
 シカ其心中ニ何等ノ感想ヲ起セシヤ蓋シ知ル可カラヌ
 却說バツクスウエルノ家後ニ一個ノ地窖有リケルカ父子爭論ノ日ヨリ二日ヲ過キシ夜ニ方リ偶、
 其窖中ヨリ呻吟ノ聲ヲ發セリ隣人忽チ之ヲ洩聞シテ頻ニ耳ヲ欽ツルニ當初ハ其當甚タ大ナリシカ
 漸々哑了シテ遂ニ全ク之ヲ聞カサルニ至レリ之ヲ聽ク所ノ隣人ハ互ニ面ヲ合セテ大ニ怪ミタリ然
 ルニ其時ヨリシテエレシヤハ失踪セシ者ナル歎已來一人トシテ婦人ヲ見シト云フ者無シ是ニ於テ
 隣人ハ益々之ヲ怪ミ竊ニ其因由如何ヲ評セリ又或ル時直ニバツクスウエルニ就テエレシヤノ所在
 ヲ質セル者有リシカバツクスウエルカ其時ノ答辨ヲ聞クニ渠レ果シテ逃亡セシ者ナル可シト雖モ
 今日那地ニ在ルヤ余之ヲ知り得ス而シテ又余ハ渠レカ所在ノ如何ニ就テ敢テ心ヲ勞スルヲ須ヒサ

ルナリト言ヒタリ
然レモバツクスウエルカ右ノ答辯ヲ爲セシ顛末ヲ聞知セシ者ハ愈々之ヲ怪ミ其甚タシキハ人々竊
カニ評シテ氏ハ正シク其女ノウヰルヤムカツトニ嫁セントスルヲ止ムル爲メ殘酷ニモ自カラ手ヲ
下シテ之ヲ殺死セルナリト耳語スルニ至レリ然ルニ此事忽チ官府ノ聞ニ達シ乃チ黙々ニ付シ去ル
可カラサルヲ以テ氏ヲ執ヘ其實情ヲ鞫問セシムルニ更ニ怪ム可キ證據ヲ發見セス然ルニ此形況ヲ目撃セ
シテ氏ヲ逮捕シ且ツ其家内ヲ搜尋セシムルニ更ニ怪ム可キ證據ヲ發見セス然ルニ此形況ヲ目撃セ
ント欲シテ氏ノ家邊ニ群集セシ者ノ中ヨリ突然聲ヲ放チ地窖ノ中コソ最モ怪ム可シト告クル一人
有リ警官之ヲ聽了シ速カニ地窖ニ入りテ其四隅ヲ搜索スルニ數片ノ石塊有ルヲ發見セリ試ニ之ヲ
擡ケテ其下ヲ見ルニ果シテ血痕ニ塗レタル衣服ノ一離片ヲ得タリ乃チ其エレシヤノ衣服タルヲ證
ス其他又凝血ノ粘附シタル髪の毛少許ヲ發見ス個モ亦正シクエレシヤノ髪の毛ニ違ハスト告クル者數
人有リタリ

バツクスウエルハ其後チ日ナラスシテ法庭ヘ引カレ法官ノ鞫問ヲ受クルニ方リ頻ニ無辜ヲ唱ヘテ
毫モ其罪ニ服サハリシト雖モ法官ハ到底之ヲ信セス特ニ前ノ諸情況ヲ以テ充分其罪ヲ證スルニ足
レリト爲シ訊鞫數回ノ後チ遂ニ氏ヲ以テ其女ヲ殺死スルノ罪ニ斷シ死刑ヲ宣告セリ
バツクスウエル一タビ死刑ノ宣告ヲ受クルヤ恰モ不慮ノ事ニ出テシモ、如ク其驚嘆一ニシテ足
ラス爲メニ落膽シテ言フ所ヲ知ラサリシカ此時ヨリ處刑ノ日ニ至ルマテ全ク放心シテ更ニ人事ヲ
覺ヘサルニ至レリ既ニシテ處刑ノ日ニ達セシカハ獄卒ハ法官ノ命ヲ奉シテ氏ニ告クルニ其死ノ將
ニ頃刻ニ迫リシヲ以テセシカ此時氏ハ始メテ口ヲ開キ天ヲ仰ヒテ嗟嘆シ乃チ傍人ニ告ケテ曰ヘ
ラク余何ソ自カラ愛子ヲ殺ス如キヲ有ランヤ然レモ其死既ニ瞬間ニ迫マリ亦冤ヲ解クニ違ナケレ
ハ唯、之ヲ神聖ニ訴ヘンノミト夫レヨリ獄卒ハ氏ヲ刑場ヘ先導セシカ此時其處刑ヲ目撃セントシ
テ刑場ノ圍繞ニ參集セシ者極メテ多シ又ウヰルヤムカツトハ現ニ前日法庭ヘ出テ、氏カ其女ヲ
脅嚇シタル顛末ヲ告白シ夫レカ爲メ氏ハ遂ニ其罪ニ陷リタルナレハ其處刑ヲ傍觀セント欲シテ

群集ノ中ニ加ハリタリ然ルニ氏ハ忽チ渠レヲ視認シ將ニ擡上ヘ昇ラントスル時渠レニ向ヒ大呼シ
テ曰ク余ヤ瞬間ニシテ忽チ永訣ヲ告ケントス希クハ衆人ト和諧シテ而シテ後チ始メテ瞑目セン汝
チ乃チ余ヲシテ手ヲ握ラシメヨ余亦毫モ汝チカ證ニ據リ今日死ニ刑場ニ就クヲ恨ミサルナリト言
訖テ潜然タリカツトハ之ヲ聽キ忽チ顔色ヲ失シ慌忙音ナラサルヲ以テ衆人ハ其何タルヲ知ラス
唯、大ニ之ヲ怪ミタリ既ニシテバツクスウエルハ悵然トシテ刑擡ニ上リ自カラ其身ヲ殺手ノ前ニ投
セリ蓋シ當時シブラルタルニ於テハ罪囚ヲ死刑ニ處スルニ臨ミ殺手大呼シテ將ニ今罪囚ヲ法ニ處
セントスト云フヲ習例ト爲セシカ然カモ此際其例ニ由テ之ヲ行ヒ然ル後チ一種ノ黒帽ヲ將テ氏ノ
頭ニ置キ又前面ヨリ其一端ヲ延シテ雙眼ヲ蔽ハシメ既ニ刑ニ處セントナセリ然ルニ恰モ此時傍觀
人ノ中ヨリ突然大聲ヲ發シテバツクスウエル何ソ罪有ランヤ眞ノ罪人ハ即チ余ナリト大呼スル者
有リ臨場ノ警官ハ駭然之ヲ顧ルニ豈ニ計ラシヤ個ハ別人ニ非ラスシテウヰルヤムカツトナリ是
ニ於テカ警官ハ直ニ渠レヲ面前ニ勾喚シテ其理由ヲ質スルニ先ツ前日ノ實況ヨリ今日ニ至ル顛末
ヲ懇々開陳シ此ニ始メテバツクスウエルノ冤枉ヲ證明セリ但シ其顛末ハ即チ左ニ掲クルカ如シ
曩日カツトハバツクスウエルニ謁シテ其女ヲ乞ヒシ時一言ノ下忽チ謝絶サレテ其望ヲ果ス能ハサ
ルヨリ或ル時エレシヤニ向ヒ互ニ畢生ノ力ヲ竭シテ夫妻ノ契ヲ遂ク可シトノ赤心ヲ吐露シ夫ヨリ
竊ニ女ヲ外ヘ誘致シテ近傍ノ地ニ潜伏セシメタリシカカツトハ仍ホバツクスウエルヲ恨ムノ一念
ヲ絶ツ能ハサルヨリ遂ニ一策ヲ案出シ機ヲ得テ之ヲ散セント欲シ獨リ之ヲ心裏ニ記シ一日エレシ
ヤノ熟睡シタル虛ヲ窺ヒ竊ニ其髪の毛若干ヲ切斷シ又或ル時其服ノ一片ヲ切斷シテ此兩者ニ野羊ノ
生血ヲ混キ之ヲ携ヘテバツクスウエルノ地窖ヘ忍ヒ先ツ之ヲ其一偶ニ有ル石塊ノ下ニ置キ然ル後
チ自カラ擬シテ呻吟ノ聲ヲ發シ殊ニ之ヲ隣人ノ耳ニ達セシメタリ然ルニ此策最モ能ク的中シテバ
ツクスウエルハ忽チ法庭ノ嫌疑ヲ受ケ遂ニ今日ノ事有ルニ及ヒタリ然レモ恰モ今氏カ余ニ向テ述
ヘタル絶命ノ一言ニ感シ忽焉悔悟ノ情ヲ發シ亦其橫死ヲ見ルニ忍ヒス勢ヒ之ヲ首白セスンハアラ
サルニ至レルナリト

警官右ノ顛末ヲ聽了スルヲ俟テ殺手ハ直ニバックスウエルニ被ラセシ黒帽ヲ脱セント欲シ其前ニ至ルニ氏ハ暫時前マテ佇立セシモ何時トナク其所ニ跌坐シテ默然タリ是ヲ以テ殺手ハ速カニ其黒帽ヲ脱スルニ豈ニ計ラシヤ氏ハ既ニ瞑目シテ全ク生ナシ是ニ於テカ衆皆ナ駭然タリシカ先ツ之ヲ扶起シテ百方醫藥ノ術ヲ竭スト雖モ一トシテ其効ヲ見ス之ヲ醫師ニ諮詢スルニ個ハ正シク過激ノ感觸ヲ突然腦中ニ起シ乃チ其反動ニ由テ遂ニ命ヲ絶ツニ至リマシ者ナル可シト見斷ヲ下セリ豈ニ奇ト云ハサル可ケンヤ

此ノ如キヲ以テカットハ其所ヲ去ラズ獄ニ投セラレ後日ノ處刑ヲ俟ツニ及ヘリ又エレシヤハ此時ニ至ル迄其身ヲ藏シ全ク戶外ノ事ヲ知ラサルヲ以テ始メテ此顛末ヲ聞知スルニ及ヒテヤ天ヲ仰キ地ニ俯シ嘔哭管ナラサリシカ忽チ遁世ノ志ヲ發シテ尼姑院ニ入り塵世ノ交リヲ絶テリトシ

第二十判例

英國エキスタル州ニレッドカウト記スル招牌ヲ標出シテ一酒肆ヲ開設スルウ井ルヤムハリッドレイイナル人アリ其舊友ニシヨシオン、マイルスト名クル者在リシカリッドレイイノ家ヲ隔ツル若干里ノ所ニ居テ占ムルヲ以テ近來互ヒニ相見ルコト極メテ稀ナリ然ルニリッドレイイ一日人ヨリ若干ノ金額ヲ受領スル爲メ家ヲ出テシカ路次偶然マイルスニ邂逅シタルヲ以テ互ヒニ其後チノ疎遠ヲ謝シ乃チ相伴フテ一酒肆ニ投シ一盃ヲ傾ク之ヲ暫クシテリッドレイイハマイルスニ向ヒ今日家ヲ出テ理由ヲ告ケ且ツ今ヨリ直ニ某ノ家ニ至リ金圓ヲ受領シ然レ後チ再ヒ此ニ還リ來テ更ニ相飲酒スヘント約シ乃チマイルスヲ酒肆ニ留メリッドレイイハ一人ニテ此處ヲ出テタリ然ルニ其レヨリ數時ノ後チリッドレイイ其約ヲ違ヘスシテ還リ更ニ又酒ヲ命シテマイルスト對飲セリ之ヲ了リリッドレイイハマイルスヲ其家ニ誘ヒ午餐ヲ喫センコトヲ勸メ遂ニ相伴フテ此所ヲ去リ家ニ至リシカ再ヒ此ニ離席ヲ開キタリ之ヲ以テ兩人ハ覺ヘス爾醉々頻ニ愉快ノ感ヲ爲シ互ヒニ手ヲ握リ懇話大笑以テ一日ノ歡ヲ盡シタリ

蓋シ兩人カ酒宴ヲ開キシ所ハリッドレイイノ家ノ後部ヨリ殊ニ前面ヘ突出シタル一小室ニシテ其戸ヲ開ケハ直ニ外庭ニ出テ又之ヲ出ツレハ家内ヲ通過セシテ直ニ往還ヘ出ツルヲ得然リ而シテ兩人ハ此室ニ在テ飲酒スルコト既ニ數刻ニ及ヒタル後チリッドレイイノ妻室内ヘ來リシニ坐上唯マイルスノミニシテリッドレイイヨ見サルヨリマイルスニ向ヒ其所在ヲ質セシカ渠レ既ニ二十分ノ醉ヲ發シタルヲ以テ其言語隔々トシテ更ニ解スヘカヲサリシカ再ニ尋問ノ後チ辛クシテリッドレイイハ過刻外庭ニ出テ未タ還ラストノ一言ヲ聽キ得タリ是ヲ以テ家人ハ一齊ニ聲ヲ擧ゲ頻ニリッドレイイノ名ヲ召呼シ或ハ家ノ内外ヲ搜索スト雖モ毫モ其踪跡ヲ得ス之ニ由テマイルスハ先ツ家人ニ別ヲ告ケ跟々トシテ此所ヲ去レリ

却説リッドレイイハ其日ノ夜ニ入りシモ更ニ還ラサルノミナラス爾後數日ヲ歴タルニ仍ホ其踪跡ヲ得サルヲ以テリッドレイイノ妻ハ始メテマイルスヲ疑フノ念ヲ生シ且ツ竊ニ惟ヘラク渠レ恐ラクハ奸計ヲ運ラシテ夫ヲ殺セシナルヘシト之ニ加フルニリッドレイイハマイルスヲ伴ヒシ日或ル人ヨリ若干ノ金圓ヲ收領シ之ヲ懷ニセシト竝ニ同日婦カマイルスニリッドレイイノ所在ヲ質セシ時頗ル漠然タル答ヲ爲セシコト憶起セシヲ以テ愈々其疑念ヲ増スニ至レリ

然ルニ此事忽チ世上ニ傳ハリ喋々トシテ之ヲ評シ且ツ彼ノマイルスハ前日リッドレイイト俱ニ飲醢ノ後チ其昏醉ノ虛ニ乘シ欺ヒテ戶外ハ誘引シ直ニ渠レヲ殺シ且ツ渠レノ懷ニセシ金圓ヲ掠奪シ然ル後チ其死骸ヲ匿クマテ竊ニ室内ニ還リシニ幸ニシテ一人ノ其舉動ヲ見シ者ナキヲ以テ遂ニ其奸惡ヲ果セシナリト信スル者愈々多ク夫レカ爲メ此事警官ノ聞ク所トナリ遂ニマイルスヲ拘引シテ訊鞫ヲ加フルニ及ヘリ然ルニ警官ハ渠レカ前日リッドレイイニ別ヲ告ケシ時ノ顛末ニ就キ其陳述スル所頗ル不充分ナリト爲シ加之マイルスハ前夜痛ク昏醉シテ前後ノ如何ヲ記セサルニヨリ能ク其時ノ顛末ヲ明辯スル能ハスト供スルニ至リ愈々疑ヒヲ生シ個ハ正シク罪跡アルカ故ナリト推定シ直ニ渠レヲエキスタルノ監倉ニ送附シテ法官ノ審鞫ヲ俟チタリ

然ルニ此際ニ至リ此件ニ就キ種々ノ怪説ヲ傳フル者極メテ多ク或ハ夜陰人靜マルノ後チ何人トモ

知ヲス凄然トシテリツドレイノ戸扉ヲ叩ク者アリト云ヒ或ハリツドレイノ幽鬼ヲ目撃シタリト云フ而シテ其甚キニ至テハ某ノ如キ一夜睡ニ就カントスルニ方リ人ナキニ忽然寢室ノ帳幕自カラ左右ニ開ケ見、渾身生血ニ染ミタルリツドレイノ幽鬼現出シ某カ面ヲ熟視シナカラ恰モ、鏡ノ如キ聲ヲ發シ潜然トシテマイルスノ爲メニ暴殺サレシヲ哀訴セリト云ヘリ此等ハ固ヨリ捕風憑虛ノ談ニシテ毫モ採ル可キ所ナク又之ヲ信スル俗民ノ如キニ至テハ愈論スルニ足ラサル者ナリト雖モ夫レカ爲メ當路ノ法官ハ冥々ノ中自カラ亦多少ノ影響ヲ免レサルヨリ遂ニウ井ルヤム、リツドレイヲ謀殺スルノ罪ヲ將テシヨシ、マイルスヲ鞫問スルニ及ヘルノミナラス諸證人ノ陳告ニ係ル諸情況ニ據テマイルスハリツドレイ失踪ノ日其朝ヨリ夕ニ至ル迄始終相伴ヒ他ニ又渠レ等ニ伴ヒシ者一人モ在ラサリシヲ證明セシヲ以テリツドレイノ近隣ヨリ募集サレタル陪審ハ遂ニマイルスヲ罪ニ斷シタリ此ニ至テマイルスハ頻ニ其誣罔ヲ辨セシト雖モ毫モ容レラレス日ナラスシテ死刑ニ處セラレタリ

マイルス處刑ヨリ若干ノ時日ヲ過キシ後チリツドレイノ妻ハ「レツトカウ」ノ酒肆ヲ人ニ讓リ更ニ又他ニ其所ヲ擇ヒ一酒肆ヲ開設シタリ然ルニ「レツドカウ」ヲ讓受セシ某ハ其破所ヲ修繕スル爲メ家内各所ヲ檢セシニ怪ム可シ厠中ヨリ一個ノ死骸ヲ發見ス乃チ之ヲ執視スルニ正シクウ井ルヤム、リツドレイナリ又其懷中ヨリ金貨二十ギニアヲ搜出ス是ニ於テカ始メテ其全ク人ノ爲メニ殺死サレシニ非サルノ證明ヲ得タリ此他右ノ厠ハリツドレイ昏醉ノ後チ之ニ入りシヲ以テ誤テ失脚シ厠盡剝去シ假リニ二箇ノ木片ヲ之ニ架セシカリツドレイ昏醉ノ後チ之ニ入りシヲ以テ誤テ失脚シ厠盡ニ陥井リシニ厠盡ノ底頗ル深キカ爲メ遂ニ出ツルヲ得ス空シク其命ヲ墜シ且ツ今日ニ至ル迄全ク之ヲ發見セサルヲ知レリ是ヲ以テ前日マイルスカ其無辜ヲ陳告セシヲノ果シテ僞ナラサルヲ證スルヲ得タリ

第二十一判例

八アリ偶ニ二男子ノ野ニ出テ、憤然相角闘スルヲ見ル其人須臾ノ後チ其所ニ至ルニ一男子ハ既ニ地上ニ斃レタリ而シテ其傍ニ一條ノ長又ヲ遺ス之ヲ取テ親シク檢スルニ果シテ他ノ一男子ノ所有スル所ニ係リ然カモ此日ノ朝渠レ此長又ヲ携ヘテ家ヲ出テ探知セリ是ヲ以テ警官直ニ渠レヲ逮捕シ法衙ニ致シ訊鞫ノ上右情況ノ外平素右二人ノ間頗ル和セス常ニ軋轢ノ證據アルヲ探リ得タルヲ以テ囚徒ノ煩ニ其誣罔ヲ辨セシニモ拘ハラス其罪直ニ定マリ陪審將ニ有罪ノ斷辭ヲ與ヘントセシカ先ツ相伴フテ法庭ヲ退キ數刻ヲ過キシ後チ再ヒ法庭ニ來リ法官ニ向ヒ陪審者十二名ノ中十一名ハ當初ヨリ皆ナ囚徒ノ有罪ヲ見斷スト雖モ他ノ一名ハ何故カ全ク之ニ同セスト告ケタリ是以テ法官ハ其一人ニ就テ右諸情況ノ効力極メテ較著ニシテ苟モ一點ノ疑ヒヲ容ル可カラサル所ヲ以テ懇説シ然ルヲ何等ノ理由アリテ他十一名ノ者ニ同セサルヤヲ質シタリ此他仍ホ十一名ノ陪審者モ均シク口ヲ醋シテ喋々囚徒ノ有罪ヲ論シタリ然レモ渠レハ依然其無辜ヲ固執シ毫モ之ニ聽從セサルヲ以テ止ムヲ得ス遂ニ囚徒ヲ解放スルニ及ヒタリ譯者云フ陪審ハ全數ノ同意ヲ要ス故ニ十二名ノ内僅ニ一名ノ異説者アリト雖モ罪跡判決ノ權ナシ

此ノ如キヲ以テ數日ノ後チニ至ルマテ人皆ナ之ヲ奇異ノ事ト爲シ敢テ其理ヲ解セサリシカ其後チ彼ノ一名ノ陪審ノ死ニ臨ミ自カラ其兇手タルヲ首白セルニヨリ茲ニ始メテ此疑ヒヲ散スルニ至レリ(又)一説ニハ此獄ヲ裁セル法官ハ渠レカ囚徒ノ無罪ヲ主張シ執拗更ニ屈スル色ナキヲ見衷心之ヲ怪ミシカ或時密ニ渠レヲ招キ其因由ヲ推問スルニ及ヒ始メテ其實ヲ告ゲシトモ云ヘリ兩說孰レカ是ナルヲ知ラス蓋シ其顛末ヲ聞クニ幾ニ囚徒カ被害者ト野中ニ於テ角闘セシハ全ク實事ナリ然レモ兩人角闘ノ後チ囚徒ハ其長又ヲ路傍ニ擲チ其所ヲ去リタルナリ然ルニ陪審者某ハ其後チ暫時ヲ過キ此所ニ來リ長又ヲ見テ之ヲ拾ハントスルニ方リ被害者ハ既ニ角闘ヲ止メ煩ニ地ヲ耕セシカ今陪審某ノ長又ヲ拾ヒ去ラントスルヲ見再ヒ渠レト爭鬪ヲ援起セリ而シテ陪審某ハ爭鬪ノ勢ニ乘シ遂ニ長又ヲ揮テ敵手ヲ刺シ直ニ其所ヲ去リシヲ以テ幸ニ陪審某ハ自カラ嫌疑ヲ受クルニ及ハサリシカ其後チ日ナラスシテ囚徒某其現犯タルノ疑ヒヲ被フリ又其情況タル前ニ述ヘシ如ク頗ル

較著ノ効力ヲ有シ之カ爲メ渠レ將ニ冤罪ニ陷井ラントスルヲ聞キ大ニ愕然タリシト雖モ自己ノ罪跡ヲ冒露セスシテ其危急ヲ救ハンニハ自カラ陪審ニ加ハリ隠然之ヲ庇蔭スルニ如カスト思惟シ乃チ前件ニ及ヘルナリト

第二十二判例

シヨウ、ホウキンス及ヒシオルシ、シムプソント稱スル二人ノ者千七百二十二年四月十六日郵便物ヲ搶奪スルノ罪ヲ以テ法庭ニ告訴サレ法官ノ訊鞫ヲ受ケシカホウキンスハ其誣罔ヲ辨解スル爲メ其日犯罪ノ地ニ在ラサル所以ヲ陳シ且ツ其陳述ヲ證明スル爲メウ井ルヤム、フラルナル者ヲ法庭ヘ勾喚シ直ニ此人ニ就テ其實否ヲ判定セシコトヲ乞ヘリ依テ法官ハ人ヲ馳セテフラルヲ勾喚シテ鞫問スルニホウキンスハ四月十五日(日曜日)フラルノ家ニ來リ其夜此ニ一泊シ翌朝ニ至リ去レリト告ク法官再ヒフラルニ質シテ曰ク汝何等ノ事由ニ依テホウキンスカ汝ノ家ニ一泊セシハ果シテ四月十五日ナルヲ確記スルヤト(蓋シ罪ヲ犯セシハ四月十六日ノ午前二時ナリ)フラル曰ク確タル事由アリ其ハホウキンス曾テ余カ馬ヲ借用シタルヲ以テ其賃銀若干余ニ負ヘリ然ルニ去ル火曜日(即チ四月十日)ホウキンス余ノ家ヲ訪ヒ悉ク之ヲ辨償セリ余其時收領證ニ署名シテ之ヲ渠レニ交付セリ而シテホウキンスノ余カ家ニ一泊セシハ其次ノ日曜日ナリ之ヲ以テ其十五日タルヲ明記スト夫レヨリ右ノ收領證ヲ出シテ法官ニ示ス其文次ノ如シシヨウ、ホウキンス氏ヨリ壹磅拾志ヲ確收スウ井ルヤム、フラル千七百二十二年四月十日、法官之ヲ閱了シ又質シテ曰ク此收領證ヲ書セシハ何人ナルヤトフラル答テ曰ク其全文ハホウキンス自カラ書シ余ハ唯一之ニ署名セルノミト夫レヨリ又數回ノ問答アリ即チ左ノ如シ

法官 然リ
フラル 然リ
法官 然リ
法官 汝チハ夫レヨリ直ニ之ニ署名セシヤ

フラル 余ハ其坐ヲ去ラス書机ニ向テ直ニ之ニ署名セリ
法官 汝チカ家ニハ幾箇ノ書机ヲ備フルヤ

フラル 幾箇ノ書机トハ何ソヤ
法官 然リ幾箇ノ書机ヲ備フルソ是レ甚タ平易ノ問ニ非スヤ
フラル 唯一箇ノミ余カ如キ者ハ亦其餘ヲ要セス

法官 然ラハ汝チハホウキンスカ收領證ノ全文ヲ書記スル時用ヒシ墨汁ト同一ノモノヲ用ヒテ署名セシヤ
フラル 全ク然リ

此時法官ハ屬官ニ命シテ收領證ヲ陪審ニ交付セシメ且ツ陪審ニ告ケテ曰ク此收領證ノ全文ヲ書セシ墨汁ト署名ニ用ヒシ墨汁トハ全ク相異ナリ然ルニ證據人フラルハホウキンス全文書記ノ後千直ニ同一ノ墨汁ヲ用ヒテ署名スト誓ヘリ今其言ノ果シテ信ヲ措クニ足ルヤハ卿等宜シク自カラ之ヲ判セヨト
斯ノ如キヲ以テ收領證ノ効力モ證據人ノ信任モ忽チ法官ノ見斷ニ由テ減殺サレタリ但シ其法官ハ「ロルド」チイフ、シアスチス、モンテ、グ氏ナリ而シテ氏將ニ諸證ヲ總括シ獄事ヲ結了セントスルニ臨ミ偶然左ノ事實ヲ得タリ
審問ノ實況ヲ公告スル爲メ之ヲ傍聽筆記スル者一人法庭ニ在リシカ所用ノ墨汁頗ル日ヲ歷シテ以テ墨壺ノ底ニ沈渣スル部分ハ甚タ濃密ナレ其上面ニアル部分ノ淡薄ナルヲ恰モ水ノ如シ之ヲ以テ獄事ヲ筆記スルニ一紙面濃淡相半シテ二種ノ墨汁ヲ用ヒシモノニ似タリ此時法庭ニ參列セシ者忽チ之ヲ認メテ陪審ニ告ケ且ツ其書冊ヲ取テ之ニ交付セリ陪審乃チ眼ヲ凝ラシテ之ヲ檢視スルニ方リ法官其舉止ヲ認メ言ヲ發シテ曰ク卿等何事ヲ爲スヤ又其書冊ハ何物ナルヤト陪審之ニ答フルニ個ハ記者ノ書冊ナリ而シテ其紙面ニ記スル所ノモノハ現ニ同一ノ墨汁ヲ用ヒシニ外ナラスト雖モ一紙面ノ文字ニシテ濃淡相半シ恰モ二種ノ墨汁ヲ用ヒシニ似タルニヨリ今之ヲ檢視スルナリト

然ルニ法官ハ之ヲ聽了シ再ヒ言ヲク卿等ハ法庭ニ出セル諸證ノ外敢テ干涉ス可キニ非スト又記者ニ向ヒ質シテ曰ク汝チハ何故ニ書冊ヲ陪審ニ交付セシヤト記者之ニ答テ曰ク余之ヲ交付セシニ非ス他人之ヲ取テ陪審ニ交付セルナリト法官答ニ應シ再ヒ質シテ曰ク然ラハ何人ノヲ取テ陪審ニ交付セシヤト然ルニ記者ハ陪審ノ何人タルヤヲ知ラサルノミナラス又何人ノ之ヲ取リシヤヲ記セサルカ故ニ之ニ答フルヲ能ハサリキ

惟フニ法庭ニ出セル諸證ノ外ハ陪審之ニ干涉ス可カラスト言フト雖モ陪審自家ノ識見ニ依テ事ヲ證スルハ法ノ許ス所ニ非スヤ果シテ然ラハ陪審自家ノ識見ヲ以テ非ト認定スルモノヲ是ト爲サンニハ抑、何等ノ證ヲ用フ可シトスルヤ此ノ如キ評論ハ姑ク之ヲ措キホウキンス及ヒシムブソノ兩人ハ斷罪ノ上遂ニ死刑ニ處セラレタリ准フニ之ヲ罪ニ斷セシニハ必ス右ノ外ニ仍ホ確タル證據ノアリテ存セシカ故ナル可シト雖モ試ニ憑ル所ノ證據ヲシテ單ニフラルノ口供ニ外ナラザラシメハ此兩人ハ果シテ彼ノ記者カ所用ノ墨汁ニヨリ其意見ヲ排セラレントスルニ臨ミ忽チ不快ノ態狀ヲ現セシ法官モンテ、グ氏カ見斷ノ犠牲ニ供セラレシト云フモ亦証言ナラザル可シ而シテ又墨汁ノ件ヲシテ單一ノ證タラシメ別ニ有効ノ證ヲ得ルヲ此獄ノ如クナラサルモノニ於テハ即チ之ヲ以テ無辜誣罔ヲ保庇スル天道ノ默示ナリト稱スルモ蓋シ不可ナカルヘシ

第二十三判例

一男子某アリ一朝其父ヲ謀殺スルノ嫌疑ヲ以テ捕ニ就キ訊鞫ノ上忽チ其罪ニ斷セラレタリ然ルニ其證據タル全ク情況ニ出テシモノニシテ又之ヲ供セシハ該囚徒ノ妹某ナリ今其口供ノ要ヲ抄出スルニ囚徒ノ父ハ平素汲々其業ヲ勵ミ更ニ怠ル所ナキヨリ年ヲ累ヌルニ從ヒ遂ニ一少産ヲ興シ之ニ依テ安然其日ヲ送ルニ及ヘリ然ルニ囚徒ハ其嫡子ニシテ然カモ父ノ死後ハ其資産ヲ襲ク可キ者タリシカ一日モ早ク之ヲ占領セント欲シ數ノ之ヲ口外セシヲアリ加之生平父ニ對シ頗ル放肆ニシテ毫モ子タルノ道ヲ盡サス且ツ竊ニ其死ヲ渴望セリト而シテ謀殺ノ夕父某ハ家外ノ廠舎ニ畜ヘル牛

七

ノ乳汁ヲ搾取スル爲メ家ヲ出テ囚徒ノ妹モ同時ニ外出シ囚徒獨リ家ヲ守レリ然ルニ妹ハ其夜ヲ外ニ過コシ翌朝早ク歸テ家内ヲ見ルニ父兄俱ニ其踪跡ナシ是ヲ以テ妹ハ愕然爲メ所ヲ知ラサリシカ先ツ隣人ノ意見ヲ詢リ而シテ後チ踪跡ヲ搜ラント決心シ乃チ隣人數名ヲ招引シ協議暫時ニシテ相伴ヒ平日父カ牛乳ヲ搾取スル草房ニ至テ見ルニ豈ニ計ラシヤ父ハ無殘ニモ其頭ヲ碎カレテ草房ノ前ニ昏倒シ既ニ生息ナシ然ルニ之ヲ目撃セシ者ハ忽チ囚徒ヲ嫌疑スルノ念ヲ發シ且ツ偶然側ヲ顧ルニ路頭尙ホ殘雪アリテ鞋痕數箇ヲ印ス之ヲ熟視スルニ歷々トシテ人ノ草房ノ前後ヲ往復セシヲ示ス此時一人アリ竊ニ囚徒ノ一鞋ヲ拿來リ之ト比ス可シト云ヒナカラ直ニ其家ニ馳セテ之ヲ携ヘ來リ試ニ之ヲ取テ鞋痕ニ俟ムルニ恰モ相吻合シテ寸毫ノ差違ヲ見ス此ニ至テ人々畢ク之ヲ以テ囚徒ノ鞋痕ナリト聒譟シ更ニ亦疑ヒヲ懷ク者ナシ而シテ人々ハ再ヒ相伴ヒテ囚徒ノ家ニ來リ百方其内ヲ搜索セシカ遂ニ一室ニ備ヘシ内櫃ノ一隅ヨリシテ血痕腦髓ニ塗レ且ツ骨屑ノ密着シタル鐵椎一挺ヲ得タリト以上ハ即チ囚徒ノ妹カ自カラ供セシ所ニ係ル之ニ加フルニ其現況ヲ目撃セシ隣人ハ口ヲ竝ヘテ贊同セシニヨリ法官ハ忽チ囚徒ヲ其罪ニ定擬シ日ナラスシテ死刑ニ處セリ然レモ其死ニ至ル迄悍然其誣罔ヲ固言シテ止マサリントシ

其後チ凡ソ四箇年ヲ歷囚徒ノ妹ハ一朝危篤ノ病ニ罹リシカ自カラ其死ノ旦夕ニ迫レルヲ察シ此ニ始メテ先非ヲ悔ヒ遂ニ舊惡ヲ首白セリ其始終ヲ聞クニ此女曾テ私恨ヲ父兄ニ挾ミシヲアリシカ此時ヨリシテ私カニ兩人ヲ殺死セント決心シ其機會ヲ俟ツニ一日其父牛乳ヲ搾取スル爲メ草房ニ至ルヲ見其兄ノ鐵椎ヲ携ヘ又其鞋ヲ穿テ竊ニ草房ニ至リ虛ヲ覘ヒ其側ヨリ突出シ鐵椎ヲ揮ヒテ父ノ頭ヲ劇毆シ立チ所ニ其命ヲ奪ヘリ然ルニ仍ホ其奸惡ヲ逞フスル爲メ夫レヨリ直ニ家ニ還リ鐵椎ヲ内櫃ニ納レ隱然其兄ノ死ヲ促シ以テ逆意ヲ果セシナリト此事忽チ法官ノ聞ニ達セシヲ以テ速カニ女ヲ捕ヘシカ病勢愈劇ヲ加ヘ未タ訊鞫ニ及ハスシテ死セリ

第二十四判例

千七百六十五年英國サレイ州キングストンニ開設セル裁廳ニ於テ法官「ロルド」チイフ、パロンスミ
 ツス氏シヨン、ストリンヂアルナル者其妻ヲ殺死スルノ獄ヲ聽キ遂ニ之ヲ罪ニ斷シ其翌々日ヲ以テ
 處刑ニ行フノ宣告ヲ與ヘタリ抑此獄ノ顛末ヲ聞クニストリンヂアルハ固ト下流社會ノ人ナリ其
 婦久シク病痾ニ罹リ歲月ヲ累ヌルモ未タ快氣ニ至ラサルヲ以テストリンヂアルハ風土變換ノ効ニ
 頼リ其病根ヲ絶タシメント欲シ或ル時婦ヲ誘ヒテ倫敦ヲ去リラムベスニ至リ暫時此地ニ寄寓セリ
 下流社會ノ常情トシテ此際夫妻ノ間ニ多少ノ爭擾ヲ免レサリシト雖モ要スルニ概テ相和シテ別ニ
 劇シキ風波ヲ生セサリキ然レモ妻ノ病痾ハ日ヲ逐テ重症ニ赴キ遂ニ此地ニ死セリ然ルニ其生前夫
 妻ノ間ニ生セシ區々タル爭擾ヲ日撃セシ隣人等ハ是時ヨリシテ漫ニ其死ヲストリンヂアルノ罪ニ
 歸シ喋々之ヲ罵リタリ是ヲ以テストリンヂアルハ忽チ法庭ニ勾喚サレ審判ヲ受クルニ及ヘリ而シ
 テ其罪ヲ證スル事實タルヤ右ニ掲クル如ク區々タル夫妻間ノ爭擾ト青年ナル一外科醫某夫妻ノ死
 骸ヲ一見シテ其故殺ヲ示スニ似タル痕跡アリト言フノ二項ニ過キサレモストリンヂアルハ此等ノ
 情況ニ由テ忽チ其罪ニ定擬サレタリ
 然ルニ又ストリンヂアルカ寓居ノ近傍ニ老練ノ外科醫カーサンナル者アリ婦人ノ死ヲ聽キ偶々其
 死骸ヲ一閱セシニ未タ其殺死ヲ示スニ足ル一點ノ痕跡ヌラ之レ有ラサルヲ以テストリンヂアル其
 罪ニ斷セラルハ如キハ全ク心ニ思ハサリキ然ルニ其後チストリンヂアルノ罪既ニ定マルヲ聞キ惴
 惴ノ情敢テ黙止スルニ忍ヒス乃チ其冤枉ヲ解カント渠レカ斷罪ノ次日カシタルベリイノ首牧師
 ヲ訪ヒ其所以ヲ面陳セリ然ルニ首牧師ハ輒ク之ヲ聽容シストリンヂアルノ無辜ヲ開說シテ其赦免
 ヲ促セル一柬ヲ作り之ヲ法官スミツス氏ニ寄セリスミツス氏ハ之ヲ見テ忽チ其審斷ノ輕勿ナリシ
 ヲ悟リ大ニ之ヲ悔ヒ直ニ國君ニ乞ヒテ先ツストリンヂアルカ處刑ノ延期ヲ請願セリ而シテ更ニ其
 獄事ヲ覆審セシニ到底カーサンノ審査ニヨリ其無辜タルヲ證セシヲ以テストリンヂアルハ是ニ始
 メテ赦免ヲ得タリ

第二十五判例

千七百六十四年白耳義リーズ府ニ住スル某一日其頃ヲ銃撃サレテ室内ニ死ス其傍ヲ見ルニ一挺ノ
 短銃アリ其状態ヲ見ルニ恰モ自殺ヲ遂ケル者ノ如シ加之リイズ府ハ火器製造ヲ以テ名アルノ地ナ
 レハ人々短銃ヲ携帶スルノ其常ニシテ又府外ノ農民等ニ於ケルモ府内ニ物産ヲ賣ラシ市場ニ歸カ
 ントスル時ハ必ス之ヲ佩帶シテ途次不慮ノ用ニ具ヘリ此ノ如キヲ以テ人々某ノ死狀ヲ見ルモ未タ
 一人トシテ短銃ノ如何ニ注眼スル者ナシ惟フニ此事ヲシテ試ニ若シ火器ヲ珍奇トスル他ノ地方ニ
 發起セシメハ人々競フテ先ツ短銃ヲ熟視スルヤ必セリ然レモ夫レヨリ暫時ノ後チ同府ノ檢屍官此
 所ニ臨ミ親シク死骸ヲ點檢シテ頻ニ其因故ヲ檢覈スルニ盡力セシカ忽チ其腦中ヨリシテ一箇ノ彈
 子ヲ搜出セリ乃チ之ヲ取テ試ニ銃口ト比フルニ彈子ノ大サト相吻合セス是ニ於テカ當初ヨリ自殺
 ト速了セシ者モ即チ其然ラサルヲ覺レリ依テ速カニ兇手ノ探偵ニ着手セシカ茲ニ被害者カ數年來
 養育セル一人ノ姪女アリ此時其齡未タ十六歳ヲ超ヘス又被害者平素ヨリ其財產ヲ之ニ遺留スル志
 アリ然ルニ近頃一壯男子某此女ヲ娶ラント欲シ直ニ女ニ就テ之ヲ謀リシニ女亦之ニ應スルノ意向
 セシメントシ或時ハ若シ一度此男子ニ嫁セハ更ニ其財產ヲ他人ニ遺留ス可シト脅嚇シタルヲアリ
 又右ノ如キヲ以テ會テ姪女ハ一日モ早ク其叔父ノ死ナント云ヒシヲ聽シ者アリト而シテ
 此等ノ情況ニヨリ姪女ハ忽チ捕ニ就キ獄裏ニ繋カレタリ
 抑罪狀ヲ首白セシムル爲メ拷問ヲ用フルハ實ニ古今ノ一大酷法ト稱スヘシ白耳義ニ於テハ此法
 當時尙ホ盛行ハレ乃チ彼ノ女モ既ニ法庭ニ於テ訊鞠ヲ受クル時毫モ其罪ヲ首白セサルヲ以テ拷
 問ニ處セラレントスルニ及ヘリ然ルニ恰モ此時ニ際シ英國人某リイズ府ニ在留シ此事ヲ聞知シ自
 カラ法官ノ許ニ詣テ懇々拷問ノ苛法タル所以ヲ開說セシカ法官之ニ答ヘテ抑我國ノ制ニテハ英
 國ニ於テ正シク囚徒ヲ罪ニ斷スルニ足レリト認定ス可キ情況ヲ得ル時ノミニ拷問ヲ用ヒ苟モ此ノ
 如キ情況アラサル時ハ絶テ之ヲ用ヒス故ニ無辜ノ冤枉ニ屈スルノ弊ヲ防クハ英國ノ制ノ我國ノ制

ニ如カサルヲ遙カニ遠シト云ヘリ夫レ豈然リ夫レ豈然ランヤ惟フニ此論タル苟モ體軀ニ疼痛ヲ被
ラシムル時ハ人ヲシテ寧ろ實ヲ吐カシムルニ足ルモ未タ偽ヲ告ケシムルヲアササル所以ノ確證ヲ
得ルニアラサルヨリハ到底憑藉スルニ足ラサルモノト稱ス可シ
然レモ法官ノ所見既ニ右ノ如キヲ以テ固ヨリ某ノ忠告ヲ納レス漫ニ女ヲ執ヘテ再三ノ拷問ニ處セ
シカ渠レ飽マテ誣問ヲ訴ヘ其極遂ニ死ヲ以テ拷問ノ苦惱ヲ脱シタリ然ルニ其後チ數年ヲ過キ現犯
ノ同謀者數名別ニ又犯セル所ノ罪アリテ懲役ニ處セラレシカ一日役場ニ於テ某ヲ銃殺セルノ罪ヲ
首白シ又其時短銃ヲ其傍ニ置キ自殺ノ状態ニ擬シテ其罪ヲ隠セシモ彈丸ノ大小ニ至テハ其際思慮
全ク之ニ及ハサリシ所以ヲモ陳告セリ是ニ至テ女ノ冤枉ハ始メテ之ヲ雪クヲ得シモ既ニ九泉ノ下
ニ在レハ亦之ヲ救フニ道ナキヲ奈何

第二十六判例

英國オツクスフワールド州ニ於テ龍動府ノ街道ニ旅舎ヲ設クル者アリ其名ヲシヨナサン、ブラッ
ドフワールドト云フ一夕ヘイスト稱スル富人オツクスフワールドニ住スル親戚ヲ訪フノ路次此旅
舎ニ投ス茲ニ又既ニ投宿セル二人ノ紳士アリヘイスト俱ニ晚餐ヲ喫シナカラ頻ニ談話ス此際ヘイ
スハ心ナクモ身ニ若干ノ金圓ヲ帶フルヲ開言セリ既ニシテ晚餐ヲ終リ毎客共室ニ退キシカ二人
ノ紳士ハ其室ニ備フル烟筒ノ側ニ手燭ヲ置キ頃刻ニシテ眠ニ就ケリ夫レヨリ數時間ヲ過キシ後チ
隣室ニ於テ頻ニ呻吟ノ聲ヲ發セリ紳士ノ一人ハ夫レカ爲メ忽チ目ヲ覺シタルヲ以テ耳ヲ欽テ之ヲ
聽クニ其聲愈々大ナリ依テ其側ヲニ眠レル他ノ紳士ヲ呼醒シ其所以ヲ告ケ俱ニ之ヲ聽クニ其聲漸
次大ヲ加ヘ恰モ將ニ死ニ就カントスル者ノ痛苦ニ堪ヘスシテ呻吟スルカ如シ二人ハ此ニ至テ頗ル
鬼胎ヲ懷キ其何タルヲ知ラント欲シ竊カニ隣室ノ戸外ニ來ルニ戸扉半ハ開キ内ニ微光アルヲ見ル
依テ密カニ室内ヘ入ルニ怪ムヘシ人アリ渾身血ニ塗レ寢牀ノ内ニ煩悶ス其傍ニ又人アリ一手ニ暗
燈ヲ掲ケ一手ニ小刀ヲ握リ竝立ス今二人ノ此ニ來ルヲ見テ頗ル遽色ヲ發シ猶ホ其罪ノ發覺ヲ恐ル

者ノ如シ二人ハ先ツ眼ヲ疑ラシ負傷者ヲ見ルニ其夕俱ニ晚餐ヲ喫セシ旅客ヘイストナリ又傍ニ竝
立スル者ハ旅舎ノ主人ブラッドフワールドナリ此ニ於テ二人ハ直ニ主人ヲ擁シ小刀ヲ奪取シ憤然
トシテ其罪ヲ責メシカ頻ニ誣問ヲ鳴シ其此ニ來リシハ全ク二人ノ意衷ト同シク過刻室内ニ聲アリ
暫クシテ忽チ呻吟ノ聲ニ變スルヲ聽キ直ニ寢牀ヲ出テ燭ヲ點シ且ツ其身ヲ護ル爲メ小刀ヲ携ヘ恰
モ今二紳士ノ旅客カ來レル數秒時前此ニ入りシナリト陳述ス然レモ此二人ハ毫モ之ヲ信セス嚴シ
ク主人ヲ一室内ニ禁錮シ翌朝ニ至ルヲ俟チ渠レヲ警官ノ面前ニ拘引セリ警官直ニ渠レヲ鞫問スル
ニ依然其冤ヲ唱ヘタリ然レモ二紳士ハ正シク右ノ現況ヲ目撃セシ所以ヲ供セルヲ以テ警官ハ一點
ノ疑ヒヲ容レヌ速カニ繫獄狀ヲ記シテブラッドフワールドヲ監獄署ニ送付セリ

然ルニブラッドフワールド繫獄ノ後チ此事忽チ全國ニ流布シ至ル所人々皆ナ其罪惡ヲ論セサル者
ナシ而シテオツクスフワールド州ノ裁判期ニ及ヒ法官始メテ之ヲ訊鞫スルニ其無辜ヲ辨スルヲ猶
ホ前ニ異ナラヌト雖モ此時二紳士ハ親シクヘイスト氏ノ寢牀中ニ在テ殺死サレシヲ及ヒブラッドフ
ワールドノ一手ニ小刀ヲ握リ一手ニ暗燈ヲ掲ケ其側ニ竝立セシ右小刀及ヒ之ヲ握リタル手ノ血
ニ塗レシヲ二人室内ニ入リシ時彼レ頗ル遽色ヲ發シ恰モ罪ヲ蔽ハントスル如キ態度アリシヲ又二
人室内ニ入ル前被害者ノ呻吟スル聲ヲ聽キシヲニ至ルマテ逐一之ヲ告ゲ更ニ遺ス所ナキヲ以テ其
口供ハ頗ル著シキ効力ヲ有シタリ
又右ノ口供ニ向ヒブラッドフワールドカ答辨ノ要旨ハ前日警官ノ前ニ於テ陳ヘシモノト異ナラス
乃チ其要ニ曰ク其夜室内ニ響音ヲ發スルヲ聽キ心中大ニ怪ミ何者カ暴舉ヲ行フニアラスヤト思惟
シ匆卒暗燈ヲ點シ又其身ヲ護ル爲メ傍ニアル小刀ヲ携ヘテ室内ニ入リシノミナリ而シテ二紳士ノ
同シク室内ニ來ルニ遭ヒ覺ヘス遽色ヲ發シタルヤ人情固ヨリ此ノ如キ異變ニ臨ミテハ其身ニ罪ア
ルト否ヲ問ハス何人ト雖モ之ヲ其態度ノ上ニ現ハスヲ常ト爲セハ亦怪ムニ足ラヌト陳セリ
ブラッドフワールドノ辨解右ノ如シト雖モ之ヲ證據人(即チ二紳士)ノ告白セル諸情況ニ比スレハ
其効力極メテ微々タリ之ニ反シ二紳士ノ口供ノ如キ最モ有力ノ證據ト稱ス可シ是ノ如キヲ以テ法

官之ヲ總括スルニ於テ別ニ一片ノ解明ヲ爲スニ及ハス人々其罪ヲ信定セルヲ以テ陪審モ亦熟議ニ及ハスシテ直ニブラッドフアールドヲ其罪ニ定擬セリ

其後チ日ナラスシテブラッドフアールドハ終ニ死刑ニ處セラレシカ飽マテ其無辜ヲ固執シテ毫モ其罪ニ服セザリシト然レモ世人ハ擧テ其罪ヲ信シ一人トシテ之ヲ疑フ者ナシ蓋シ世人ノ之ヲ疑フ者ナキモ果シテ亦全ク其理由ナキニアラサルナリ今其所以ヲ開陳センニ抑シ旅客ヘイス氏ヲ殺死セシハ其從僕ノ作業ニシテ此者前夜ヘイス氏ノ寢室ニ忍ヒ熟睡ノ隙ヲ窺ヒテ渠レヲ暗殺シ直ニ懷中ニ貯フル金圓時辰黒煙具等ヲ搶奪シ密カニ自己ノ室ニ還レリ而シテ主人ブラッドフアールドノ此ニ入りシハ從僕ノ之ヲ出テシヨリ僅カニ數秒時間ヲ過キテ後チナリト此事ブラッドフアールド處刑ノ後チ凡ソ十八箇月ヲ歷從僕危篤ノ病ニ罹リ其死旦夕ニ迫リシ時大ニ先非ヲ悔ユルノ心ヲ發シ病床ニ在テ纏々其醫惡ヲ首白セルニヨリ漸ク之ヲ知り得タルナリ然ラハブラッドフアールドハ全ク其罪ナキ者ナラソニ何ソ世人ノ之ヲ疑フモ全ク其理由ナシトスルヤ他ナシ抑シブラッドフアールドハ現ニ手ヲ下シテヘイス氏ヲ殺死セル兇手ニ非スト雖モ其實同氏ヲ殺死セント企謀セシ者ナリ其故ハ渠レヘイス氏カ投宿ノ夕食堂ニ於テ金圓ヲ携帶セルヲ人ニ告ケシヲ洩聞シ忽チ惡心ヲ發シ乃チ之ヲ搶奪セント欲シ夜陰ヲ俟テ同氏ノ室内ヘ忍ヒタルニ人アリテ既ニ氏ヲ殺死ス是ニ於テカ渠レハ駭一駭殆ト爲ス所ヲ知ラス暫時茫然タリシカ尙ホ其死骸ヲ點檢セントシテ試ニ寢衣ヲ掲クルニ其生血淋漓タルニ眩目シ誤テ小刀ヲ寢上ニ墜セリ之ヲ以テ惶然小刀ヲ拾ヒシカ爲メニ小刀及ヒ其雙手ヲ汚セリ而シテ彼ノ二客ノ此ニ來リシハ恰モ此時ナリシト但シ此一項ハブラッドフアールド既ニ其罪ニ斷セラレ將ニ刑ニ就カントスルニ臨ミ其引導ヲ司トリシ僧官某ニ首白セシ所ニ係ル顛末ナリ

第二十七判例

ウエブスタルパークマンノ疑獄判例 以來合衆國ホストン府ニ於テ起リシ疑獄ノ最モ著シキモノハ

リーヴ井ツトアレインナル者ノアピシアーエリスト稱スル人ヲ謀殺シタル嫌疑ヲ被リ一旦法官ノ訊鞫ヲ受ケシモ終ニ陪審ノ見斷ニ由テ無罪ノ宣告ヲ得タル件是ナリ蓋シ此二獄ハ其情狀ニ於テ互ニ能ク似タル者アリテ譬ヘハ二獄俱ニ其被殺者ハ富有者ナルノミナラス其性質モ頗ル相類シ極メテ嚴酷ナル債主ナリ即チ此獄ニ於ケルモ曾テアピシアーエリスヨリリーヴ井ツトアレインニ貸與セシ金圓ノ返辨ヲ嚴ニ督促シタルヨリ事ヲ起シ又現ニ告罪人ノ所告ニ由ルニアレインハエリスノ殺害ニ遭ヒシ時ニ方リ頗ル貧困ニシテ其負債ヲ辨償スルヲ能ハサリシト云ヘル如キ更ニパークマンノ獄ト異ナルナシ今其顛末ヲ尋ヌルニ其要左ノ如シ

或ル時カムブリ井シ瓦斯製造所ノ近傍ニ住スル工夫數名チアーレス河ノ水面ニ於テ二箇ノ大桶ノ漂流スルヲ發見シ直ニ其中ヲ見ルニ二箇共ニ肥料鉋削等ニ混シテ離々斷々ニ解體シタル人ノ死骸ヲ納レタリ又一箇ヨリハ打波機製造人エムスケーラノ名ヲ記セル褐色ノ一紙片ヲ發見セリ警官聞知シテ直ニ之ヲ檢視シ仍ホ多方探偵ノ道ヲ需ムルニアレインハ常ニ鉋削等ヲ廠中ヘ納置ストノ報ヲ得タルヲ以テ竊ニ人ヲ派シテアレインノ廠内ヲ搜索セシメシニ其一偶ニ乾涸シタル肥料ノ一堆アリテ堆中所々ニ之ヲ攪亂シタリト覺シキ跡アルノミナラス又壁面ニ横タハリタル板材ニ血跡アルヲ發見シタリ

此他チアーレス河ニ於テ大桶ヲ發見シタル前日ノ朝アレインハ一輛ノ車ニ四箇ノ大桶ヲ積ミ廠ヲ出テシヲアリトノ證ヲ得タリ且又アレインノ廠ヲ出ツル時馭者某其車中ヲ跳下セシヲアリシカ其時右四箇ノ中二箇ハ其量ノ甚タ重キヲ認定セシトノ證ヲモ得タリ然レモ他ノ二箇ニ至テハ其所在漠然トシテ之ヲ知ル能ハサリキ之ニ加フルニアレインハ曾テエリスヨリ二百弗ノ金額ヲ借受シ頃日返辨ノ期限既ニ過キシモ囊中之ニ宛ツル金圓ナキヲ以テ頗ル心痛メシカ現ニエリスノ殺害ニ遭ヒシト覺シキ夕ヘニ方リ渠レハ頻ニエリスノ所在ヲ搜索セシヲアリトノ報ヲモ得タリ又是ヨリ先キアレインハ一挺ノ斧ヲ購ヒシカ爾來日ナラスシテ之ヲ失ヒタルノ證據アルヲ以テ法官其所在ヲ渠レニ詰リシニアレインハ近來新タニ斧ヲ購ヒシヲナシト答ヘタリ此他仍ホアレインノ衣服ニ血跡ヲ發見セ

シヲ以テ鑒定人ヲシテ之ヲ檢覈セシメシニ個ハ全ク人血ニ違ハスト告ケタリ又一婦人某ハエリスノ殺害サレシ夜アレイノ腕ヨリシテ恰モ桶ノ展轉スル如キ響ノ發スルヲ洩聞セリト告ク又アレイハエリスノ殺害サルハ前迄ハ頗ル貧困ナリシモ其死後忽チ許多ノ金圓ヲ有セリトノ證ヲ得タリ告罪ノ證據概テ右ニ掲クル如クナリト雖モ之ヲ要スルニ一トシテ純然タル情供證據ニアラサルモノナシ故ニアレイカ犯罪ノ現狀ハ未タ親シク之ヲ耳目ニ徵セシ者アルヲ見ス然レモ法官ハ丁寧又復此等ノ情況ヲ檢覈シ就中彼ノ衣服ニ存セシ血跡ノ如キハ殊ニ技手ニ命シテ化學的ノ試驗ヲ用ヒ又顯微鏡ノ應用ヲ以テ之ヲ檢視セシメシニ技手ハ其血跡ヲ以テ齒ニ入血ナリトノ考案ヲ下セシノミナラス亦正ニエリスノ血跡ニ違ハスト鑒定シタリ加之一醫師ヲシテ其胃腸ヲ解剖セシメシニエリスノ死ハ其日ノ午後六時ヨリ九時ニ至ル迄ノ間ニアラシモノト告ケタリ此ノ如キヲ以テ當初ノ證據モ自カラ其効力ヲ増シ隨テアレイノ罪跡モ亦將ニ其確ヲ得ントスルニ及ヘリ

然レモアレイノ辯護人ハ囚徒ヲ辯護スルノ道ニ最モ渾キ人士ナリシヤ右ノ如ク較著ナル効力ヲ有スル證據ニ向テ意外ニ有力ナル辨駁ヲ行ヒタリ乃チアレイハエリスト爭論ノ未遂ニ渠レヲ殺害セリト云フ告罪ノ要旨ニ對シテ渠レハ平素ヨリ極メテ溫厚順良ナルノミナラス苟モ渠レヲ知ル者ハ擧テ畢ク其懇篤正實ヲ稱揚セサルナキノ人物ナレハ恐ラクハ僅ニ金錢ノ事ヨリシテ怒ヲ發シエリスヲ殺害スル如キ非義ノ行アル可カラサル所以ヲ體察シ仍ホ此言ノ眞ヲ證スル爲メニウーハムプシヤ州ニ於テ屈指ノ紳士ト稱スヘキ者數名ヲ以テ其證據人ト爲セリ又アレイハエリスヨリ償ヲ負ヒエリスノ殺害ニ遭ヒシ日ニハ既ニ其返解ノ期ニ迫マリシト進モアレイハ其特未タ之ヲ償フニ足ルノ金圓ヲ有セサリシト云フ告罪ノ證ニ對シテアレイハニウーハムプンヤ州ニ許多ノ財産ヲ有スルノミナラス其他別ニ又若干ノ金圓ヲ銀行ニ貯藏スルノ證ヲ示シ乃チ渠レニシテ其負債ヲ償フ能ハサルノ理ナキ所以ヲ陳述セリ

要スルニ告罪ニ係ル事實中其最モ著キ効力ヲ有スルモノハエリスノ殺害ニ遭ヒシ前日迄アレイハ囊中甚々乏シカリシモ殺害ノ後チニ至リ忽チ許多ノ金圓ヲ有セシハ頗ル怪ム可シト云フニアリ

八

ト雖モ辯護人ノ探偵ニ由テアレイハエリス遭害ノ前夕其子ニ百二十五弗ノ金額ヲ齎ラシテ一債主ニ之ヲ償ハシメシトアリトノ確證ニ據テ忽チ其疑ヒヲ解ケ是ヲ以テアレイノ罪ヲ證ス可キ情況ハ其衣服ヲ汚セシ血跡ノ正シクエリスノ生血ナリト云フ一條乃チ存スルノミ然ラハ是レソ眞ニ其罪ヲ證スルニ足レルモノナルヤヲ質スルニ同シク其効力ヲ失ヒタリ其故ハ辯護人更ニ鑒定人ニ託シテ之ヲ見斷セシメシニ鑒定人ハ齒ニ其血跡ヲ以テ人血ト爲スモ既ニ乾涸シタル後チニ至テハ老鍊多材ノ技手ト雖モ其果シテ人血ナルヤヲ將タ禽獸等ノ血ナルヤヲ識別ス可カラサルハ章々乎トシテ徵アリト陳述セリ是ノ如キヲ以テ陪審ハ忽チ其見解ニ惑ヒ臧否何レニアルヤヲ察スル能ハサルニ至リシカ辯護人ハ仍ホ辨ヲ振テ頻ニ辯護ノ道ニ力ヲ盡シ前夜エリスカ其踪跡ヲ失ヒシ時ヨリシテ終ニ其死骸ヲ發見スルニ至ル迄ノ間ニ於ケルアレイノ所在ト竝ニ所業如何トヲ具サニ開陳シタリ右ノ如キヲ以テ忽チ法庭内外人ノアレイヲ見ルノ心ニ一大變更ヲ生シ來リシノミナラス未タ曾テ何人モアレイノエリスヲ殺害セシ現況ヲ目撃セシ者アラサリシト其當初著キ効力ヲ有セシ如キ情況ノ計ヲスモ辯護者ノ辨明ニ由テ既ニ其確ヲ得サル所以ヲ證セルト竝ニ何人ヲ論セス苟モ其罪跡ノ確證ヲ得サル間ハ總テ之ヲ無辜ト認ム可シト云ヘル聽獄ノ要則アルトヲ以テ乃チ此等ノ情實ニ基ツキ終ニアレイヲ以テ無罪ト斷定セリ惟フニ獄ヲ慎ムノ精神ヨリシテ之ヲ論スル時ハ苟モ間然ス可カラサルノ裁斷ト稱スルモ亦誣言ニ非サル可シ

情供證據誤判錄 大尾

正誤

- 四丁八行 モンラスキウハモンテスキウノ誤
- 二〇丁九行 アリトノ下〔夫レ豈ニ然リ〕ノ六字ヲ脱ス
- 二六丁三行割注 一方トテハ一方トモノ誤
- 三一丁十八行 事實ノ下ノ、字ヲ脱ス
- 三五丁十一行 數箇ハ數箇ノ誤
- 四〇丁十八行 遂一ハ逐一ノ誤
- 四六丁十七行 底内ハ庭内ノ誤
- 四八丁九行 引用セシハ引用センノ誤
- 五五丁九行 危儉ハ危險ノ誤
- 五六丁八行 冤柱ハ冤枉ノ誤
- 五八丁十五行 實ハ實ノ倒植
- 六六丁十六行 〔マルホーロ〕ハ〔マルホロー〕ノ倒植
- 六八丁十五行 七十斤ハ七十片ノ誤
- 七〇丁十三行 アベ、フランチビエルハアベ、フランチビエルノ誤
- 七一丁二十行 ダンゲレーヅハダングレーヅノ誤
- 七三丁二行 レデイ、マセルノ右傍ニ附セシ雙柱ハ單柱ノ誤
- 七八丁七行 ヲサレハラサレハノ誤
- 八〇丁五行 潜然ハ潜然ノ誤
- 九三丁十三行 訖フハ訖テノ誤

定價金廿五錢

明治十四年十一月廿二日 翻刻御届
同 年十二月 出版

翻刻出板人

兵庫縣士族

長尾景弼

府下芝區愛宕下町
三丁目壹番地寄留

東京銀座四丁目

博聞本社

發

京都蛸薬師通麩屋町東

全分社

大坂心齋橋通南
久寶寺町四丁目

全分社

賣

千葉縣下千葉

全分社

所

埼玉縣下浦和

全分社

神戸榮町四丁目

長尾商店

賣	東京芝三島町	山中市兵衛	大坂心齋橋通北久太郎町	柳原喜兵衛
	全日本橋通一丁目	北島茂兵衛	全本町四丁目	岡島眞七
	全	貳丁目	全北久太郎町四丁目	辻本信太郎
棚	全	三丁目	京都東洞院三條上ル町	村上勘兵衛
	全日本橋西河岸	須原鏡二	全佛光寺通烏丸東へ入	東枝吉兵衛
	全芝柴井町	土屋忠兵衛	陸中盛岡	澤田正助
書	全	栗田信太郎	長崎引地町	鶴野常藏
	全南傳馬町	穴山篤太郎	信州長野大門通	協和堂
	全今川小路二丁目	酒井次郎	尾州名古屋玉屋町	片野東四郎
林	全瀧山町	報告社	伊勢津北堀端	若林忠兵衛

60000
20000

1142
2111
967
11113

東 京 圖 書 館

新 門 四 函

一 部 五 架

類 號

Vertical white rectangular area on the left side of the dark field.

特 15

421

情供証拠誤判録

国立国会図書館

036451-000-8

特15-421

情供証拠誤判録

フィリップス/著

M14

BBR-0117

